

平成28年度 第1回 倉敷市環境審議会

日時 平成28年7月8日(金)14:00~16:00

場所 倉敷市環境学習センター環境学習教室

1 開会・あいさつ

2 議 事

(1) 第二次環境基本計画に係る実施計画の進捗状況等について

(2) 倉敷市生物多様性地域戦略の進捗状況等について

(3) くらしき水と緑のシンフォニー計画と倉敷市第二次緑の基本計画について

3 その他

4 閉 会

議事1(当日説明スライド)

第二次環境基本計画に係る実施計画の進捗状況について

環境基本計画の評価

◆指標の設定

- ・ 5つの基本目標にぶらさがる13の分野別目標に、施策の進捗状況を測る「ものさし」として指標を2～3つ設定

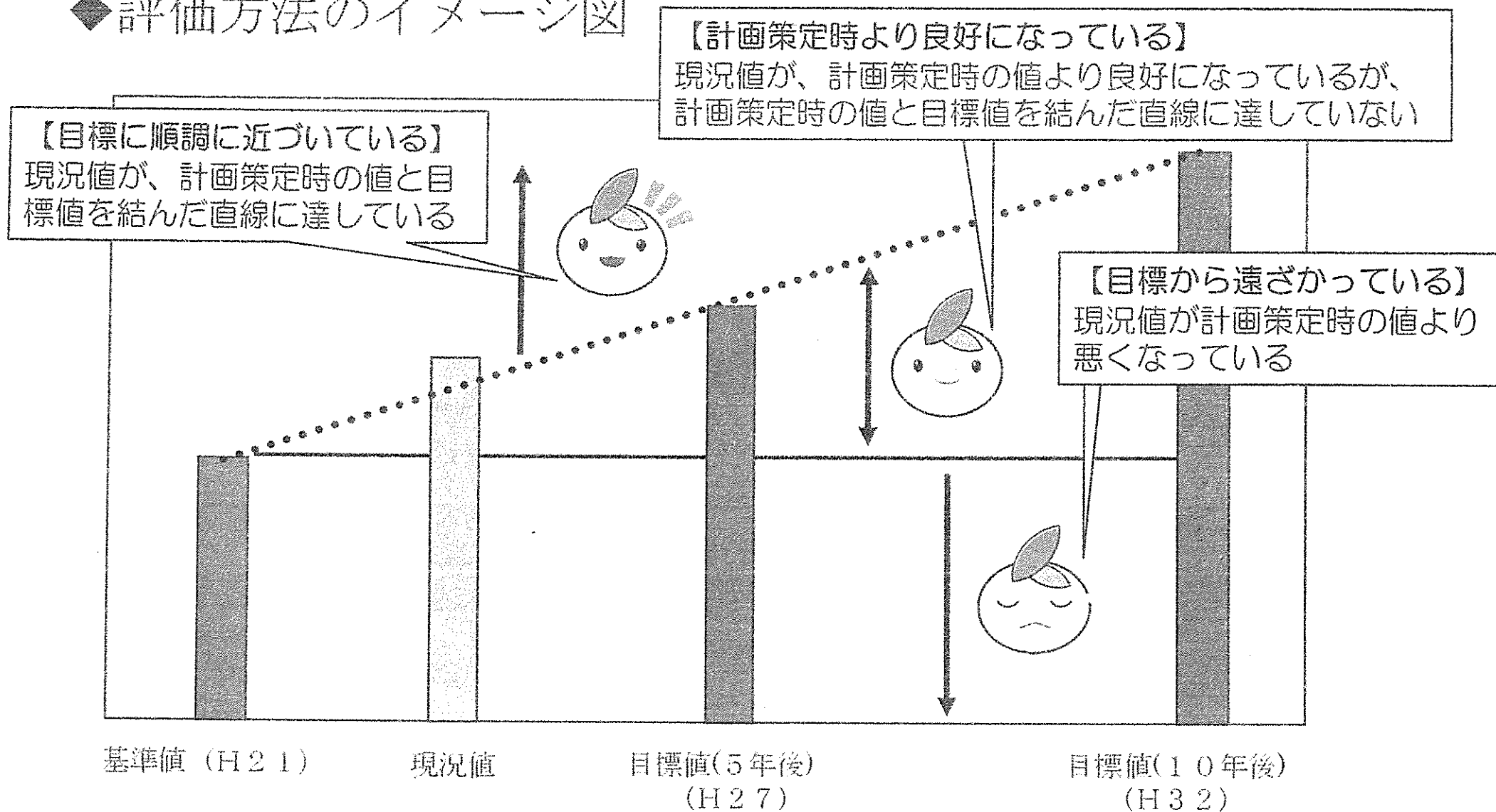
【指標例】

- ・ 多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合
 - ・ 公園や街路樹などの身近な緑に満足している人の割合
 - ・ 汚水処理人口普及率
 - ・ 家庭ごみの一人一日当たり排出量
- 16才以上、2,000人を対象に市民アンケート実施
- 事業実績値

◆めざそう値との比較

- ・ 5年後及び10年後の目標値である「めざそう値」と市民アンケート結果や事業実績値との比較
- ・ 年度毎の傾向を把握

◆評価方法のイメージ図



＊「大気環境の基準値(1日平均値)を超過している日数」、「家庭ごみの一人一日当たり排出量」、「事業ごみの年間排出量」、「市全域から排出される温室効果ガスの削減割合」については、値が小さくなるほど目標値に近づくので、上の図とは反対になります。

基本目標1:環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

●分野別目標1 多様な自然環境の保全

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合	32.5%	30.3%	32.6%		45%	56%
【分析】30歳代までは、「感じない」人の割合は40%を超えており、特に20歳未満において、「感じる」人の割合が23.5%、「感じない」人の割合が52.9%となり、若い世代で「感じない」人が多い。						
身近な自然を守る活動を行っている人の割合	10.9%	8.9%	8.0%		15%	20%
【分析】50歳代までは、「行っている」人の割合は、5%を下回っており、60歳代からは「行っている」人の割合が高く、退職等に伴い、取り組みを始める人が多くなっていると思われる。						
自然環境に配慮した工法(河川、ため池、護岸等の工事件数)	—	20件	25件		40件	100件
【分析】H23年度からの積上げ件数である。H23年度は5件、H24年度は3件、H25年度は7件、H26年度は5件、H27年度は5件の工事(水路工事)を実施した。						

【H27年度の主な事業】

- ・市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等の開催
- ・環境配慮型公共工事研修を市職員を対象に実施
- ・水辺教室や海辺教室での水生生物調査実施
- ・携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内生き物調査を実施

など

★【H28年度からの新規事業】

- ・市民企画提案事業で「里山の整備と絶滅が危惧される湿生の野生生物保護」実施
- ・高梁川流域連携事業で「生物多様性エコツアー支援事業」を実施

●分野別目標2 緑の保全・緑化の推進

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
公園や街路樹などの身近な緑に満足している人の割合	59.8%	66.5%	65.7%		68%	75%
【分析】「満足」、「どちらかという満足」の合計は年齢層が高くなるにつれ、多くなっている。						
庭木や生垣など身近な緑化に努めている人の割合	50.3%	44.5%	47.6%		58%	65%
【分析】60歳代、70歳以上の方の「努めている」人の割合は約60%であり、20歳未満、20歳代の10%程度と比較して大きな違いがみられる。						
身近にくつろげる緑や水にあふれる場所があると感じている人の割合	43.6%	41.9%	44.9%		54%	66%
【分析】茶屋町地区のみ「感じている」人より「感じていない」人が多く、およそ3:5の割合となっている。その他の地区においては「感じている」人が「感じていない」人より多くなっている。						

【H27年度の主な事業】

- ・街路樹、公園などの適正管理
- ・公共施設（小学校園等）の壁面緑化・芝生化等
- ・花と緑あふれるまちづくり事業、花いっぱいコンクール、都市緑化フェア等による緑化の推進
- ・市民等に対する緑化実施の補助（生垣補助、記念樹配付、花の苗・種の配布、花壇設置）
- ・公園3箇所の新設整備（粒浦玄雨公園・福島中津公園・西羽島公園）及び1箇所の施設改善

など

★【H28年度からの新規事業】

- ・公園施設長寿命化計画に基づき、既存の公園施設の更新等工事及び補修を開始

●分野別目標3 景観づくり

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
地域の個性や生活・文化を活かした景観づくりができていると思う人の割合	38.9%	43.3%	45.1%		45%	50%
【分析】「できている」人と「どちらかというのでできている」人の合計が10歳代・20歳代で50%を超えており、若い世代では現状に好意的であることが見受けられる。						
歴史的な景観が保全されていると感じている人の割合	45.8%	43.5%	48.3%		54%	65%
【分析】20歳未満で「感じている」人が67.6%と最も高く、年齢が上がるにつれ、「感じている」人の割合が減り、70歳以上では40.6%と20%以上の違いがある。						
身近な生活環境の中で眺め(景観)に満足している人の割合	51.8%	58.2%	55.4%		57%	62%
【分析】「満足」と答えた人の割合は20歳未満で18.2%と高く、その他の世代では10%前後となっている。						

【H27年度の主な事業】

- ・市内小中学生を対象に景観に関する絵画を募集し、景観絵画展を実施
- ・伝建地区等の建物の修理修景に対する補助実施
- ・大規模な建築物の新築について、都市景観審議会で審議
- ・違反広告物の除却作業等実施
- ・古民家等を地域のまちづくり活動や賑わいの拠点等として再生整備する事業へまちづくり基金で支援を実施

など

●分野別目標4 環境と経済の調和

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
エコアクション21認証・登録事業所の数	19件	16件	18件		35件	50件
【分析】市内の認証事業所数は昨年度より2件増加したが、基準値を下回った。						
地産地消を心がけている人の割合	32.1%	37.1%	35.0%		41%	50%
【分析】「心がけている」「どちらかという心がけている」人の合計の割合は概ね高齢になるほど高くなる傾向がみられ、60歳代以上では8割以上の人実践していることが伺える。						
企業の新增設における事前協議に係る環境に配慮した計画の割合	100%	100%	100%		維持	維持
【分析】施設の新増設等を行う際、事前に協議を実施し、環境保全対策の徹底を指導した。(協議数94件)						

【H27年度の主な事業】

- ・商工会議所との共催により、中小企業向けのくらしき省エネセミナーを実施、エコアクション21制度説明
- ・倉敷市アダプト・プログラムの実施（清掃美化などの地域貢献活動に対して、ほうきやごみ袋等支給）
- ・くらしき農業まつり等のイベントや「くらしき農産物ガイド」改訂版の配付による地産地消推進事業
- ・企業立地、設備の新増設の際の事前協議と環境保全対策徹底の指導
- ・公共施設等の屋根貸しによる太陽光発電システムの設置（真備総合公園体育館、豊洲っ子児童クラブ）
など

★【H28年度からの新規事業】

- ・エコアクション21認証・登録事業所の認証更新に関する補助制度

基本目標2:水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち

●分野別目標5 良好な水環境の保全

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
日頃から水環境の改善を意識して行動している人の割合	23.9%	24.6%	23.2%		50%	75%
【分析】「いつもしている」人の割合は、50歳代以下では15%前後であるが、60歳代で26.0%、70歳以上で39.5%となり、高齢であるほど割合が高い。						
身近な河川・用水路等がきれいで流れ豊かな水辺になっていると感じている人の割合	31.2%	35.5%	37.2%		45%	60%
【分析】「感じている」「どちらかというと感じている」人の合計の割合は世代が上がるにつれ高くなる傾向がある。						
汚水処理人口普及率	85.5%	90.3%	91.0%		90%	93%
【分析】H27の実績値は、H21に比べ5.5%上がり、前年度に比べ0.7%上昇した。						

【H27年度の主な事業】

- ・下水道整備、下水道維持管理事業や合併浄化槽や雨水流出抑制施設への助成措置等実施
- ・下水道展や出前講座、ポスターコンクールなどによる生活排水対策の啓発実施
- ・河川や海などの水質調査、工場・事業場排水に対する立入調査及び水質検査実施
- ・児島湖流域の生活排水対策の啓発のため、啓発ポスターの展示や児島湖流域清掃大作戦を実施
- ・大規模開発前の土壌調査等の指導

など

●分野別目標6 クリーンな大気環境の保全

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
身近な空気がきれいに保たれていると感じている人の割合	40.9%	50.7%	51.7%		55%	70%
【分析】「感じている」「どちらかというと感じている」人の合計の割合は、地区別で見ると水島地区が26.7%と低く、茶屋町地区では81.8%と高い値であった。						
大気環境の基準値(1日平均値)超過日数	22日	0日	2日		15日	10日
【分析】H27年度は浮遊粒子状物質(SPM)において大気環境の基準値(一日平均値)を延べ2日間超過した。						
通勤通学や日常の移動手段として、自転車・徒歩・公共交通機関を利用している人の割合	50.3%	49.0%	47.3%		63%	75%
【分析】「常にしている」「ときどきしている」人の合計の割合は30歳代から40歳代がとりわけ低く、それ以降の世代で上昇傾向にあることから、就労の有無や健康への意識が関係していると推測される。						

【H27年度の主な事業】

- ・工場や事業場の立入調査や施設改善などの指導を実施。
- ・ノーマイカーデー等自動車公害対策の啓発、電気自動車等購入補助実施
- ・市内24カ所及び大気測定車による大気汚染物質の常時監視
- ・夏期の光化学オキシダント濃度の常時監視
- ・市内7カ所において有害大気汚染物質の排出状況調査を実施

など

●分野別目標7 安心・安全な生活環境（環境衛生、化学物質対策等）

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
ごみが無くまちがきれいに清掃されていると感じている人の割合	38.4%	51.4%	52.7%		55%	70%
【分析】「感じている」「どちらかというと感じている」の合計は、船穂地区で33.4%で、他地区の45%～62%と比較し低い値だった。また、年代別で見ると概ね高齢になるほど割合が高くなる傾向が見られた。						
環境の基準が守られ、心身ともに健康に暮らせていると思っている人の割合	54.4%	61.4%	65.8%		67%	80%
【分析】「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は、年代別でみると大きな違いはなかった。地域別では、水島地区(55.8%)が他地域(66～77%)と比べると低い値であった。						

【H27年度の主な事業】

- ・騒音、振動、悪臭関係法令に基づく工場等の立入調査や防音対策等の指導実施
- ・事業所から排出される化学物質の種類と量の集計及び結果の公表
- ・イエローカード作戦や看板設置、啓発ティッシュの配布などによる飼い犬ふん害防止の啓発実施
- ・全市一斉ごみOキャンペーンの実施
- ・ダイオキシン類対策として、発生源に対する調査・指導及び環境中のダイオキシン類調査実施

など

基本目標3:リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形成されたまち

●分野別目標8 ごみの排出抑制

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
ごみの発生抑制に配慮した行動をしている人の割合	30.6%	32.4%	30.5%		40%	60%
【分析】「いつもしている」人の割合は30歳代では9.3%と少ないが、30歳代を除く20歳未満～50歳代では17～20%と大きな違いはなく、60歳以上では36%～52%と高くなっている。また、地域別にみると「いつもしている」人の割合は茶屋町地区45.5%で、他地区26～33%と比較し配慮している人の割合が高い。						
家庭ごみ一人一日当たり排出量(資源ごみ除く)	553g	539g	535g		495g	473g
【分析】家庭ごみ一人一日当たり排出量は近年横ばい状態であり、H27年度実績値はH26年度より4g減量していた。						
事業ごみの年間排出量	68,140t	71,930t	70,998t		59,871t	58,096t
【分析】H27実績値は基準値より増加したが、H26年度より932t削減した。						

【H27年度の主な事業】

- ・「リサイクルフェア」や「暮らしとごみ展」の開催、5種14分別啓発チラシ全戸配付による啓発活動
- ・各ごみステーションでの市職員による早朝分別指導や地区町内会等での出前講座実施
- ・マイバッグ・マイ箸運動の推進(スーパー店頭での啓発イベント、協力店認定制度など)
- ・生ごみ処理機購入補助、子ども会や町内会など資源ごみ集団回収報奨金などの助成制度 など

★【H28年度からの新規事業】

- ・災害廃棄物処理計画の策定
- ・海底ごみステーションの設置

●分野別目標9 廃棄物の減量化・資源化

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
最終処分率 (最終処分量/ごみ総排出量)	2.4%	2.0%	2.0%		維持	維持
【分析】最終処分率は低水準を維持している。						
リサイクル率	47.8%	48.4%	51.6%		52%	54%
【分析】H27年度の実績値は、基準値に比べ3.8%上がり、H26年度に比べ3.2%上がった。						

【H27年度の主な事業】

- ・大規模事業者に対する一般廃棄物減量資源化計画書の提出指導や事業場に対する分別指導実施
- ・児島のクルクルセンターを拠点とし、木製家具や古着等のリユース事業やリサイクルに関する講座を実施
- ・スーパーなどのリサイクル協力店や地区ステーションからペットボトル回収実施
- ・不法投棄対策として、航空機や監視カメラ、夜間パトロールなどの監視活動を実施
- ・障がい者や高齢者の世帯のうち、ごみ出しが困難な世帯を対象に個別収集を実施（ふれあい収集事業）
- ・使用済み小型家電リサイクル事業を実施

など

基本目標4:地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち

●分野別目標10 温室効果ガス削減

どうやって取り組んでいるか。 H27は比較対象として、H21は目標値 設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
家庭で温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる人の割合	24.6%	19.5%	19.1%		39%	53%
【分析】「取り組んでいる」割合が60歳以上では23%～27%、20歳代～50歳代では12～14%であり、20歳未満が5.9%と若い世代で取り組み割合が低い傾向がみられる。また、全体の5割程度の人が「わからない」と回答している。						
温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる企業の割合 (1回/2年の調査)	5.5%	19.2%	隔年 アンケート	—	50%	80%
【分析】隔年実施のため、実績値なし。						
市全域から排出される温室効果ガスの削減割合(2007年度比)	39,573 千t 【H19】	15.2% 削減 【H23】	16.0% 削減 【H24】		6%削減	12%削減
【分析】基準年比で16.0%削減されており、H32年度のめざそう値も達成している。						

【H27年度の主な事業】

- ・緑のカーテンコンテスト、グリーンメイトの登録、ゴーヤや朝顔の種配布など緑のカーテン普及事業実施
- ・出前講座やこどもエコライフチャレンジ、STOP温暖化くらしきミーティングなどの啓発活動実施
- ・電気自動車等や充電設備への補助制度を実施 など

★【H28年度からの新規事業】

- ・公共施設のCO2削減ポテンシャル診断事業委託実施

●分野別目標 1 1 再生可能エネルギーの導入

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
住宅用太陽光発電システム設置件数	3,852件	13,175件	14,206件		10,000件	28,000件
【分析】H27実績として、基準値から10,354件、H26から1,031件増加し、順調に推移している						
公共施設の太陽光発電システム設置kw数	90kw	512.9kw	549.6kw		250kw	500kw
【分析】H27実績として、玉島南小学校、福田中学校、真備総合公園体育館、豊洲っ子児童クラブに設置。						

【H27年度の主な事業】

- ・住宅用太陽光発電システムや住宅用太陽熱温水器設置に対する補助
- ・倉敷市が定める認定基準に適合する低炭素住宅「次世代エコハウス」に対する助成
- ・クレジット制度の活用
- ・公共施設の空調設備や照明施設などの省エネルギー対策実施
- ・公共施設への太陽光発電システムの導入、公共施設の芝生化・壁面緑化等の実施
- ・公共施設等の屋根貸しによる太陽光発電システムの設置（真備総合公園体育館、豊洲っ子児童クラブ）
- ・児島下水処理場に消化ガス発電設備を2機追加し、合計125kwの発電を実施。

など

基本目標5:市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち

●分野別目標12 市民全体の環境教育・環境学習

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
「もったいない」意識を共有している社会が出来ていると思う人の割合	6.0%	6.6%	8.4%		12%	30%
【分析】「思う」人の割合は、20歳代が20.6%と他世代の4~11%と比べて高い割合であった。また、地域別でみると、「思う」人の割合は、茶屋町地区で22.7%であり、他地区の2~16%と比べて高い割合であった。						
環境学習等で学んだことを、日常生活の中で実践している人の割合	4.0%	4.6%	2.9%		10%	20%
【分析】20歳以上の世代においては、7割以上で環境学習を受けたことが「ない」または「わからない」と回答している。また、地域別では、「いつもしている」人の割合が船穂地区で16.7%と、他地区の2~4%と比較して高い割合であった。						

【H27年度の主な事業】

- ・環境フェスティバル、STOP温暖化くらしきミーティングなどの環境イベント実施
- ・水辺教室や海辺教室などの体験学習、市職員等による各種出前講座の実施
- ・市民学習センター（ライフパーク）や公民館、自然史博物館など社会教育施設での各種環境講座の実施
- ・市内で活動する環境団体と協働で環境学習等の講座を実施（夏休み宿題応援団、海辺のエコしらべ）
- ・高梁川流域連携事業として、関係市町の小中学校等へ「倉敷市環境学習センター」の利用案内を送付
など

●分野別目標 13 子どもの環境教育・環境学習

設定指標	基準値 (H21)	実績値		傾向	めざそう値	
		H26	H27		H27	H32
自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子どもの割合	71.7%	74.7%	77.4%		80%	95%
【分析】実績値は「とてもそう思う」の割合で77.4%となった。「そう思う」まで含めた割合は、アンケート対象(小学校4年生～中学校2年生)において90%以上とかなり高い割合であった。						
「もったいない」意識を持ち、物を大切にしている子どもの割合	31.4%	45.4%	45.2%		45%	65%
【分析】「いつもしている」人の割合が小学校4年生では56.3%だが、小学校5年生～中学校2年生では38～45%と低くなっている。ただ、「ときどきしている」まで加えると、8割以上の子どもが物を大切にしていることが伺える。						
自然にふれる活動に参加している子どもの数	14,537人	14,114人	15,522人		17,500人	19,700人
【分析】H27年度実績値は基準値と比べて985人増加し、H26年度から1,408人増加している。						

【H27年度の主な事業】

- ・こどもエコライフチャレンジを小学校で実施(家庭でエコライフを実践し子ども向け環境家計簿に取り組む)
- ・水辺教室、海辺教室、少年自然の家での山の学習や自然教室などの自然体験学習
- ・小中学校での環境に関する出前講座実施
- ・子供向けに「エコサマースクール」と題して、夏休み期間中に体験講座等を実施

など

◆平成27年度の設定指標の動向（まとめ）

	 「目標値に 順調に近づ いている」	 「計画策定時 より良好に なっている」	 「目標から 遠ざかって いる」
基本目標1「自然環境・景観・環境と経済の調和」	2指標／12指標	7指標／12指標	3指標／12指標
基本目標2「水と空気と大地が きれいで、安心して暮らせるま ち」	2指標／8指標	4指標／8指標	2指標／8指標
基本目標3「リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形成されたまち」	1指標／5指標	2指標／5指標	2指標／5指標
基本目標4「地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち」	3指標／4指標	0指標／4指標	1指標／4指標
基本目標5「市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち」	1指標／5指標	3指標／5指標	1指標／5指標
基本目標1～5の 総合計	9指標／34指標 (26.5%)	16指標／34指標 (47%)	9指標／34指標 (26.5%)

倉敷市第二次環境基本計画

～自然と人とが共生し 未来につなぐ 健全で恵み豊かな環境をめざして～

環境基本計画に係る実施計画

(平成 27 年度実績及び平成 28 年度以降の計画)

目 次

●平成 27 年度指標・めざそう値進捗状況総括表 1

●実施計画シートの見方 2

【実施計画シート】

●基本目標 1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち 3

●基本目標 2 水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち 1 1

●基本目標 3 リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形成されたまち 1 7

●基本目標 4 地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち 2 1

●基本目標 5 市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち 2 5

平成27年度指標・めざそう値進捗状況

No.	基本目標	分野別目標	設定指標	基準値 平成21年度	平成27年度 実績	傾向*	めざそう値 5年後	10年後		
1	環境豊かな地域・自然と調和したまちづくりを推進し、持続可能なまちづくりを実現する	1 多様な自然環境を保全し、自然とのふれあいを推進します	1 多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合	32.5%	32.6%		45%	56%		
			2 身近な自然を守る活動を行っている人の割合	10.9%	8.0%		15%	20%		
			3 自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数(平成23年度からの工事累積件数)	6件/年	25件		40件	100件		
		2 まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します	1 公園や街路樹などの身近な緑に満足している人の割合	59.8%	65.7%		68%	75%		
			2 庭木や生垣などの身近な緑化に努めている人の割合	50.3%	47.6%		58%	65%		
			3 身近につくつげる緑や水にあふれる場所があると感じている人の割合	43.6%	44.9%		54%	66%		
		3 瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい数々の景観づくりを推進します	1 地域の個性や生活・文化を活かした景観づくりができていると思う人の割合	38.9%	45.1%		45%	50%		
			2 歴史的な景観が保全されていると感じている人の割合	45.8%	48.3%		54%	65%		
			3 身近な生活環境の中での眺め(景観)に満足している人の割合	51.8%	55.4%		57%	62%		
		2	水と空気・安心・安全な生活環境の実現に努める	4 環境と経済の好循環の創出により、地域の活性化を目指します	1 エコアクション21認証・登録事業所の数	19件	18件		35件	50件
2 地産地消を心がけている人の割合	32.1%				35.0%		41%	50%		
3 企業の新增設における事前協議に係る環境に配慮した計画の割合	100%				100%		維持	維持		
1 良好な水環境の保全に努めます	1 日頃から水環境の改善を意識して行動している人の割合			23.9%	23.2%		50%	75%		
	2 身近な河川・用水路がきれいで流れ豊かな水辺になっていると感じている人の割合			31.2%	37.2%		45%	60%		
	3 汚水処理人口普及率			85.5%	91.0%		90%	93%		
2 グリーンな大気環境の保全に努めます	1 身近な空気がきれいに保たれていると感じる人の割合			40.9%	51.7%		55%	70%		
	2 大気環境の基準値(1日平均値)を超過している日数			22日	2日		15日	10日		
	3 通勤通学や日常の移動手段として、自転車・徒歩・公共交通機関を利用している人の割合			50.3%	47.3%		63%	75%		
3	3Rが徹底され、循環型社会が形成されたまちづくりを推進する			3 安心・安全な生活環境の実現に努めます	1 ごみが無くまちがきれいに清掃されていると感じている人の割合	38.4%	52.7%		55%	70%
		2 環境の基準が守られ、心身ともに健康に暮らせていると感じている人の割合	54.4%		65.8%		67%	80%		
		1 ごみの発生抑制に配慮した行動をしている人の割合	30.6%		30.5%		40%	60%		
		1 生産、消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します	2 家庭ごみの一人一日当たり排出量(資源ごみ除く)	553g	535g		495g	473g		
			3 事業ごみの年間排出量	68,140t	70,998t		59,871t	58,096t		
			2 廃棄物の減量化・資源化の推進及び適正処理に努めます	1 最終処分率(最終処分量÷ごみ総排出量)	2.4%	2.0%		維持	維持	
		1 温室効果ガス削減の取組を推進します	2 リサイクル率	47.8%	51.6%		52%	54%		
			1 家庭で温暖化対策「グリーンくらしエコアクション」に取り組んでいる人の割合	24.6%	19.1%		39%	53%		
			2 温暖化対策「グリーンくらしエコアクション」に取り組んでいる企業の割合	5.5%	隔年アンケート	—	50%	80%		
		4	地球温暖化対策の取組により、持続可能な社会が形成されたまちづくりを推進する	2 地域特性を活かした再生可能エネルギーの積極的利用により、資源・エネルギー循環型の社会を目指します	3 市全域から排出される温室効果ガス(CO2)の削減割合(2007年度比)	39,573千t【H19】	-16.0%【H24】		6%削減	12%削減
1 住宅用太陽光発電システム設置件数	3,852件				14,206件		10,000件	28,000件		
2 公共施設の太陽光発電システム設置kw数	90kw				549.6kw		250kw	500kw		
1 環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします	1 「もったいない」意識を共有している社会が出来ていると思う人の割合			6.0%	8.4%		12%	30%		
	2 環境学習等で学んだことを、日常生活の中で実践している人の割合			4.0%	2.9%		10%	20%		
	1 自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子どもの割合			71.7%	77.4%		80%	95%		
2 次世代を担う子どもたちへの環境教育を充実し、行動できる人を育てます	2 「もったいない」意識を持ち、物を大切にしている子どもの割合			31.4%	45.2%		45%	65%		
	3 自然にふれる活動に参加している子どもの数			14,537人	15,522人		17,500人	19,700人		
	5			市民一人ひとりが、持続可能なまちづくりを推進する	1 環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします					
2 次世代を担う子どもたちへの環境教育を充実し、行動できる人を育てます										
3 自然にふれる活動に参加している子どもの数										

* 傾向の見方:



めざそう値に順調に近づいている



計画策定時より良好になっている



めざそう値から過ぎつつある

◆ 分野別目標： 基礎的・応用的能力の育成

施策の進捗状況を測る「ものさし」として設定した指標です。

計画策定時に市民アンケートや事業実績により把握した数値です。

Ｈ27年度に市民アンケートや事業実績により把握した数値です。

指標の基準値からの傾向を「くらいふ」で示しています。

凡例：



5年後及び10年後の目標値：「めざそう値」です。

H28年度からの「新規」事業か、27年度以前からの「継続」事業か等を示しています。

28年度以降の実施計画を記載しています。

H27年度に実施した事業の主な実績を記載しています。

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
<シートの見方> 実績部分 実施計画部分									

●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

◆分野別目標1:多様な自然環境を保全し、自然とのふれあいを促進します。

【基本方針】:身近な自然環境の保全・再生に努め、地域の自然環境を豊かにしていくために、地域固有の生態系の確保、野生動植物の種の保存など生物多様性の確保を図り、地域の特性に合わせて、森林・農地・水辺地等における多様な自然環境を体系的に保全・再生するとともに、人と自然のふれあいを確保・推進します。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7 年度	H 3 2 年度
1	多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合	32. 5%	32. 6%		4 5 %	5 6 %
2	身近な自然を守る活動を行っている人の割合	10. 9%	8. 0%		1 5 %	2 0 %
3	自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数 (H23~H32 年度の積上げ件数)	6 件/H21 年度	25 件		4 0 件	1 0 0 件

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26からの区分	H27年度実績	H27からの区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 111 身近な自然と水辺の保存	●貴重な自然環境を保全・再生する ●私たちが憩い、安らげる親水性の高い水辺空間の保全・整備を進める ●公共工事を実施する際は、野生動植物の生息状況に配慮した工事を行う	市民環境団体への支援を通じて、観察会や環境保全活動を協働で実施する	継続	・市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催した。(総数56件) ・「自然史博物館友の会」による自然観察会等の開催を援助した。(友の会主催観察会・講座総数14件) 倉敷市環境学習センターや岡山県、大阪市立自然史博物館の観察会等の開催を援助した。	継続	自然観察会等の実施	継続実施			自然史博物館 環境政策課
					新規	「里山の整備と絶滅が危惧される湿生の野生生物保護」	未定			環境政策課
			新規	「ツツジ山再生プロジェクト」 旧帯江銅山跡地の「ツツジ山」を復活させる活動を通して、市民の交流を活性化する。	継続	「ツツジ山再生プロジェクト」 旧帯江銅山跡地の「ツツジ山」を復活させる活動を通して、市民の交流を活性化する。	継続実施			市民活動推進課
		人びとが憩い安らげる、自然環境・水辺空間を保全・整備する	継続	水質表示看板による溜川の水質の啓発及びごみ回収船による清掃活動を実施した。	継続	・水質表示看板による溜川水質の啓発 ・ごみ回収船による清掃活動	継続実施			環境政策課
			継続	地区住民のスポーツレクリエーションの場となる近隣公園として、また海と港をコンセプトとした公園である「玉島みなと公園」の維持管理を実施した。	継続	「玉島みなと公園」維持管理	継続実施			公園緑地課
			継続	倉敷用水を中心とした、幅約22m、往復約600mの緑道と、芝生広場を備えた緑地からなる約2.1haの水と緑豊かな潤いと憩いの空間である「倉敷みらい公園」の維持管理を実施した。	継続	「倉敷みらい公園」維持管理	継続実施			公園緑地課
			継続	水島中央公園を緑あふれる公園にリニューアルすることにより、地域に安心と安らぎのある空間を提供できるよう緑あふれる公園として再整備する。(H27年度は既存の噴水の取り壊し等を実施、H28年度に噴水広場・センター広場は完成予定)	継続	「水島中央公園再整備」工事実施 (芝生広場・西エントランス広場等の整備)	維持管理			公園緑地課
			継続	「まび水辺の楽校」維持管理 (空き缶やごみの回収、巡回パトロールを毎月実施)	継続	「まび水辺の楽校」維持管理	維持管理			真備支所
		自然環境に配慮した公共工事を推進する	継続	・自然環境に配慮した公共工事実施 (5件) ・市土木職員を対象に環境配慮型公共事業研修を1回実施	継続	・自然環境に配慮した工事実施 ・環境配慮型公共事業研修会実施	継続実施			関係各課 環境政策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 112 希少野生生物 の生息・生息 環境の保全	●希少野生生物の生息・生育環境の保全を行い、種の保存に努める ●絶滅の恐れのある野生動植物の分布や生息状況などを把握する ●生物多様性地域戦略を策定し、市内の生物多様性の確保に努める ●外来生物に関して、関係機関と連携し、生息実態の調査・情報収集を行い、情報提供や知識の普及を促進する	希少野生動植物保全の普及啓発及び地域住民と協働しての環境保全活動の実施	継続	ミズアオイ群生地の保全活動：ヌートリア食害防護フェンスの設置など、ミズアオイ自生地の整備・管理に協力した。市民に対して種まき会等の啓発活動を行った。	継続	ミズアオイ自生地の整備・管理	継続実施			環境政策課
			継続	スイゲンゼニタナゴ個体群の保全：自然保護団体等と協力して、淡水魚に関する出前講座（2件）を実施した。工事実施等に伴い、保全に関する協議・保護移動を実施した。（4件）	継続	自然保護団体、地域住民と協力し、スイゲンゼニタナゴの保護活動を推進する。（淡水魚に関する出前講座実施。工事実施に伴う保全に関する協議・保護移動を実施）	継続実施			環境政策課
		希少野生動植物の分布や生息状況を把握する	継続	希少野生生物の生息の可能性のある地域の公共工事を把握し、必要に応じて環境省や専門家と協力して、配慮工事を要請した。（調査・協議・対策を5回実施）	継続	スイゲンゼニタナゴ等の希少野生動植物の調査を実施	継続実施			環境政策課
		生物多様性戦略の取り組み	継続	生物多様性地域戦略推進委員会（委員11人）を設置し、会議を1回実施した。	継続	・生物多様性地域戦略推進委員会開催 ・生物多様性地域戦略推進庁内会議開催	推進			環境政策課
			継続	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内の生き物調査を実施した。平成27年度は両生類・爬虫類に限定して実施し、53件の投稿があった。	継続	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内の生き物調査を実施する。	終了予定			環境政策課
			新規	平成28年度からの実施に向けた準備として、関係市町とエコツアーの受入先となる地域資源の洗い出しにより、データベース化を行った。	継続	データベースの情報をホームページに掲載し、情報発信を行う。また、エコツアー実践講座を実施する。	推進			環境政策課
		外来生物の駆除対策等を実施する	継続	ジャンボタニシの防除対策について、HPや広報紙等で情報提供	継続	ジャンボタニシの防除対策について、HPや広報紙等で情報提供	継続実施			農林水産課
No. 113 自然とのふれ あいの促進	●さまざまな場面で自然とふれあえる場の整備と、自然と関わる機会の提供に努める ●地域の生き物とのふれあいや自然体験を支えていく人材の充実に努める	種松山野草園の管理運営	継続	野草園の維持管理を実施した。	継続	野草園の維持管理実施	継続実施			環境政策課
		生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする	継続	【再掲No. 112】生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内の生き物調査を実施した。平成27年度は両生類・爬虫類に限定して実施し、53件の投稿があった。	継続	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した市内の生き物調査を実施する。	未定			環境政策課
		探鳥コース・巨樹の維持管理	継続	・自然保護監視員や市民からの情報をもとに巨樹・老樹等の調査を実施した。 ・日差山探鳥コース案内看板を更新した。	継続	巨樹説明用看板設置	継続実施			環境政策課 市民学習センター
		水辺教室・海辺教室等の水生生物調査	継続	・高梁川河原で水生生物調査などの観察を行った。（参加者34人） ・磯（海辺）で水生生物調査などの観察を行った。（参加者23人） 誰もが手軽に海の水質や生物環境を評価できる「瀬戸内海の海岸生物調査マニュアル」提供・活用を行った。	継続	・高梁川河原で水生生物調査などの観察を行う。 ・磯（海辺）で水生生物調査などの観察を行う。 完成版マニュアルの提供・活用	継続実施			環境政策課
		自然保護監視員の委嘱	継続	・自然環境研修会等を3回実施：観察会「秋の虫の鳴く会」（倉敷市水江の渡し、講師：近藤光弘氏）、観賞会「16mm記録映画くらしきの自然」DVD上映・連絡会議や定期的な報告書により、市内自然環境の状況、外来生物侵入の状況について情報収集を行った。	継続	自然環境研修会の実施など	継続実施			環境政策課

●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

◆分野別目標2:まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成をめざします

【基本方針】:うるおいと安らぎのある生活空間を形成するために、都市公園の整備や街路樹の設置など、良好な都市環境の整備に努めるとともに、まちの緑化にあたっては、公共の場所だけでなく、遊休地の活用など民有地の緑化も推進します。
多様な機能を持つ緑地を維持・創出していくために、市民・事業者・行政が連携し、それぞれの立場で緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成をめざします。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7 年度	H 3 2 年度
1	公園や街路樹などの身近な緑に満足している人の割合	59. 8%	65. 7%		68%	75%
2	庭木や生垣などの身近な緑化に努めている人の割合	50. 3%	47. 6%		58%	65%
3	身近にくつろげる緑や水にあふれる場所があると感じている人の割合	43. 6%	44. 9%		54%	66%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26からの区分	H27年度実績	H27からの区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 121 緑の保全	●まちの緑と市街地周辺の森林・農用地、河川・海浜の緑を保全する ●個人や法人が所有する樹木等が不要になった場合はリサイクルできるよう配慮する	街路緑地帯等の適正管理	継続	街路樹管理の実施（市道の街路樹や緑地の剪定・害虫防除を行い、良好な道路環境の維持を行った。124路線・114Km）	継続	街路樹管理の実施	継続実施			公園緑地課
		地域との協働により緑の保全を推進する	継続	地元団体等と協力して、国立公園の管理を行った。（鷲羽山、王子が岳、由加山、通仙園の園地清掃・剪定等を実施）	継続	地元団体等と協力して、国立公園の管理を行う。	継続実施			公園緑地課
		森林等の緑を保全するとともに、ふれあいの場を整備維持管理する	継続	ふれあいの森、美しい森の美化・維持管理を実施した。 ・ふれあいの森管理（16.39ha） ・倉敷美しい森管理（1.87ha） ・真備美しい森管理（6.00ha） ・愛宕山公園管理（3.60ha）	継続	・ふれあいの森管理 ・倉敷美しい森管理 ・真備美しい森管理 ・愛宕山公園管理	継続実施			農林水産課
			継続	松くい虫予防対策として、薬剤散布や被害木の伐倒を実施（薬剤散布13ha、伐倒783m3）	継続	松くい虫予防	継続実施			農林水産課
		不要樹木のリサイクルを推進する	継続	不要樹木を市営苗圃で管理し、引き渡しを実施（195本）	継続	不要樹木を市営苗圃で管理し、引き渡す。	継続実施			公園緑地課
		公共施設のブロック塀を生垣に更新する	継続	玉島北中学校の生垣化を実施	継続	本荘小学校で実施	計画的実施			公園緑地課
		公共施設の壁面緑化等を推進する	継続	・保育園庭の芝生化（第三福田保育園・上の町保育園）及び維持管理を行った。（H27末現在：累計13園） ・幼稚園庭の芝生の維持管理を行った。（H27末現在：累計3園） ・学校・園の壁面緑化（市立学校・幼稚園計146校園で実施） ・小学校庭の芝生化（児島小学校・赤崎小学校）及び維持管理を行った。（H27末現在：累計14校）	継続	・保育園及び認定こども園庭の芝生維持管理 ・幼稚園庭の芝生の維持管理 ・学校・園の壁面緑化 ・小学校庭の芝生化（本荘小学校・菌小学校）及び維持管理	継続実施			保育・幼稚園課 教育企画総務課 教育施設課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 122 緑化の推進	●公共施設の屋上や壁面等の緑化を推進する ●市民全体の活動を支援し、住宅等民有地や工場、事業所、遊休地等の緑化を図る ●緑化の基準・指標となる緑化率の設定を行う	市民（地域）との協働により、まちの緑化を推進する（緑化推進員、花の銀行、地区花いっぱい団体）	継続	花と緑あふれるまちづくり事業 ・フラワーロード事業（倉敷中央通り、鷺羽山通り、水島商店街通りにフラワーボックス 約1,900個を設置） ・もてなし花壇事業（公共施設、JR駅等にフラワーボックス約2,000個を設置） ・地区花いっぱい事業（事業に申込のあった団体に花苗を無料配付し、花壇の維持管理等の活動を実施：団体数120団体） ・花の銀行活動実施（49支店で花の種子配付 配付数40,000袋） 緑化推進員の設置（推進員25人に対して連絡会を開催し、意見交換を行うとともに樹木の勉強会等を実施し知識向上を図った。）	継続	・花と緑あふれるまちづくり事業 フラワーロード事業、もてなし花壇事業、地区花いっぱい事業など ・緑化推進員の設置	継続実施			公園緑地課
		緑化団体等との協働により、啓発事業を推進する	継続	倉敷市花いっぱいコンクール実施 家庭や職場・学校・自治会等で四季折々に育てられた花と緑の優秀な花壇を顕彰し、普及啓発と市民参加による都市緑化の推進を図ることを目的に実施した。（79件の応募、18件表彰）	継続	倉敷市花いっぱいコンクール実施	継続実施			公園緑地課
		市民等の緑化実施に対して、支援・助成を行う	継続	くらしき都市緑化フェア等を実施（10月に講演会、緑化ポスターコンクール、緑化相談、花の種子及び苗配付等を実施 1,808人参加）	継続	くらしき都市緑化フェア等を実施	継続実施			公園緑地課
		市民等の緑化実施に対して、支援・助成を行う	継続	・生垣補助（補助件数8件） ・記念樹の配付（結婚及び誕生記念に苗木配付1,149本） ・花の苗、種の配付（花いっぱい運動や緑化フェアや環境イベント等で配付）	継続	・花壇設置補助 花と緑あふれるまちづくりを目指すため、市の定める要件を満たして新設する花壇に助成を行う。	継続実施			公園緑地課
			継続	・花壇設置補助（補助件数1件）	継続	・生垣補助 ・記念樹の配付 ・花の苗、種の配付	継続実施			公園緑地課 環境政策課
		耕作放棄地の再生作業等に対して助成を行う	継続	耕作放棄地の再生作業への助成 国の交付金で対応できない農地に対する再生利用活動に対し補助金を交付（再生作業、土壌改良等補助 実績なし）	継続	耕作放棄地の再生への補助金交付	継続実施			農林水産課
		緑の基本計画の改定	終了	策定完了						公園緑地課
		緑化率の設定を行う	継続	緑の基本計画策定に伴い緑化率の設定を検討	継続	緑の基本計画策定に伴い緑化率の設定を検討	策定完了			公園緑地課
No. 123 都市公園等の整備	●公園緑地等の適正な整備を進める ●公園の規模・性格をふまえ、計画的な整備及び適正な管理を行う	市民に身近な公園等の整備・管理を行う	継続	新設整備（粒浦玄甫公園、福島中津公園、西羽島公園） 施設改善（亀島山花と緑の丘公園ほか11箇所）	継続	新設整備 浦田黒山公園 施設改善 松島公園ほか9箇所 （トイレ改修・照明設置等）	継続実施			公園緑地課
		緩衝緑地の維持管理	継続	県への維持管理費負担金（水島緩衝緑地事業費負担金）	継続	県への維持管理費負担金	継続実施			公園緑地課
		都市公園の適正な管理	継続	適正な管理の実施（公園内の清掃、草取り、樹木剪定・防除など 都市公園781箇所・遊園258箇所）	継続	適正な管理の実施	継続実施			公園緑地課
			計画策定完了	平成28年度からの事業開始に向け準備を行う。	事業開始	公園施設長寿命化計画に基づき更新等工事19施設、補修 42施設 計61施設 酒津公園、種松山公園 複合遊具更新 酒津公園 橋 更新など	継続実施			
			継続	高齢者の生きがい対策として公園等の清掃管理委託実施（321箇所）	継続	適正な管理の実施	継続実施			
		公園の計画的な整備	継続	・【再掲No.111】水島中央公園再整備 ・中山運動公園再整備	継続	水島中央公園芝生広場・西エントランス広場等の再整備 中山運動公園多目的広場の再整備	計画的整備			公園緑地課

●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

◆分野別目標3:瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します

【基本方針】:瀬戸内の温暖な気候と豊富な水量に恵まれた高梁川にはぐくまれた自然と、伝統ある歴史、文化が織りなす美しい景観は、本市の魅力であり、今後も歴史的資産を活用するとともに、自然環境と調和した都市美を保全・創出して行きます。
先人達が守り、育て、つくりあげてきたかけがえのない自然、歴史・文化を継承するとともに、人びとの五感、記憶を通じて、ふるさと景観として共感できる倉敷市の姿として将来に伝えていきます。
地域の特性を活かした固有の美を尊重した生活環境の創造を目指し、風格のあるいきいきとした都市景観の形成に努めていきます。都市景観の形成においても、将来に環境負荷を残さない持続可能なまちづくりに資するよう、自然環境に配慮しつつ、うるおいのある緑豊かで快適な景観づくりを進めていきます。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7 年度	H 3 2 年度
1	地域の個性や生活・文化を活かした景観づくりができていると思う人の割合	38.9%	45.1%		45%	50%
2	歴史的な景観が保全されていると感じている人の割合	45.8%	48.3%		54%	65%
3	身近な生活環境の中での眺め（景観）に満足している人の割合	51.8%	55.4%		57%	62%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26からの区分	H27年度実績	H27からの区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 131 景観資源等の保全・活用・整備に努めます	●景観に関する普及啓発を行う ●個々の景観資源を保全・活用するために必要な助成・支援等を行う。 ●地域・地区単位での景観形成を推進する	景観形成重点候補リストの作成など景観形成に係る情報の整備を行う	継続	景観に係る情報整備の実施	継続	情報整備実施	リスト作成随時			都市計画課
		市民への普及啓発を推進する	継続	・景観絵画展として、倉敷市内の小中学生を対象に、倉敷市内の大好きな景色やこんな街になってほしいと願う風景をテーマに募集し、27年度は、小学校から65点、中学校から68点の応募があり、会場では、入賞作品を中心に展示した。（展示期間10月26日～10月30日） ・魅力的な景観まちづくりの推進に向けて、「景観まちづくり教育」についてHPに掲載	継続	・景観絵画展の実施 ・HP等で普及啓発推進	継続実施			都市計画課
		所有者・管理者との協議を通じて、個々の景観資源の保全活用等に関する計画を作成する	継続	・市民との協働や市民からの提案により、景観資源の実態調査を実施し、景観資源を発掘 ・所有者、管理者と協議して景観法に基づく景観重要建造物・景観重要樹木として指定	継続	協議の実施、順次計画策定	継続実施			都市計画課
		建築物等の新築・増改築など歴史的な町並み景観の保存を図るために必要な助成・支援等を行う	継続	伝建地区等修理修景補助 ・伝統的建造物群保存地区内の建物の修理修景に対する補助（11件） ・伝統美観地区内の建物の修理修景に対する補助（1件） ・玉島町並み保存地区内の建物の修理修景に対する補助（2件）	継続	伝建地区等修理修景補助	継続実施			文化財保護課
			継続	倉敷市まちづくり基金事業 古くなった町家・古民家を、地域のまちづくり活動や賑わいの拠点等として再生整備する事業に対して、まちづくり基金を活用して支援を行った。 町家・古民家の再生整備に対する補助（8件）	継続	倉敷市まちづくり基金事業 倉敷美観地区及び児島・玉島の町並み保存地区の周辺並びにこれらの地区等、倉敷市内全域に存在する、地域の歴史と文化を継承する貴重な町並みを守るとともに、地域の魅力の向上や、賑わいの創出等のまちづくり活動を支援する。	継続実施			まちづくり推進課
			継続	旧街道沿いの町家のファサード整備補助実施（外構修景1件）	継続	旧街道沿いの町家のファサード整備補助実施	継続実施			都市計画課
		・景観形成重点地区候補地において地区整備計画を策定する	継続	現在の4地区（倉敷駅周辺地区・下津井周辺地区・旧玉島港周辺地区・酒津地区）の候補地について、随時策定	継続	現在の4地区（倉敷駅周辺地区・下津井周辺地区・旧玉島港周辺地区・酒津地区）の候補地について、随時策定				都市計画課
		・倉敷市中心市街地の景観について維持・向上を図る			新規	倉敷中央通りや阿知鶴形地区などの景観を維持向上させるために、どのような方法が適しているのか調査検討を行う。	継続実施			都市計画課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 132 眺望を保全 するための 施策の強 化・充実化 を図ります	●景観に大きな影響を 及ぼす大規模建築物 や開発行為等を対象 に、事前の届出制度 や協議制度について 充実をはかります ●風景や町並みに大 きな影響を及ぼすもの について、建築物の高 さやデザイン、色彩、 屋外広告物等につい て規制基準を定め、本 市の景観形成の強化・ 充実化を図る	倉敷市景観条例に基づく届出制度の徹底を図る	継続	・届出制度リーフレットによる周知を実施 ・届出件数 建築物34件（+事前協議26件） ・都市景観審議会定例会を6回と臨時審議会を1回開催し、大規模な建築物の新築27件について、審議会に諮問した。	継続	・事前協議を積極的に求め、出来るだけ早い段階で指導し、景観誘導の実効性を高める。 ・大規模な建築物の新築については、都市景観審議会を定期開催し、全て調査審議することにより、確実な景観誘導を図る。	継続実施			都市計画課
		倉敷川畔美観地区周辺眺望保全計画の位置づけ	継続	美観地区周辺の眺望を保全するため、景観計画に眺望保全計画を位置づけ、特定届出対象行為として変更命令等が行える制度の充実を図る。 平成27年度より運用を開始した。（建築物5件）	継続	美観地区周辺の眺望を保全するため、景観計画に眺望保全計画を位置づけ、特定届出対象行為として変更命令等が行える制度を運用する。	継続実施			都市計画課
		より強化した景観基準を定め、地域特性に応じた景観形成を推進するための規制誘導を行う	継続	・景観形成重点区域における「景観形成基準」の策定案を検討中である。 ・建築物等の形態意匠、屋上工作物等に関する基準、建築物等の最高高さ制限に関する基準について検討中である。	継続	景観形成重点区域における「景観形成基準」の策定	継続実施			都市計画課
		広告物の景観形成の配慮指針を定める	継続	配慮指針を検討中である。	継続	調査・計画整備等	継続実施			都市計画課
		倉敷市屋外広告物条例により、周辺の景観を阻害しないよう、かつ、町並みの魅力を高めるよう取り組む	継続	・屋外広告物の手引きやパンフレットを作成し、周知を実施 ・違反広告物の実態調査を実施し、屋外広告物の是正効果の検証を行った。 ・簡易除去作業（はり紙1286件、はり札32件、立看板5件、のぼり・旗2件）	継続	・屋外広告物の手引きやパンフレットによる周知 ・違反広告物の実態調査の実施 ・簡易除却作業の実施	継続実施			都市計画課
		広告物の大きさ、量、設置箇所等の基準や禁止地域等ゾーニングの見直しを検討する	継続	広告物の大きさ、量、設置箇所等の基準やゾーニング等の見直しを検討中である。	継続	基準やゾーニング等の見直しを検討	継続実施			都市計画課

●基本目標1 環境と地域の社会・経済との調和が保たれ、豊かな自然と魅力的な景観を有しているまち

◆分野別目標4:環境と経済の好循環の創出により、地域の活性化を目指します

【基本方針】:技術的イノベーションや低炭素型への構造転換などの事業者の取り組みと、その後押しを担う行政の施策を効果的に組み合わせていくことで、環境保全と産業・経済の持続的な発展を目指し、雇用の維持創出・地域経済の活性化を図っていきます。環境保全を企業の社会的責任と位置付け、環境関連技術の開発・向上や環境投資による環境配慮型経営を促進します。地域と産業とが連携・協力することにより、環境と地域の社会・経済との調和が保たれた持続可能な社会の実現を目指します。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7 年度	H 3 2 年度
1	エコアクション21認証・登録事業所の数	19 件	18 件		35 件	50 件
2	地産地消を心がけている人の割合	32.1%	35.0%		41%	50%
3	企業の新增設における事前協議に係る環境に配慮した計画の割合	100%	100%		維持 (100%)	維持 (100%)

倉敷未来創生戦略にあわせ、31年度の目標となっています。

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 141 事業者の環境 対策や環境関 連ものづくり の促進	●事業者のエコアクション21への積極的な取組の促進を行う ●倉敷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の<クールくらしき80>プロジェクトを計画的に推進する ●事業者の環境に関する地域貢献活動の促進を図る ●グリーン購入や地産地消の普及啓発を推進する	「エコアクション21地域事務局 倉敷」との連携による、取り組みの推進	継続	・岡山県内のエコアクションの2地域事務局機能を併合し、エコアクション21地域事務局 岡山県環境保全事業団が発足したことを受け、運営委員として、運営委員会に参加 ・中小企業向けの省エネセミナー等で制度説明実施	継続	・エコアクション21地域事務局 岡山県環境保全事業団へ運営委員会に参加 ・中小企業向けの省エネセミナー等で制度説明実施 ・市内のエコアクション21認証・登録事業者に対する更新補助制度開始	継続実施			環境政策課
		倉敷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の<クールくらしき80>プロジェクトを計画的に推進する	継続	「プロジェクト2：中小事業者の環境経営支援」の計画的な推進 ・岡山県と倉敷市の主催、商工会議所の共催により、くらしき省エネセミナーを開催（参加者数35人） ・倉敷市環境保全協定等を活用した省エネ、省CO2対策など	継続	「プロジェクト2：中小事業者の環境経営支援」の計画的な推進 ・商工会議所の共催により、くらしき省エネセミナーを開催 ・倉敷市環境保全協定等を活用した省エネ、省CO2対策など	継続実施			環境政策課 関係各課
		企業の地域貢献活動への促進を図る	継続	イオンとの地域貢献包括連携協定締結(H23.7.19)の取組実施	継続	イオンとの地域貢献包括連携	継続実施			観光課
				大規模小売店舗届出店舗に対して、環境配慮への地域貢献を促進		大規模小売店舗届出店舗に対して、環境配慮への地域貢献を促進				商工課
				アダプト・プログラム（アダプト・サインやボランティア保険への加入、ほうきやごみ袋等を支給：活動企業 三菱自動車ロジテクノ㈱、伊澤洋行㈱、パソナ岡山倉敷支店など）		アダプト・プログラム				市民活動推進課
				・環境学習センターエコライブラリーにおいて、水島地域、企業の取組をパネル展示等により紹介 ・環境関連のイベントで企業出展ブースを設けることで企業の環境保全活動への促進を図った。		・企業と連携した環境学習講座の開催 ・環境関連イベントで企業ブースの設置				環境政策課
				中央図書館2階のビジネスサポートコーナーに、企業のCSR報告書を置き、閲覧・貸出用に提供		中央図書館2階のビジネスサポートコーナーに、企業のCSR報告書を置き、閲覧・貸出用に提供				中央図書館
				緑のカーテン推進のため、企業にゴーヤ、アサガオの種を配布		企業にゴーヤ、アサガオの種を配布				環境政策課
				公共施設等の屋根及び土地貸しによる太陽光発電システム設置 ○真備総合公園体育館（落成） ○豊洲つ子児童クラブ（落成）		公共施設等の屋根及び土地貸しによる太陽光発電システム				環境政策課 子育て支援課（児童クラブ）

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
		グリーン購入に関する情報の提供	継続	HP等によりグリーン購入に関する情報提供	継続	グリーン購入に関する情報提供	継続実施			関係各課
		地産地消を推進する	継続	・くらしき農業まつり（採れたて新鮮野菜の即売や共進会開催など、参加者数約20,000人） ・真備・船穂地産地消&ふれあい祭り（マスカット、ピオーネの販売など、参加者約1,200人） ・地産地消イベント・共進会による農産品のPRを行った。 ・HP（地産地消ニュース）やメルマガによる地産地消イベント等のPR ・主な農産品について、旬の時期や選び方、食べ方などを掲載した冊子「くらしき農産物ガイド」の改訂版作成・配布	継続	・くらしき農業まつり ・真備・船穂地産地消&ふれあい祭り ・マスカットまつり ・いちご共進会 ・地元産品のPR ・HP・メルマガによるPR	継続実施			農林水産課
		環境保全協定に基づき、施設の新増設を行う際には、事前に協議を行い、施設の改善、揮発性化合物の削減対策について指導する	継続	・HPによる地場産物レシピの紹介 ・作成資料「知っていますか？倉敷の味」を活用し、特産品・郷土料理の啓発を行なった。（54回） ・こどものための食育フェア（マスカット種飛ばし大会や倉敷の農産物を使った料理の試食、児島で水揚げされた魚を触っての命の体験や鯛の試食による地産地消などの食育体験ブースを開設 参加者 600人）（第二次倉敷市食育推進計画の推進）	継続	・HPによる地場産物レシピの紹介 ・こどものための食育フェアにおいて、マスカット種飛ばし大会や倉敷の農産物を使った料理の試食、瀬戸内産の魚を使用した調理体験・試食などを行い、地産地消の啓発を図る。（第二次倉敷市食育推進計画の推進）				健康づくり課
No. 142 環境分野の研究・開発、事業展開の促進	●環境分野における産官学の情報交換や有用技術の共有を促進する ●新たな省エネルギー・再生可能エネルギーやリサイクル等の環境関連技術や、環境配慮型製品の研究・開発、環境保全・改善のための設備投資を支援する ●新たな環境産業の積極的な誘致に取り組むとともに、低炭素型・環境調和型への転換・移行が行いやすい環境を整備する	やる気のある中小企業に対し、研究開発・販路開拓・産業財産権所得・人材育成などに対して助成を行う	継続	補助金交付（交付実績 研究開発9件、産業財産権19件、人材育成27件、販路開拓国内43件、販路開拓海外6件、事業承継・M&A3件、IT活用支援31件、起業家支援36件、計174件）	継続	補助金交付	継続実施			商工課
		商店街団体等が実施する各種事業に対して助成を行う	継続	環境対策事業に関する助成（助成実績2件）	継続	補助金交付	継続実施			商工課
		立地企業に対する助成及び設備投資に対して助成を行う	継続	・企業立地促進奨励金（交付実績2件）（うち、企業誘致促進奨励金対象1件を含む） ・設備投資促進奨励金（交付実績39件）（環境配慮企業に対する優遇措置あり）	継続	・企業立地促進奨励金 ・設備投資促進奨励金（環境配慮企業に対する優遇措置あり）	継続実施			商工課
No. 143 地域資源を活用した持続的な経済活動の促進	●すべての地域資源を有効に活用し、エネルギーも含めた地産地消の推進を行う ●本市の「個性と魅力」の積極的な情報発信により、エコツーリズム・エコツアーの促進を図る	地元産品、特産品の消費推進を行う	継続	【再掲No. 141】 ・くらしき農業まつり（採れたて新鮮野菜の即売や共進会開催など、参加者数約20,000人） ・真備・船穂地産地消&ふれあい祭り（マスカット、ピオーネの販売など、参加者約1,200人） ・地産地消イベント・共進会による農産品のPRを行った。 ・HP（地産地消ニュース）やメルマガによる地産地消イベント等のPR ・主な農産品について、旬の時期や選び方、食べ方などを掲載した冊子「くらしき農産物ガイド」の改訂版作成・配布	継続	・くらしき農業まつり ・真備・船穂地産地消&ふれあい祭り ・マスカットまつり ・いちご共進会 ・地元産品のPR ・HP・メルマガによるPR	継続実施			農林水産課
		本市の「個性と魅力」を情報発信し、地場産業等を観光資源として活かすツアーを実施する	継続	産業観光バスツアー（JFEスチール水島製鉄所などをバスで見学、参加者延べ34名）	継続	産業観光バスツアー（JFEスチール水島製鉄所などをバスで見学するコースを設定予定）	継続実施			観光課
			継続	「くらしき「個性と魅力」発信事業」において、くらしき地域資源（特産品・EV等）をPR	継続	「くらしき「個性と魅力」発信事業」において、くらしき地域資源（特産品・EV等）をPR	継続実施			商工課
			新規	【再掲No. 112】 平成28年度からの実施に向けた準備として、関係市町とエコツアーの受入先となる地域資源の洗い出しにより、データベース化を行った。	継続	データベースの情報をホームページに掲載し、情報発信を行う。また、エコツアー実践講座を実施する。	推進			環境政策課

●基本目標2 水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち

◆分野別目標1:良好な水環境の保全に努めます

【基本方針】:私たちが健康で安心して生活できるよう、河川や海域などの公共用水域や地下水の水質について、水質汚濁に係る環境基準の達成を目指し、良好な水環境の整備に取り組みます。土地利用において、健全な土壌環境を維持するため、土壌汚染対策法や岡山県環境への負荷の低減に関する条例等の適正な運用を図ります。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7 年度	H 3 2 年度
1	日頃から水環境の改善を意識して行動している人の割合	23. 9%	23. 2%		50%	75%
2	身近な河川・用水路がきれいで流れ豊かな水辺になっていると感じている人の割合	31. 2%	37. 2%		45%	60%
3	污水处理人口普及率	85. 5%	91. 0%		90%	93%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26からの区分	H27年度実績	H27からの区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 211 生活排水処理対策の総合的な推進	●計画に基づく公共下水道の整備とあわせて、農業集落排水処理施設や浄化槽の効率的な整備を行う ●各種イベントや環境学習、リーフレットの配布など、生活排水対策の啓発活動を行う	第11次下水道整備五箇年計画に基づき、計画的に下水道整備を推進します	継続	管きよ：約19. 6km整備	継続	管きよ：約17. 5km整備	計画的整備			下水計画課
		既存の管きよ、処理場、ポンプ場について、予防保全型への転換と維持管理費・工事費の最適化や長寿命化支援事業の活用によりコスト削減を図る	継続	計画的維持管理 ・管きよ、マンホール等の維持管理（管きよ清掃及びマンホール、取付管等の修繕、管路内面補修等を実施：維持補修件数150件） ・水島ほか3下水処理場、16ポンプ場の維持管理等（主なもの：阿津ポンプ場雨水ポンプ機械設備工事） ・倉敷雨水貯留センター、流域関連7ポンプ場の維持管理等	継続	計画的維持管理 ・管きよ、マンホール等の維持管理 ・水島ほか3下水処理場、16ポンプ場の維持管理等 ・倉敷雨水貯留センター、流域関連7ポンプ場の維持管理等	計画的維持管理			下水建設課 下水計画課
		倉敷市下水道全体計画（H23～）の区域設定に基づき、農業集落排水の整備や浄化槽などの個別処理施設の整備を行う	継続	・浄化槽設置に対する助成措置を実施（347基） ・民間住宅団地の污水处理施設の改善経費への助成措置を実施（3件） ・雨水流出抑制施設の新設又は改造に要する経費の助成を実施（30件） ・既存家屋の下水道接続のための助成措置を実施（水洗便所改造補助金等884件、利子補給174件）	継続	・浄化槽設置に対する助成措置（590基） ・民間住宅団地の污水处理施設の改善経費への助成措置 ・雨水流出抑制施設の新設又は改造に要する経費の助成 ・既存家屋の下水道接続のための助成措置	継続実施			下水計画課 下水普及課
		下水道の日（9月10日）及び市の催事に併せ、市民に下水道普及及び意識の高揚と啓発活動を行う	継続	・下水道展開催（環境フェスティバルで、「紙のとけ方実験」「下水道クイズ」「下水道汚泥コンポスト配布」「下水道アンケート」等を実施） ・ポスター、標語募集及び表彰（ポスター応募数42点、標語37点） ・小学4年生を対象とした下水道出前授業の実施（出前授業実施校13校 受講生徒1, 143人） ・水洗化普及指導員による戸別訪問での下水道接続指導の実施（訪問数9, 778件）	継続	・下水道展開催 ・ポスター、標語募集及び表彰 ・小学4年生を対象とした下水道出前授業の実施 ・水洗化普及指導員による戸別訪問でのPR活動の実施	継続実施			下水計画課 下水普及課
		第2期倉敷市生活排水対策推進計画に基づき、生活排水対策に関する啓発を行う	継続	・生活排水対策に関するリーフレットやクリーンネットの配布 ・本庁1階のふれあい水槽の適正管理 ・小中学校で出前講座実施（1件） ・地域団体への出前講座（3件）	継続	・生活排水対策に関するリーフレットやクリーンネットの配布 ・本庁1階のふれあい水槽の適正管理 ・小中学校で出前講座実施 ・地域団体への出前講座実施	継続実施			環境政策課
		児島湖流域環境保全推進協議会の事業計画に基づき、生活排水対策に関する啓発を行う	継続	・児島湖流域清掃大作戦の実施（11月1日実施、23団体、3, 800人参加、可燃ごみ600kg、不燃ごみ130kg） ・啓発ポスターの展示（応募数529点） ・水質保全基金の手続き（助成団体数4団体）	継続	・児島湖流域清掃大作戦の実施 ・啓発ポスターの展示 ・水質保全基金の手続き	継続実施			環境政策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 212 排水規制による公共用水域などの水質汚濁防止	●河川、海域及び地下水の水質監視を行う ●工場・事業場に対して、水質汚濁防止法や瀬戸内海環境保全特別措置法等に基づき、立入検査を行うなど、排水規制基準の遵守を指導する ●排水規制基準が適用されない小規模工場・事業場に対して、排水処理の適正化などによる汚濁負荷の削減について、指導を行う ●土壌汚染対策法などに基づき、汚染土壌の拡散防止及び汚染状況の把握等により健全な土壌環境の維持を図る	倉敷市公共用水域等水質測定計画に基づき、水質の測定・監視を実施する	継続	河川18地点、海域21地点、地下水6地点について、水質の測定・監視を実施した。	継続	・河川 18地点の水質測定・監視を実施 ・海域 21地点の水質測定・監視を実施 ・地下水 6地点の水質測定・監視を実施	継続実施			環境政策課
		市民からの苦情及び魚斃死及び油流出等の水質事故に係る調査を随時実施する	継続	ため池等での魚の斃死、水路等への油類の流出や高汚濁排水の流出について調査を実施し、事業所に対して再発防止を指導した。	継続	ため池等での魚の斃死、水路等への油類の流出や高汚濁排水の流出について、調査を実施	継続実施			環境政策課
		最終処分場（埋立処分場）の放流水、河川等の周辺環境の水質検査を行う	継続	最終処分場（東部最終処分場、西部最終処分場、井津井最終処分場、真菰谷最終処分場等）の放流水や井戸水について水質検査を毎月実施した。	継続	最終処分場（東部最終処分場、西部最終処分場、井津井最終処分場、真菰谷最終処分場等）の放流水や井戸水について水質検査を毎月実施	継続実施			環境施設課
			継続	産業廃棄物最終処分場等下流の河川、池及び地下水について、年2回9地点で水質調査を実施し、周辺環境の保全を図った。	継続	産業廃棄物最終処分場等下流の河川、池及び地下水について、年2回9地点で水質調査を実施し、必要場合は発生源に対して指導を行う。	継続実施			産業廃棄物対策課
		工場等の発生源監視を行うとともに、排出水の規制・指導を実施する	継続	133事業場（390排水口）に対して立入調査を実施し、排出水の水質調査を実施し、違反事業場に対して、水質改善の指導等を実施した。	継続	134事業場（391排水口）立入実施	継続実施			環境政策課
			継続	環境情報管理統合システムの運用により、効果的な事業者指導を実施した。	継続	環境情報管理統合システムの運用	継続実施			環境政策課
		特定事業場から公共下水道への排水及び浄化槽の水質検査を実施する	継続	・公共下水道への排水水質検査（50事業場） ・浄化槽（不適正浄化槽等）の水質検査実施（23件）	継続	・公共下水道への排水水質検査（50事業場予定） ・浄化槽（不適正浄化槽等）の水質検査実施	継続実施			下水普及課 下水計画課
		小規模工場・事業場などに対しても、市民からの苦情・申立てがあった場合は、調査・水質検査・改善指導等を行う	継続	・小規模事業場に対して、調査・改善指導等を実施 ・児島地区環境保全協議会（児島地区の染色工場）と児島地区の河川の現況や排水処理等について意見交換を実施した。	継続	・小規模事業場に対して、調査・改善指導等を実施 ・児島地区環境保全協議会（児島地区の染色工場）と意見交換実施	継続実施			環境政策課
		土壌汚染状況を調査し、潜在化する土壌汚染地域を早期発見することで、健康被害の防止に努める	継続	大規模開発前の土壌調査等の指導を実施（土壌汚染対策法第4条に基づく一定規模以上の土地の形質の変更届出書の受理（29件））	継続	大規模開発前の土壌調査等の指導	継続実施			環境政策課

●基本目標2 水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち

◆分野別目標2:クリーンな大気環境の保全に努めます

【基本方針】:私たちの健やかな暮らしに影響を及ぼすことがないよう、大気汚染に係る環境基準が未達成な地域はその速やかな達成を、既に達成している地域は良好な水準を目指すとともに、健康被害防止の観点から、引き続き大気汚染防止に取り組む。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7 年度	H 3 2 年度
1	身近な空気がきれいに保たれていると感じる人の割合	40.9%	51.7%		55%	70%
2	大気環境の基準値（1日平均値）を超過している日数	22日	2日		15日	10日
3	通勤通学や日常の移動手段として、自転車・徒歩・公共交通機関を利用している人の割合	50.3%	47.3%		63%	75%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26からの区分	H27年度実績	H27からの区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 221 大気汚染物質発生源に対する規制・指導	●工場・事業場に立入検査を実施し、排出基準や総量規制基準の遵守の徹底を促す ●使用する燃料・原料改善、排出ガス等を処理する施設の改善、揮発性有機化合物の削減対策についての指導を徹底する ●自動車公害対策として、市民や事業者に対して、マイカー利用の抑制、アイドリングストップ、エコドライブなどの啓発に努める ●市も率先して自動車使用の自粛を進めるとともに、次世代型エコカーの普及促進に努める	工場や事業場に立入調査を実施し、施設の届出状況や自主測定結果の確認、施設の排ガス中のばい煙測定などを実施する	継続	施設の届出状況や自主測定結果の確認、立入調査等を実施した。（立入調査47件、排出ガス測定20施設等）	継続	工場・事業場の立入調査等実施	継続実施			環境政策課
			継続	【再掲No. 212】環境情報管理統合システムの運用実施	継続	環境情報管理統合システムの運用	継続実施			環境政策課
		環境保全協定に基づき、施設の新増設を行う際には、事前に協議を行い、施設の改善、揮発性化合物の削減対策について指導する	継続	【再掲No. 141】施設の新増設等を行う際、事前に協議を実施し、環境保全対策の徹底を図るよう指導した。（協議件数111件）	継続	随時、事前協議を実施する。	継続実施			環境政策課
		市民や事業者に対して、マイカー利用の抑制のための啓発を行う	継続	庁内でノーマイカーデーを年2回実施実施（5月取組率:93.3%、10月取組率:87.6%）	継続	ノーマイカーデーの実施（庁内で1回実施）	継続実施			環境政策課
			継続	・スマート通勤岡山への参加（10月） ・市職員チャレンジ・エコ通勤実施 参加者9名 ・バス利用の意識啓発（バスの乗り方やマナー、運賃の支払い方法等について、小学生にバス教室を実施 小学校10校、797人参加）	継続	・スマート通勤岡山への参加 ・市職員チャレンジ・エコ通勤の正式実施 ・小学生を対象としたバス教室を実施	継続実施			交通政策課
			継続	・アイドリングストップ啓発活動を実施した。 ・大規模小売店舗立地届出時に啓発看板を掲げる指導を実施した。	継続	アイドリングストップ啓発活動	継続実施			環境政策課
		美観地区周辺の渋滞対策	継続	観光客対策として、倉敷市役所の駐車場を解放し、市役所と美観地区を往復するシャトルバスを運行した。	継続	観光客対策として、倉敷市役所の駐車場を解放し、市役所と美観地区を往復するシャトルバスを運行する。	年度毎に実施を検討			観光課
		次世代エコカーの普及促進	継続	電気自動車（59台）への補助を実施した。	継続	電気自動車や充電設備への補助	継続実施			環境政策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 222 大気汚染状 況の常時監 視による、 市民の健康 被害発生 の防止	●大気測定局による大気環境の測定・監視を実施するとともに、測定結果をインターネット等により情報提供を行う ●大気汚染状況の変化に対応するため、測定局の適正配置の見直しを行う ●夏期を中心に大気汚染防止対策期間として、光化学オキシダント汚染の防止に重点を置いた総合的な対策を実施する ●有害大気汚染物質については、引き続き汚染状況を把握するための調査を実施し、基準を超過する場合は、工場・事業場への状況確認を実施し、該当施設改善、排出削減について指導を行う	市内に配置された測定局と移動測定車により、大気汚染物質の常時監視を実施する	継続	市内24ヵ所の大気測定局と大気環境測定車により常時監視を実施した。	継続	市内24ヵ所の大気測定局と大気環境測定車による常時監視を実施する。	継続実施			環境政策課
		発生源の特定に向けた降下ばいじんの分析調査を行う	新規	3測定局（松江、大高、真備）において、降下ばいじんの詳細な分析調査を行った。	継続	事業場及び測定局において、降下ばいじんの詳細な分析調査を行う。	実施検討			環境政策課
		発生源である工場や事業場への立入や、排出状況を確認するための調査や規制及び指導を実施する	継続	【再掲No. 221】施設の届出状況や自主測定結果の確認、立入調査等を実施した。（立入調査47件、排出ガス測定20施設等）	継続	工場・事業場の立入調査等実施	継続実施			環境政策課
		微小粒子状物質（PM2.5）の大気中濃度の常時監視を実施する	継続	・10測定局で常時監視を実施した。 ・PM2.5の1時間値と日平均値の状況等を速報値として環境監視センターHPで公開した。	継続	・10測定局で常時監視実施 ・1時間値や日平均値等の公開 ・高濃度時のホームページ等での情報発信	継続実施			環境政策課
		測定局の見直しを行う（適正配置）	継続	福田中学校内に福田測定局を新築した。	継続	二福測定局の廃止	継続実施			環境政策課
		県との協力のもと、オキシダントが高濃度になりやすい時期を「大気汚染防止夏期対策期間」とし、休日を含めた監視体制をとり、光化学オキシダント濃度の常時監視を強化する	継続	・夏期対策期間は休日を含めた監視体制をとり、光化学オキシダント濃度が上昇した場合に情報・注意報を発令し、FM放送やインターネット、メールマガジン配信、広報車等による周知を実施 また、水島地区の主要工場に窒素酸化物等の排出削減を要請した。 ・メールマガジンは、7月末で終了し、県のメールサービスへ統一	継続	夏期対策実施	継続実施			環境政策課
		有害大気汚染物質の排出状況を把握するための調査を実施する	継続	市内7ヵ所（美和・松江・塩生・春日・乙島・監視センター・呼松）で毎月調査実施した。	継続	全7ヵ所で毎月調査を実施	継続実施			環境政策課
		大気汚染の影響による健康被害を予防し、市民の健康保持及び増進を図る	継続	・水泳教室（公害健康被害予防対策事業） 基礎体力の増進と健康の回復を図ることを目的とし、市内居住の気管支ぜん息児童・生徒を対象に全10回の水泳訓練教室を行った。 （延参加者数：103人） ・健康相談事業（公害健康被害予防対策事業） 一般市民を対象に、医師・栄養士・保健師が呼吸器疾患（ぜん息等）に関する相談に応じる呼吸器の健康相談を行った。（全11回、延参加者数：22名）	継続	・水泳教室 基礎体力の増進と健康の回復を図ることを目的とし、市内居住の気管支ぜん息児童・生徒を対象に全10回の水泳訓練教室を行う。 ・健康相談事業 一般市民を対象に、医師・栄養士・保健師が呼吸器疾患（ぜん息等）に関する相談に応じる呼吸器の健康相談を行う。	継続実施			医療給付課

●基本目標2 水と空気と大地がきれいで、安心して暮らせるまち

◆分野別目標3:安心・安全な生活環境の実現に努めます

【基本方針】:安心・安全な生活環境を確保するために、騒音規制法、振動規制法や悪臭防止法等に基づき、継続して対策を行います。
事業者等が適正に化学物質の管理・使用を行うように指導するとともに、PRTR制度に基づき、使用実態等の情報について管理・提供していきます。
また、化学物質に対する不安解消のために、化学物質に関する正確な情報をわかり易く説明・提供するよう努めていきます。
さらに、環境衛生意識の向上を図るために、広報等による普及啓発や環境美化活動を支援し、ポイ捨てや不法投棄のないまちづくりを進めていきます。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7 年度	H 3 2 年度
1	ごみが無くまちがきれいに清掃されていると感じている人の割合	38.4%	52.7%		55%	70%
2	環境の基準が守られ、心身ともに健康に暮らせていると思っている人の割合	54.4%	65.8%		67%	80%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26からの区分	H27年度実績	H27からの区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 231 悪臭・騒音・振動の規制などによる、市民生活環境の改善及び保全	●居住区域における騒音測定、自動車や鉄道の騒音・振動の測定と合わせて、騒音や振動に関する関係法令に基づき、工場・事業場、建設作業等に対する監視・指導を実施する ●悪臭防止法に基づき規制・指導を行い、快適な生活環境の確保に努める ●日常生活から発生する生活騒音等に対しては、出前講座やリーフレットの配布など啓発活動を積極的にを行い、市民一人ひとりのマナーやモラルの向上を図る	騒音規制法、振動規制法に基づき、発生源への立入調査を実施する	継続	・苦情が寄せられた工場等に対して立入を実施し、発生原因を調査し、防音・防振対策について指導を実施 ・法に基づく届出が提出された際、届出者に防音・防振について指導を実施（騒音届出142件・振動届出83件）	継続	工場等の立入調査、指導を実施	継続実施			環境政策課
		騒音規制法、振動規制法に基づき、環境騒音、交通騒音、交通振動の実態把握を行う	継続	・環境騒音測定4地点、幹線自動車騒音2地点 ・道路に面する地域の面的評価8区間 ・新幹線騒音及び振動3地点 ・瀬戸大橋騒音4地点	継続	・環境騒音測定5地点 ・道路に面する地域の面的評価7区間 ・新幹線騒音・振動3地点 ・瀬戸大橋騒音4地点	継続実施			環境政策課
		悪臭防止法に基づき、発生源への規制や指導を実施する	継続	工場や事業場への立入調査 延べ20回	継続	・工場や事業場の立入調査 ・環境調査を実施	継続実施			環境政策課
		悪臭物質発生工場での調査測定を実施、また、市民からの悪臭苦情に対する調査測定を実施する	継続	工場・事業場での敷地境界・排水水の特定悪臭物質測定を環境監視センターで実施	継続	工場や事業場での調査を実施	継続実施			環境政策課
		出前講座やリーフレットの配布等、啓発活動を実施する	継続	・環境イベント等でリーフレットの配布を実施 ・大規模小売店舗立地届出時に早朝や夜間に係る騒音・振動への配慮を指導した。	継続	リーフレット等の配布	継続実施			環境政策課
		犬ねこ等適正飼育啓発員を養成する	継続	・養成研修1回実施 ・サポーター数51人（H27年度末現在）	継続	養成研修1回実施予定	未定			保健所生活衛生課
No. 232 化学物質による汚染状況の把握、排出事業者規制による、生活環境の保全	●ダイオキシン類について、大気や水、土壌の環境調査を継続して行うとともに、発生源事業者に対して必要な規制・指導、監視等に努める ●PRTR制度の運用により、事業者による化学物質の適正な管理体制を構築・運用させるとともに、市民・事業者・行政が情報の共有と相互理解を深め、化学物質による環境汚染を低減する取り組みを推進する	ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、発生源に対する監視や指導とあわせて、環境中等のダイオキシン類調査を実施する	継続	・排ガス中ダイオキシン類調査（8施設） ・排水中ダイオキシン発生源調査（2事業所） ・公共用水域ダイオキシン類調査（14地点） ・大気環境調査（2地点） ・土壌中ダイオキシン類調査（8地点） ・地下水ダイオキシン類調査（3地点）	継続	・排ガス中ダイオキシン類調査 ・排水中ダイオキシン発生源調査 ・公共用水域ダイオキシン類調査 ・大気環境調査 ・土壌中ダイオキシン類調査 ・地下水ダイオキシン類調査 ・環境基準値超過地下水の詳細調査	継続実施			環境政策課
		PRTR制度に基づいて事業所からの化学物質の排出量の届出の集計を行い、結果の公表を行う	継続	届出受理及び届出結果公表（届出件数172事業所）	継続	届出受理及び届出結果公表	継続実施			環境政策課
		新たに健康影響が懸念される化学物質について情報の収集や提供を行う	継続	・関係機関からの情報収集（県や環境省・経済産業省） ・収集した情報の提供（最新の化学物質ファクトシートやPRTR市民ガイドブックを閲覧・配布等）	継続	・関係機関からの情報収集 ・収集した情報の提供	継続実施			環境政策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 233 地域の環境美 化の推進	●全市一斉ごみゼロキャン ペーンなど、市民や民 間団体、事業者などによ る自主的な美化・清掃活 動を支援するとともに、 散乱ごみ対策を進め、地 域の環境美化を推進する ●倉敷市ボランティア不 法投棄監視員などによる パトロールの強化や、市 民への啓発・指導を通 じ、不法投棄やポイ捨て についての監視を強化 し、不法投棄の防止と早 期発見の体制強化を図る	年2回地区清掃を実施するとともに、全 市一斉ごみ0キャンペーンなどを実施 する	継続	地区住民の奉仕清掃作業により搬出された汚泥等の処理を業者に委託し（一部直営）、清掃を実施した。（実施件数632件、汚泥処理量900.4m ³ 、草処理量545.8t）	継続	地区住民の奉仕清掃作業により搬出された汚泥等の処理を業者に委託し（一部直営）、清掃を実施する。	継続実施			環境衛生課
				・本市と倉敷市環境衛生協議会との共催で、全市一斉ごみ0キャンペーンを実施した。（参加人数20,721人、空き缶41,661本、空き瓶7,163本、ペットボトル7,371本、燃やせるごみ2,194袋） ・各地区環境衛生協議会が実施する一斉清掃の支援を行った。（実施地区 児島・玉島・船穂・真備）		・本市と倉敷市環境衛生協議会との共催で、全市一斉ごみ0キャンペーンを実施する。（参加予定人数45,000人） ・各地区環境衛生協議会が実施する一斉清掃の支援を行う。（実施地区 児島・玉島・船穂・真備）				環境衛生課
				児島湖流域清掃大作戦の実施（11月1日実施、23団体、3,800人参加、可燃ごみ600kg、不燃ごみ130kg）		児島湖流域清掃大作戦の実施				環境政策課
				沙美海水浴場の海開き前に、地元住民、学校、企業等と連携し、海岸清掃活動を実施（1,000人参加、ごみ収集量2.1t）		リフレッシュ瀬戸内の実施				企画経営室
		倉敷市環境衛生協議会事業運営への補助など、地域の主体的な取組を支援する	新規	高梁川流域クリーン一斉行動事業 高梁川流域圏域の市町で一斉に清掃活動を実施する。	継続	高梁川流域クリーン一斉行動事業 高梁川流域圏域の市町で一斉に清掃活動を実施	継続実施			生涯学習課
				・倉敷市環境衛生改善地区が行う事業のうち、ごみステーション整備（121件）、水道設備の新設（3件）又は器具等の購入（102件）に必要な経費に対して補助金を交付した。 ・環境衛生思想の普及を図るため、倉敷市環境衛生協議会事業の運営補助を行った。 ・国体開催を機に盛り上がった地域の環境美化活動を支援するため、花壇等への花の苗の購入費や除草作業などの費用に対して補助を行った。（27支部）		・倉敷市環境衛生改善地区が行う事業のうち、ごみステーション整備、水道設備の新設又は器具等の購入に必要な経費に対して補助金を交付する。 ・環境衛生思想の普及を図るため、倉敷市環境衛生協議会事業の運営補助を行う。 ・国体開催を機に盛り上がった地域の環境美化活動を支援するため、花壇等への花の苗の購入費や除草作業などの費用に対して補助を行う。				環境衛生課
		広報やパンフレット等による普及啓発により環境美化意識の向上を図る	継続	・飼い犬ふん害対策「イエローカード作戦」を新規事業として実施し、必要な資材を提供した。市内102団体が実施し、約9割の団体で効果があった。 ・イエローカード作戦の趣旨や取り組み方を説明するDVDを作製した。 ・飼い犬のふん害でお困りの市民に、犬のふん放置禁止を啓発する看板を配布した。（看板611枚） ・市内の動物病院やペットショップなど犬を取り扱う事業者、犬のふん放置禁止を啓発するポケットティッシュやチラシを提供し、犬の飼い主への配布を依頼した。（63事業所、ポケットティッシュ10,750個、チラシ10,600枚） ・倉敷市ポイ捨ての防止及び路上喫煙の制限に関する条例の内容を周知するため、ポケットティッシュの配布など啓発活動を行った。	継続	・飼い犬ふん害対策「イエローカード作戦」に必要な資材を提供する。（150団体実施予定） ・飼い犬のふん害でお困りの市民に、犬のふん放置禁止を啓発する看板を配布する。 ・市内の動物病院やペットショップなど犬を取り扱う事業者、犬のふん放置禁止を啓発するポケットティッシュやチラシを提供し、犬の飼い主への配布を依頼する。 ・倉敷市ポイ捨ての防止及び路上喫煙の制限に関する条例の内容を周知するため、ポケットティッシュの配布など啓発活動を行う。	継続実施			環境衛生課
		不法投棄の防止と早期発見の体制強化を図る		・不法投棄でお困りの市民を対象に、不法投棄禁止を啓発する看板を配布した。（看板243枚） ・倉敷市ボランティア不法投棄監視員を48名選任した。（任期平成27年11月から平成29年10月まで） ・倉敷市シルバー人材センターに不法投棄多発箇所のパトロールを委託した。（委託箇所 連島町西之浦、旧鷺羽山スカイライン） ・移動式監視カメラを4台購入し、不法投棄多発箇所に設置した。 ・不法投棄の情報を早朝・夜間・休日でも受け付けられるよう、「不法投棄110番」を設置した。		・倉敷市ボランティア不法投棄監視員による不法投棄監視活動を実施 ・倉敷市シルバー人材センターに不法投棄多発箇所のパトロールを委託する。 ・移動式監視カメラを購入し、不法投棄多発箇所に設置する。 ・不法投棄の情報を早朝・夜間・休日でも受け付けられるよう、「不法投棄110番」を設置する。 ・不法投棄監視パトロール用車両を購入する。				環境衛生課

●基本目標3 リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形されたまち

◆分野別目標1:生産、消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します

【基本方針】:市民・事業者・行政がそれぞれ役割を理解し、廃棄物の減量化・資源化を推進するため、5R(Refuse,Reduce,Reuse,Recycle,Regenerate)の実践がなされている社会の形成を目指します。排出段階ではもちろんのこと、生産・消費段階においても、資源の浪費を抑え、ごみとなる可能性のあるもの全ての排出抑制を推進していきます。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7 年度	H 3 2 年度
1	ごみの発生抑制に配慮した行動をしている人の割合	30.6%	30.5%		40%	60%
2	家庭ごみの一人一日当たり排出量(資源ごみ除く)	5 5 3 g	5 3 5 g		4 9 5 g	4 7 3 g
3	事業ごみの年間排出量	68,140 t	70,998 t		59,871 t	58,096 t

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26からの区分	H27年度実績	H27からの区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No.311 ごみとなる可能性のある全ての排出の抑制	●従来の5R(リデュース・リデュース・リユース・リサイクル・リジェネレート)を推進し、特に2R(リデュース・リユース)に対して重点的に取り組む ●排出段階だけでなく、生産・消費段階を含めた「ごみ」そのものの発生・排出抑制を目指す。環境問題に対して「知っている」だけでなく市民の自主的な行動を促す施策に取り組む	災害廃棄物処理計画の策定			新規	災害廃棄物を処理する際の課題を抽出し、災害予防・応急対策・復興対策を円滑に実施できる体制構築のため、計画を策定する。				一般廃棄物対策課
		市民のリサイクル意識の向上、分別の徹底、ごみの減量・適正処理についての意識啓発を図る	継続	・リサイクルフェアの開催(10月4日にフリーマーケット・環境クイズ・リサイクル工作やマイ箸作り体験コーナー等のイベントを実施) ・暮らしとごみ展の開催(本庁舎・各支所で小中学生から募集したポスター・標語の展示や啓発用パネルの掲示を行った。応募作品732点) ・広報くらしき特別号を作成(11月号別冊)	継続	・リサイクルフェアの開催 ・暮らしとごみ展の開催 ・啓発冊子の作成・配付	継続実施			一般廃棄物対策課
		生ごみ資源化事業の推進	継続	船穂地区で生ごみ収集・堆肥化事業を実施(371世帯 160t)	継続	船穂地区で実施する生ごみ収集・堆肥化事業の推進	継続実施			一般廃棄物対策課
		家庭でのごみ減量の推進	継続	・各ゴミステーションにおける分別についての早朝啓発 ・地区町内会等での出前講座推進 ・生ごみ水切りの推進(環境イベント、出前講座等などの啓発活動) ・マイバック・マイ箸運動の推進(県下統一ノーレジ袋デー(毎月10日)にスーパーの店頭で市民団体と協働で啓発イベントを実施、全12回) ・家庭ごみ減量冊子を小学4年生に配付し、夏休みに各家庭でごみ減量の取り組みを進めた。(41校参加 約4,100部配付) ・雑がみの分別と生ごみの水切りを啓発する看板をゴミステーションに設置した。(約5,300箇所)	継続	・ゴミステーションでの分別早朝啓発 ・地区町内会での出前講座推進 ・生ごみ水切りの推進 ・マイバック・マイ箸運動の推進 ・家庭ごみ減量冊子を小学4年生に配付し、夏休みに各家庭でごみ減量の取り組みを進める。 ・ごみの減量目標と有効な減量方法などを記した看板をゴミステーションに設置し、日常生活での目標見える化に取り組む。	継続実施			一般廃棄物対策課
		倉敷市マイバック・マイ箸運動推進協力店認定制度の推進	継続	倉敷市マイバック・マイ箸運動推進協力店認定制度により、認定店舗に、認定証の交付、ポスター・のぼりなどの広報物品を貸与した。(マイバック協力店数:13事業者54店舗、マイ箸協力店数:5事業者9店舗)	継続	認定制度を推進し、協力店には各種啓発物品を貸与	継続実施			一般廃棄物対策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 312 市民・事業者 の自主的な活 動の促進	●市民・事業者が、基本 理念や行動原則を自ら考 え、ごみの排出抑制や再 資源化に取り組むことを 促進する	生ごみ処理容器（コンポスト・ボカシ 容器・生ごみ処理機）を購入する世帯 に助成を行う	継続	・堆肥化容器購入助成（補助基数237基） ・生ごみ処理機購入助成（補助基数104基）	継続	・堆肥化容器購入助成 ・生ごみ処理機購入助成	継続実施			一般廃棄物対策課
		家庭からの資源物について、集団回収 を実施するごみ減量化協力団体へ報奨 金を交付する	継続	子ども会や町内会などに報奨金を交付（実施団体数1,021団 体・回収重量14,920 t）	継続	子ども会や町内会などに報奨金を交付	継続実施			一般廃棄物対策課
		家庭からの生ごみを生ごみ堆肥セン ターで有機堆肥にし再利用する	継続	堆肥センターで、有機堆肥の生産（約174 t の農業残さや家庭 生ごみから約139 t の有機堆肥を生産）	継続	有機堆肥の生産	継続実施			農林水産課
		漁業団体が収集したゴミの運搬処理を 行う	継続	収集物運搬処理（処理量約35 t）	継続	・収集物運搬処理 ・海底ごみステーションの設置	継続実施			農林水産課

●基本目標3 リデュース、リユース、リサイクルが徹底され、循環型社会が形されたまち

◆分野別目標2：廃棄物の減量化・資源化の推進及び適正処理に努めます

【基本方針】：排出される廃棄物は、再生利用に努め、再生利用が不可能なものについては、焼却による熱回収を行ったうえでの減容化や最終処分などの適正処理を実施し、廃棄物が環境に与える負荷を可能な限り抑えます。また、効率的に廃棄物を処理することで、ごみ処理経費の節減に努めます。不法投棄による環境破壊を防止するため、違法行為には厳正に対処するとともに、事業者等の意識の向上に努めます。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7 年度	H 3 2 年度
1	最終処分率(最終処分量÷ごみ総排出量)	2. 4%	2. 0%		維持 (2. 4%)	維持 (2. 4%)
2	リサイクル率(総合計画指標)	47. 8%	51. 6%		52%	54%

倉敷未来創生戦略にあわせ、31年度の目標となっています。

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26からの区分	H27年度実績	H27からの区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 321 廃棄物の再生利用の促進	●市民向けに生ごみ減量や、マイバック・マイ箸運動の推進等を行うとともに、事業者向けに、大型生ごみ処理機の導入補助制度の推進や一般廃棄物減量資源化計画書の提出の指導等により排出抑制に努める ●分別徹底の推進、ごみステーションでの指導実施等の普及啓発を行う ●空き缶つぶし機の貸出の拡大、ペットボトル回収の充実や常設リサイクルステーション設置の検討等の回収体制の整備を行う	マイバック・マイ箸運動を推進する	継続	・マイはし作り体験（県市等が実施する環境イベントで実施） ・啓発用ティッシュの配布 ・【再掲311】倉敷市マイバック・マイ箸運動推進協力店認定制度により、認定店舗に、認定証の交付、ポスター・のぼりなどの広報物品を貸与した。（マイバック協力店数：13事業者54店舗、マイ箸協力店数：5事業者9店舗）	継続	・マイはし作り体験 ・啓発用ティッシュ ・倉敷市マイバック・マイ箸運動推進協力店認定制度により、認定店舗に、認定証の交付、ポスター・のぼりなどの広報物品を貸与する。	継続実施			一般廃棄物対策課
		【再掲No. 312】生ごみ処理容器（コンポスト・ボカシ容器・生ごみ処理機）を購入する世帯に助成を行う	継続	・堆肥化容器購入助成（補助基數237基） ・生ごみ処理機購入助成（補助基數104基）	継続	・堆肥化容器購入助成 ・生ごみ処理機購入助成	継続実施			一般廃棄物対策課
		循環型社会の形成を推進すると認められる先進的なリサイクル関係施設等の整備等について経費の一部を助成する	継続	先進的なリサイクル事業の施設整備事業経費の一部を補助を実施 H27年度実績：0件	継続	先進的なリサイクル事業の施設整備事業経費の一部を補助	継続実施			産業廃棄物対策課
		一般廃棄物減量資源化計画書の提出指導の実施	継続	・大規模事業主に対し、計画書の提出を求めた。（計画書124件） ・事業所に対して、個別訪問を実施し、分別指導を行った。（事業所数92件）	継続	・大規模事業主へ計画書提出を求める。 ・事業場に対する個別訪問実施	継続実施			一般廃棄物対策課
		廃食用油を回収し本市のリサイクルモデル事業である廃食用油のバイオディーゼル燃料化事業を行う	継続	廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料を精製し、公用車に使用 平成27年度は20,385L回収し9,366L作成	継続	廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料を精製し、公用車に使用	継続実施			一般廃棄物対策課
		リサイクル推進センターを拠点として、木製家具・古着・古本等のリユース事業やリサイクルに関する各種講座の開催を行う	継続	クルクルセンターで、木製家具の修理再生及び販売、古本・古着の無償提供、リサイクルの研修・体験講座などを実施した。（来館者数20,972人、リサイクル体験者数1,053人、再生木材家具・衣類・書類引渡し数9,888点）	継続	クルクルセンターを拠点として活用	継続実施			一般廃棄物対策課
		「地域美化推進員制度」による、地域のごみの減量・資源化を推進する	継続	倉敷市地域美化推進員を180名選任した。（任期 平成27年4月1日から平成29年3月31日まで）	継続	倉敷市地域美化推進員制度の活用によるごみの減量化及び資源化の推進指導	継続実施			環境衛生課
		処理施設に搬入されたびんを、リターナブルびん、カレット等に選別し、再資源化する	継続	・びん搬入量 2,507.67 t ・生きびん排出量 80.20 t ・カレット排出量 2,438.05 t	継続	再資源化予定量 ・びん搬入量 2,530 t ・生きびん排出量 80 t ・カレット排出量 2,450 t	継続実施			環境施設課
		リサイクル協力店及びステーションからペットボトルを回収し、再商品化事業者に引き渡す	継続	・リサイクル協力店からの回収実施（107店舗、回収量331,720 t） ・地区ステーション回収実施（回収量202,760 t）	継続	・リサイクル協力店からの回収実施 ・地区ステーション回収実施	継続実施			一般廃棄物対策課
		回収体制の整備・充実	継続	・ステーション収集（倉敷、水島、児島、玉島、船穂、真備地区 合計約5,300箇所） ・各地区環境センター等でのごみ受入れ ・使用済み食用油を倉敷市環境衛生協議会が回収拠点を設け、月1回収を実施 ・電話等での事前申込による粗大ごみの個別収集実施	継続	・ステーション収集 ・各地区環境センター等でのごみ受入れ ・使用済み食用油を倉敷市環境衛生協議会が回収拠点を設け、月1回収を実施 ・電話等での事前申込による粗大ごみの個別収集実施	継続実施			一般廃棄物対策課
			継続	市内在住の要介護者や障がい者のみの世帯のうち、独力でごみ出し困難な世帯を対象に戸別収集（ふれあい収集）を実施した。（実施数：65世帯）	継続	市内在住の要介護者や障がい者のみの世帯のうち、独力でごみ出し困難な世帯を対象に戸別収集（ふれあい収集）を実施する。	継続実施			一般廃棄物対策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 322 廃棄物の適正 処理による環 境負荷の抑制	●医薬系廃棄物等の人体や環境に深刻な影響を及ぼす恐れのある廃棄物や、ブロックタイヤをはじめとする適正な処理が困難な廃棄物について、確実に専門処理業者による処理を行うよう、適正な処理方法についての周知徹底を図る ●不法投棄を監視するパトロールを強化するとともに、違法行為には厳正に対応する ●広報や事業者向けパンフレットで適正な処理について協力を呼びかけ、市民や事業者の意識の向上を図るとともに、産業廃棄物管理票（マニフェスト）システムの推進と合わせて不法投棄の防止に努める	使用済み小型家電リサイクルを実施する	継続	粗大ごみとして回収されたものの中から、28分類全品目をピックアップ方式により回収した。（回収量496t）	継続	粗大ごみとして回収されたものの中からピックアップ方式により小型家電を回収する。	継続実施			一般廃棄物対策課
		事業系びんを再資源化する業者へ助成を行う	継続	業者への助成実施（処理量474 t）	継続	業者への助成実施（処理量836 t 予定）	継続実施			一般廃棄物対策課
		家庭ごみの組成分析調査を実施する	継続	隔年実施のため平成27年度は未実施	継続	減量化・資源化を推進するための基礎資料とするため、家庭から排出されるごみの組成調査を実施	隔年実施			一般廃棄物対策課
		・不法に投棄された廃家電を適正に処理する ・市の施設では処理が困難な廃棄物は、専門業者により適正に処理を行う	継続	・不法投棄家電の適正処理（282台） ・乾電池・古タイヤ・モーターバイク等を処理委託（処理量：乾電池約90t、モーターバイク約4 t）	継続	・不法投棄家電の適正処理 ・乾電池・古タイヤ・モーターバイク等を処理委託	継続実施			一般廃棄物対策課
		廃棄物処理法、自動車リサイクル法に基づき、事業者への許可、指導、立入調査を行う	継続	・一般廃棄物処理業許可件数126件（収集運搬業115件、処分業7件、処理施設設置4件） ・産業廃棄物処理業等許可件数399件（収集運搬業174件、処分業85件、処理施設140件） ・自動車リサイクル法（引取業115件、フロン類回収業53件の登録） ・産業廃棄物処理施設等への立入調査、焼却炉等の適正な維持管理について指導、運搬車両検査を実施 ・多量に産業廃棄物を排出する事業者に対し、減量・再生利用等を盛り込んだ処理計画を作成し、実行するよう指導した。（指導事業者数：111事業所）	継続	廃棄物処理法、自動車リサイクル法に基づき、事業者への許可、指導、立入調査を実施	継続実施			一般廃棄物対策課 産業廃棄物対策課
		焼却場、処分場などのごみ処理施設を適正に運営する	継続	一般廃棄物処理施設（焼却処理場・資源循環型廃棄物処理施設、粗大ごみ処理施設、最終処分場等）の適正な運営（維持管理）を行った。（一般廃棄物処理施設の維持管理情報（処分量、排ガス測定結果、処理水測定結果等）は、毎月HPで公表）	継続	一般廃棄物処理施設（焼却処理場・資源循環型廃棄物処理施設、粗大ごみ処理施設、最終処分場等）の適正な運営	継続実施			環境施設課
			継続	基幹的設備改良工事については、平成28年度末の竣工に向けて引き続き協議を行い、工事を実施 施設管理については、第2期長期包括管理委託を開始した。	継続	竣工 第2期長期包括管理委託が適正に行われているか監視を行い、安全で安定したごみの処理を実施する。	継続実施			環境施設課
			新規	白楽町ごみ焼却処理場解体の実施計画及び白楽町し尿処理場、倉敷環境センター等の施設配置計画の策定委託を実施	継続	白楽町ごみ焼却処理場解体の実施計画及び白楽町し尿処理場、倉敷環境センター等の整備を行うための工事発注支援業務委託を行う。	計画実施			環境施設課
		警察OBを監視指導員として採用し、不法投棄の防止や事業者の指導等を行う	継続	・警察OB4名を監視指導員として採用し、産業廃棄物の不適正処理や不法投棄等に対する監視・指導を実施（立入、指導件数年2099件）	継続	警察OBを監視指導員として採用し、産業廃棄物の不適正処理や不法投棄等に対する監視・指導を実施	継続実施			産業廃棄物対策課
		航空機による上空監視、休日夜間のパトロール、不法投棄防止用監視カメラの活用等により、不法投棄を防止する	継続	・民間警備会社に委託し、平日夜間及び休日のパトロールを実施（年162回） ・ヘリコプターによる上空監視（年4回）及びセスナ機による啓発広報（年1回）を実施 ・不法投棄防止用カメラによる監視活動を実施	継続	・民間警備会社に委託し、平日夜間及び休日のパトロールを実施 ・ヘリコプターによる上空監視及びセスナ機による啓発広報 ・不法投棄防止用カメラによる監視活動を実施	継続実施			産業廃棄物対策課
		マニフェストシステムの徹底、啓発活動の推進等により、不法投棄等の不適正処理などを未然に防止する	継続	・民間主催の講習会に講師として出席し、産業廃棄物の排出事業者や処理業者等に対して啓発した。 ・HP、チラシ等を活用して産業廃棄物に関する情報を提供した。	継続	・産業廃棄物の排出事業者や処理業者等に対する啓発実施 ・HP、チラシ等を活用した産業廃棄物に関する情報提供 ・電子マニフェストの推進	継続実施			産業廃棄物対策課

●基本目標4 地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち

◆分野別目標1: 温室効果ガス削減の取組を推進します

【基本方針】: 低炭素社会の実現に向けては、すべての主体が地球温暖化問題に対する意識を高め、実際に行動することが、大きな推進力になります。限りある資源とエネルギーを大切に、自然環境との調和を図る、環境にやさしいライフスタイルの普及が必要不可欠です。

低炭素社会の形成を目指し、すべての市民・事業者・行政が自ら率先して省エネルギーの徹底や温室効果ガス排出の少ないエネルギーへのシフトを心がけ、市全体の温室効果ガス排出量を削減するよう努めます。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7 年度	H 3 2 年度
1	家庭で温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる人の割合	24.6%	19.1%		39%	53%
2	温暖化対策「グリーンくらしきエコアクション」に取り組んでいる企業の割合（隔年調査）	5.5%	隔年 アンケート	—	50%	80%
3	市全域から排出される温室効果ガス（CO2）の削減割合（2007年度比）	【平成 19 年度】 39,573 千 t	【平成 24 年度】 16.0%削減		【平成 24 年度】 6 %削減	12%削減

倉敷未来創生戦略にあわせ、31年度の目標となっています。

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26からの区分	H27年度実績	H27からの区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 411 ライフスタイルの見直しによる温室効果ガスの排出抑制	●「グリーンくらしきエコアクション」の普及による、暮らしの中での省エネルギーへの取り組みを推進する ●公共交通機関や徒歩・自転車によるエコ移動等の推進を通じて、無駄のないエネルギー消費を心がけることにより、家庭からの温室効果ガスの排出抑制を推進する	平成22年度に策定した「倉敷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を、市民・事業者に対して周知・徹底を図る	継続	・区域施策編「クールくらしきアクションプラン」の概要版を市民や事業者配布した。 ・【再掲No. 141】岡山県と倉敷市の主催、商工会議所の共催により、くらしき省エネセミナーを開催し、クールくらしきアクションプランの周知を図った。（参加者数35人）	継続	・区域施策編「クールくらしきアクションプラン」の概要版の配布 ・商工会議所の共催により、くらしき省エネセミナーを開催	継続実施			環境政策課
		市民、事業者、行政等の協働により「倉敷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の進行管理を実施する	継続	「倉敷市地球温暖化対策協議会」を設置し、計画の進捗状況等について協議した。（1回実施）	継続	「倉敷市地球温暖化対策推進協議会」による進行管理	継続実施			環境政策課
		「グリーンくらしきエコアクション」（G-K E A）の普及定着による、低炭素型ライフスタイルへの転換を図る	継続	G-K E A改訂版を各種環境イベントで広く配布し、普及啓発を実施した。また、市広報紙における環境月間特集として、G-K E Aの内容を周知した。	継続	G-K E A改訂版を活用した普及啓発	継続実施			環境政策課
		「くらしきグリーンメイト（緑のカーテン推進員）」とともに緑のカーテンを普及促進する	継続	・グリーンメイトの登録呼びかけ（登録者数214人） ・緑のカーテンコンテスト実施（市民52作品、事業者14作品） ・市民にゴーヤや朝顔の種を6,000袋、苗700本配布	継続	・ゴーヤ、アサガオ等の種、苗の配布 ・グリーンメイトの登録呼びかけ ・緑のカーテンコンテスト実施	継続実施			環境政策課
		NPO等との連携によるイベント開催など、市民への啓発と温室効果ガス削減の取組を推進する	継続	・地球温暖化対策に係る出前講座実施（1件） ・伊東家の省エネ体験（イオンモール倉敷で実施）（11回） ・こどもエコライフチャレンジの実施（小学校6校実施） ・環境交流スクエアで温暖化対策啓発イベント「STOP温暖化くらしきミーティング2015」の実施（参加者数約100人）	継続	・出前講座の実施 ・こどもエコライフチャレンジの実施 ・STOP温暖化くらしきの実施 など	継続・拡大			環境政策課
		公共交通機関や徒歩・自転車によるエコ移動を推進する	継続	【再掲No. 221】バス利用の意識啓発（バスの乗り方やマナー、運賃の支払い方法等について、小学生にバス教室を実施 小学校10校、797人参加）	継続	小学生を対象としたバス教室を実施	継続実施			交通政策課
		市民や事業者に対して、マイカー利用の抑制のための啓発を行う	継続	【再掲No. 221】庁内でノーマイカーデーを年2回実施実施（5月取組率:93.3%、10月取組率:87.6%）	継続	ノーマイカーデーの実施（庁内で1回実施）	継続実施			環境政策課
			継続	・【再掲No. 221】スマート通勤岡山への参加（10月） ・【再掲No. 221】市職員チャレンジ・エコ通勤（正式実験）実施 参加者9名	継続	・スマート通勤岡山への参加 ・市職員チャレンジ・エコ通勤の実施	継続実施			交通政策課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 412 省エネルギー設備等の導入による温室効果ガスの排出抑制	●省エネルギー機器・設備の積極的な導入やエネルギー源のシフト等を推進し、市全体での温室効果ガスの排出抑制に努める	運輸・民生部門の省エネ、省CO2対策を推進するため、市民への設備等の購入に対して助成を行う	継続	【再掲No. 221】電気自動車（59台）への補助を実施した。	継続	電気自動車や充電設備への補助	継続実施			環境政策課
		市が所有する電気自動車を活用して、市民へ電気自動車の普及啓発を行う	継続	環境イベント等で電気自動車を展示及び電源として活用	継続	環境イベント等で電気自動車を展示及び電源として活用	継続実施			環境政策課
		電気自動車充電設備の整備を推進する	継続	【再掲No. 221】充電設備の設置費補助制度	継続	充電設備の設置費補助制度を実施	継続実施			環境政策課
		倉敷市公共施設低炭素配慮指針に基づき、公共施設の低炭素化を推進する	継続	倉敷市公共施設低炭素配慮指針の運用（指針の周知、新エネや省エネ機器の導入実績の情報共有や勉強会を目的に倉敷市公共施設低炭素化検討委員会を1回開催）	継続	倉敷市公共施設低炭素配慮指針による運用継続	継続実施			環境政策課
					新規	カーボン・マネジメント強化事業実施 CO2削減ポテンシャル診断事業委託実施（3カ所） ※国の100%補助事業		H30まで		環境政策課

●基本目標4 地球温暖化対策の取組により、低炭素社会が形成されたまち

◆分野別目標2:地域特性を活かした再生可能エネルギーの積極的利用により、資源・エネルギー循環型の社会を目指します

【基本方針】:「晴れの国おかやま」という太陽エネルギーの利用に有利な気象条件や、電気自動車の生産地である等、地球温暖化対策の鍵となる特性を有しており、これらの地域特性を活かした、資源・エネルギー循環型の社会を目指します。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7年度	H 3 2年度
1	住宅用太陽光発電システム設置件数	3,852 件	14,206 件		10,000 件	28,000 件
2	公共施設の太陽光発電システム設置 kw 数	9 0 k W	549.6kW		250 k W	500 k W

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26からの区分	H27年度実績	H27からの区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 421 家庭への再生可能エネルギー設備の導入促進	●民生家庭部門からの温室効果ガスの排出削減を図るため、支援制度や普及啓発などを通じて、積極的に住宅用太陽光発電システムの導入を推進していく ●その他の再生可能エネルギー設備についても、市民生活に適した設備の導入が進むように普及啓発等を行っていく	住宅用太陽光発電システムを設置した家庭に助成を行う	継続	既築住宅に対し、423件の設置補助を実施した。	継続	・既築住宅 500件の補助予定 ・集合住宅 10件の補助予定	継続実施			環境政策課
		倉敷市が定める認定基準に適合する低炭素住宅「次世代エコハウス」に対する助成を行う	継続	15戸の補助を実施した。	継続	40戸の補助予定	継続実施			環境政策課
		住宅用太陽熱温水器を設置した家庭に助成を行う	新規	62戸への補助を実施した。	継続	100戸の補助予定	継続実施			環境政策課
		補助事業者の排出削減分をクレジット化し、「国内クレジット制度」を活用した温室効果ガス削減事業を実施する	継続	くらしきサンサン倶楽部3,427世帯分・3,098 tのクレジットを創出（売却実績2,508 t）	継続	くらしきサンサン倶楽部が削減したCO2を販売	継続実施			環境政策課
		【再掲No.411】「グリーンくらしきエコアクション（G-KEA）」の普及定着による、低炭素型ライフスタイルへの転換を図る	継続	G-KEA改訂版を各種環境イベントで広く配付し、普及啓発を実施した。 市広報紙における環境月間特集として、G-KEAの内容を周知した。	継続	G-KEA改訂版を活用した普及啓発	継続実施			環境政策課
		再生可能エネルギー（太陽光発電システム以外）設備の導入が進むよう普及啓発を行う	継続	STOP温暖化くらしき実行委員会構成団体により、各種イベントへ出展し普及啓発を実施した。	継続	STOP温暖化くらしき実行委員会構成団体の協力により、各種イベントに出展し普及啓発	継続実施			環境政策課
No. 422 公共施設への再生可能エネルギー設備の率先導入	●市の事務事業活動から排出される温室効果ガスの排出削減を目指す ●公共施設に太陽光発電システムを始めとした、再生可能エネルギー設備を率先して導入し、再生可能エネルギーの普及啓発に努める	倉敷市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進	継続	倉敷市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づく省エネ・温暖化対策の推進	継続	計画の推進	計画的実施			環境政策課
		市の事業活動に伴うエネルギー使用量を把握するとともに、省エネ中長期投資計画を策定する。	継続	・エネルギー使用量の把握 ・省エネ中長期投資計画の策定 ・施設設備機器台帳、管理標準の作成・更新 ・再生可能・未利用エネルギーの検討 ・エネルギー管理規定の運用 ・電気需要平準化の対策	継続	・エネルギー使用量の把握 ・省エネ中長期投資計画の策定 ・施設設備機器台帳、管理標準の作成・更新 ・再生可能・未利用エネルギーの検討 ・エネルギー管理規定の運用 ・電気需要平準化の対策	継続実施			環境政策課 関係各課
		公共施設の省エネルギー対策を実施する	継続 継続	・「節電くらしきガイドライン」を配布し、全庁で節電を実施 【公共施設への環境配慮技術の導入（市立学校を除く） ○児島市民病院の新病院建設 環境配慮技術の導入、LED照明の採用、屋上庭園及びLow-E複層ガラスによる熱負荷の低減等 ・建設工事実施	継続 継続	・「節電くらしきガイドライン」を配布し、全庁で節電を実施 【公共施設への環境配慮技術の導入（市立学校を除く） ○児島市民病院の新病院建設 環境配慮技術の導入、LED照明の採用、屋上庭園及びLow-E複層ガラスによる熱負荷の低減等 ・建設工事実施	計画的実施 新病院建設工事～H29 → ●H29年度開院予定			環境政策課 倉敷市立児島市民病院

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 422 公共施設への再生可能エネルギー設備の率先導入	●市の事務事業活動から排出される温室効果ガスの排出削減を目指す ●公共施設に太陽光発電システムを始めとした、再生可能エネルギー設備を率先して導入し、再生可能エネルギーの普及啓発に努める	(倉敷流ESCO事業) 公共施設の省エネルギー対策を実施する	継続	・ESCO事業として、ライフパーク倉敷、消防局倉敷消防署合同庁舎、児島消防署の3施設を運用開始した。 ・ESCO事業として、児島支所、玉島支所、真備支所の3施設の導入についてESCO 契約の締結し、設備機器導入工事を実施した。	継続	・ESCO事業運用施設 (ライフパーク倉敷、消防局倉敷消防署合同庁舎、児島消防署) (児島支所、玉島支所、真備支所) ・ESCO事業として、他施設の導入可能性について調査を実施	計画的実施			公有財産活用室
		【再掲No. 121】公共施設の壁面緑化等を推進する	継続	・保育園庭の芝生化（第三福田保育園、上の町保育園）及び維持管理を行った。（H27末現在：累計13園） ・学校・園の壁面緑化（全ての市立学校・幼稚園計148校園で実施） ・小学校庭の芝生化（児島小学校・赤崎小学校）及び維持管理（H27末現在：累計14校） ・幼稚園庭の芝生の維持管理（H27度現在：累計3園） ・公共施設のブロック塀を生垣に更新（玉島北中学校）	継続	・保育園及び認定こども園庭の芝生維持管理 ・学校・園の壁面緑化 ・小学校庭の芝生化（本荘小学校・茵小学校）及び維持管理 ・幼稚園庭の芝生の維持管理 ・公共施設に生垣を植栽する。（本荘小学校）	継続実施			保育・幼稚園課 教育企画総務課 教育施設課 教育施設課 公園緑地課
		公共施設へ再生可能エネルギー設備を導入する	継続	【市立学校への太陽光発電設備導入】 ・玉島南小学校へ太陽光発電導入（10kW）完成 ・福田中学校へ太陽光発電導入（10kW）完成 ・倉敷西小学校（10kW）着工 ・玉島小学校（10kW）着工	継続	【市立学校への太陽光発電設備導入】 ・倉敷西小学校（10kW）完成 ・玉島小学校（10kW）完成	継続実施			教育施設課
			継続	【再掲No. 141】公共施設等の屋根及び土地貸しによる太陽光発電システム ○真備総合公園体育館（落成） ○豊洲っ子児童クラブ（落成）	継続	公共施設等の屋根及び土地貸しによる太陽光発電システム	継続実施			環境政策課
			継続	【公共施設への太陽光発電設備導入（市立学校を除く）】 ○児島市民病院の新病院建設 太陽光発電パネルを屋上に設置 発注準備と業者選定 新病院建設工事着手	継続	【公共施設への太陽光発電設備導入（市立学校を除く）】 ○児島市民病院の新病院建設 太陽光発電パネルを屋上に設置 新病院建設工事	新病院建設工事～H29 → ●H29年度開院予定			倉敷市立児島市民病院
			継続	【再掲No. 322】 水島清掃工場の燃焼設備などの基幹的設備をCO2の削減もできるように改良して更新する工事（基幹的設備改良工事）を平成25年度から平成28年度までの工期で実施し施設の延命化を図ることで、施設のライフサイクルコストの削減を図る事業を実施している。 ・基幹的設備改良工事では、実施設計と洪水対策工事などを実施した。	継続	基幹的設備改良工事 竣工				環境施設課
			継続	・児島下水処理場消化ガス発電事業（75kW）を開始し、CO2の排出量を削減する。 ・追加で2機設置し、合計125kWの発電を開始 ・Jクレジット申請及び承認	継続	発電事業（125kW）とともに、Jクレジット創出	継続実施			下水計画課 下水施設課
		【再掲No. 412】倉敷市公共施設低炭素配慮指針に基づき、公共施設の低炭素化を推進する	継続	倉敷市公共施設低炭素配慮指針の運用（指針の周知、新エネや省エネ機器の導入実績の情報共有や勉強会を目的に倉敷市公共施設低炭素化検討委員会を1回開催）	継続	倉敷市公共施設低炭素配慮指針による運用継続	継続実施			環境政策課
					新規	カーボン・マネジメント強化事業実施 CO2削減ポテンシャル診断事業委託実施（3カ所） ※国の100%補助事業		H30まで		環境政策課

●基本目標5 市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち

◆分野別目標1:環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします

【基本方針】:これまでの環境学習の機会をさらに充実させるとともに、環境学習・環境活動を支える人材(地域・NPO)の育成を図ることで、人間と環境との関わりについて正しい知識をもち、自らが責任をもって、持続可能な社会づくりに主体的に参加できる人を増やすことを目指します。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7 年度	H 3 2 年度
1	「もったいない」意識を共有している社会が出来ていると思う人の割合	6.0%	8.4%		12%	30%
2	環境学習等で学んだことを、日常生活の中で実践している人の割合	4.0%	2.9%		10%	20%

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26からの区分	H27年度実績	H27からの区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 511 環境学習の 機会の提供	●子どもから大人まで多くの市民が身近なところで、環境学習や実践活動の場や機会が多様な形で存在するよう、これまでの、講演会、環境イベント、自然観察会、出前講座の拡充を図る ●公民館等の社会教育施設を地域での環境教育の場として、より一層の充実を図ることで、幅広い環境学習の場の提供に努める ●環境監視センター、クルクルセンター、自然史博物館などの環境学習施設の整備・充実を図る ●市民・市民公益活動団体、事業者、行政等の各主体が連携して、地域等で自主的な環境教育が実施できるように、環境に関する必要な情報の収集及び提供に努める	・講演会、環境イベント等への出展、自然観察会、出前講座、環境学習講座等の充実を図る	継続	・環境フェスティバル（講演会や体験型環境学習、エコフードコーナーなどのイベントを実施：約3,000人参加） ・【再掲No.113】水辺教室（高梁川河川敷 水江の渡し）を実施（34人参加） ・【再掲No.113】海辺教室（児島通生の海岸）を実施（23人参加） ・各種出前講座の実施（19件1,191人参加） ・【再掲No.411】STOP温暖化くらしきミーティング2015（地球温暖化対策啓発イベント：約100人参加） ・【再掲No.141】省エネセミナー（講演会：35人参加） ・STOP温暖化くらしきフォーラム（講演会：66人参加）	継続	・環境フェスティバル（2日間に拡大して実施） ・海辺、水辺教室 ・自然観察会 ・エコサマースクール ・各種出前講座の実施 ・各種環境学習講座の実施 ・STOP温暖化くらしき2016	継続・拡大			環境政策課
		市民学習センターや公民館での環境学習講座の充実を図る	継続	市民学習センターや公民館で、環境政策課と連携したくらしき市民講座や「夏エコ〜CO2を減らすために」、「ごみについて学ぼう！〜生まれ変わるよ！リサイクル体験〜」など環境をテーマにしたさまざまな講座を実施。市民学習センターでは3講座実施し、70名の方が受講した。	継続	環境学習センターなど関係部局と連携するなどして、市民学習センター及び公民館で20講座程度予定	継続実施			市民学習センター
		環境学習センターでの環境学習・講座等の充実を図る	継続	環境交流スクエア西棟4階に設置した「環境学習センター」を環境学習の拠点施設として活用 (エコライブラリー・エコギャラリー・環境学習教室の施設利用実績12,379人、イベント・講座等参加者数10,186人)	継続	環境学習の拠点施設として充実を図る。	継続実施			環境政策課
			新規	流域連携事業として、各学校の平成28年度の学習計画策定に間に合うよう、平成28年1月に関係市町の教育委員会、小中学校へ「倉敷市環境学習センター」の利用案内を送付した。	継続	流域市町の小中学校の利用について、受入れる。	継続実施			環境政策課
		自然史博物館事業の推進	継続	・特別展「岡山県の島の植物」、特別企画展「生命 過去から未来へ〜恐竜が倉敷へやってきた!〜」を開催 ・特別展出版物「岡山県の島の植物ガイドブック」を発行（発行部数：1,100部） ・特別陳列「驚異の新種!アキラマイマイ〜“晴れの国おかやま”を象徴するかたつむり〜」「秋の鳴く虫展」「新着資料展」「しぜんしくらしき賞作品展」を開催 ・「倉敷まちかど博物館」の貸出設置（60台） ・「倉敷市立自然史博物館研究報告」の発行（700部） ・専門分野の寄稿・講演（140件） ・自然史資料の収集（標本約12,232点、文献1、725点） ・市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催した。（56件） ・「友の会」による自然観察会等の開催を援助した。（14件） ・自然に関する問い合わせ対応（1,096件） ・外部への講師派遣（34件） ・「11月3日は自然史博物館まつり」を開催（参加者10,060人） など	継続	・特別展「金銀銅の自然史」、G7倉敷教育大臣会合応援事業・美術館ルネサンス事業「発掘された過去・現在・未来」を開催 ・特別陳列「近藤光宏昆虫コレクション展」「おりがみ昆虫展 Origami Insects」「秋の鳴く虫展」「新着資料展2016」「第24回しぜんしくらしき賞作品展」を開催 ・「倉敷まちかど博物館」の貸出設置（60台） ・「倉敷市立自然史博物館研究報告」の発行（700部） ・専門分野の寄稿・講演 ・自然史資料の収集 ・市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催する。 ・「友の会」による自然観察会等の開催を援助する。 ・自然に関する問い合わせ対応 ・外部への講師派遣 ・「11月3日は自然史博物館まつり」を開催 など	継続実施			自然史博物館
		環境に関する情報の収集及び適切な情報の提供を行う	継続	・HP、くらしふブログの充実 ・広報紙（広報くらしき、パワフルキッズ等） ・記者クラブ、小中学校等への情報提供 ・環境関連の講座やイベント情報のメールマガジン配信	継続	・HPの充実 ・広報紙 ・記者クラブ、小中学校等への情報提供 ・環境関連の講座やイベント情報をメールマガジン配信 等	継続実施			環境政策課 各関係課
		市民公益活動団体が行う、環境保全活動・教育・啓発のための事業への一部助成を行う	継続	【再掲No.111】自然観察会・環境保全活動等に対する助成（市民企画提案事業）	継続	自然観察会・環境保全活動等に対する助成（市民企画提案事業）	継続実施			市民活動推進課

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26 からの 区分	H27年度実績	H27 からの 区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No.512 環境学習や 環境活動を 支える人 (地域・N PO)の育 成	●地域における環境活 動を先導するコーディネーターや、環境学習 を推進する指導者の育 成や活動支援に努める ●市からの情報提供を 充実させるとともに、 地域や事業者が環境に 関する取り組みや情報 を共有することができる ネットワーク形成を 目指す	地域の環境学習活動を推進するための 市民パートナーの養成や活動支援に努 め、市域全体の環境保全活動の活性化 を図る	継続	・環境学習センター登録団体連携事業（夏休み宿題応援団、海辺のエコしらべ、八間川調査隊等を実施） ・環境学習センター登録団体による会議室や展示室の無料使用（実績延べ91件） ・環境学習センター登録団体又はエコライブラリー利用登録者に環境学習用器材（ワットチェッカー、燃費計、小型顕微鏡等）の無料貸出 ・【再掲No.411】グリーンメイトの登録呼びかけ（登録者数：214人） ・市内高校生を環境フェスティバル運営スタッフとしてボランティア受入（46人）	継続	・環境学習センター登録団体連携事業 ・環境学習センター団体登録制度 ・環境学習用器材貸出 ・グリーンメイトの登録呼びかけ ・高校生社会貢献活動推進事業（市内の高校生を環境フェスティバルのボランティア運営スタッフとして受入）	継続実施			環境政策課
		高梁川流域圏域内の大学・企業・各種 団体等により流域の自然、歴史・文 化、産業、町並み等をテーマとした企 業研修等を実施し、人材育成につなげ る	新規	高梁川流域学校事業 一般社団法人高梁川流域学校に対し助成を行った。	継続	高梁川流域学校事業 取組みを進める。一般社団法人高梁川流域学校に対し助成を行 う。	継続実施			企画経営室
		行政、企業、市民団体等が情報共有や 取組を共有できるネットワークの形成 をめざす	継続	・【再掲No.411】STOP温暖化くらしき実行委員会（事務局：環境学習セン ター） ・【再掲No.411】倉敷市地球温暖化対策推進協議会（事務局：地球温暖化対策室） ・環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会（事務局：公益財団法人 水島地域環境再生財団）への参画 など	継続	・STOP温暖化くらしき実行委員会（事務局：環境学習セン ター） ・倉敷市地球温暖化対策推進協議会（事務局：地球温暖化対策 室） ・環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会（事務 局：公益財団法人 水島地域環境再生財団）への参画 など	継続・拡大			環境政策課

●基本目標5 市民一人ひとりが、環境意識を持ち行動するまち

◆分野別目標2:次世代を担う子どもたちへの環境教育を充実し、行動できる人を育てます

【基本方針】:家庭、学校、地域など多様な場で、それぞれの発達段階に応じた環境教育を推進し、また、家庭、学校、地域、事業者が相互に連携した取組を行うことにより、将来を担う子どもたちが環境に配慮した行動のよき実践者となるように、環境教育・環境学習の推進を目指します。

◆目標とする指標

番号	項 目	基準値	実績値	基準値からの傾向	めざそう値	
		H 2 1	H 2 7		H 2 7 年度	H 3 2 年度
1	自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子どもの割合	71.7%	77.4%		80%	95%
2	「もったいない」意識をもち、物を大切にしている子どもの割合	31.4%	45.2%		45%	65%
3	自然にふれる活動に参加している子どもの数	14,537 人	15,522 人		17,500 人	19,700 人

主要な施策に基づく主な事業 年度別計画

施策NO.	主要な施策の内容	事業の概要	H26からの区分	H27年度実績	H27からの区分	H28年度計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度計画	担当課
No. 521 これからの時代を担う子供たちの環境教育の充実	●環境を大切にし、より良い環境づくりや環境の保全に配慮した望ましい行動がとれる実践力を育成するため、学校、家庭、地域、事業者と連携を図りながら、環境教育の充実をめぐる ●子どもの発達段階に応じた環境学習プログラムづくりや本市の山、川、海の自然環境を活かした体験型学習プログラムづくりを進め、継続的に環境教育を推進できるよう努める ●小中学校を対象とした出前講座などにより、学校での環境教育を支援する	企業、市民団体等と連携した、環境教育を推進する	継続	・【再掲411】 こどもエコライフチャレンジ（市内6小学校で実施） ・【再掲511】 小中学生に対する環境学習（子ども向け夏休み講座、出前講座、体験学習など） ・【再掲111】 市民企画提案事業（自然観察会、環境保全活動など）	継続	・こどもエコライフチャレンジ ・小中学生への環境学習機会の提供 ・市民企画提案事業（自然観察会、環境保全活動など）	継続・拡大			環境政策課 市民活動推進課
		各学校が計画的に教科学習や体験的な学習に取り組み、環境教育を充実する	継続	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組んだ。	継続	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組む。	継続実施			教委・指導課
		発達段階に応じた環境学習プログラムづくり	継続	・「自然保護」「水質・大気」「地球温暖化対策」といった3つのカテゴリに分けたプログラムを作成し講座を実施 ・【再掲511】 子ども向けに夏休み講座として「エコサマースクール」を実施。地元企業との連携講座も含め拡大して実施する。	継続	・「自然保護」「水質・大気」「地球温暖化対策」といった3つのカテゴリに分けたプログラムを作成し講座を実施予定 ・子ども向けに夏休み講座として「エコサマースクール」を実施予定	継続・拡大			環境政策課
		山、川、海の自然環境を活かした体験型学習プログラムづくり	継続	・【再掲113】 水辺教室（水江の渡し）を実施（34名参加） ・【再掲113】 海辺教室（児島通生の海岸）を実施（23名参加） 漁業体験学習（27年度は実施せず）	継続	・水辺教室 ・海辺教室 漁業体験学習	継続実施			環境政策課 農林水産課
				・少年自然の家で、小中学校の山の学習、自然教室など91校の学校行事の受入れを実施し、自然の中で仲間と遊び、自然に親しんだ。（テント設営、野外炊事等） ・倉敷市少年自然の家主催事業として「由加わいわいキャンプ」「親子で秋の思い出づくり」「早春のつどい」など8回の自主事業を開催する予定		・自然の中で仲間と一緒に共同生活することによって自主性や協調性を養うとともに、自然の大切さや雄大さを体感することによって環境保護の意識醸成を図る。 ・豊かな自然環境の中で親子でふれあう「由加わいわいキャンプ」や不登校児等を対象とした「さわやかデー由加山の旅」など8回の自主事業を開催する予定	継続実施			少年自然の家
		広報、事務局の支援等を通じ、「こどもエコクラブ活動」の支援を実施する	継続	広報、会員登録受付、環境に関する情報の提供等を行った。	継続	HP等による広報、会員登録受付、環境に関する情報の提供等を行う。	継続実施			環境政策課
		市民団体等と連携して、出前講座を実施する	継続	・【再掲411】 こどもエコライフチャレンジ（市内6小学校で実施） ・【再掲112】 出張講座「くらしきの淡水魚」（自然保護団体等と協力して2件実施）	継続	・こどもエコライフチャレンジ ・出前講座「くらしきの淡水魚」	継続・拡大			環境政策課

環境基本計画「めざそう値」
平成 27 年度市民アンケート調査結果

倉敷市環境政策課

I アンケート調査の概要

1 調査目的

倉敷市では環境最先端都市の実現をめざし、平成32年度までを計画期間とする「第二次環境基本計画」に基づいて、さまざまな環境施策に取り組んでいます。

このアンケート調査は、市民のみなさまが環境について日頃感じていることや、身近な環境についての満足度及び意向等を調査し、計画目標の達成状況把握などに活用することで、今後の市政運営に役立てていくものです。

2 実施状況

2-1 調査対象

平成27年10月末現在、市内に居住する16歳以上の市民の中からコンピュータで無作為に抽出した2,000人（過去に同調査で調査対象となった方を除く）

2-2 調査期間

平成28年1月13日（水）～平成28年2月19日（金）

2-3 調査方法

上記調査対象である2,000人分について郵送調査

2-4 調査項目

問番号	設問内容	目的
－	回答者の属性について	回答者の属性を把握するため
問1～ 問15	環境分野ごとの意識や関心度について	めざそう値を把握するため
問16	環境分野ごとの重要度と満足度	市民が感じている施策別の重要度・満足度を把握するため

※構成比率について

回答の構成比率は小数第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません。

Ⅱ アンケート調査結果の概要

「倉敷市第二次環境基本計画「めざそう値」市民アンケート調査」について、平成28年1月13日から2月19日にかけて実施し、2,000人に対してアンケート票を郵送したところ、885人から回答があり、回答者属性は次のとおりとなっている。

(回収率44.3%)

【回答者属性】

[単位 上段：人、下段：%]

1 性別

男性	女性	未回答
383	494	8
43.3%	55.8%	0.9%

2 年齢別

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	未回答
22	63	86	139	142	204	223	6
2.5%	7.1%	9.7%	15.7%	16.0%	23.1%	25.2%	0.7%

3 地域別

倉敷地区	水島地区	児島地区	玉島地区	庄地区	茶屋町地区	船穂地区	真備地区	未回答
428	131	103	119	33	22	6	39	4
48.4%	14.8%	11.6%	13.4%	3.7%	2.5%	0.7%	4.4%	0.5%

Ⅲ アンケート調査結果

1 回答者の属性

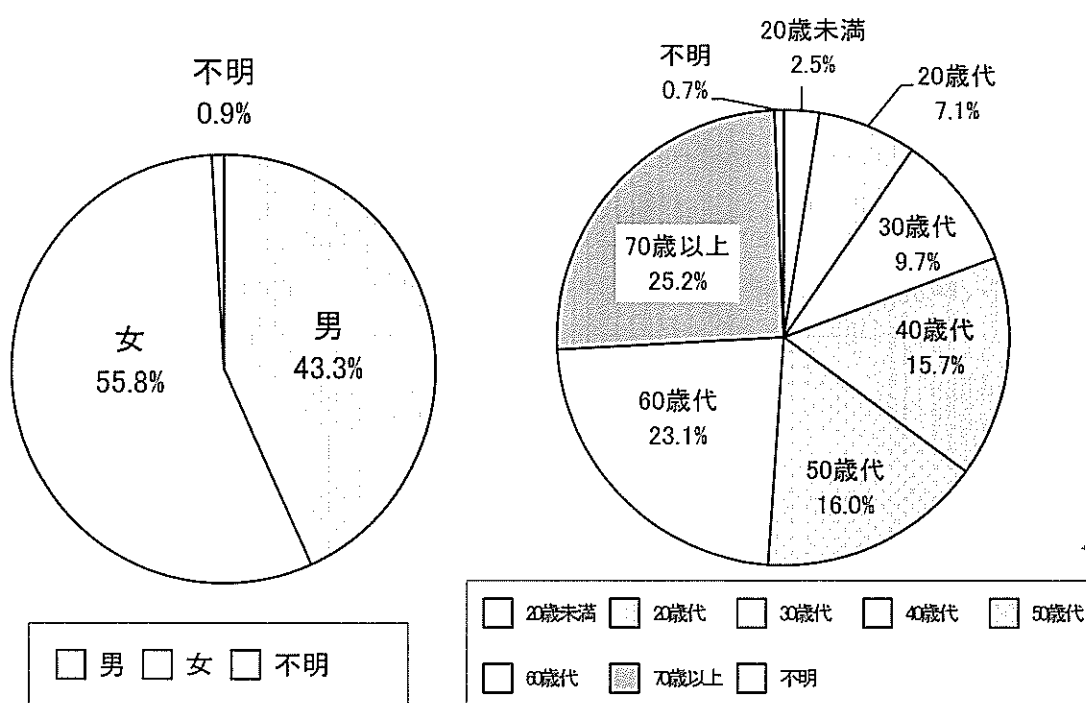
○性別・年齢

【表 1 - 1 : 性別・年齢別 回答者・構成比率】

[単位 回答者数:人、構成比率: %]

年齢	回答者数	回答者の 年齢別 構成比率	性別					
			男		女		不明	
			回答 者数	構成 比率	回答 者数	構成 比率	回答 者数	構成 比率
20歳未満	22	2.5%	13	3.4%	9	1.8%	—	—
20歳代	63	7.1%	24	6.3%	39	7.9%	—	—
30歳代	86	9.7%	40	10.4%	46	9.3%	—	—
40歳代	139	15.7%	46	12.0%	93	18.8%	—	—
50歳代	142	16.0%	64	16.7%	77	15.6%	1	12.5%
60歳代	204	23.1%	89	23.2%	112	22.7%	3	37.5%
70歳以上	223	25.2%	105	27.4%	116	23.5%	2	25.0%
不明	6	0.7%	2	0.5%	2	0.4%	2	25.0%
合計	885	100%	383	100%	494	100%	8	100%

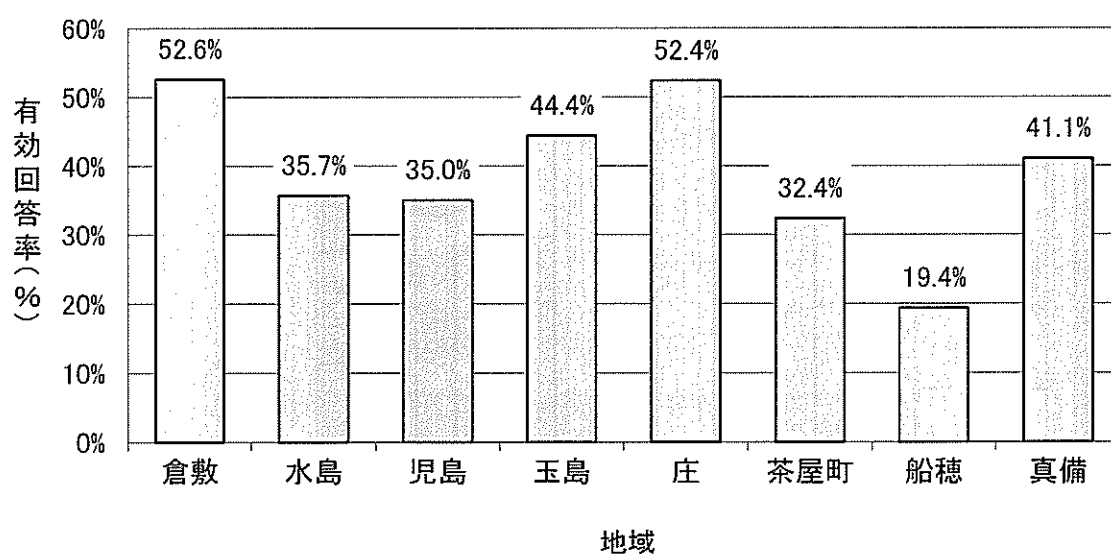
【グラフ 1 - 1 : 性別・年齢別 回答者構成比率】



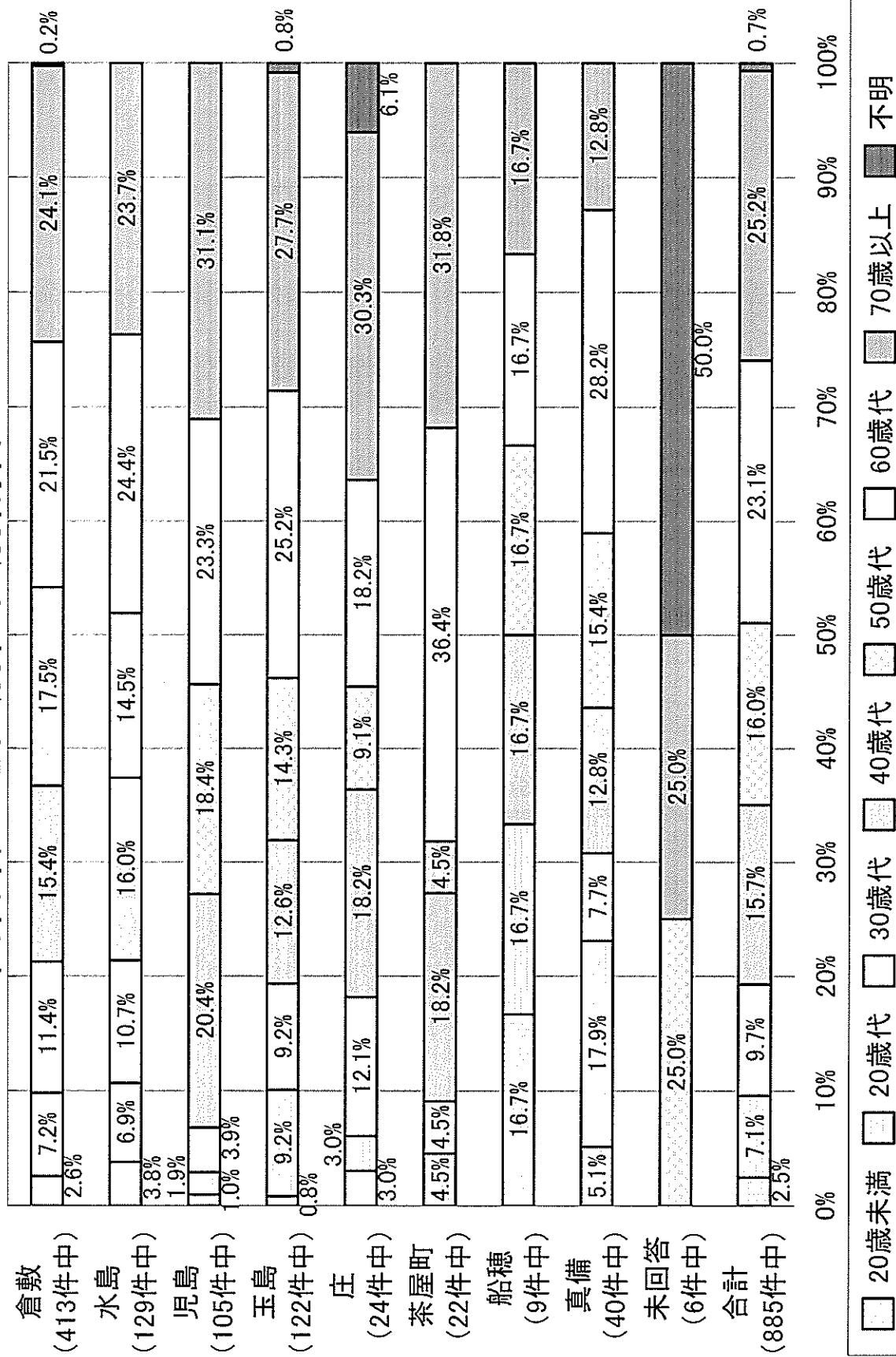
【表 1－2：地域別回答者数 回答率】

地域	アンケート発送について		アンケート回答について		
	支所別人口 構成比率 (H27.10 末)	発送数	回答者数	有効回答率 (%)	回答者 構成比率(%)
		①	②	②/①	②/全回答者数
倉敷	40.7%	814	428	52.6%	48.4%
水島	18.3%	367	131	35.7%	14.8%
児島	14.7%	294	103	35.0%	11.6%
玉島	13.4%	268	119	44.4%	13.4%
庄	3.2%	63	33	52.4%	3.7%
茶屋町	3.4%	68	22	32.4%	2.5%
船穂	1.5%	31	6	19.4%	0.7%
真備	4.8%	95	39	41.1%	4.4%
不明	－	－	4	－	0.5%
合計	100%	2,000	885	44.3%	100%

【グラフ 1－2：地域別有効回答率】

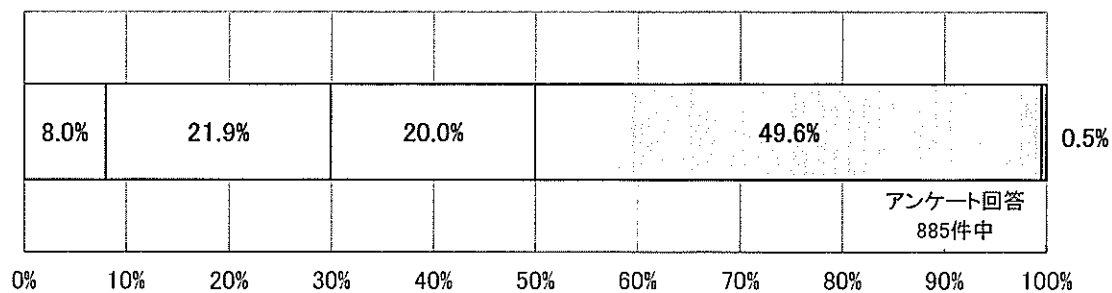


回答者の地区別世代別割合



《問1》 あなたは、身近な自然を守るための活動を行っていますか。

【グラフ1：合計・回答構成比率】

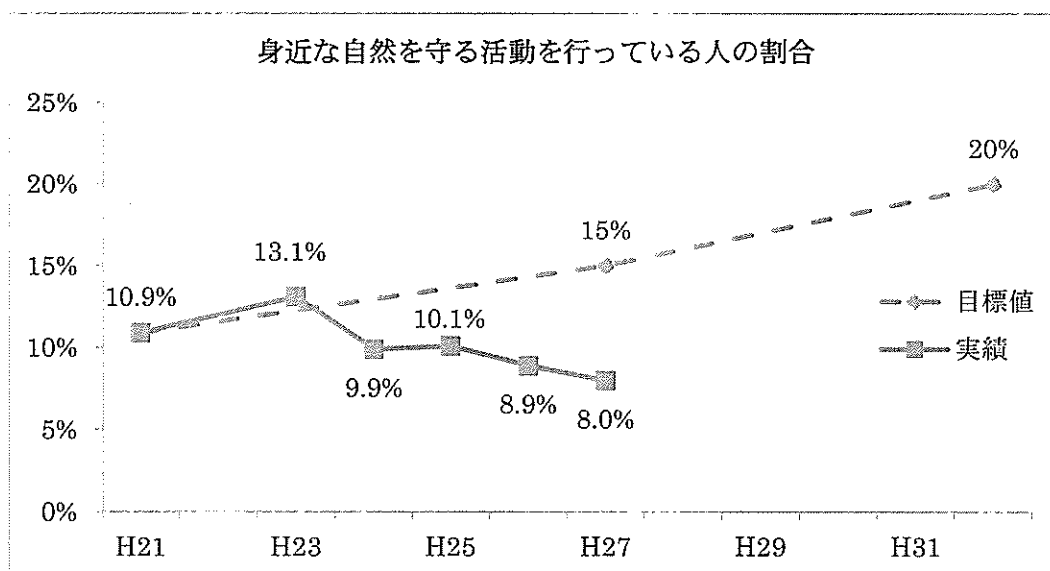


☐ 行っている ☐ いくらか行っている ☐ あまり行っていない ☐ まったく行っていない ☐ 未回答

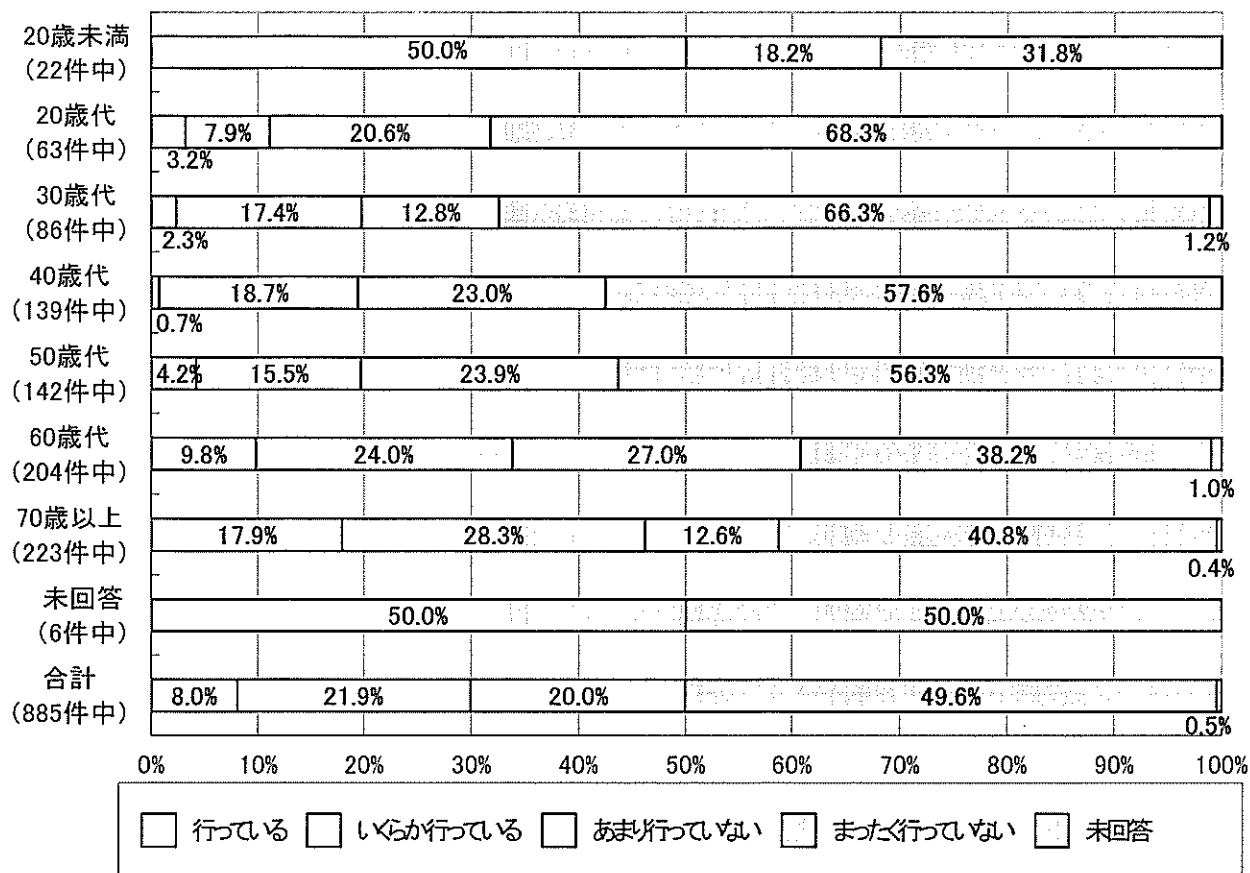
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：①多様な自然環境を保全し、自然とのふれあいを促進します

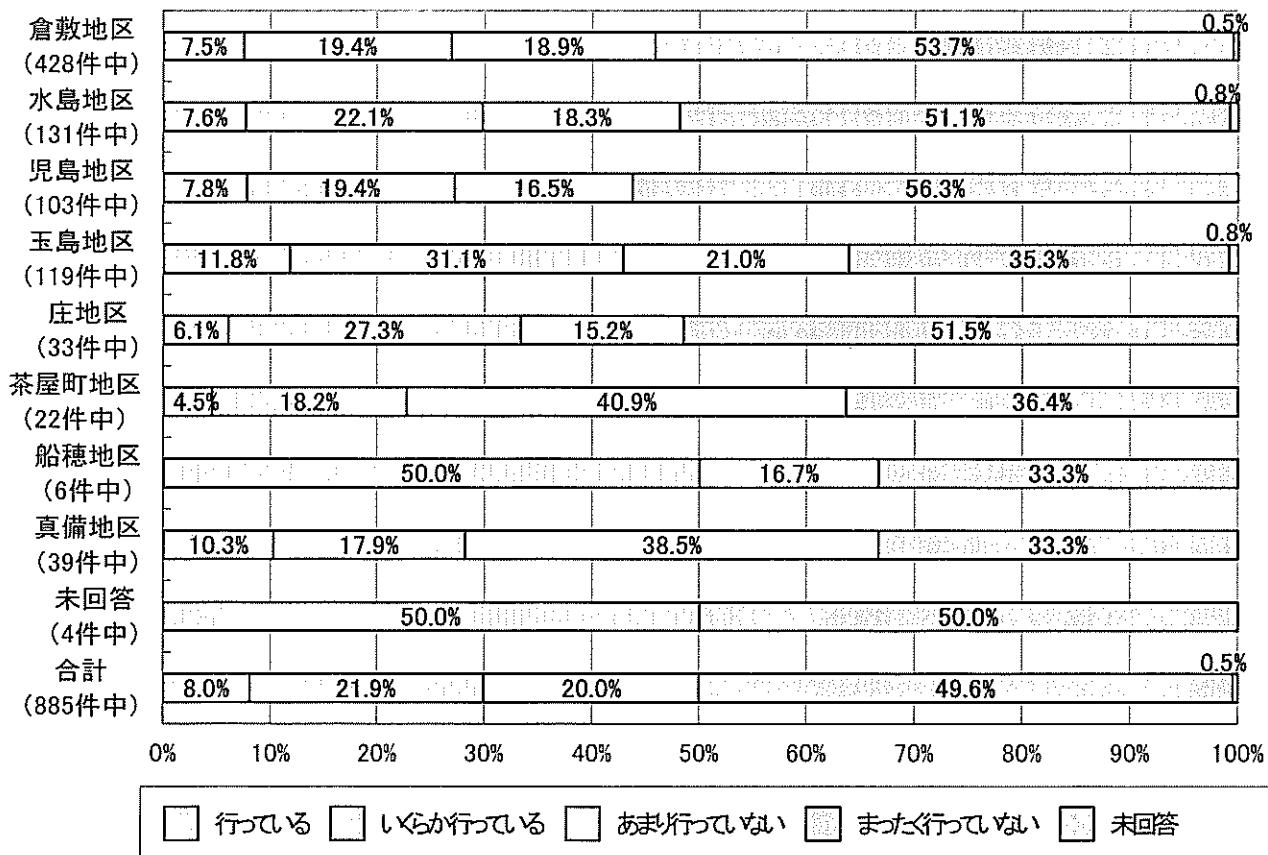
	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
行っている	10.9%	8.0%(8.9)	15%	20%



【グラフ1：年齢別・回答構成比率】

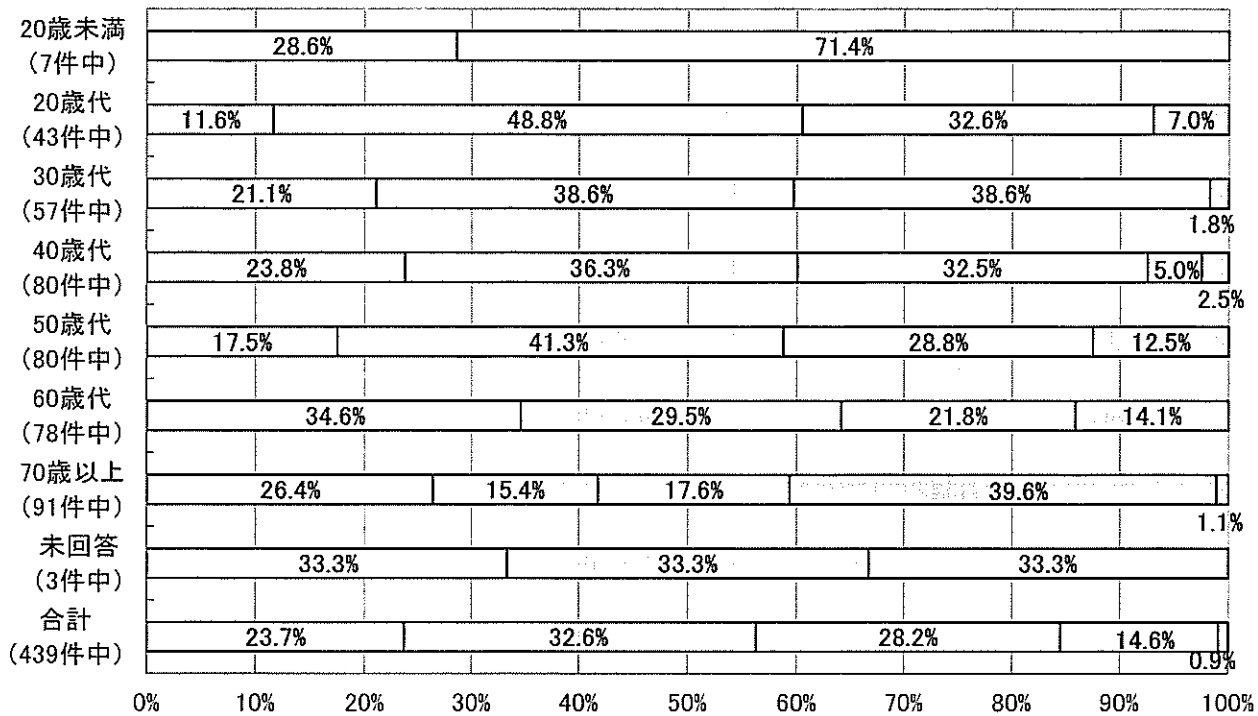


【グラフ1：地域別・回答構成比率】



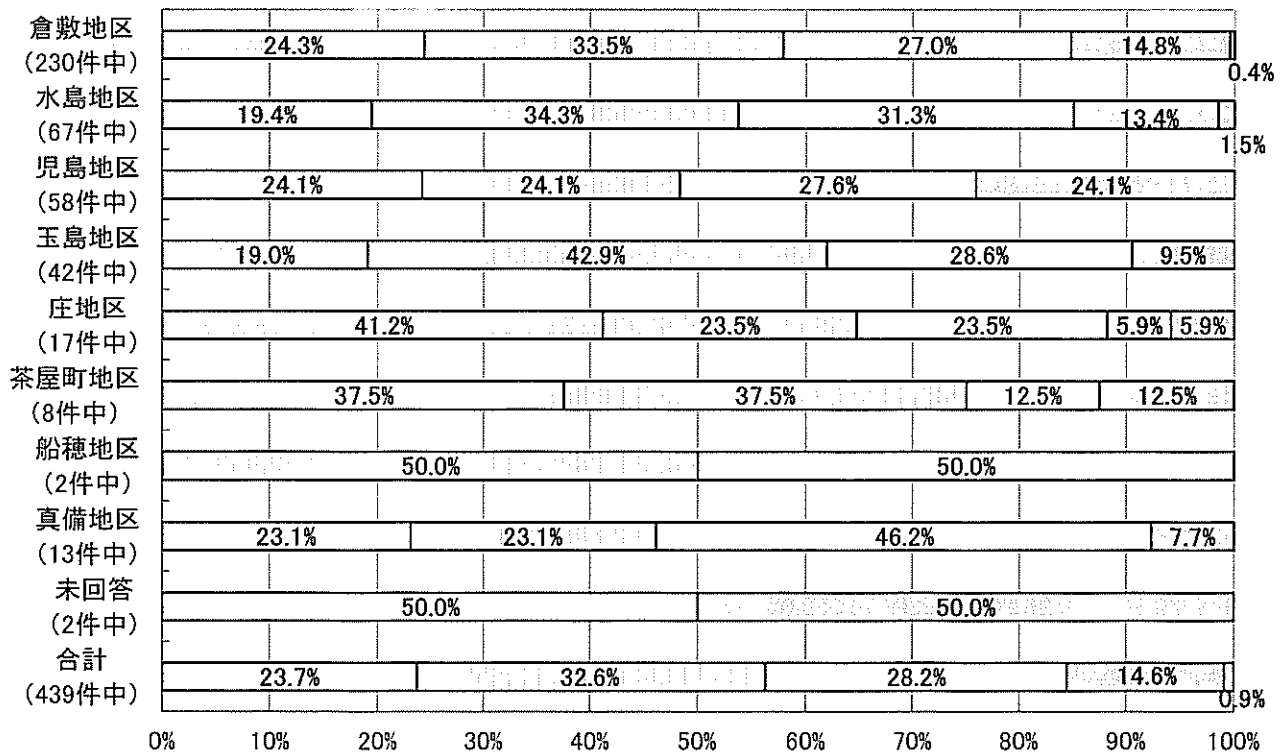
《問1-1》問1で「4. まったく行っていない」と答えた方におたずねします。
行っていない理由がありますか。

【グラフ1-1:年齢別・回答構成比率】



☐ 興味はあるが何をしたらいいのかわからない ☐ 興味はあるが時間がない ☐ 興味がない ☐ その他() ☐ 未回答

【グラフ1-1:地域別・回答構成比率】



☐ 興味はあるが何をしたらいいのかわからない ☐ 興味はあるが時間がない ☐ 興味がない ☐ その他() ☐ 未回答

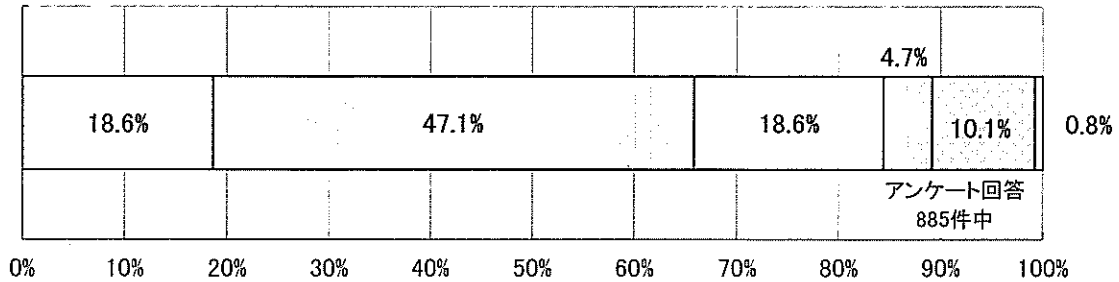
《問1－1》問1で「4. まったく行っていない」と答えた方におたずねします。
行っていない理由がありますか。

※その他(カッコ内回答)要約

1	病気
2	高齢
3	仕事で時間がない
4	関心はあるが体力的にできない
5	障がい
6	家庭の事情
7	バス釣りが趣味であり、自然保護とはいえない活動をしている
8	知らない
9	幼齢の子供がいる
10	情報がない
11	地区の掃除等決められたことには参加しているが、自主的にしてはいない
12	集合住宅で管理人に任せている
13	家内が行っている
14	自然をコントロールするのはいいが人間をコントロールするのはまちがっている

《問2》 公園や街路樹などの身近な緑に満足していますか。

【グラフ2：合計・回答構成比率】

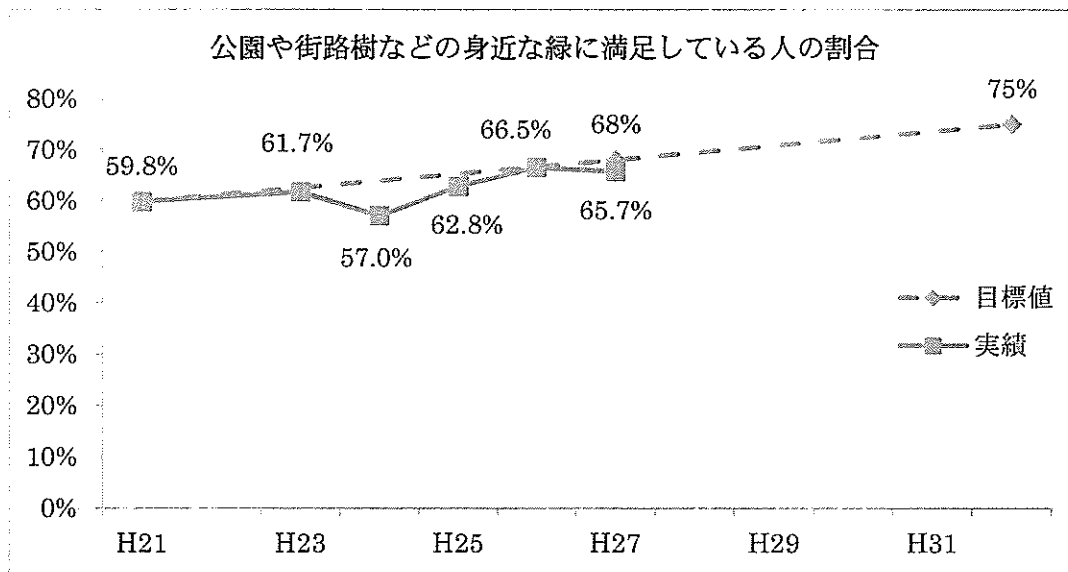


☐ 満足 ☐ どちらかという満足 ☐ どちらかという不満 ☐ 不満 ☐ わからない ☐ 未回答

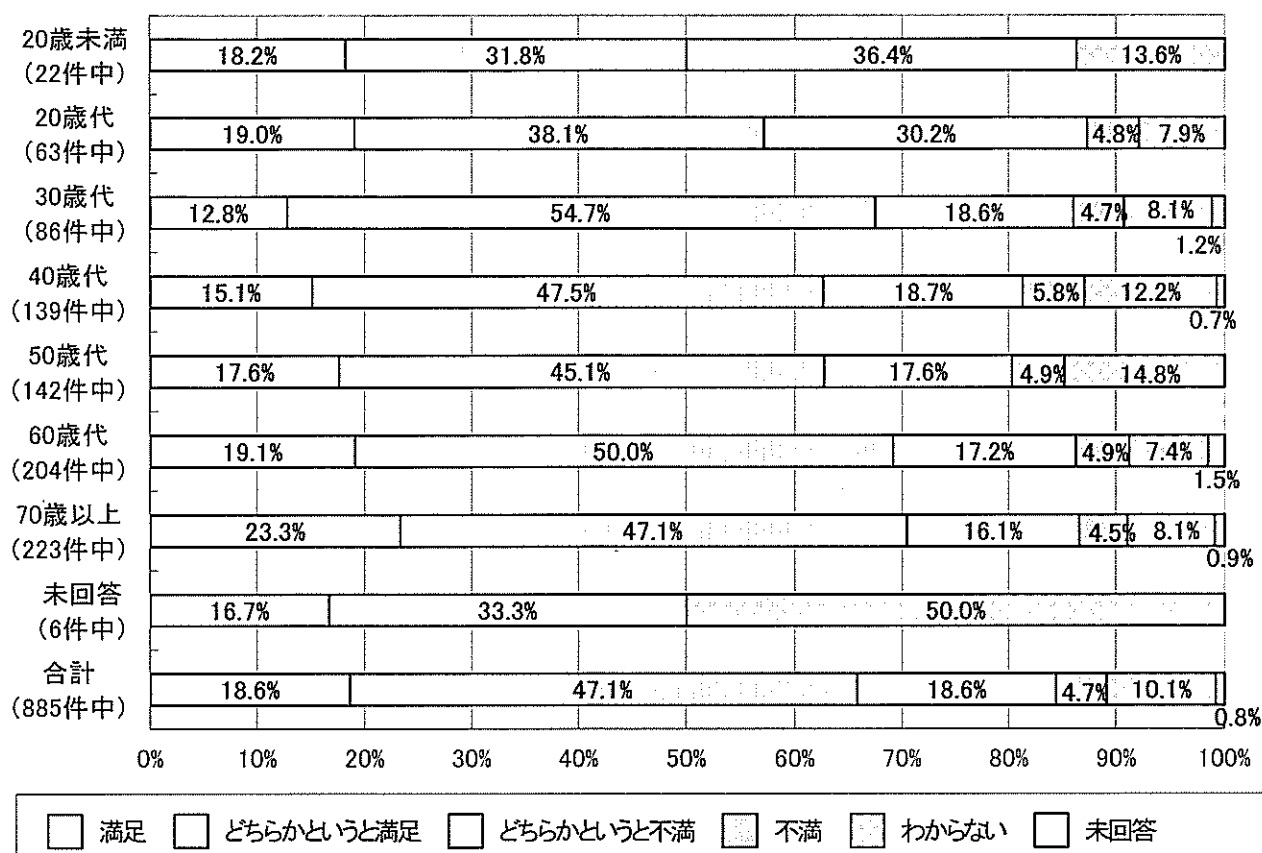
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：②まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します

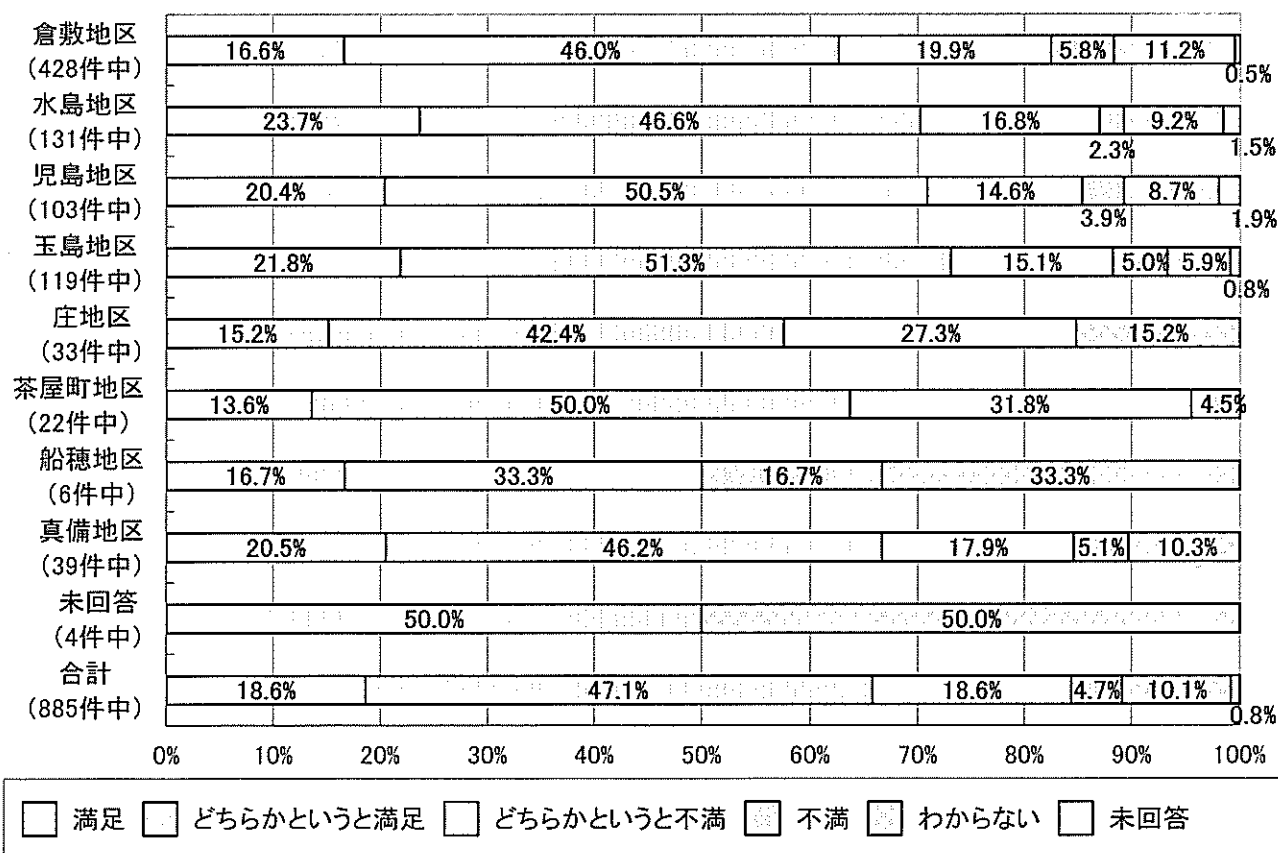
	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
満足＋どちらかという満足	59.8%	65.7%(66.5)	68%	75%



【グラフ2: 年齢別・回答構成比率】

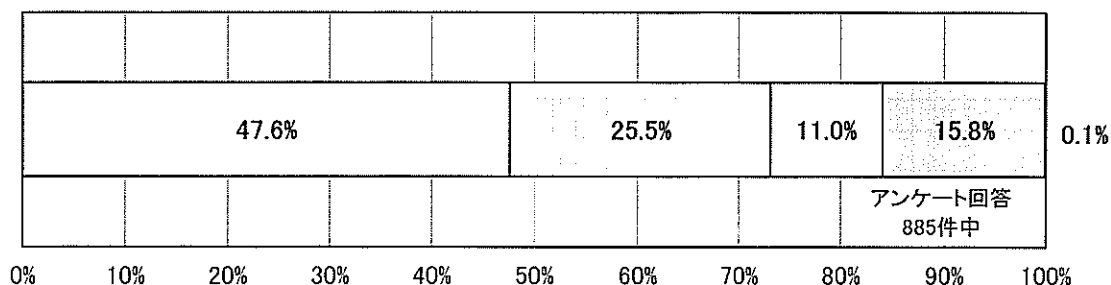


【グラフ2: 地域別・回答構成比率】



《問3》 あなたは、庭木や生垣、鉢植えやプランター栽培などの身近な緑化を行っていますか。

【グラフ3：合計・回答構成比率】

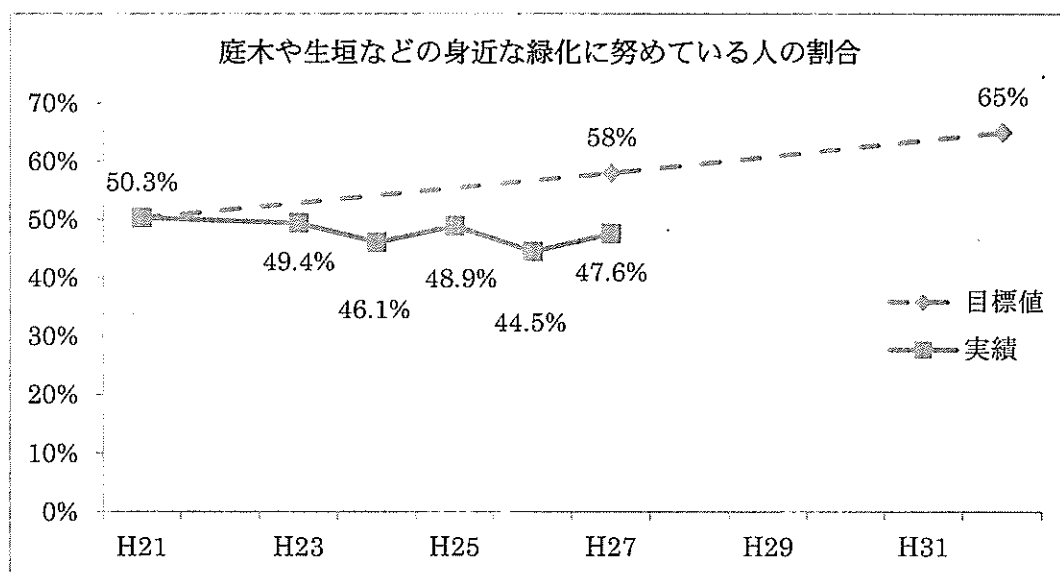


☐ 行っている ☐ いくらか行っている ☐ あまり行っていない ☐ まったく行っていない ☐ 未回答

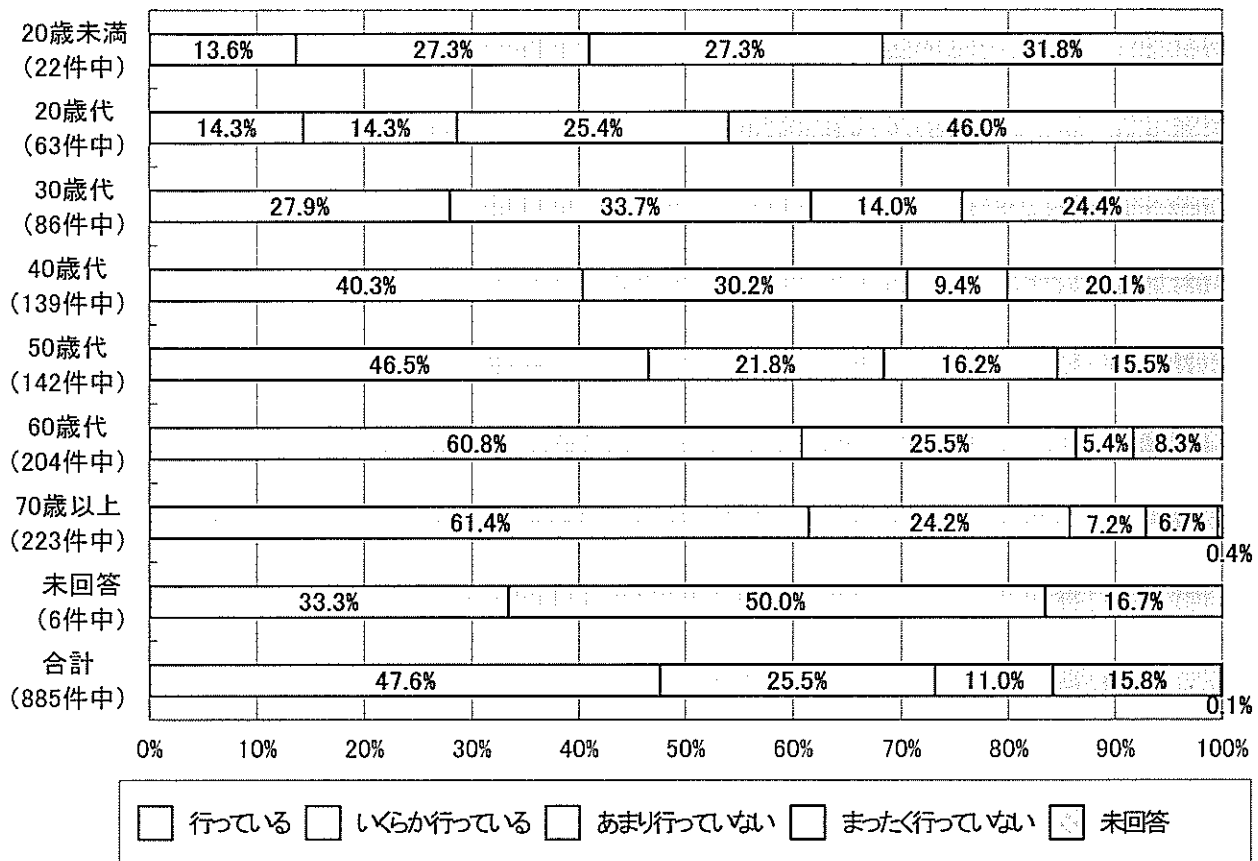
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：②まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します

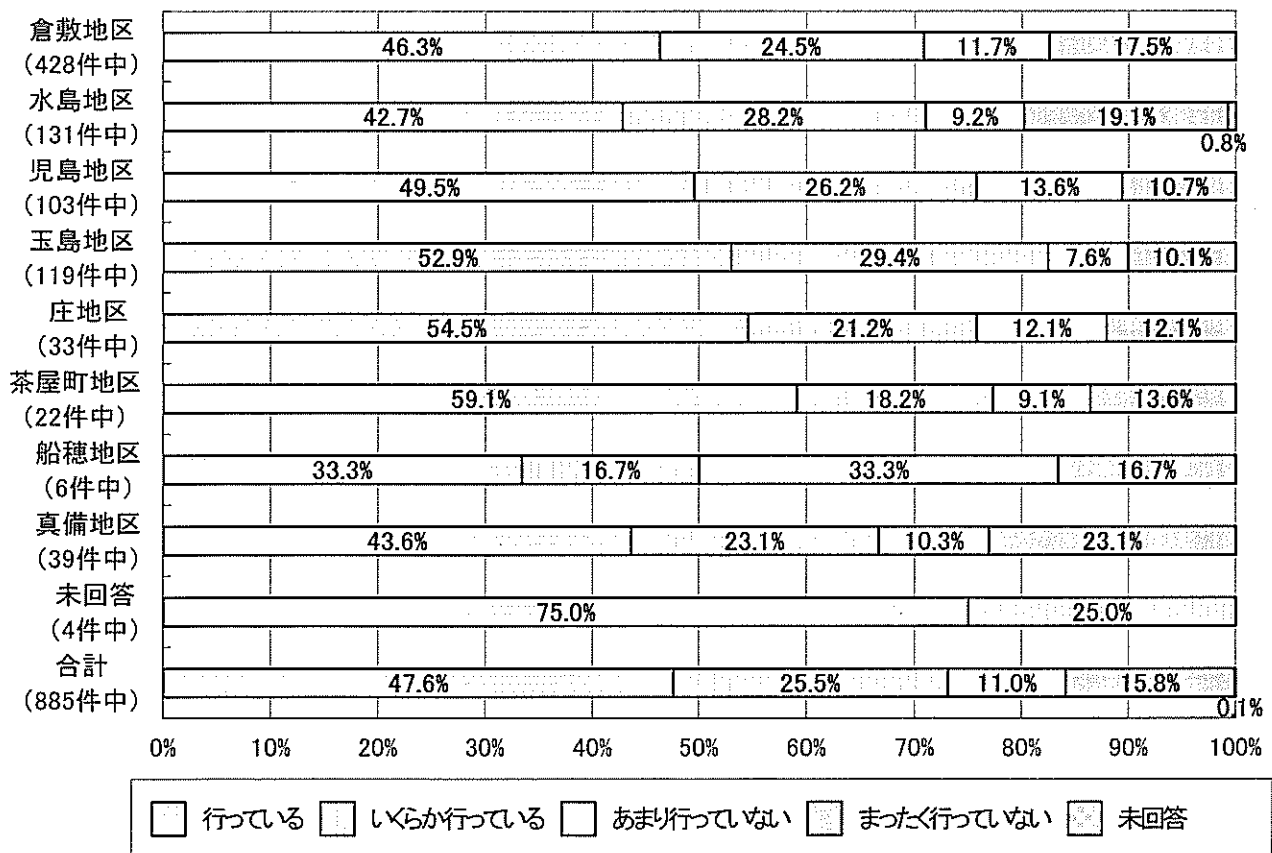
	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
行っている	50.3%	47.6%(44.5)	58%	65%



【グラフ3:年齢別・回答構成比率】

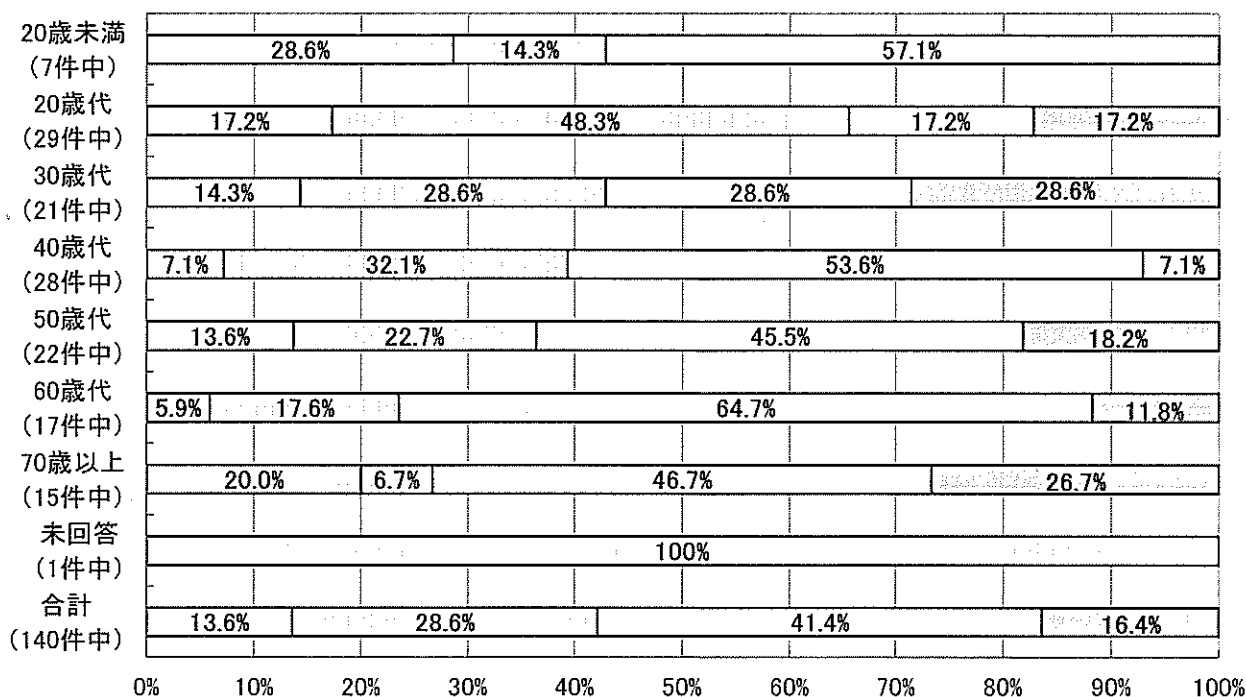


【グラフ3:地域別・回答構成比率】



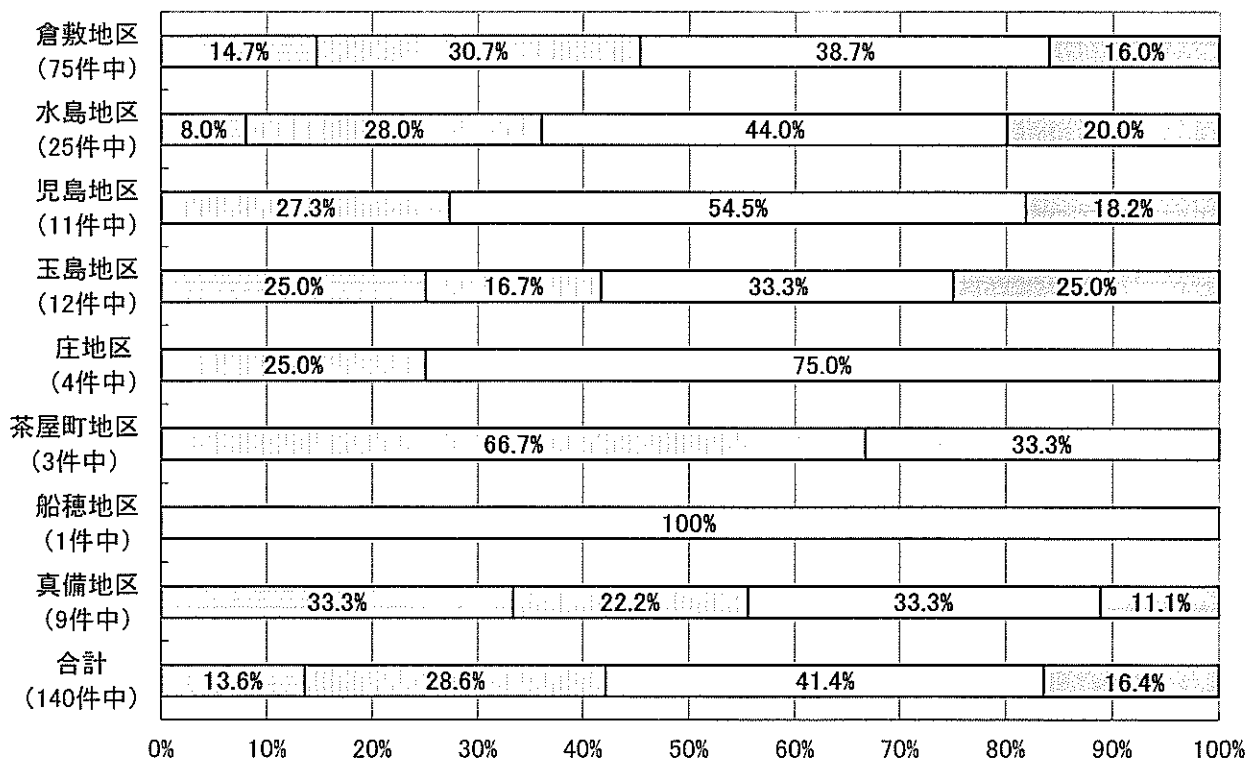
《問3-1》問3で「4. まったく行っていない」と答えた方におたずねします。行っていない理由がありますか。

【グラフ3-1:年齢別・回答構成比率】



☐ 関心はあるが、何をしたらいいのかわからない
 ☐ 関心はあるが、庭などの場所がない
 ☐ 関心がない
 ☐ その他()

【グラフ3-1:地域別・回答構成比率】



☐ 関心はあるが、何をしたらいいのかわからない
 ☐ 関心はあるが、庭などの場所がない
 ☐ 関心がない
 ☐ その他()

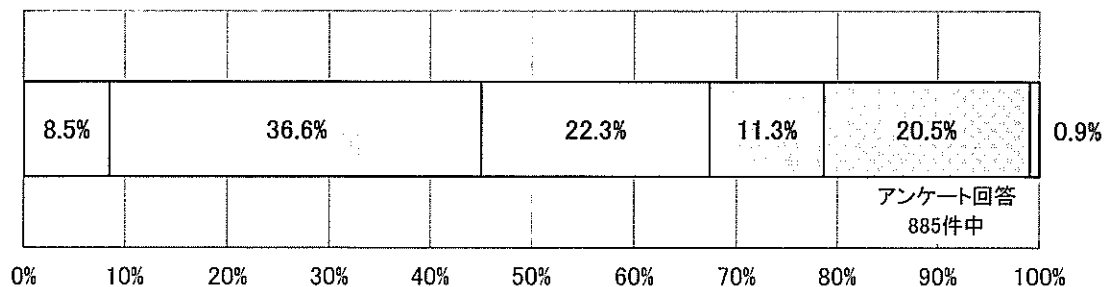
《問3－1》問3で「4. まったく行っていない」と答えた方におたずねします。
行っていない理由がありますか。

※その他(カッコ内回答)

1	病気
2	虫が苦手
3	時間がない
4	植えた花がとられる
5	身体的要因
6	家族の誰かに一任
7	手順方法等がわからない
8	仕事により時間がない
9	育てられない
10	集合住宅のため

《問 4》 地域の個性や生活・文化を活かした景観づくりができていますか。

【グラフ 4：合計・回答構成比率】

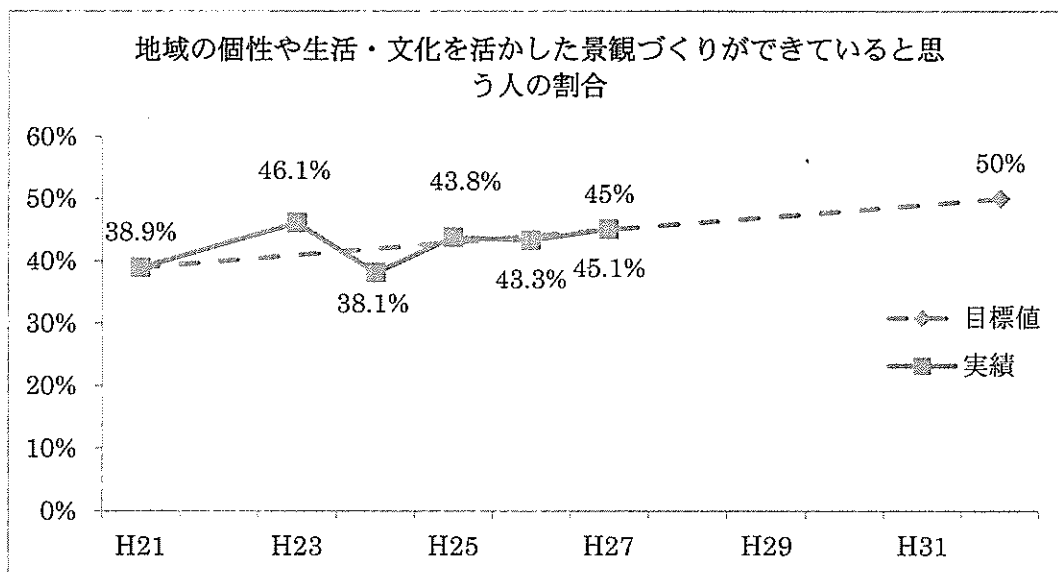


☐ できている ☐ どちらかというとできている ☐ どちらかというとできていない ☐ できていない ☐ わからない ☐ 未回答

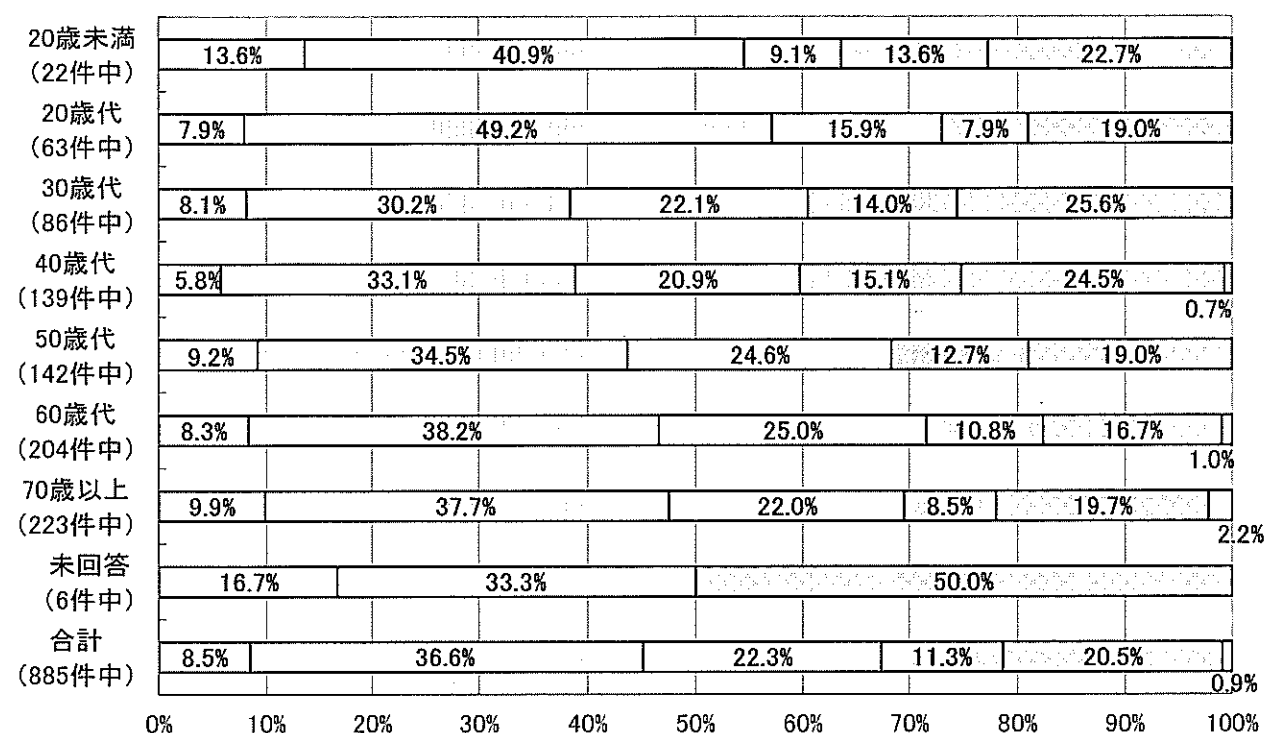
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：③瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します

	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
できている＋どちらかというとできている	38.9%	45.1%(43.3)	45%	50%

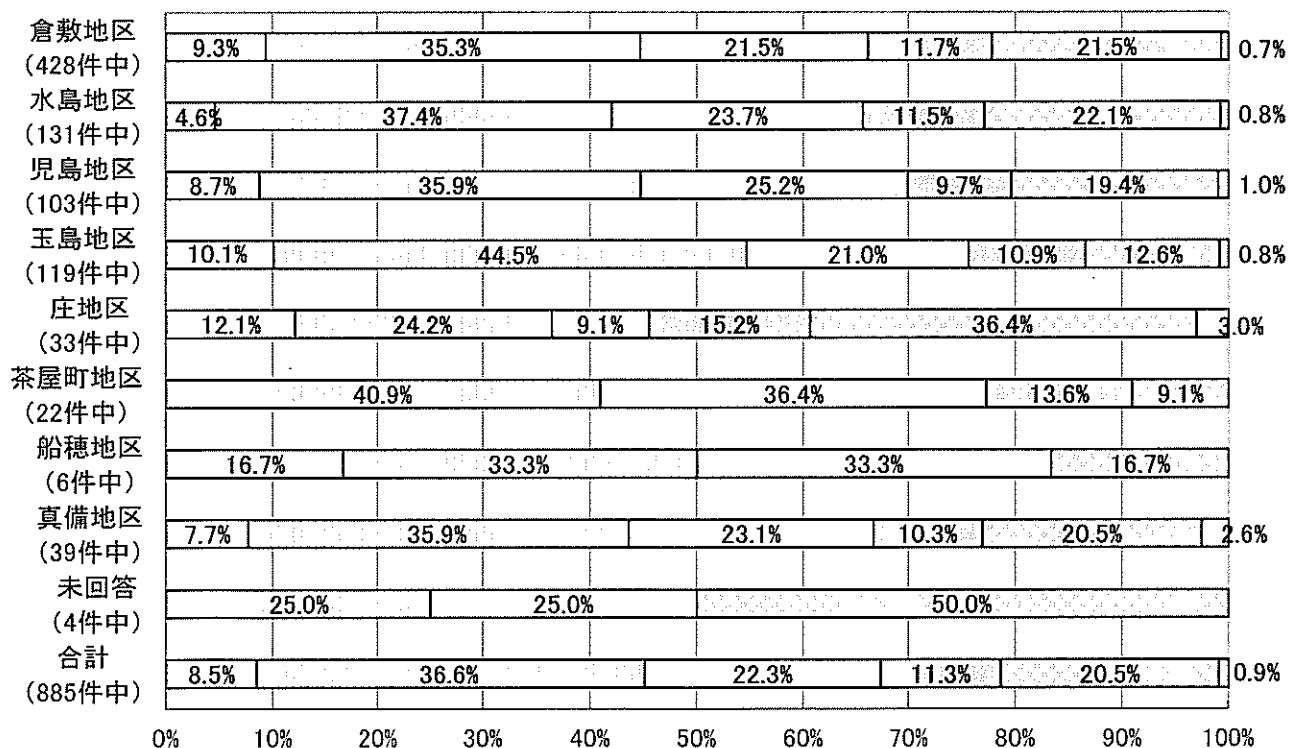


【グラフ4：年齢別・回答構成比率】



☐ できている
 ☐ どちらかというときている
 ☐ どちらかというときていない
 ☐ できていない
 ☐ わからない
 ☐ 未回答

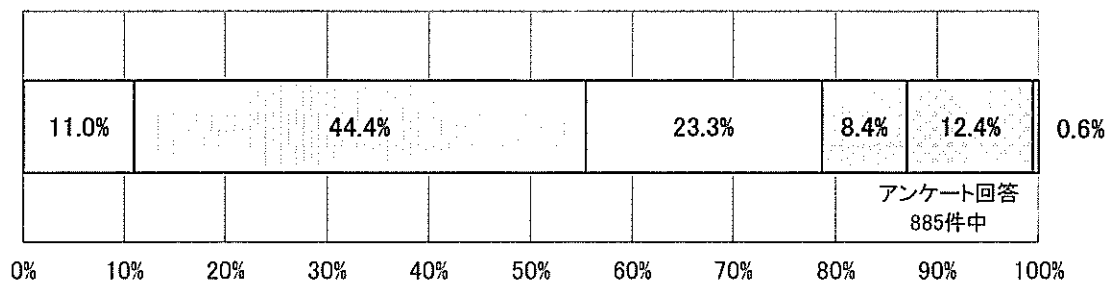
【グラフ4：地域別・回答構成比率】



☐ できている
 ☐ どちらかというときている
 ☐ どちらかというときていない
 ☐ できていない
 ☐ わからない
 ☐ 未回答

《問 5》 身近な生活環境の中での眺め（景観）に満足していますか。

【グラフ 5：合計・回答構成比率】

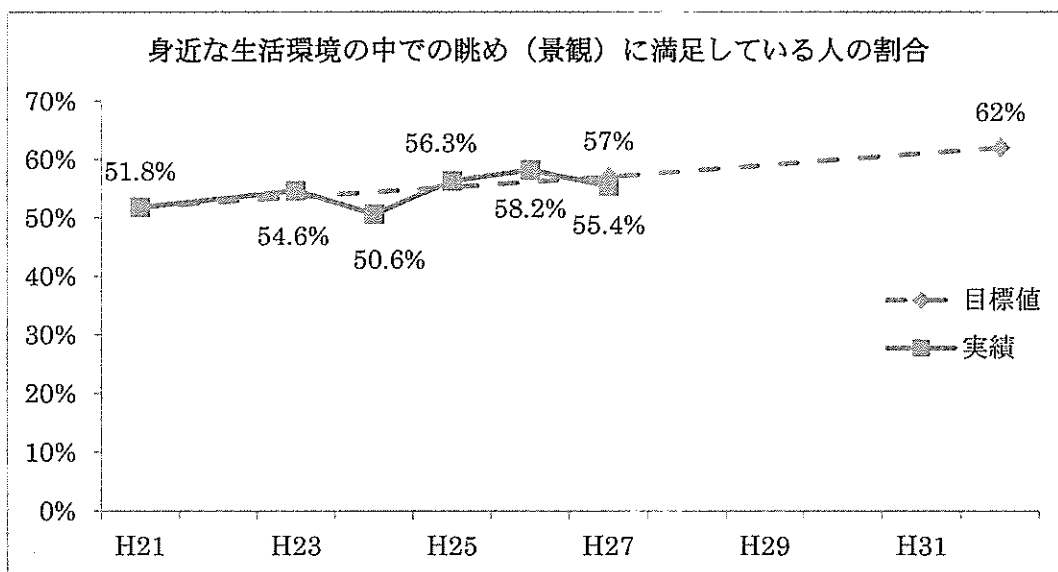


☐ 満足
 ☐ どちらかという満足
 ☐ どちらかという不満
 ☐ 不満
 ☐ わからない
 ☐ 未回答

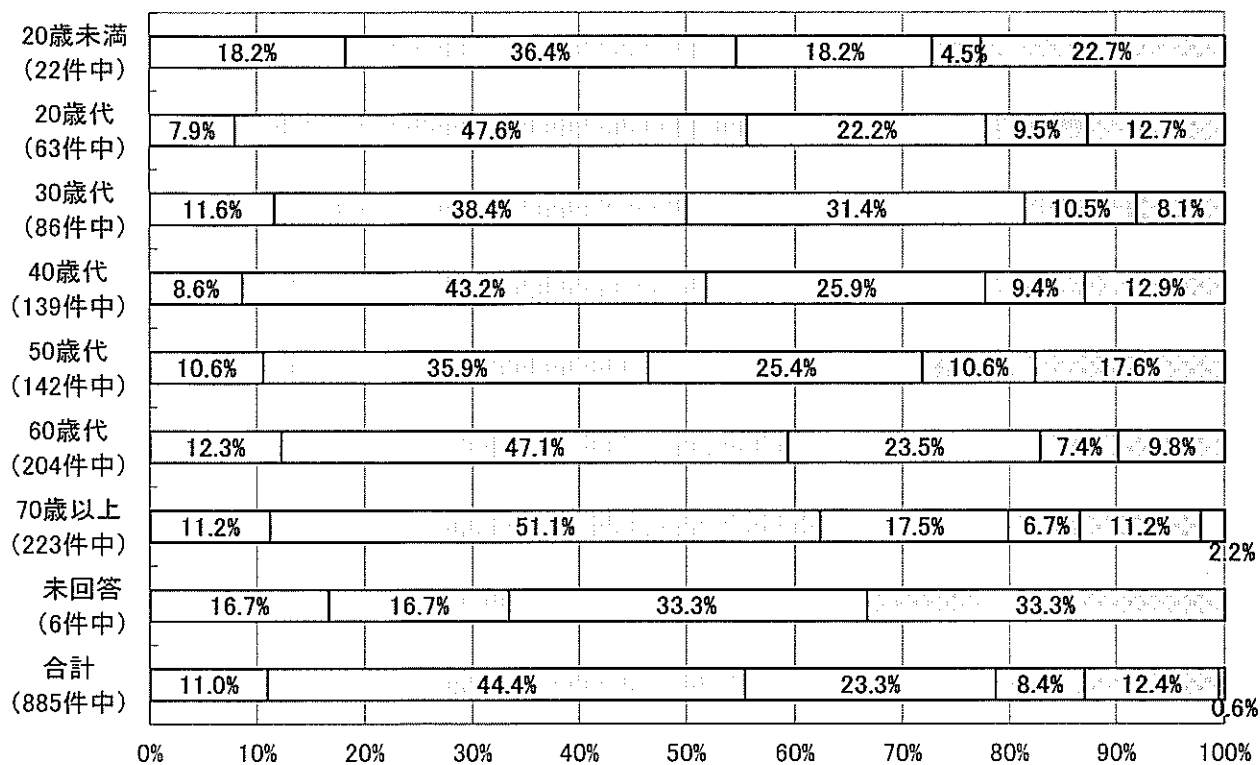
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：③瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します

	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
満足＋どちらかという満足	51.8%	55.4%(58.2)	57%	62%

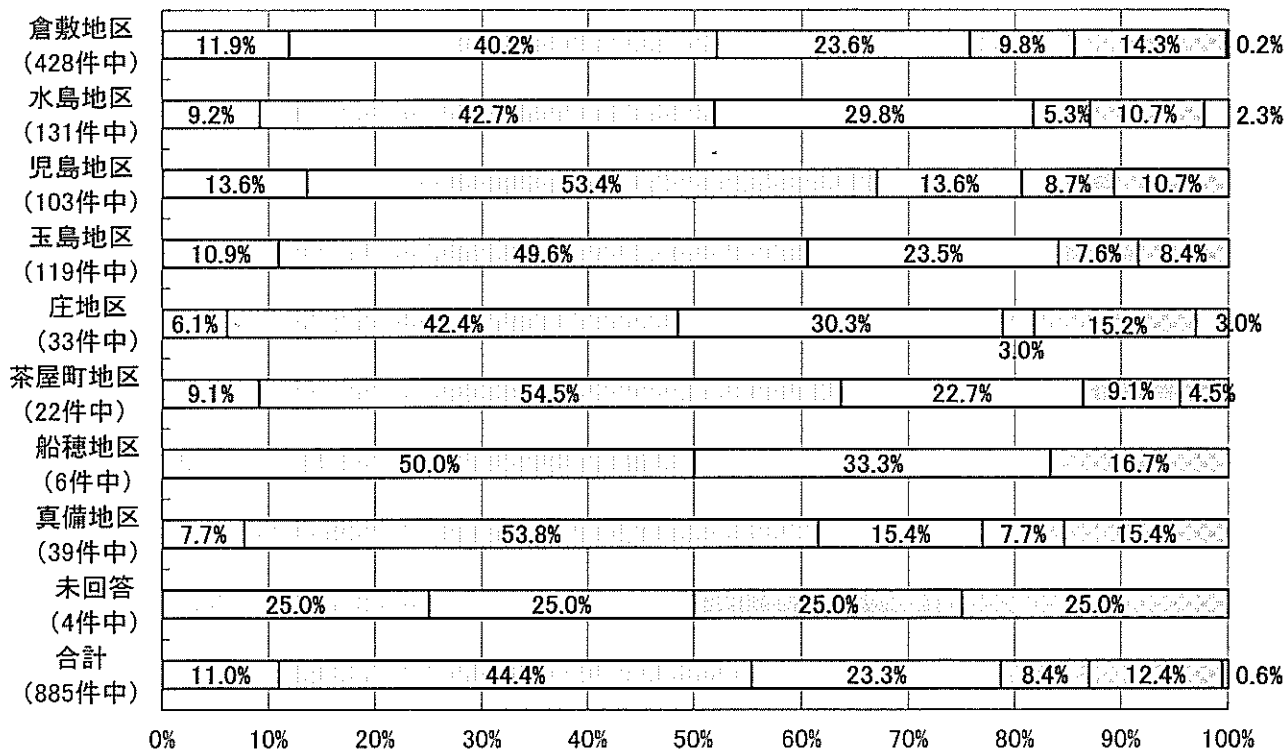


【グラフ5:年齢別・回答構成比率】



☐ 満足
 ☐ どちらかという満足
 ☐ どちらかという不満
 ☐ 不満
 ☐ わからない
 ☐ 未回答

【グラフ5:地域別・回答構成比率】

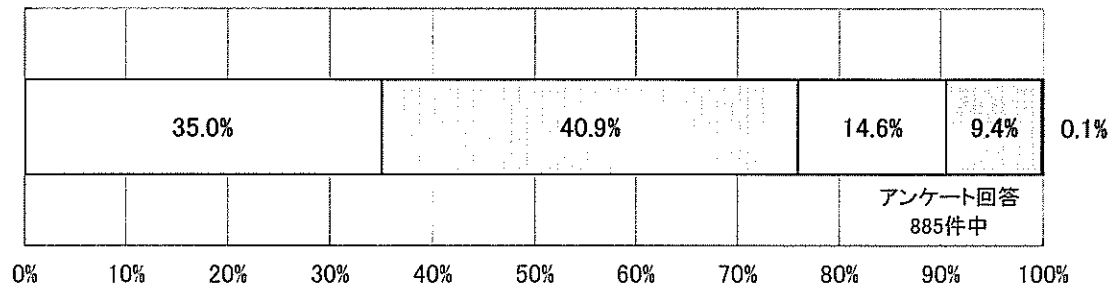


☐ 満足
 ☐ どちらかという満足
 ☐ どちらかという不満
 ☐ 不満

《問 6》 地産地消を心がけていますか。

※「地産地消」とは、「地域で生産されたものを地域で消費する」ことを言います。

【グラフ 6：合計・回答構成比率】

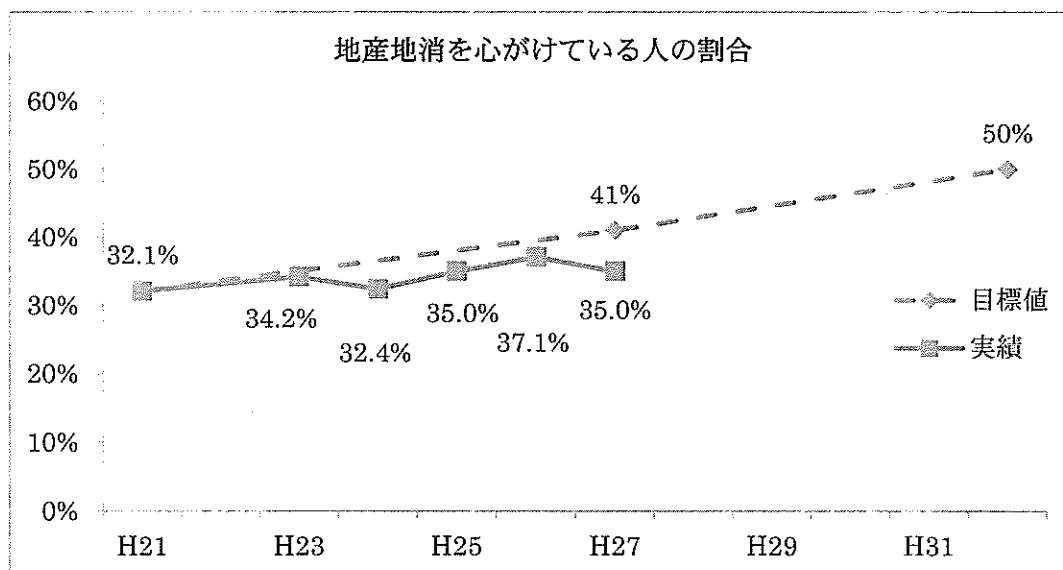


☐ 心がけている
 ☐ どちらかというと心がけている
 ☐ どちらかというと心がけていない
 ☐ 心がけていない
 ☐ 未回答

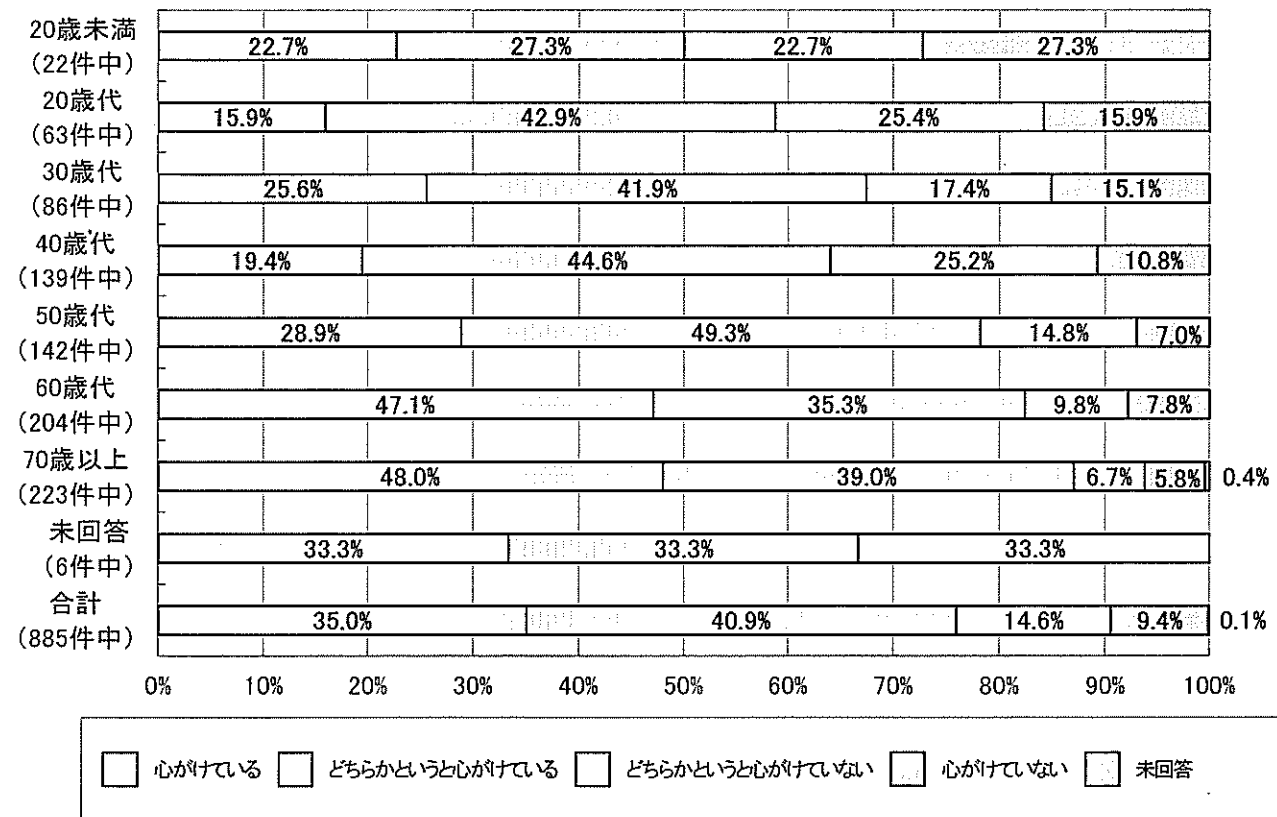
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：④環境と経済の好循環の創出により、地域の活性化を目指します

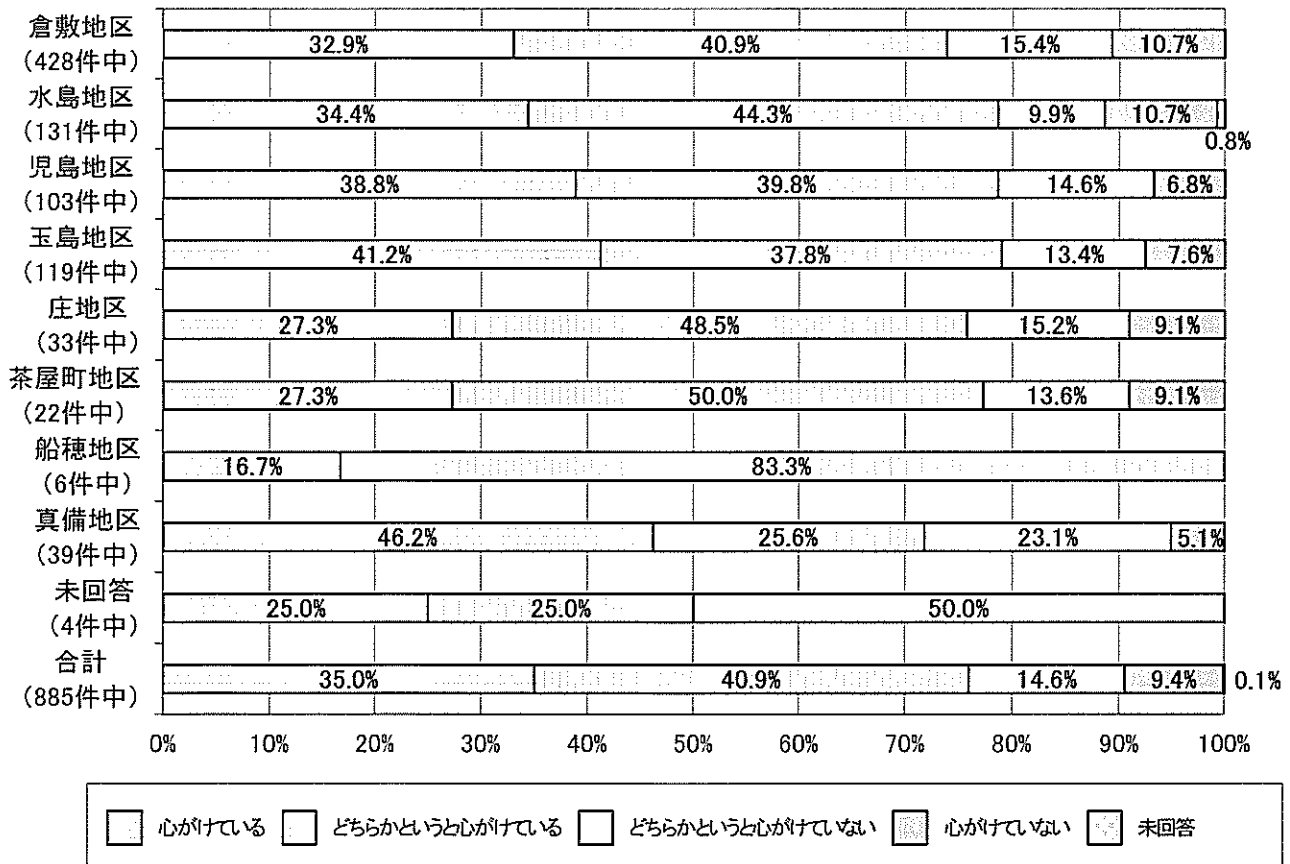
	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
心がけている	32.1%	35.0%(37.1)	41%	50%



【グラフ6：年齢別・回答構成比率】

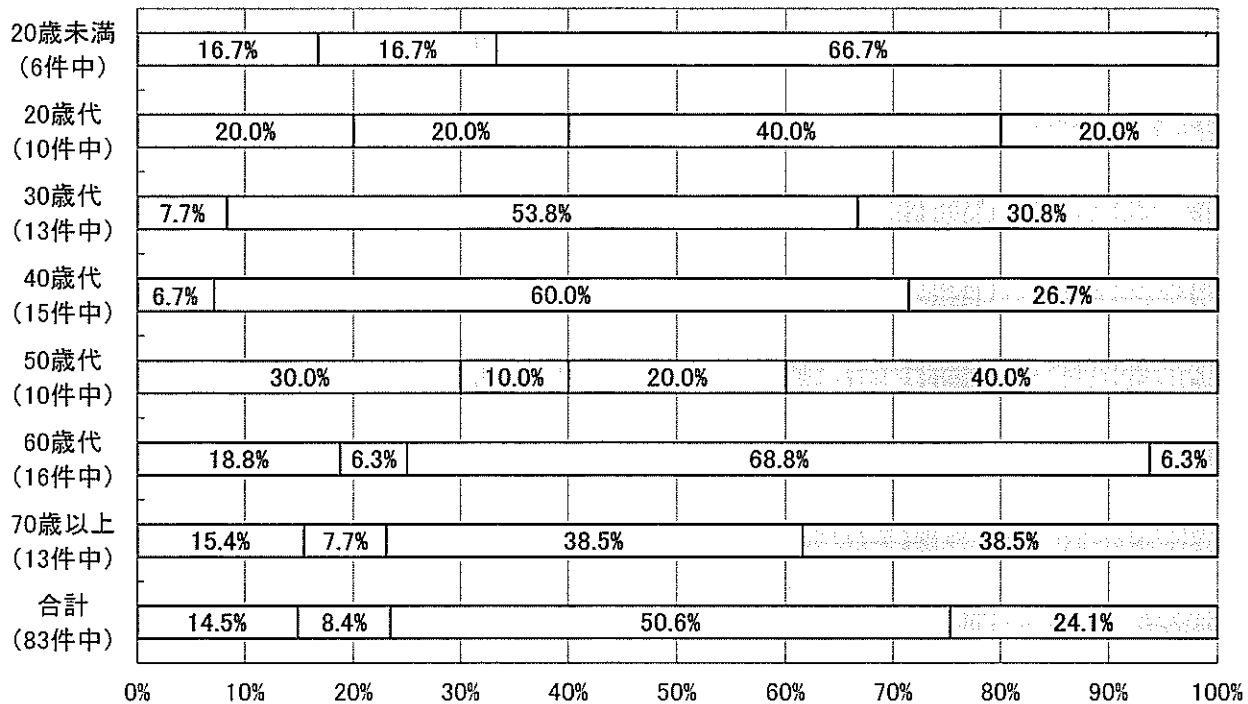


【グラフ6：地域別・回答構成比率】



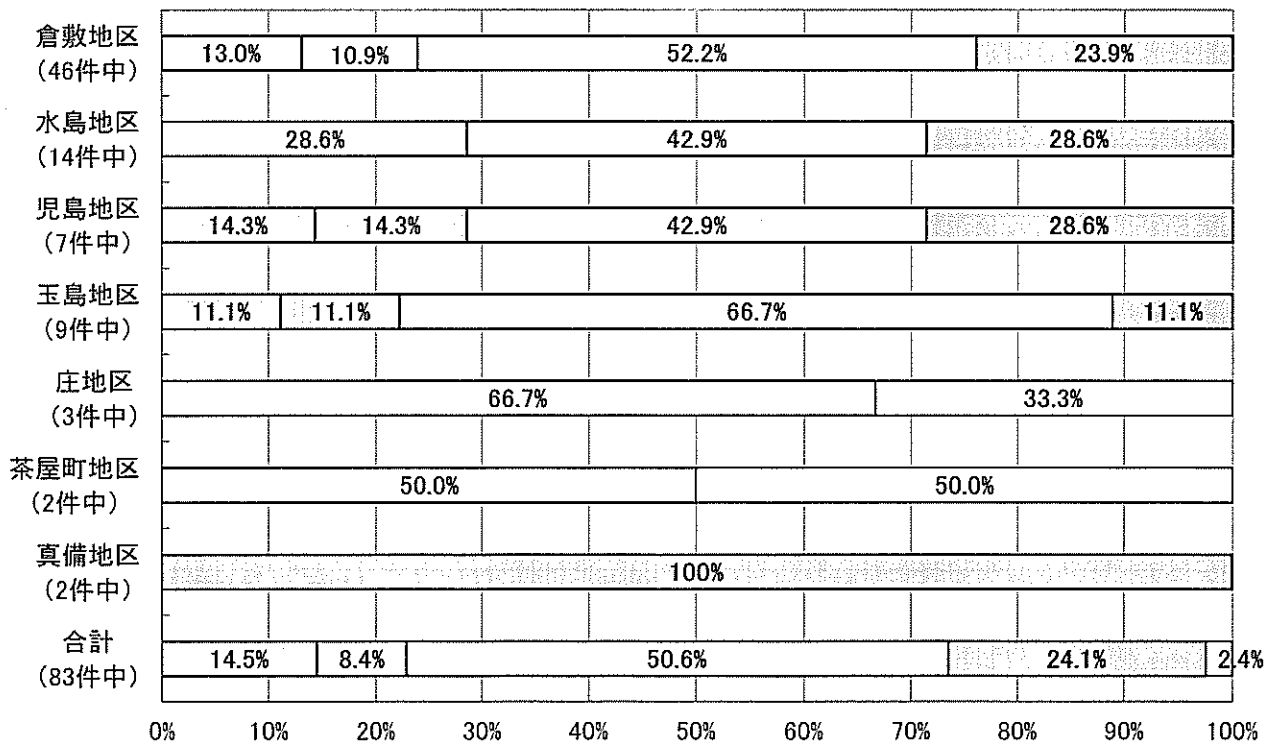
《問6-1》問6で「4. 心がけていない」と答えた方におたずねします。心がけていない理由がありますか。

【グラフ6-1:年齢別・回答構成比率】



☐ 興味はあるが、何をしたらいいのかわからない ☐ 地産地消がどうしても大切なのかわからない ☐ 関心がない ☐ その他()

【グラフ6-1:地域別・回答構成比率】



☐ 興味はあるが、何をしたらいいのかわからない ☐ 地産地消がどうしても大切なのかわからない ☐ 関心がない ☐ その他() ☐ 未回答

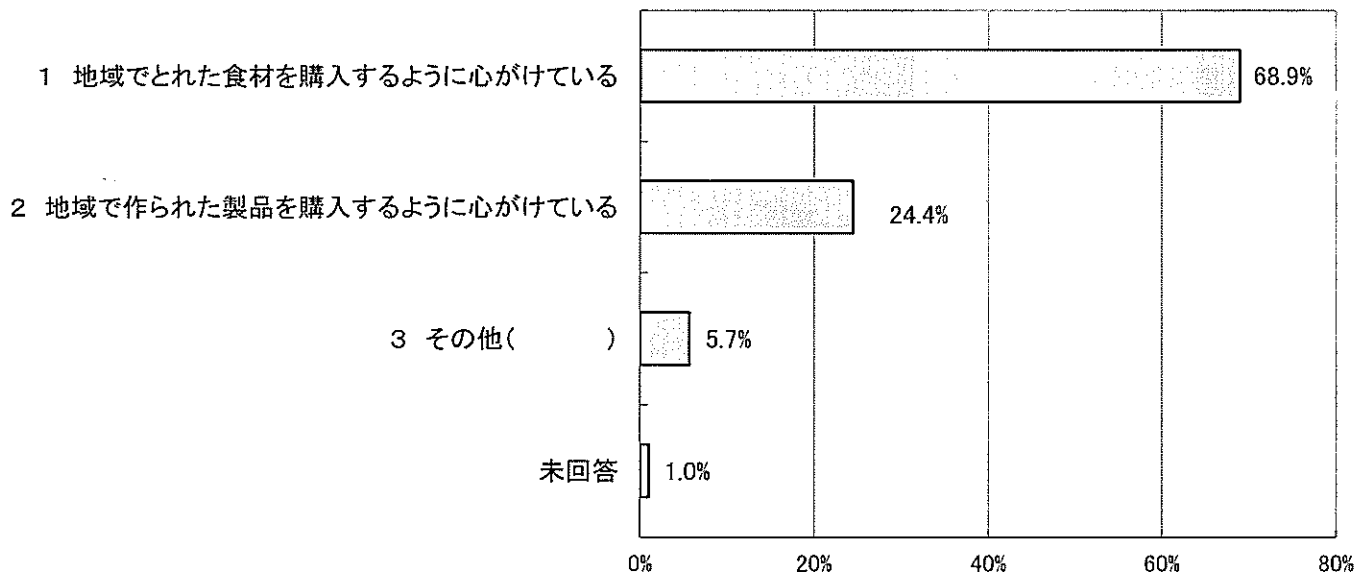
《問6－1》問6で「4. 心がけていない」と答えた方におたずねします。心がけていない理由がありますか。

※その他(カッコ内回答) 要約

1	家族の誰かに任せている
2	購入できる場所がわからない
3	購入する店が決まっている（その店に売っていない）
4	自炊をしない
5	高齢のため
6	値段を優先
7	各地域の特産物のほうがおいしそう
8	集団でそれ以外を排他する風潮のほうがむしろ怖い
9	空気、水が悪いので野菜は食べられない。
10	どんなものが地産なのかが分からない
11	メリットが感じられない
12	施設に入っている

《問6－2》問6で「1. 心がけている」と答えた方におたずねします。
どのようなことに心がけていますか。（複数回答可）

【グラフ6－2:回答構成比率】



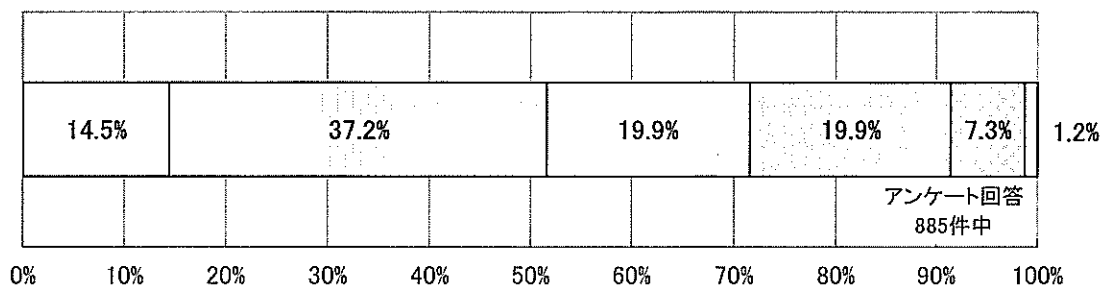
※その他(カッコ内回答)

1	自分の畑がある（自家消費含む）
2	地元の漁具類
3	朝市に出店している
4	家庭菜園（自家消費含む）
5	県外の知人友人へ SNS を通じて様々な物産情報を提供している
6	自分で釣った魚を近所や知り合いの人に配る
7	地域の魚市場、JA の朝市を利用

※問6で「1. 心がけている」と答えた方は、310人でした。

《問 7》 身近な空気がきれいに保たれていると感じていますか。

【グラフ 7 : 合計・回答構成比率】

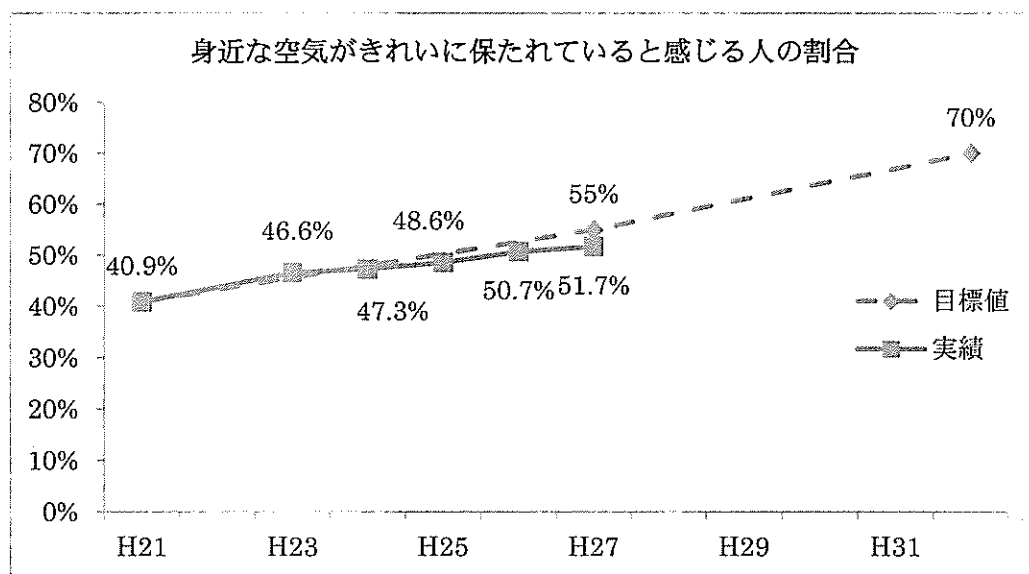


☐ 感じている ☐ どちらかというと感じている ☐ どちらかというと感じていない ☐ 感じていない ☐ わからない ☐ 未回答

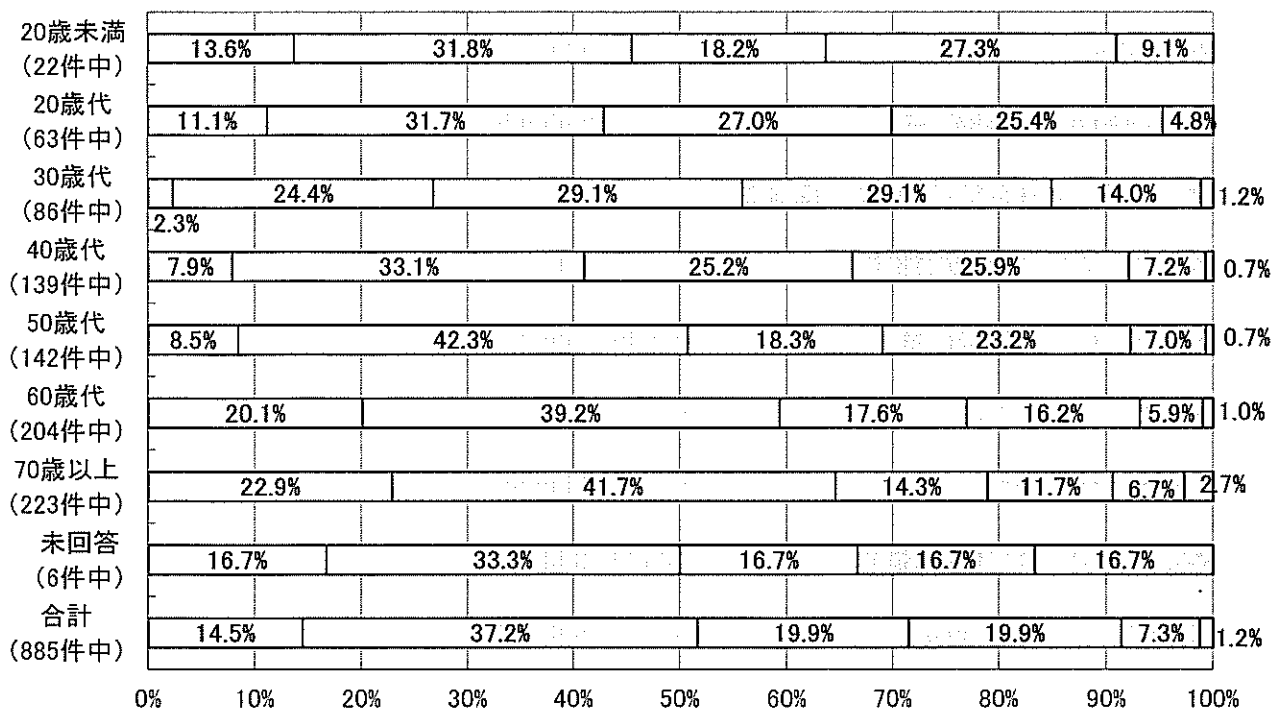
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：⑥クリーンな大気環境の保全に努めます

	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
感じている＋どちらかというと感じている	40.9%	51.7%(50.7)	55%	70%

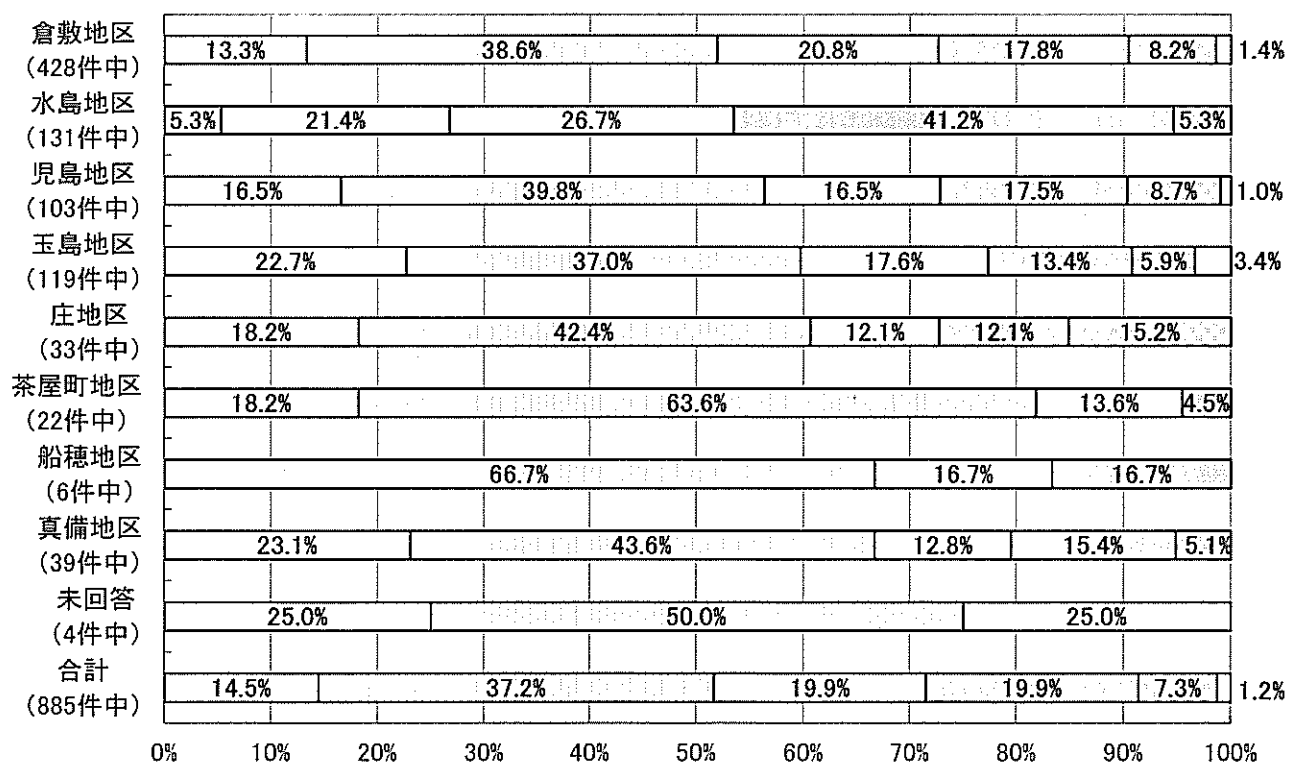


【グラフ7:年齢別・回答構成比率】



☐ 感じている
 ☐ どちらかというと感じている
 ☐ どちらかというと感じていない
 ☐ 感じていない
 ☐ わからない
 ☐ 未回答

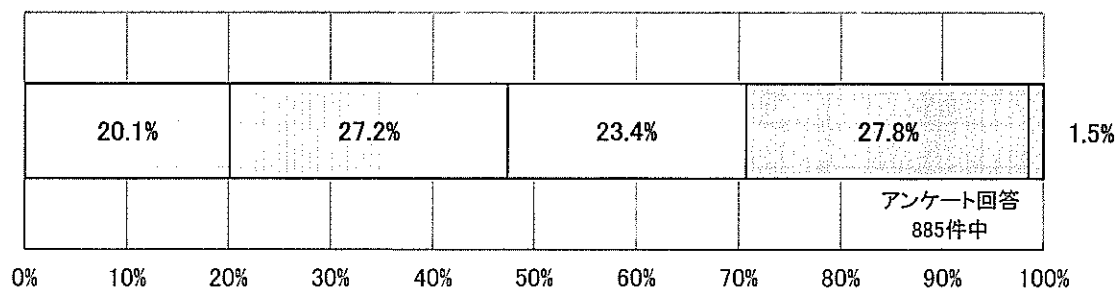
【グラフ7:地域別・回答構成比率】



☐ 感じている
 ☐ どちらかというと感じている
 ☐ どちらかというと感じていない
 ☐ 感じていない
 ☐ わからない
 ☐ 未回答

《問 8》 通勤通学や日常の移動手段として、自転車・徒歩や公共交通機関を利用していますか。
 ※車の使用を抑えることで、CO₂削減による地球温暖化防止や排気ガス削減による大気汚染の防止につながります。

【グラフ 8：合計・回答構成比率】

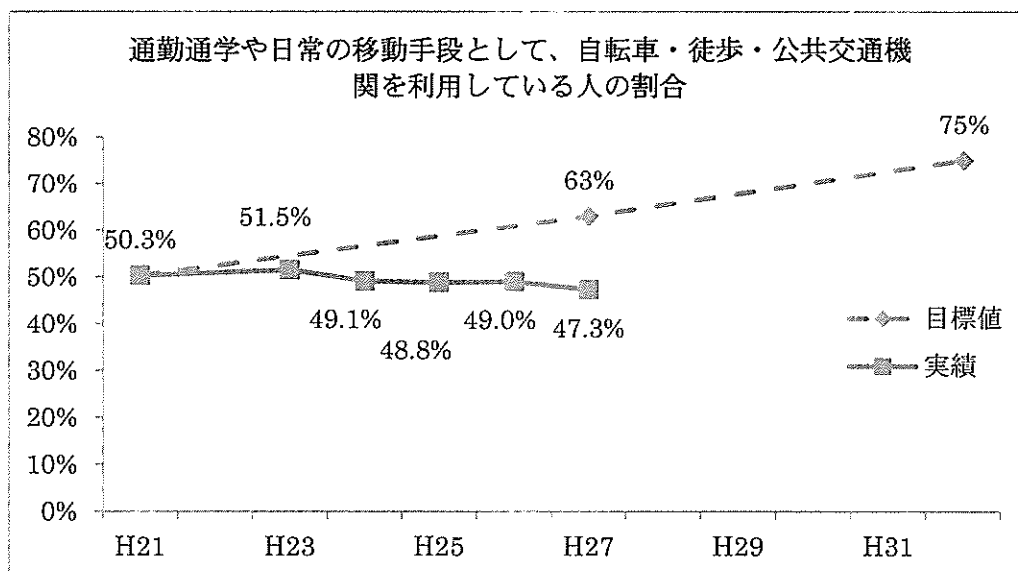


☐ 常にしている ☐ ときどきしている ☐ あまりしていない ☐ まったくしていない ☐ 未回答

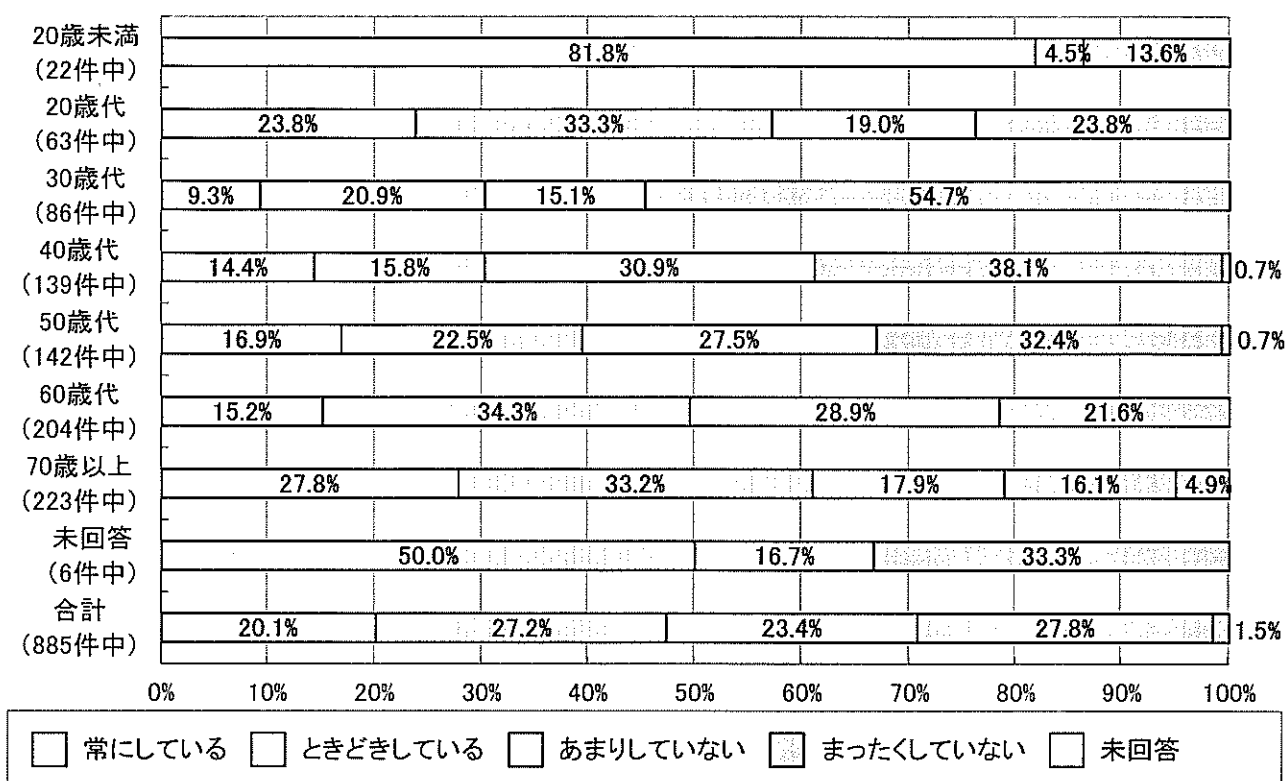
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：⑥クリーンな大気環境の保全に努めます

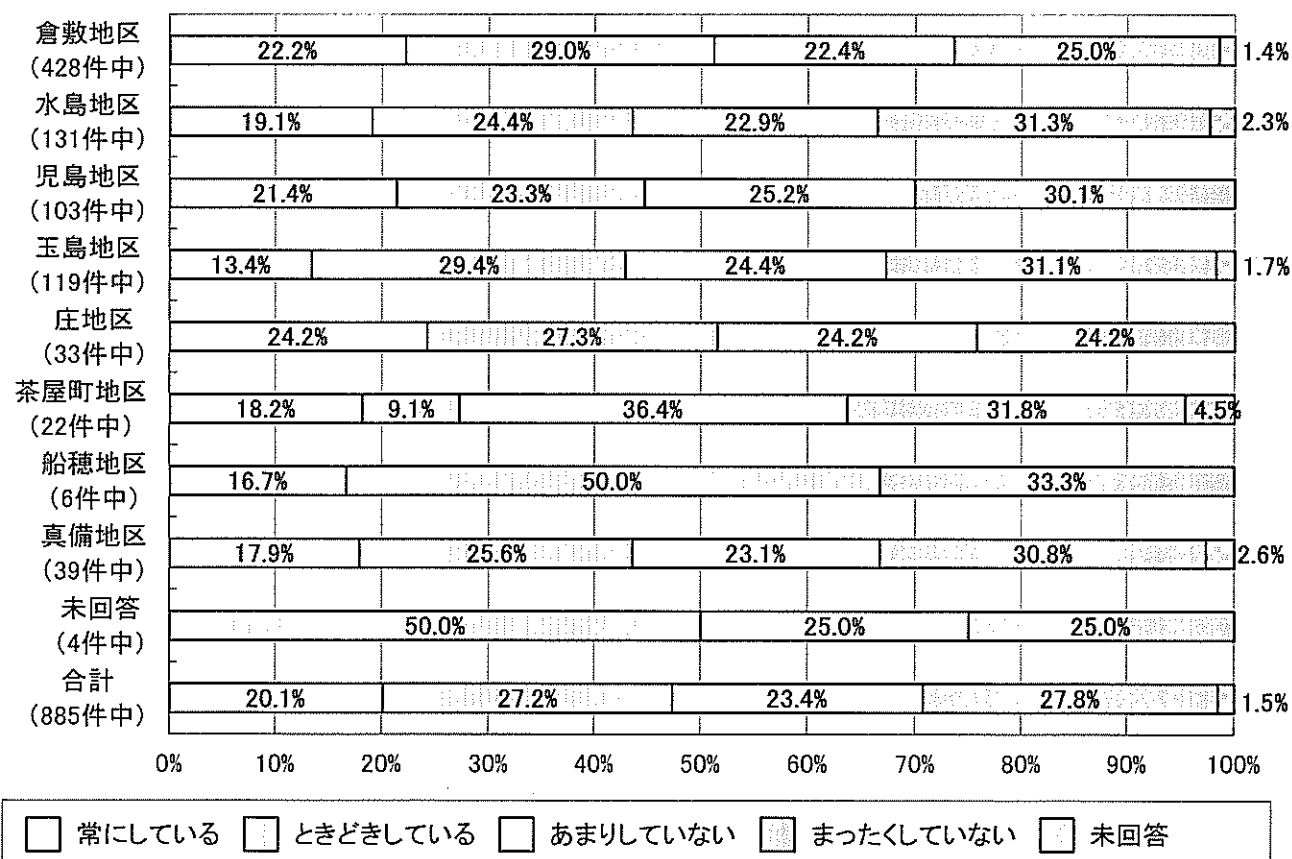
	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
常にしている＋ときどきしている	50.3%	47.3%(49.0)	63%	75%



【グラフ8：年齢別・回答構成比率】

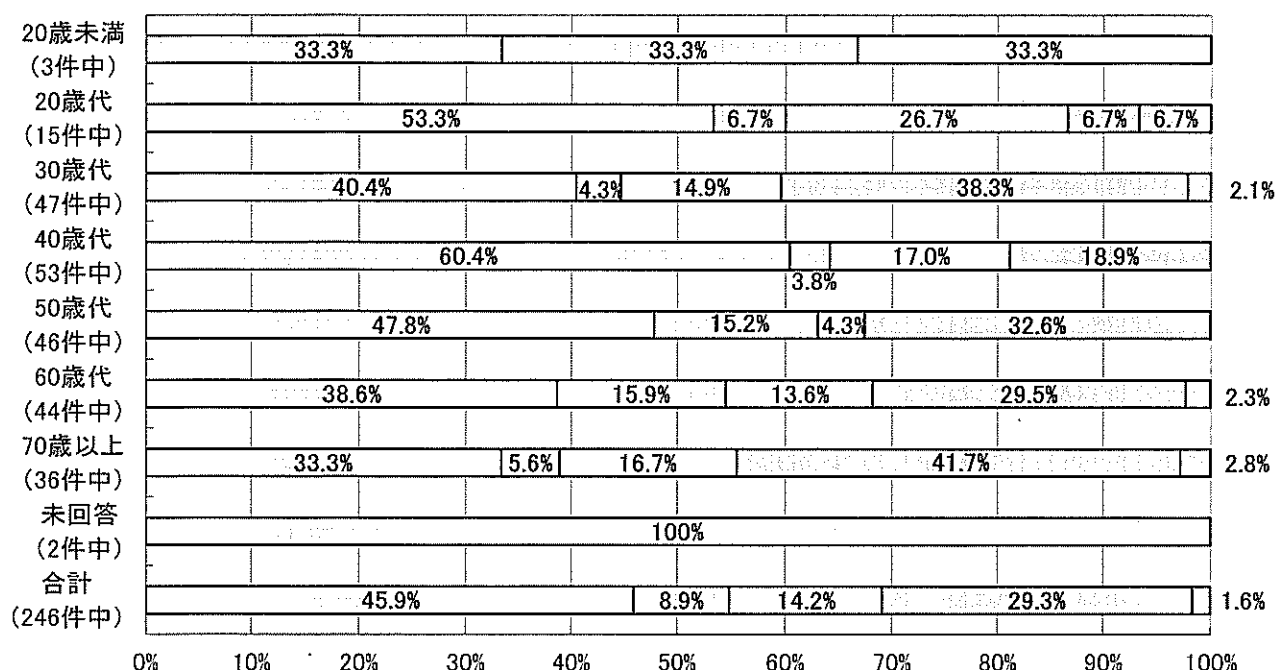


【グラフ8：地域別・回答構成比率】



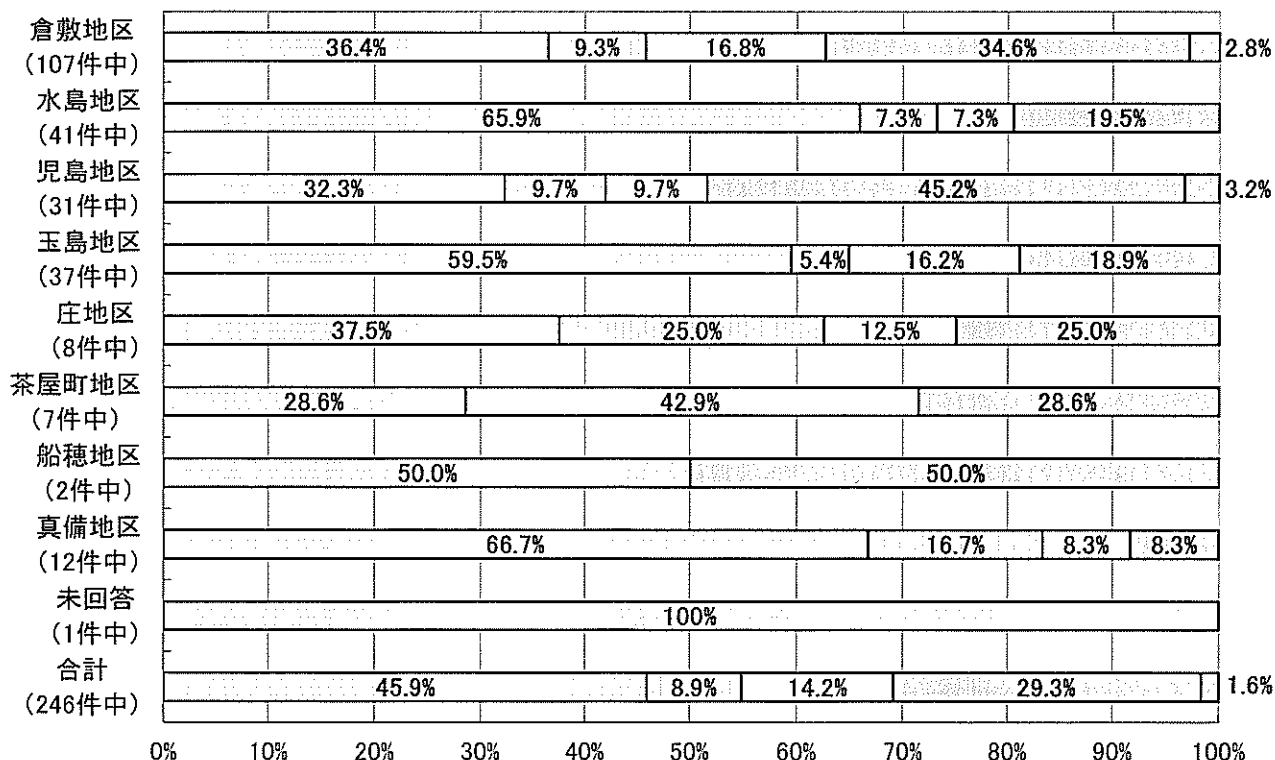
《問8-1》問8で「4. まったくしていない」と答えた方におたずねします。
していない理由がありますか。

【グラフ8-1:年齢別・回答構成比率】



☐ 利用したいが、利用できる公共交通機関がない ☐ 車の使用を控えることで特に効果があるとは思わない ☐ 関心がない ☐ その他() ☐ 未回答

【グラフ8-1:地域別・回答構成比率】



☐ 利用したいが、利用できる公共交通機関がない ☐ 車の使用を控えることで特に効果があるとは思わない ☐ 関心がない ☐ その他() ☐ 未回答

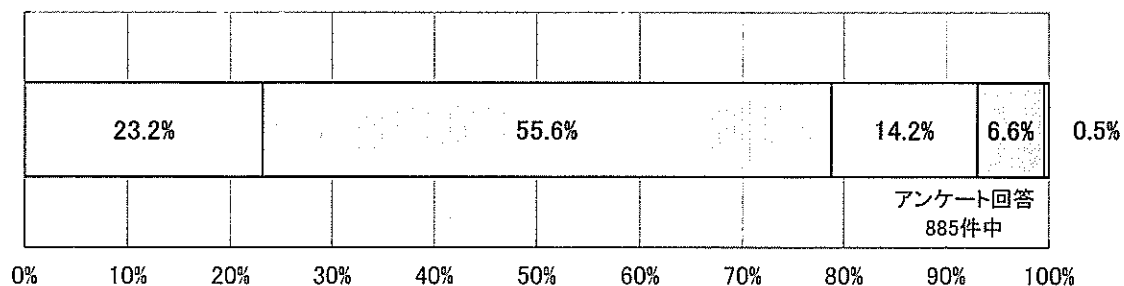
《問8－1》問8で「4. まったくしていない」と答えた方におたずねします。
していない理由がありますか。

※その他(カッコ内回答) 要約

1	公共交通機関がない(時間がかかる)
2	歩くのが苦手
3	病気のため
4	幼齢の子供がいる
5	車の方が便利
6	身体的要因
7	仕事で使用する
8	荷物が多い
9	障がいがあるため
10	高齢のため
11	個人が心掛けていても変わらないと思う
12	外出しない

《問 9》 日頃の生活の中で、水環境の改善（水や水辺を汚さない、きれいにする）を意識して行動していますか。

【グラフ 9：合計・回答構成比率】

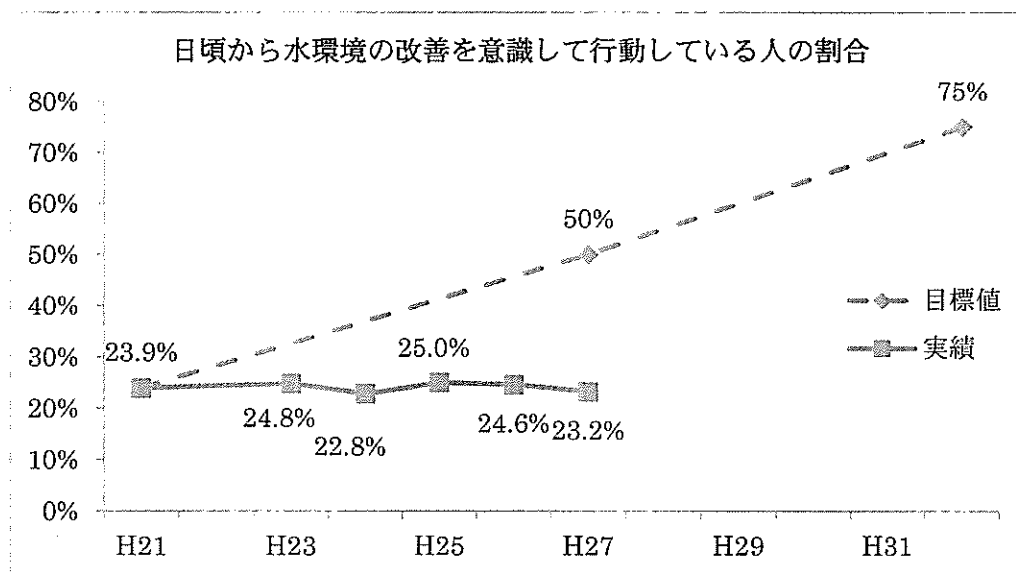


☐ いつもしている ☐ どちらかというとしている ☐ どちらかというとしていない ☐ していない ☐ 未回答

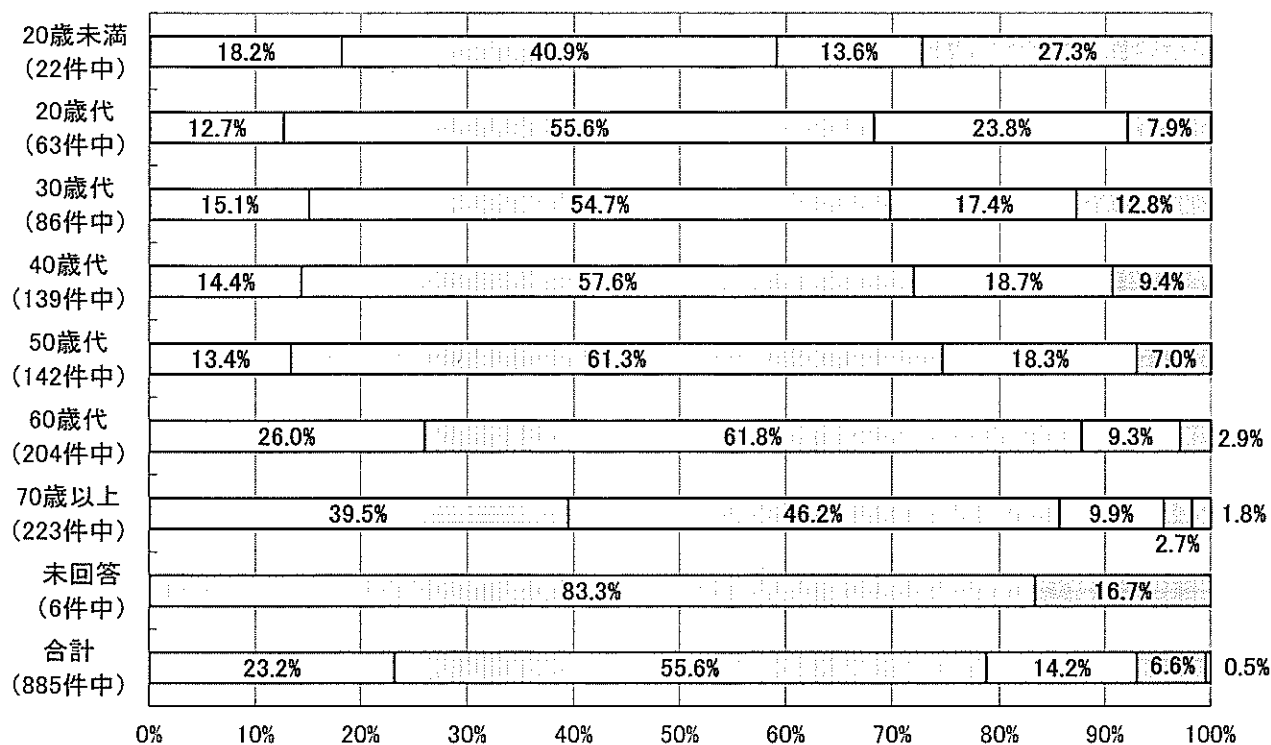
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：⑤良好な水環境の保全に努めます

	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
いつもしている	23.9%	23.2%(24.6)	50%	75%

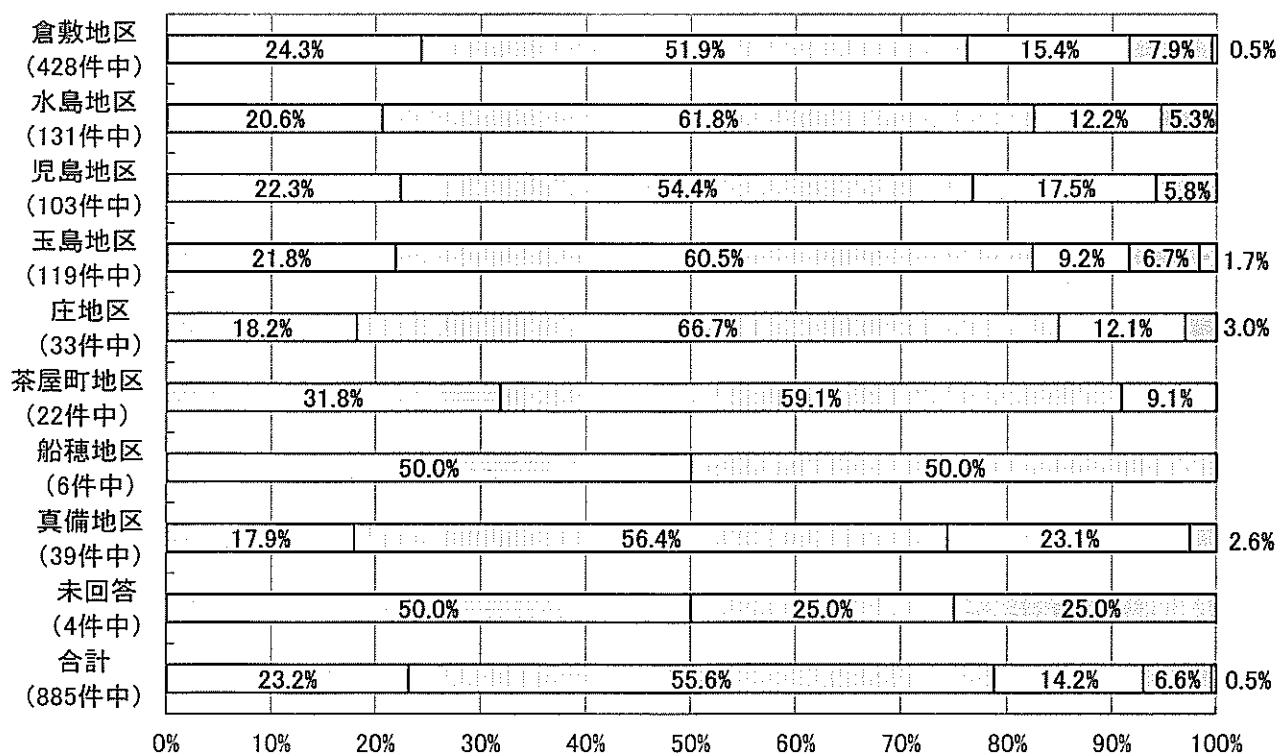


【グラフ9:年齢別・回答構成比率】



☐ いつもしている
 ☐ どちらかというとしている
 ☐ どちらかというとしていない
 ☐ していない
 ☐ 未回答

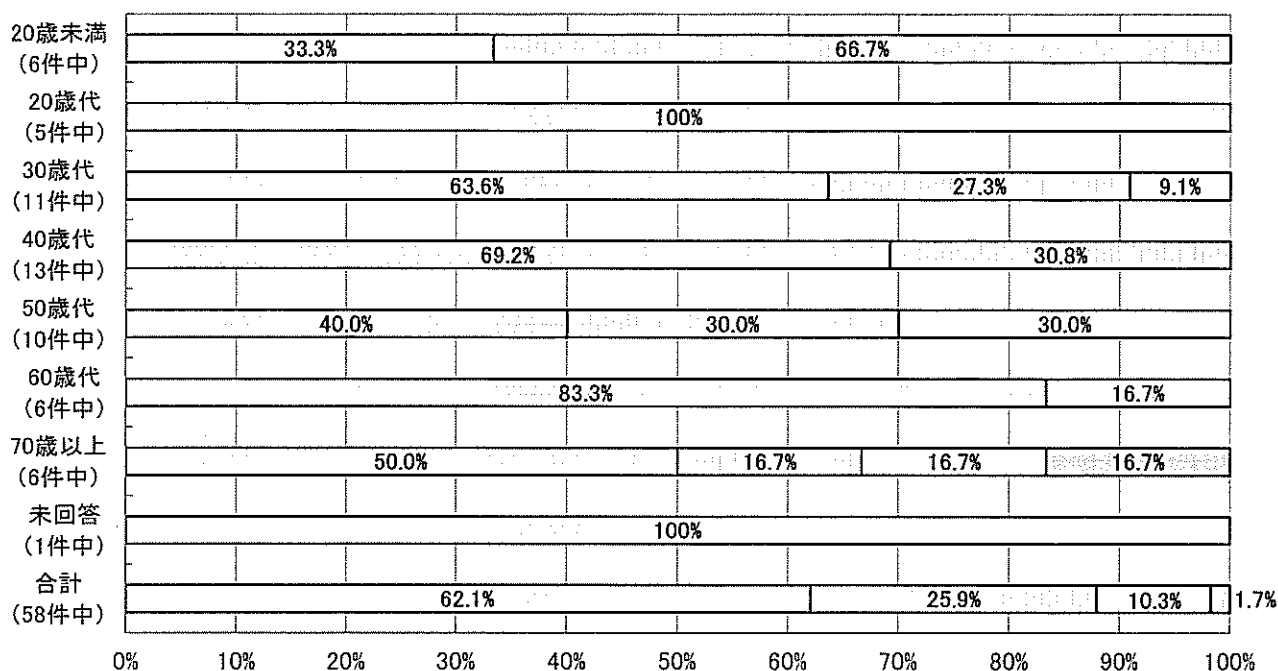
【グラフ9:地域別・回答構成比率】



☐ いつもしている
 ☐ どちらかというとしている
 ☐ どちらかというとしていない
 ☐ していない
 ☐ 未回答

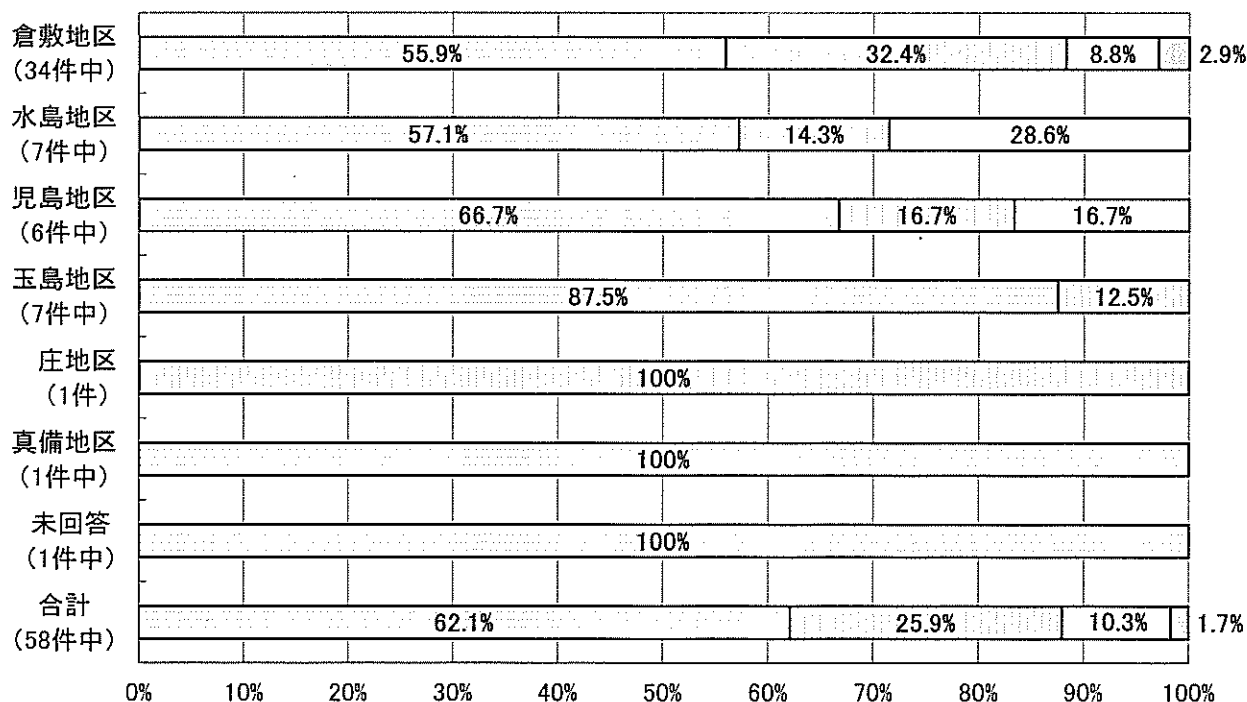
《問9-1》問9で「4. していない」と答えた方におたずねします。
していない理由がありますか。

【グラフ9-1:年齢別・回答構成比率】



□ 日頃の生活の中でどのようなことをしていいのかわからない □ 関心がない □ その他() □ 未回答

【グラフ9-1:地域別・回答構成比率】



□ 日頃の生活の中でどのようなことをしていいのかわからない □ 関心がない □ その他() □ 未回答

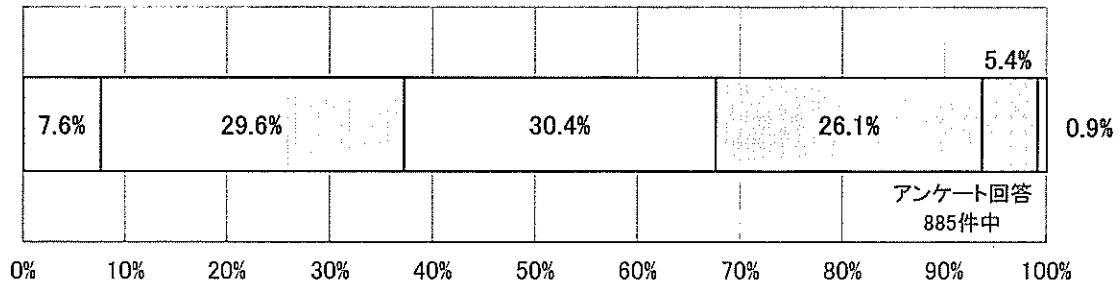
《問9－1》問9で「4. していない」と答えた方におたずねします。
していない理由がありますか。

※その他(カッコ内回答)

1	高齢のため
2	特別に汚してはいないから

《問 10》 身近な河川・用水路がきれいで流れ豊かな水辺になっていると感じていますか。

【グラフ 10：合計・回答構成比率】

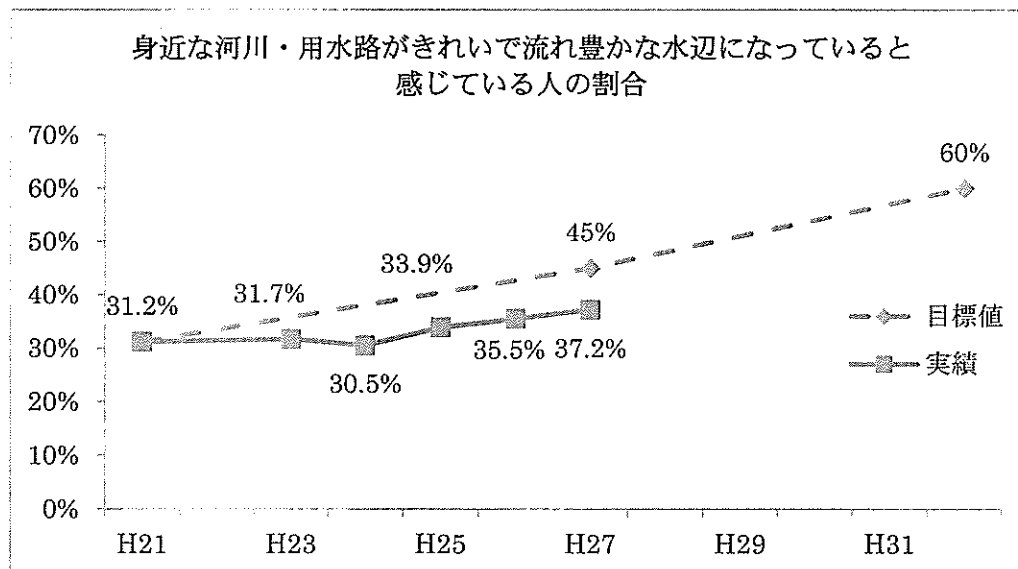


☐ 感じている ☐ どちらかというと感じている ☐ どちらかというと感じていない ☐ 感じていない ☐ わからない ☐ 未回答

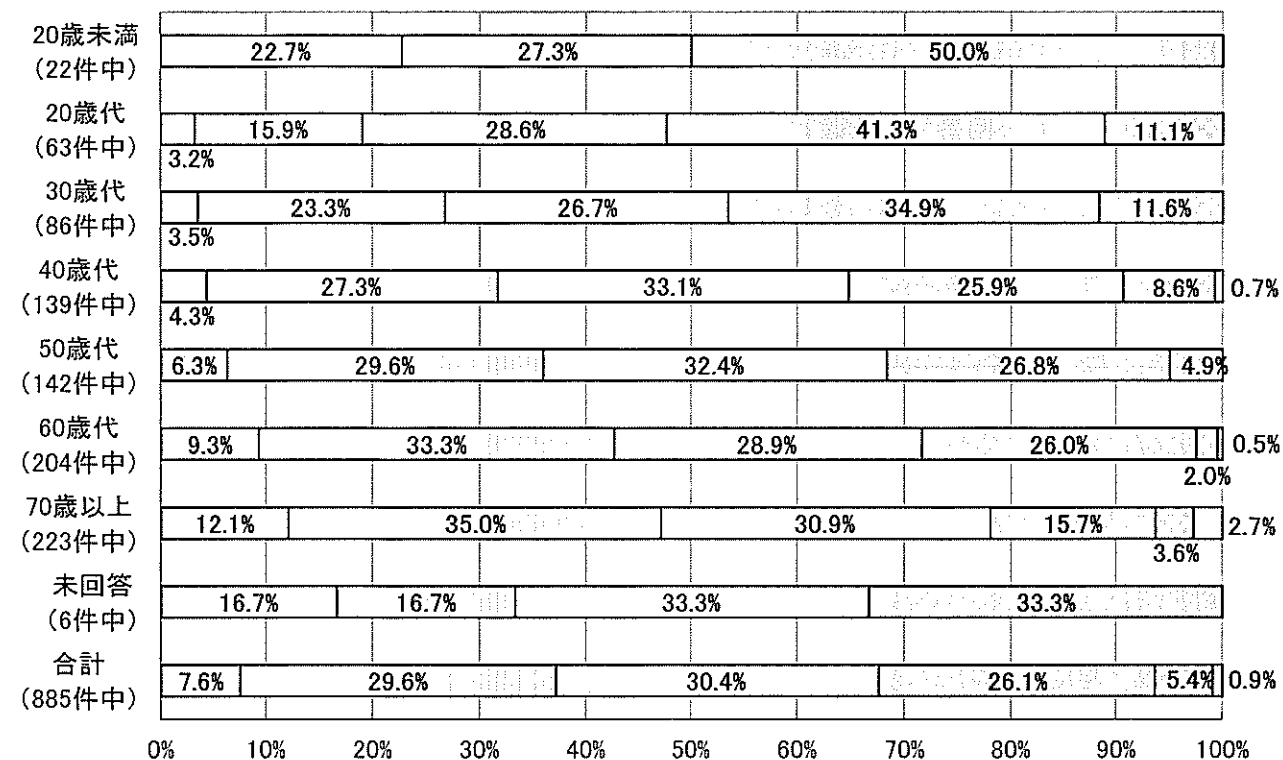
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：⑤良好な水環境の保全に努めます

	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
感じている＋どちらかというと感じている	31.2%	37.2%(35.5)	45%	60%

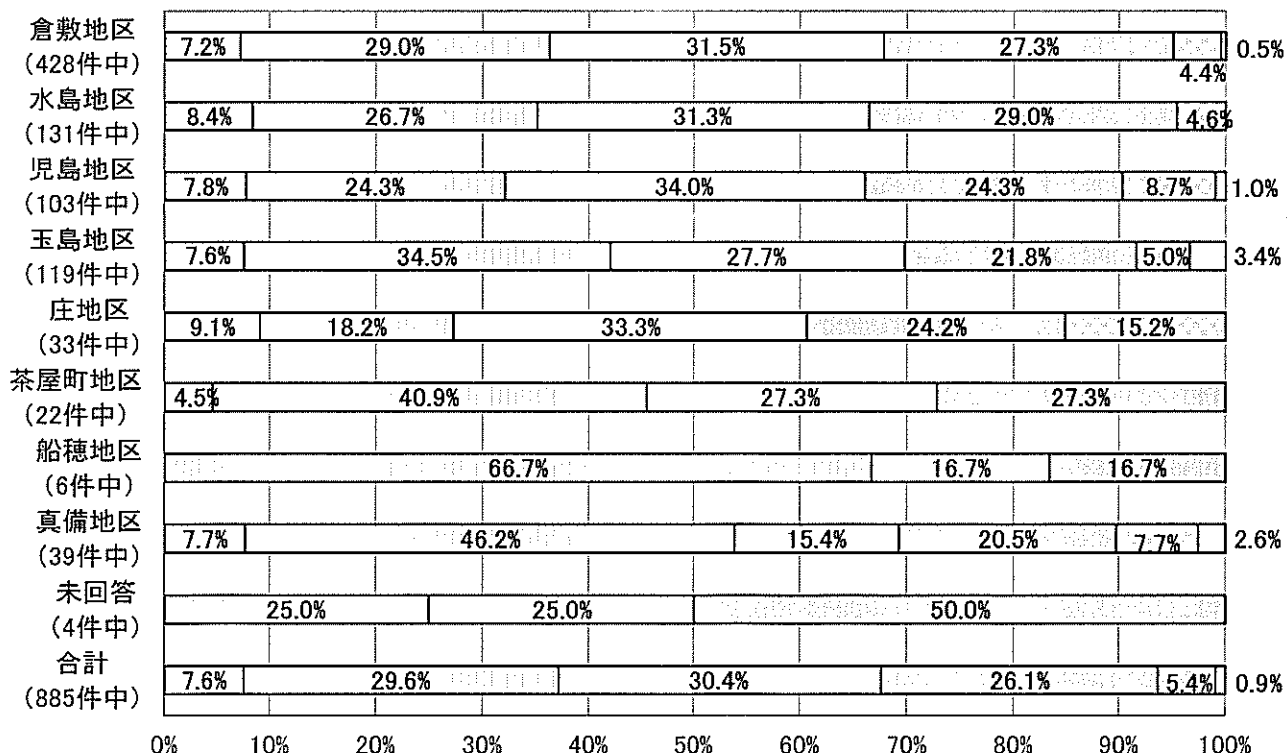


【グラフ10: 年齢別・回答構成比率】



☐ 感じている
 ☐ どちらかというと感じている
 ☐ どちらかというと感じていない
 ☐ 感じていない
 ☐ わからない
 ☐ 未回答

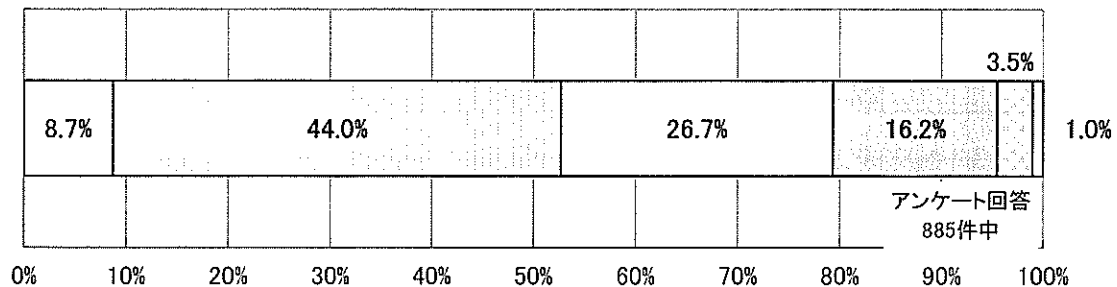
【グラフ10: 地域別・回答構成比率】



☐ 感じている
 ☐ どちらかというと感じている
 ☐ どちらかというと感じていない
 ☐ 感じていない
 ☐ わからない
 ☐ 未回答

《問 1 1》 ごみが無く、まちがきれいに清掃されていると感じていますか。

【グラフ 1 1 : 合計・回答構成比率】

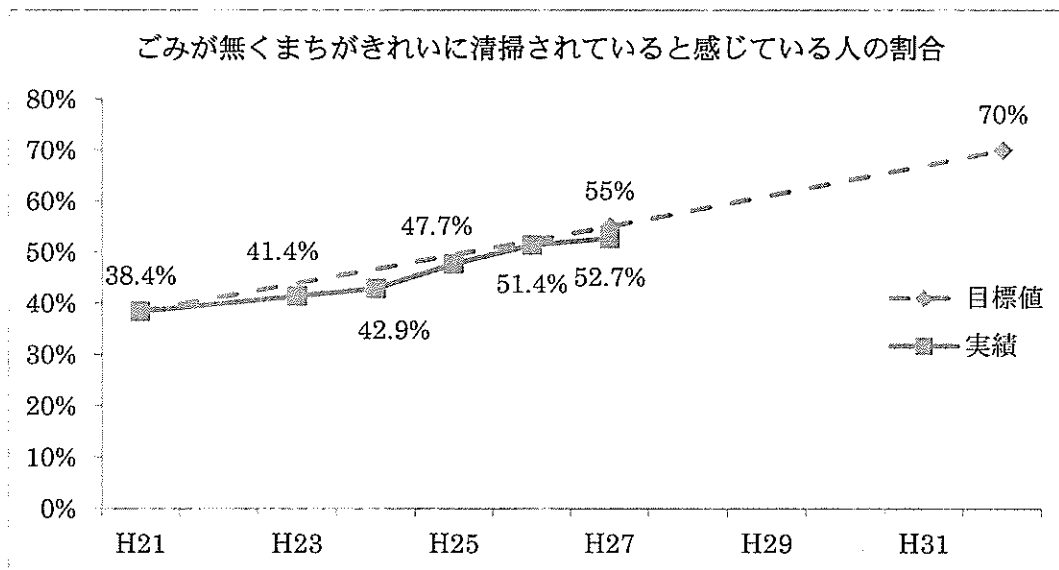


☐ 感じている
 ☐ どちらかというと感じている
 ☐ どちらかというと感じていない
 ☐ 感じていない
 ☐ わからない
 ☐ 未回答

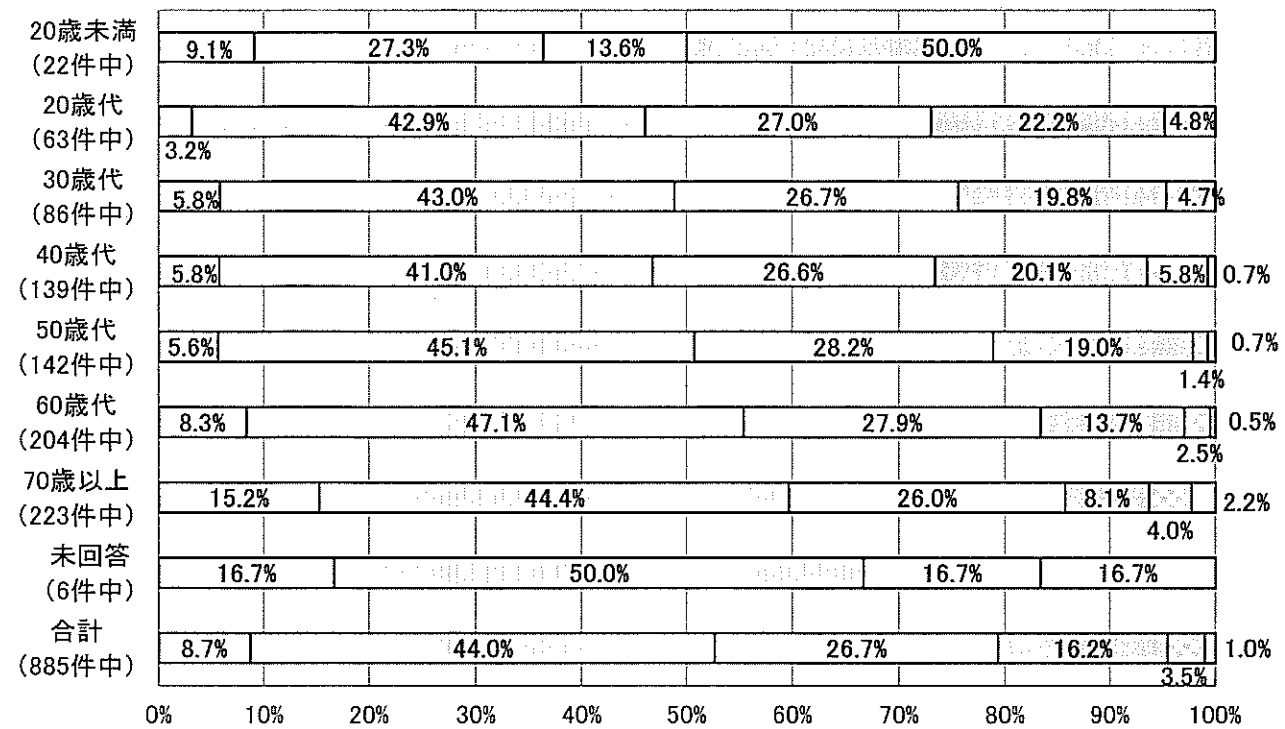
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：⑦安心・安全な生活環境の実現に努めます

	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
感じている＋どちらかというと感じている	38.4%	52.7%(51.4)	55%	70%

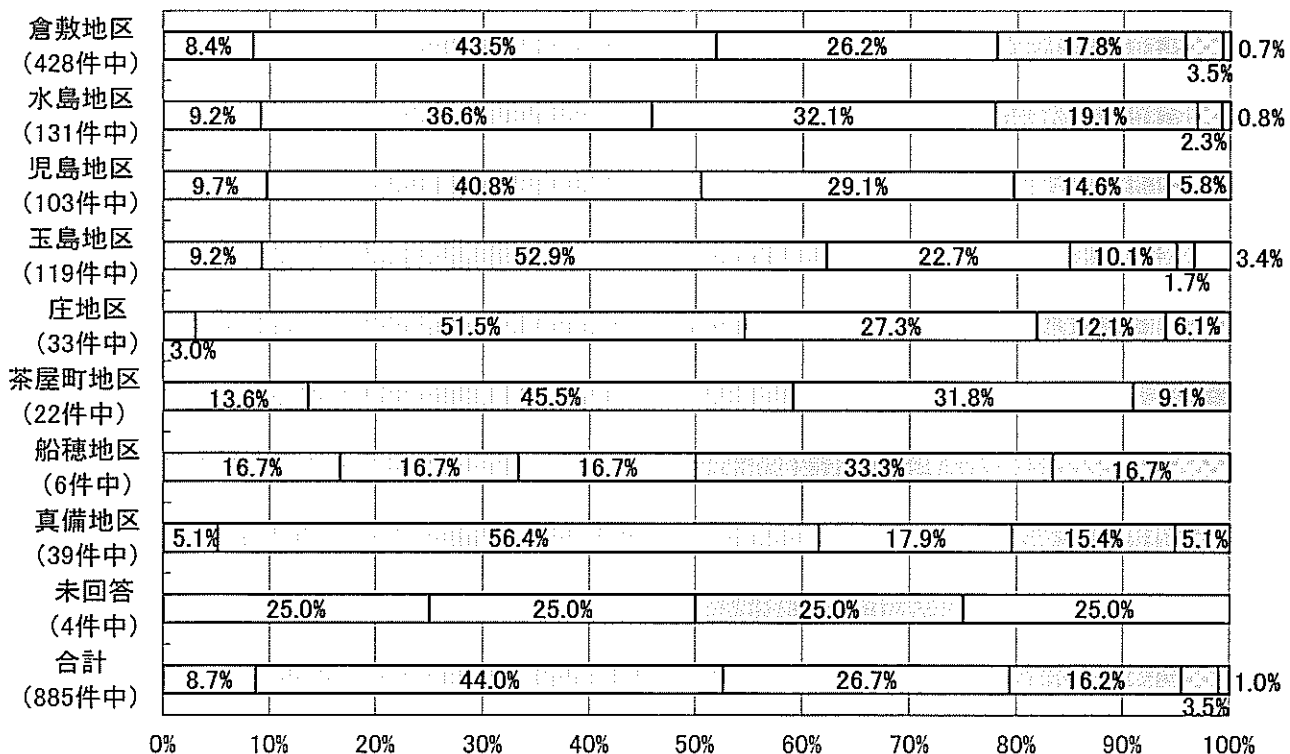


【グラフ11：年齢別・回答構成比率】



☐ 感じている
 ☐ どちらかというと感じている
 ☐ どちらかというと感じていない
 ☐ 感じていない
 ☐ わからない
 ☐ 未回答

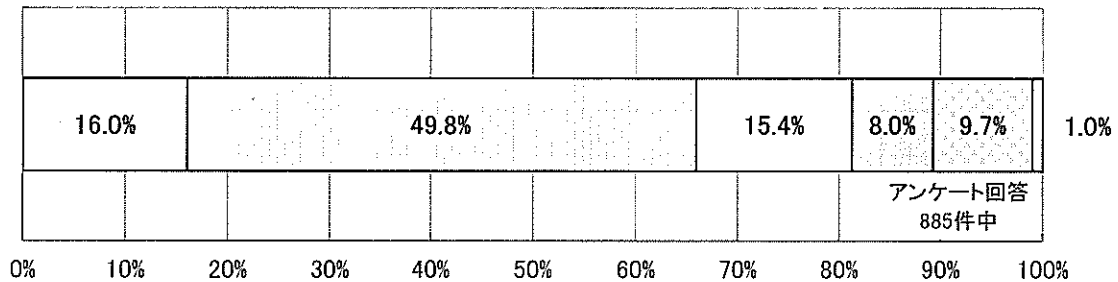
【グラフ11：地域別・回答構成比率】



☐ 感じている
 ☐ どちらかというと感じている
 ☐ どちらかというと感じていない
 ☐ 感じていない
 ☐ わからない
 ☐ 未回答

《問 1 2》 環境基準を守るための取組により、心身ともに健康に暮らせていると思いますか。
 ※人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準として、行政上の政策目標を定めたものが環境基準です。現在は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音について定められています。市はその目標の確保を図るために各施策を総合的に実施しています。

【グラフ 1 2 : 合計・回答構成比率】

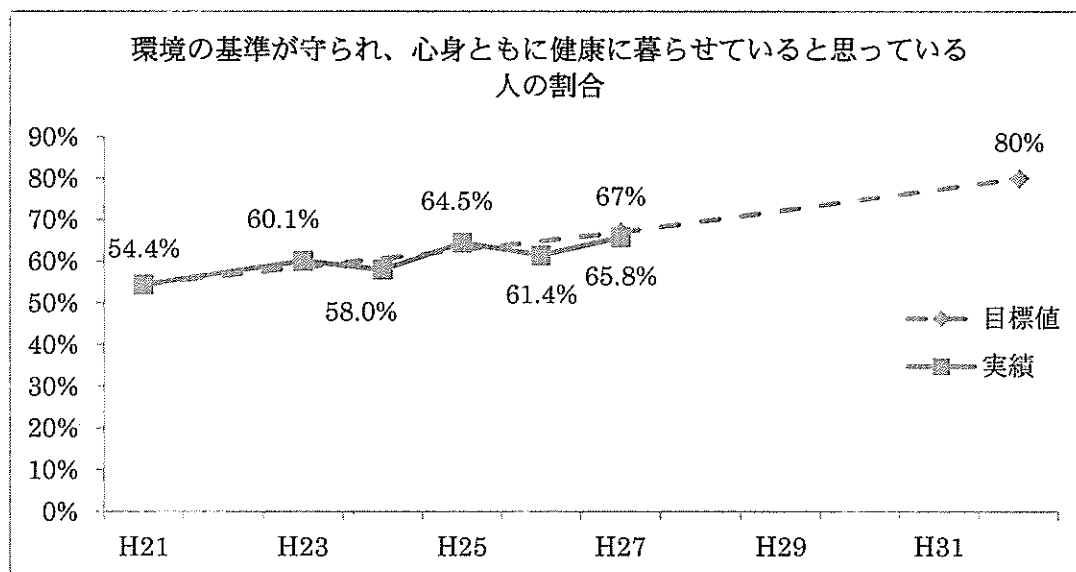


☐ そう思う ☐ どちらかというと思う ☐ どちらかというと思わない ☐ そうは思わない ☐ わからない ☐ 未回答

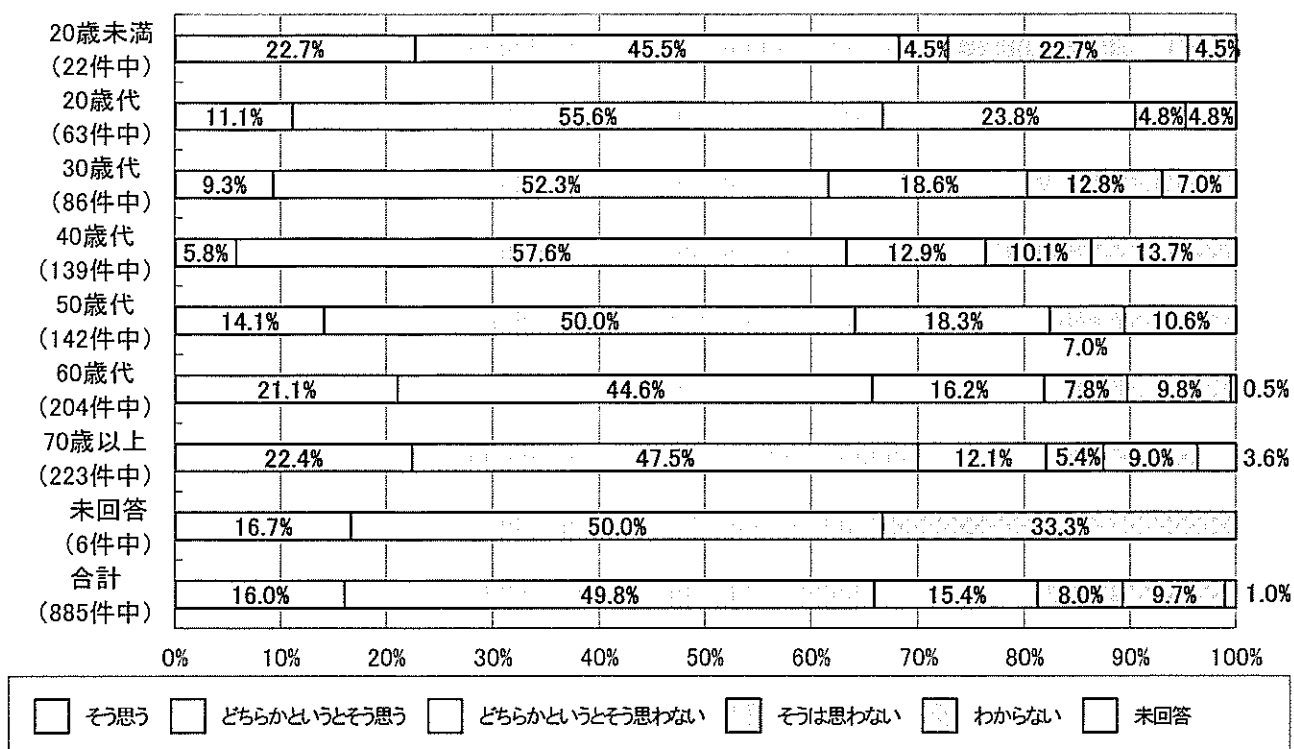
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：⑦安心・安全な生活環境の実現に努めます

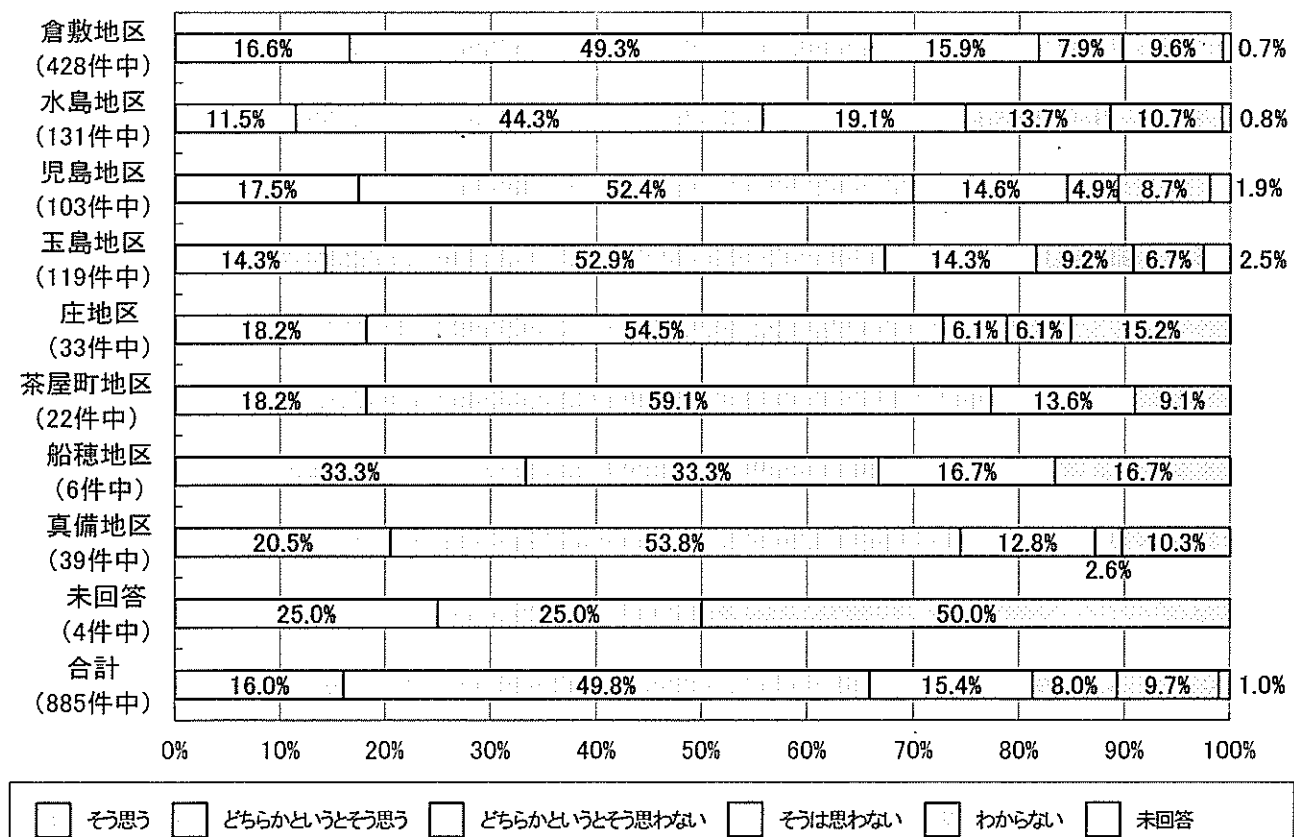
	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
そう思う+どちらかというと思う	54.4%	65.8%(61.4)	67%	80%



【グラフ12：年齢別・回答構成比率】

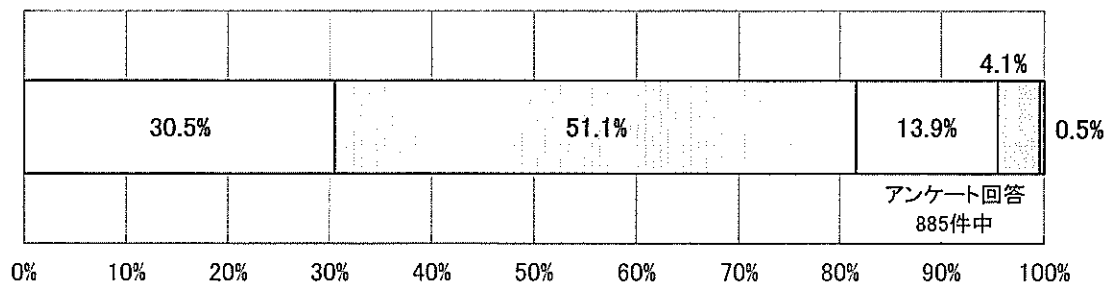


【グラフ12：地域別・回答構成比率】



《問 1 3》 あなたは、ごみの発生及び排出の抑制に配慮した行動をしていますか。

【グラフ 1 3 : 合計・回答構成比率】

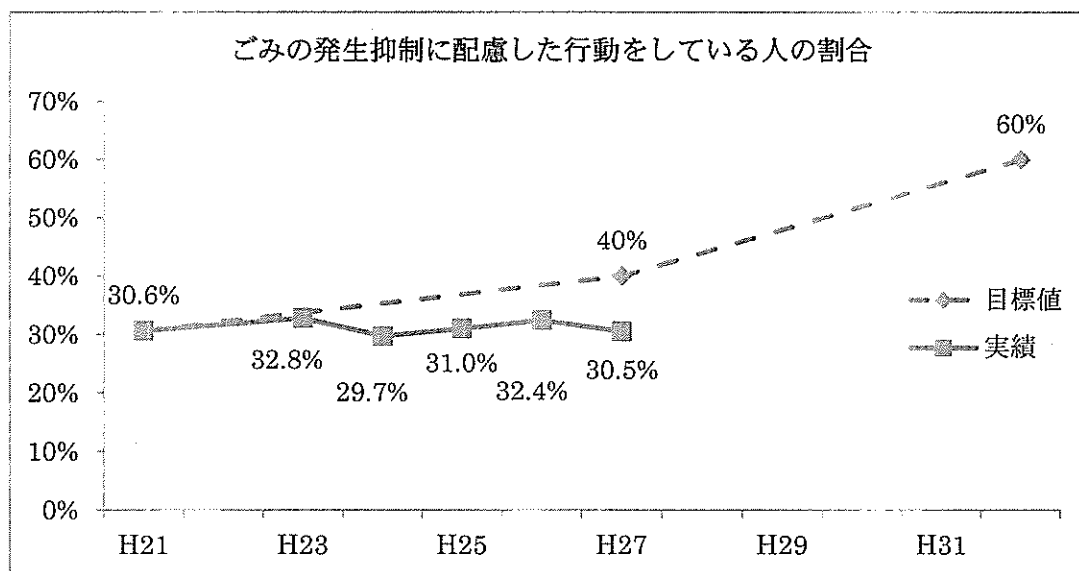


☐ いつもしている ☐ どちらかというとしている ☐ どちらかというとしていない ☐ していない ☐ 未回答

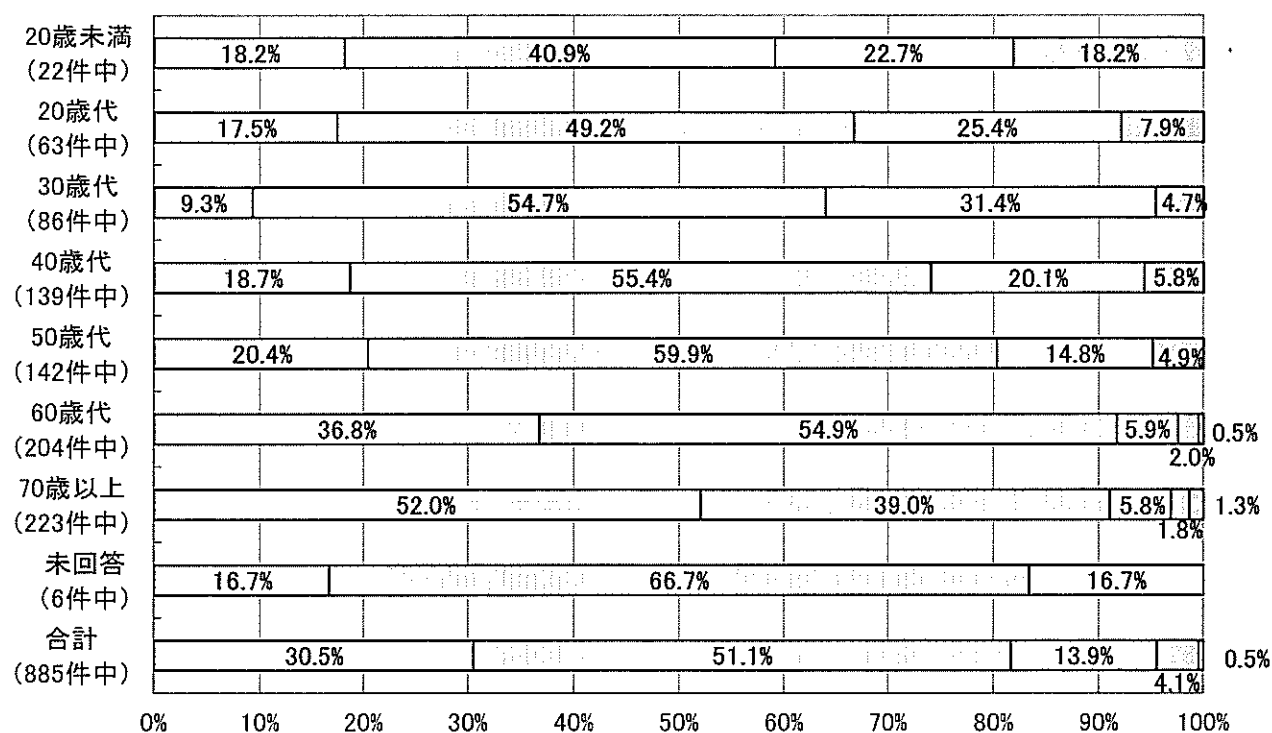
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：⑧生産、消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します

	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
いつもしている	30.6%	30.5%(32.4)	40%	60%

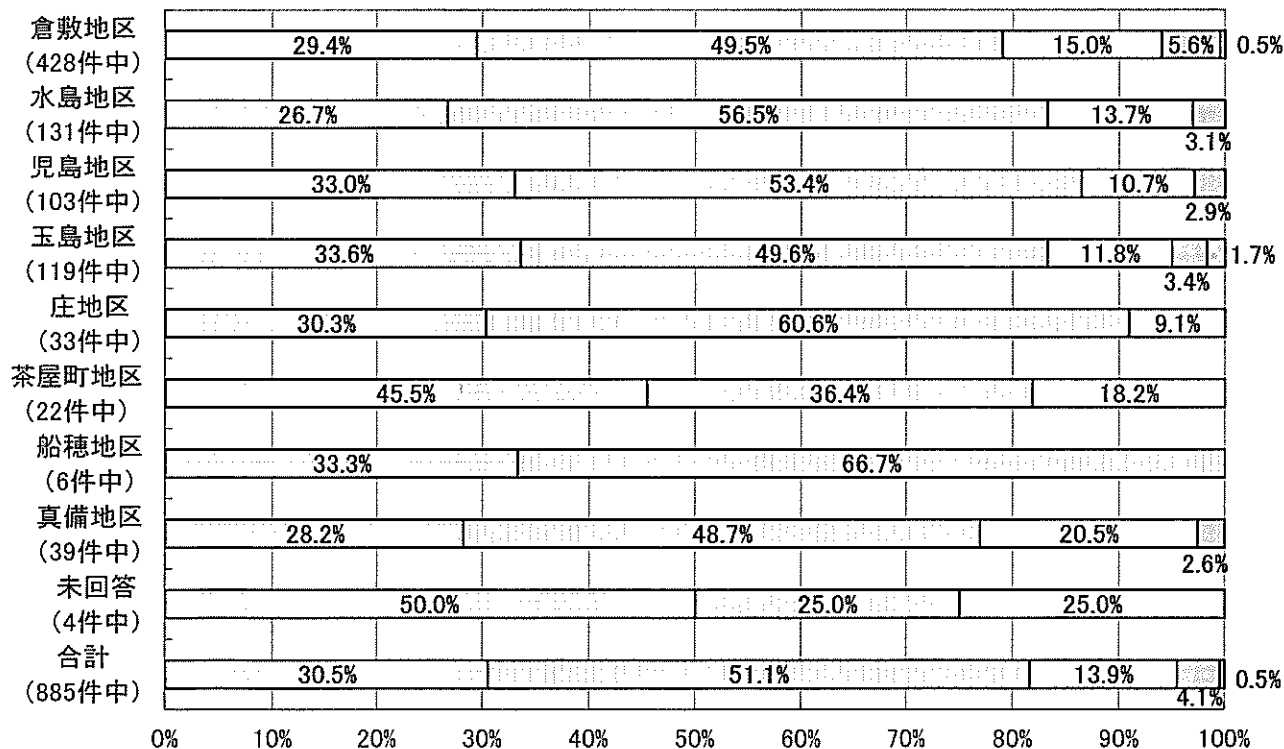


【グラフ13:年齢別・回答構成比率】



☐ いつもしている
 ☐ どちらかというとしている
 ☐ どちらかというとしていない
 ☐ していない
 ☐ 未回答

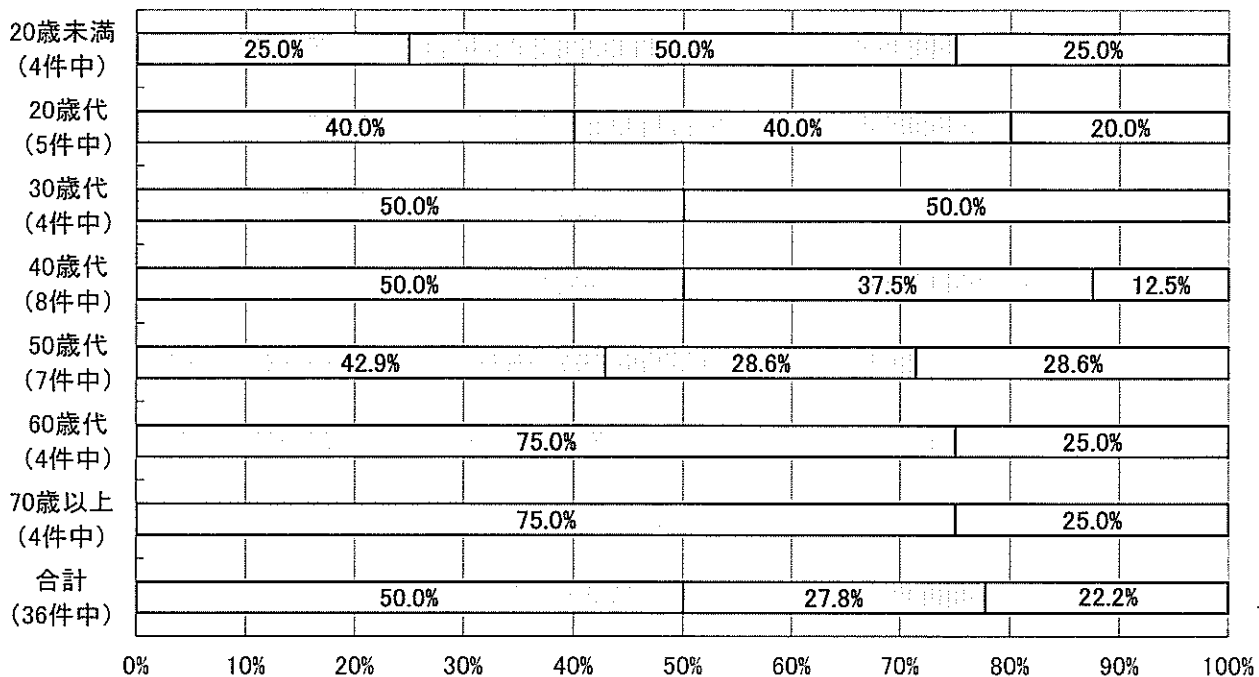
【グラフ13:地域別・回答構成比率】



☐ いつもしている
 ☐ どちらかというとしている
 ☐ どちらかというとしていない
 ☐ していない
 ☐ 未回答

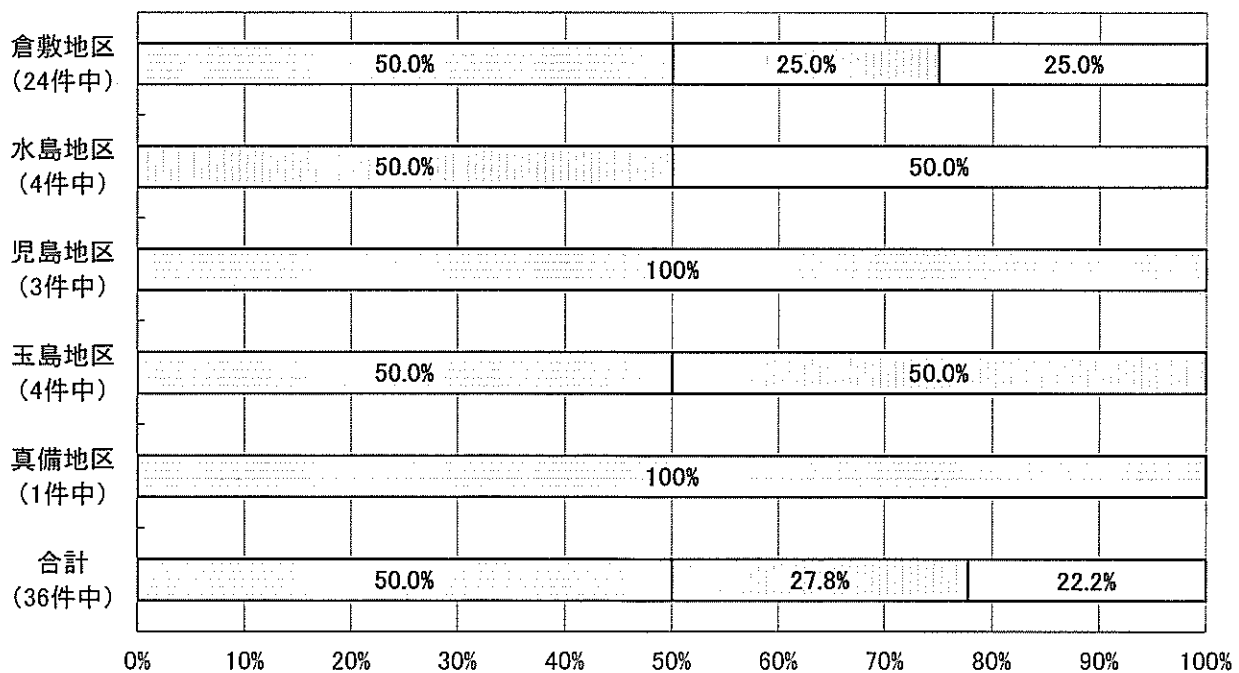
《問13-1》 問13で「4. していない」と答えた方におたずねします。していない理由がありますか。

【グラフ13-1：年齢別・回答構成比率】



☐ 日常の生活の中でどのようなことをしていいのかわからない ☐ 関心がない ☐ その他()

【グラフ13-1：地域別・回答構成比率】



☐ 日常の生活の中でどのようなことをしていいのかわからない ☐ 関心がない ☐ その他()

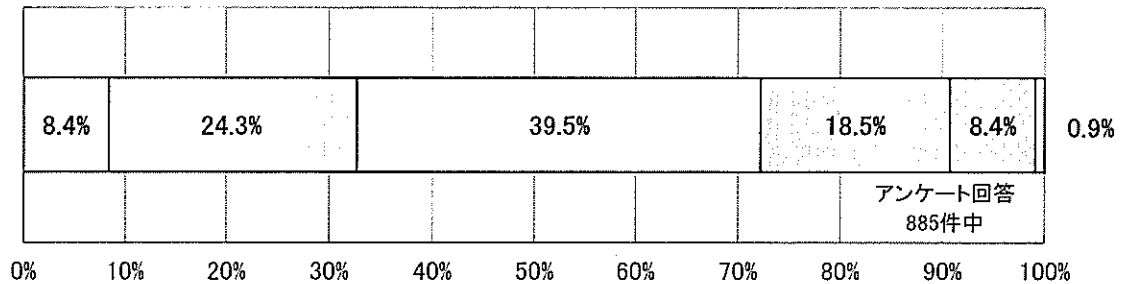
《問13－1》 問13で「4. していない」と答えた方におたずねします。
していない理由がありますか。

※その他(カッコ内回答)

1	集合住宅等で決まりがない
2	物を捨てることが趣味
3	皆が思わなければ変化がない
4	施設まかせ

《問14》 「もったいない」という意識を共有している社会ができていると思いますか。

【グラフ14：合計・回答構成比率】

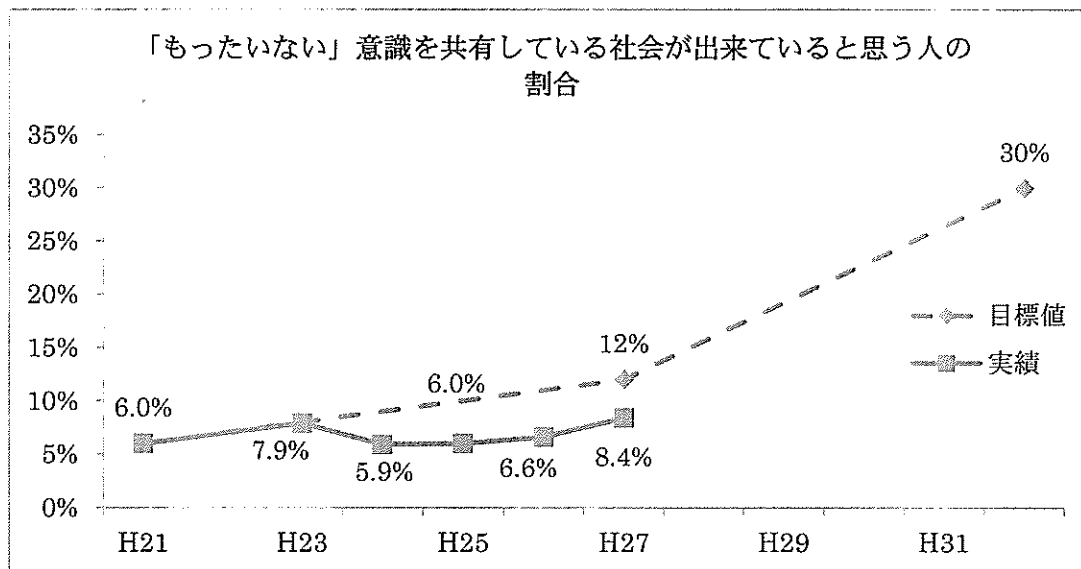


☐ 思う ☐ どちらかと思う ☐ どちらかと思わない ☐ 思わない ☐ わからない ☐ 未回答

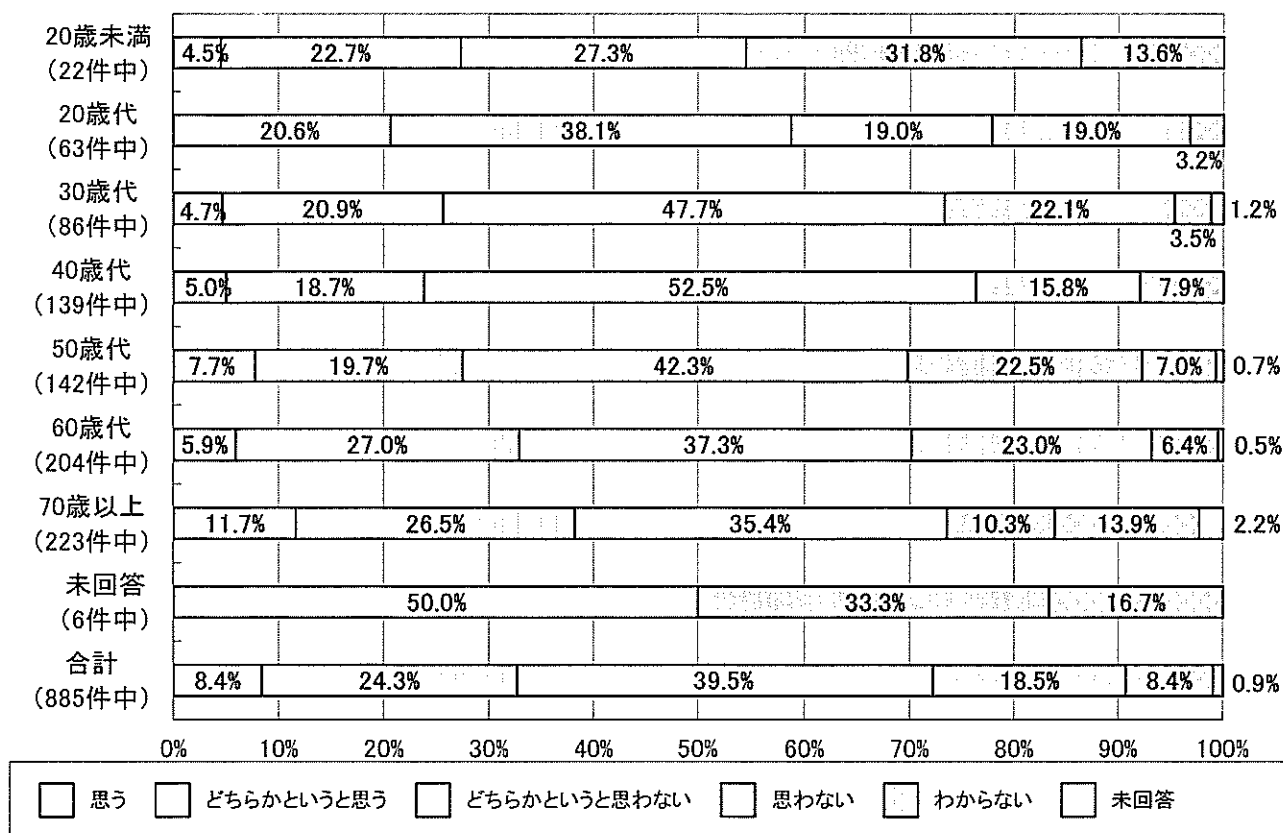
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：⑫環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします

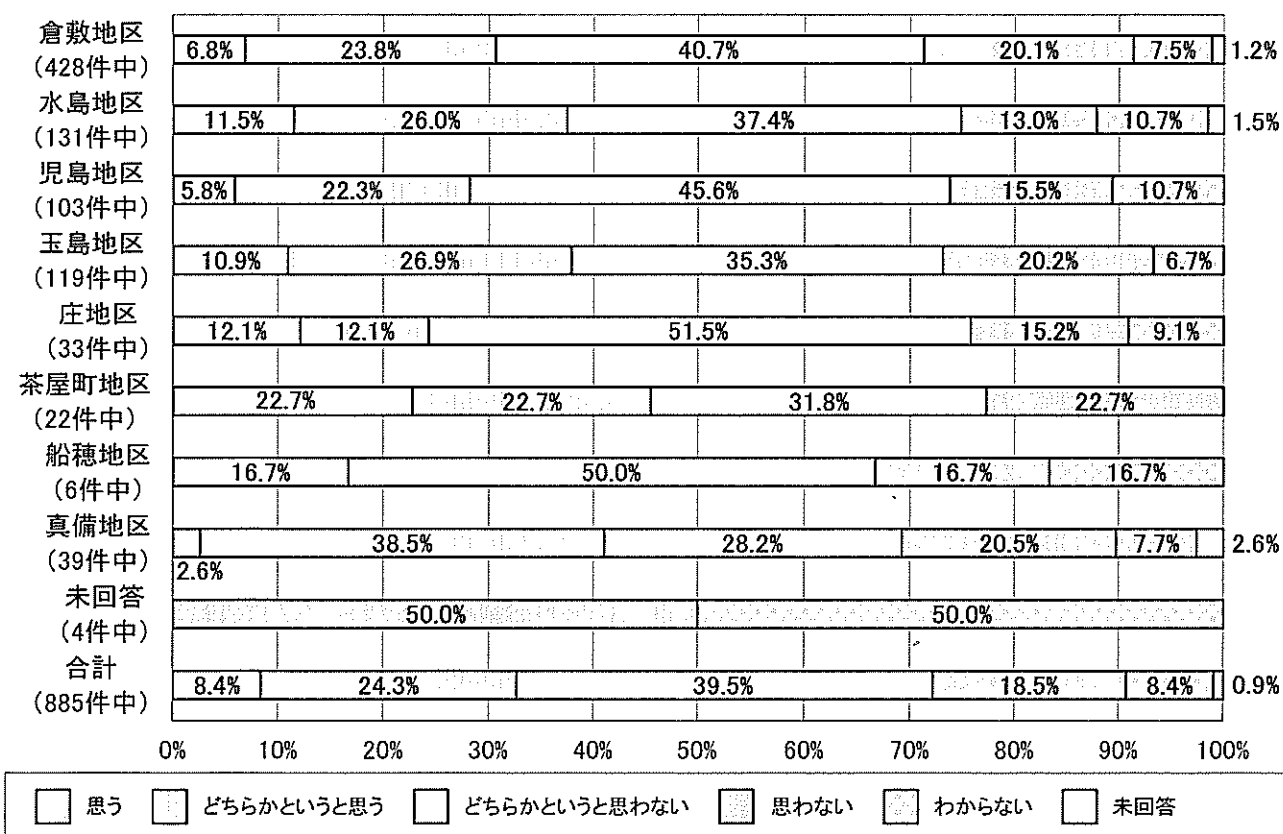
	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
思う	6.0%	8.4%(6.6)	12%	30%



【グラフ14：年齢別・回答構成比率】

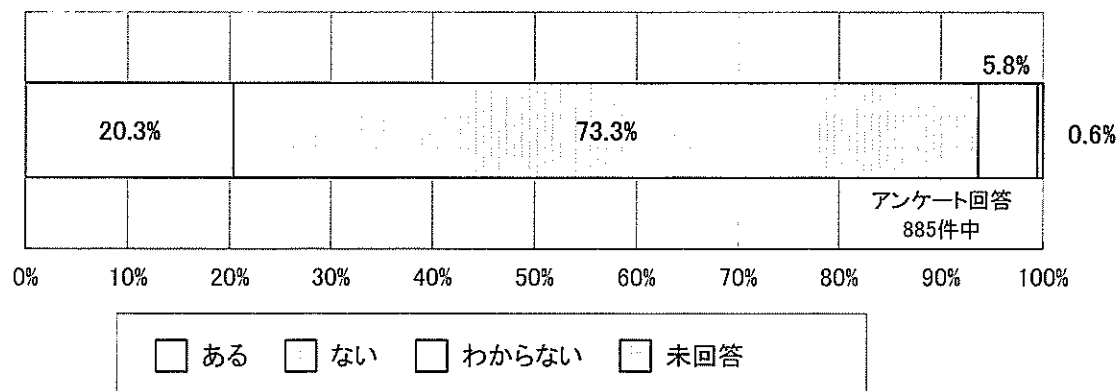


【グラフ14：地域別・回答構成比率】

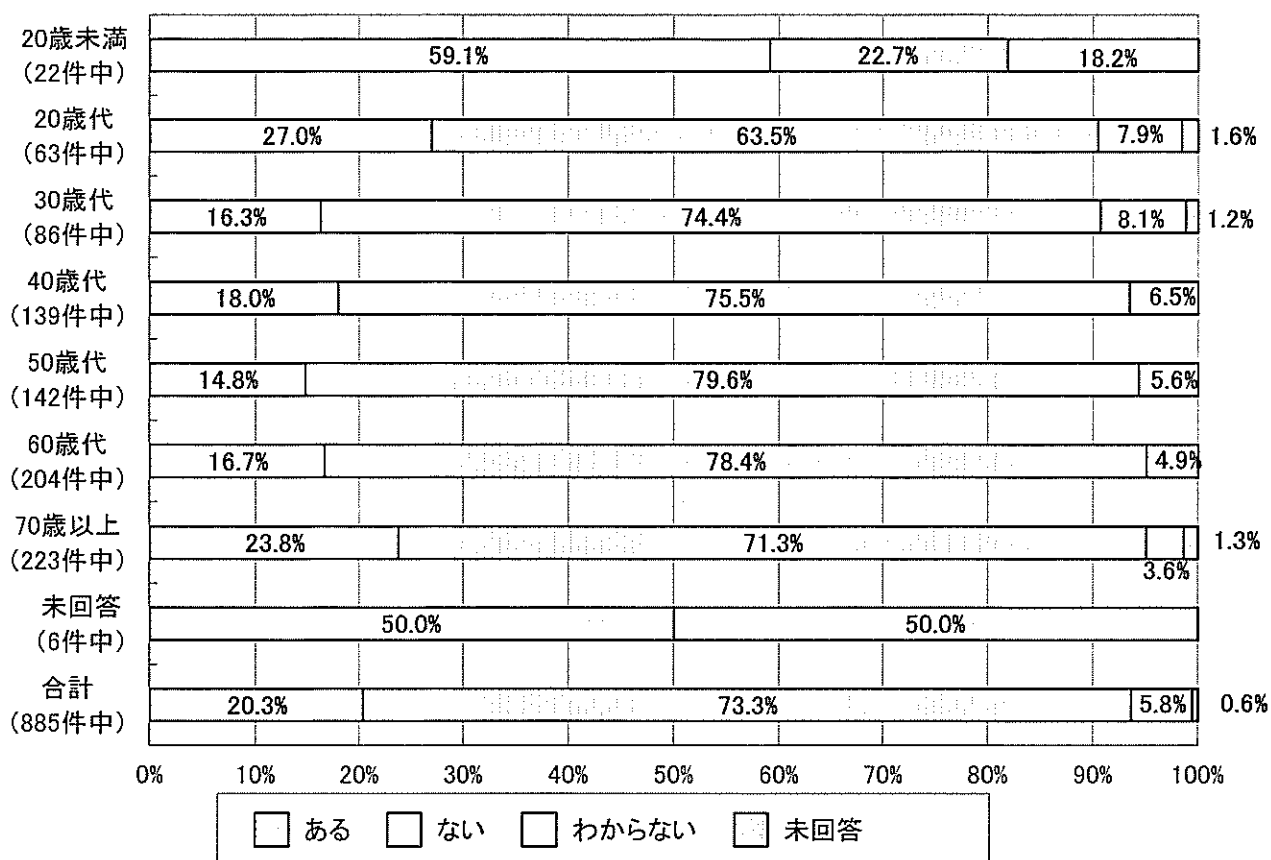


《問 1 5》 環境に関する講座や講演会、体験会などの、環境学習を受けたことがありますか。

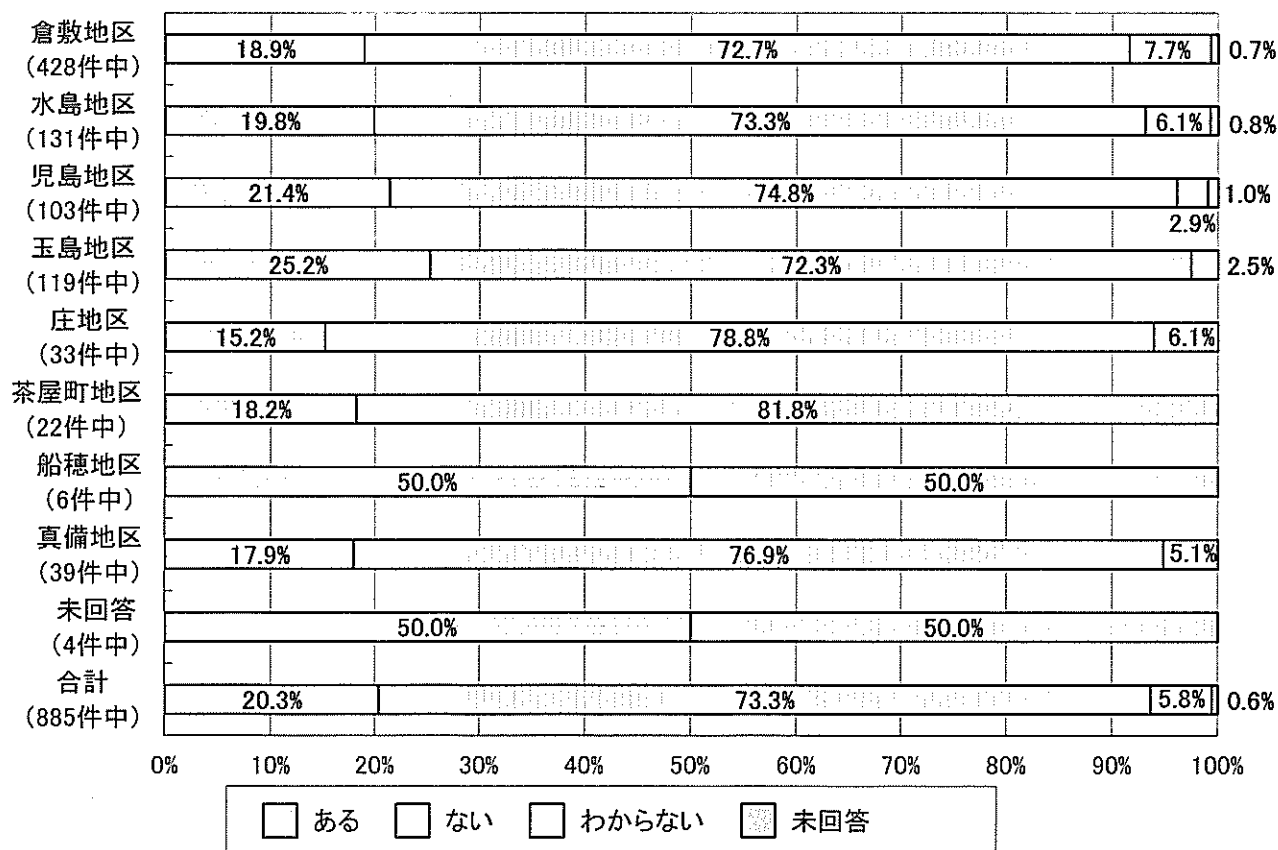
【グラフ 1 5 : 合計・回答構成比率】



【グラフ15:年齢別・回答構成比率】

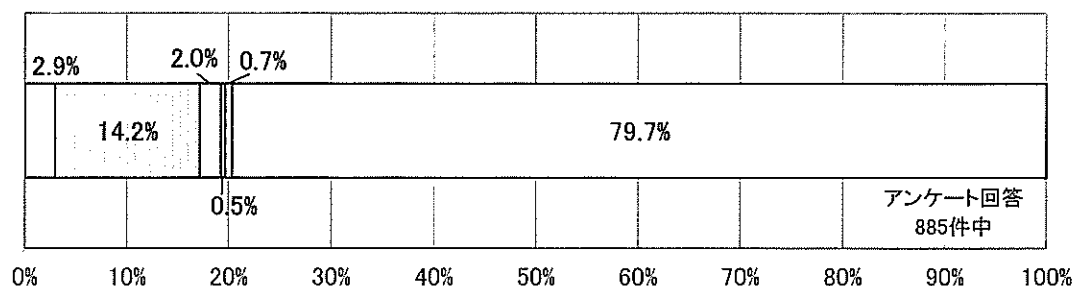


【グラフ15:地域別・回答構成比率】



《問15-1》 問15で「1. ある」と答えた方におたずねします。
環境学習で学んだことを、日常生活の中で実践していますか。

【グラフ15-1：合計・回答構成比率】

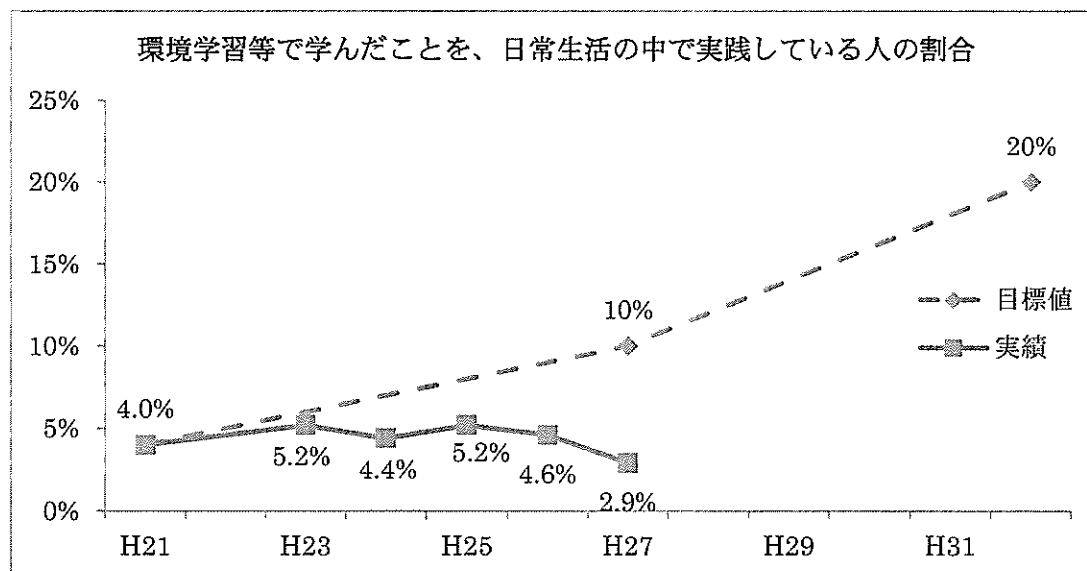


☐ いつもしている ☐ どちらかというとしている ☐ どちらかというとしていない ☐ していない ☐ 未回答 ☐ 問15でない/わからないと回答が未回答

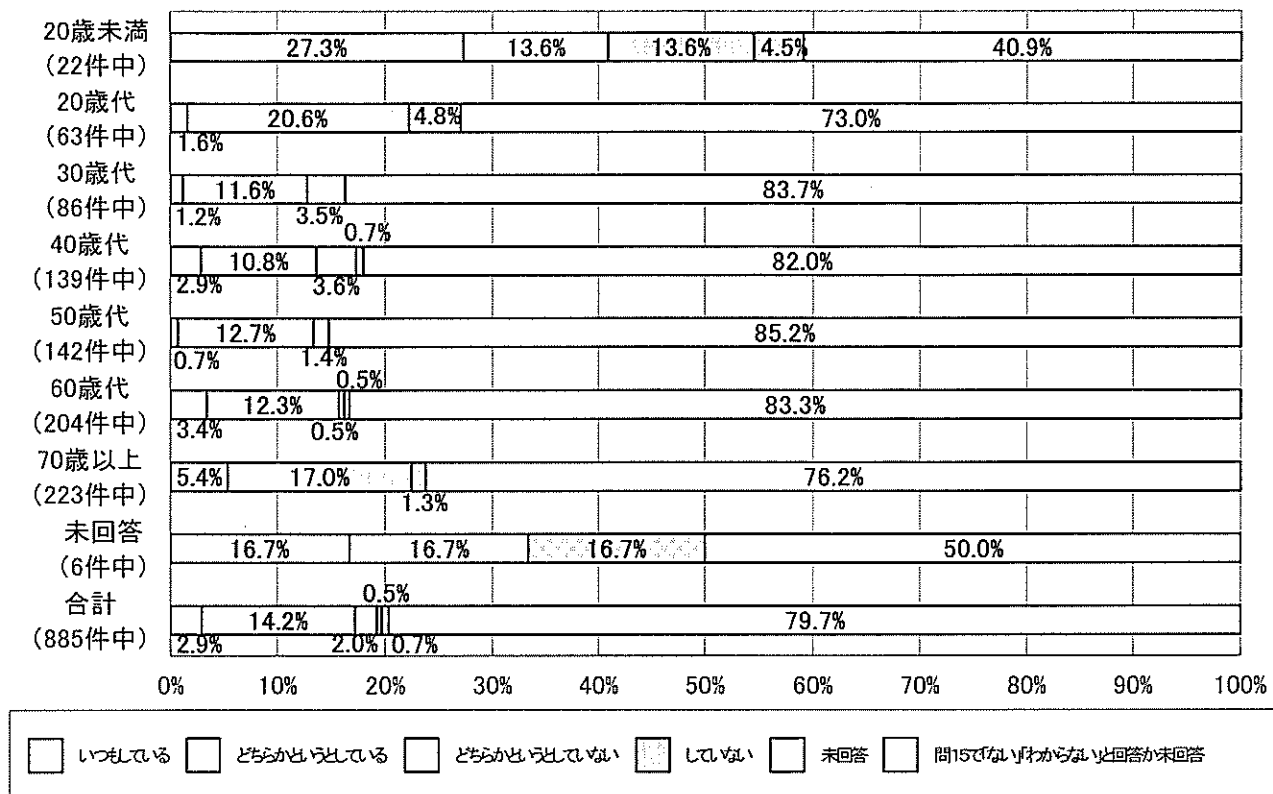
【めざそう値：年度別推移】

関係分野別目標：⑫環境教育・環境学習を推進し、環境意識を持ち行動できる人を増やします

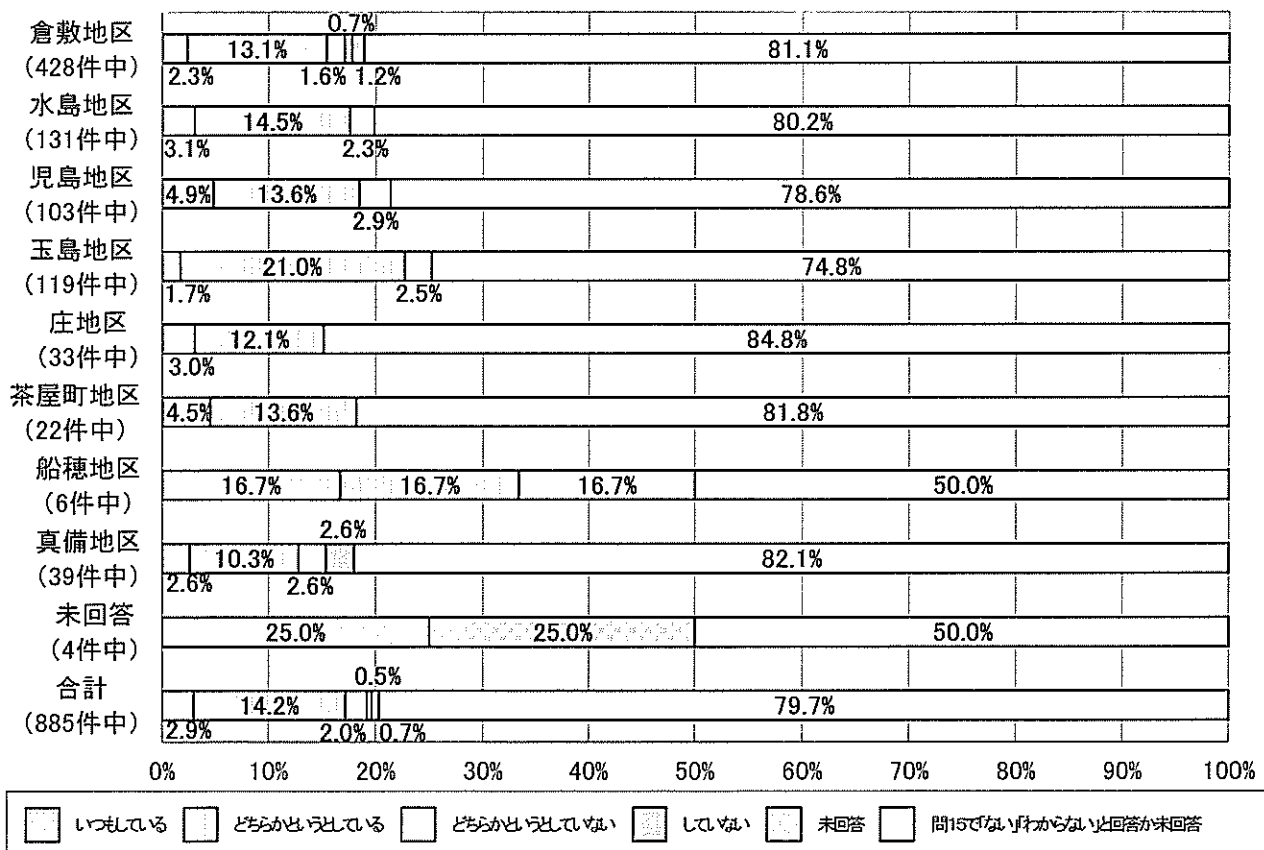
	H21 基準値	H27 (H26)	H27 目標値	H32 目標値
いつもしている	4.0%	2.9%(4.6)	10%	20%



【グラフ15-1:年齢別・回答構成比率】

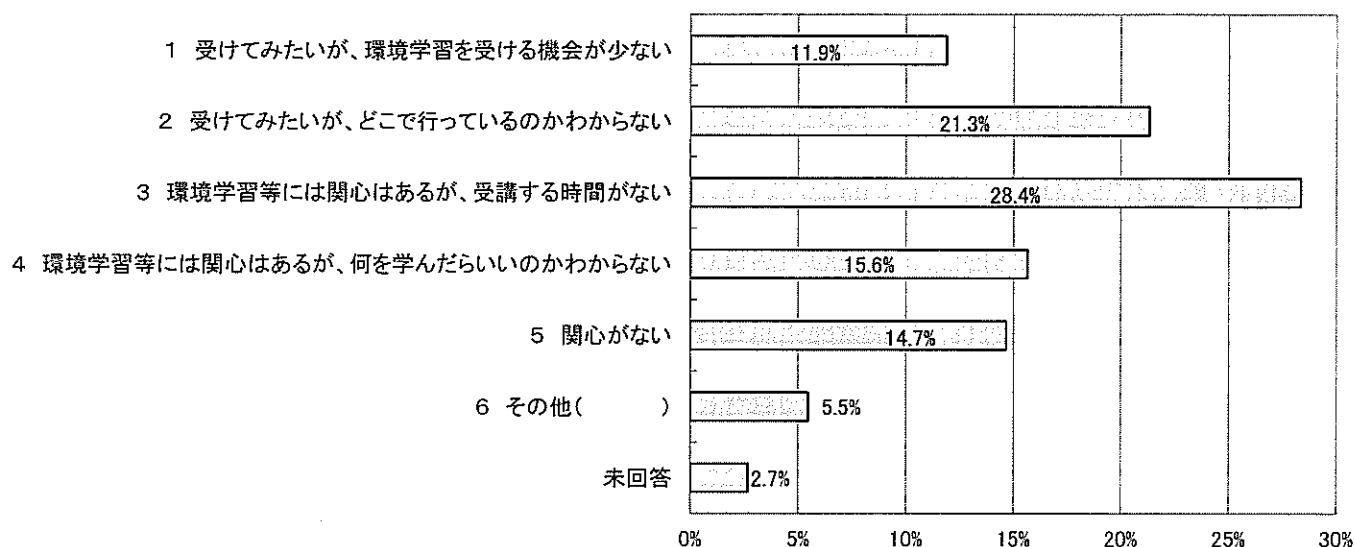


【グラフ15-1:地域別・回答構成比率】



《問15-2》問15で「2. ない」「3. わからない」と答えた方におたずねします。
受けたことのない理由はなんですか。(複数回答可)

【グラフ15-2: 回答構成比率】



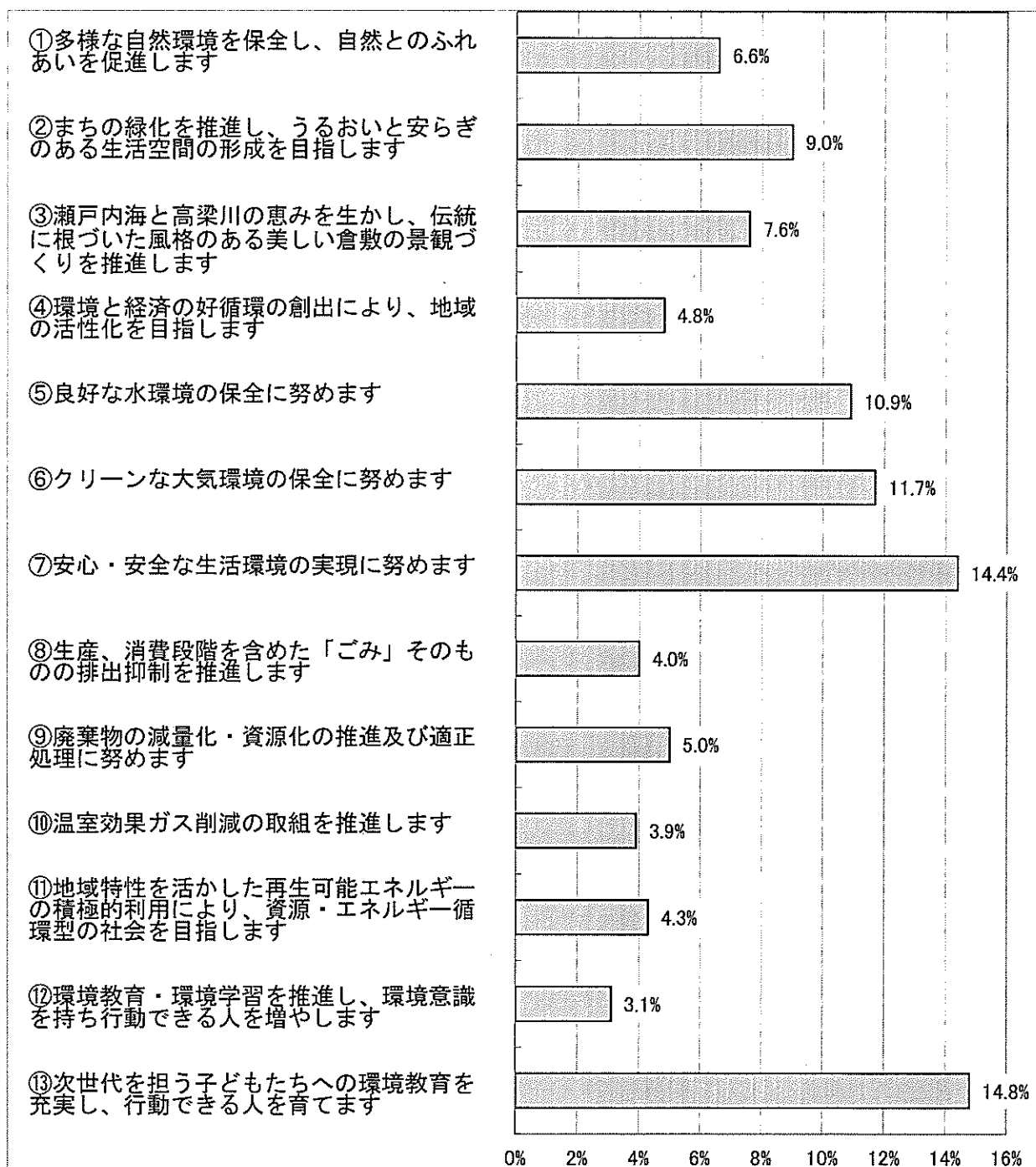
※その他(カッコ内回答)

1	必要性を感じない
2	幼齢の子供がいる
3	他の人がしていないため
4	体力不足
5	時間がない
6	身体的要因
7	受講せずともできる範囲で取り組んでいる
8	行政職員の向上心や熱意不足
9	高齢
10	病気
11	環境学習の質が問題
12	情報がない
13	移動手段がない
14	新聞、テレビ、市報等の情報を収集している
15	機会がない

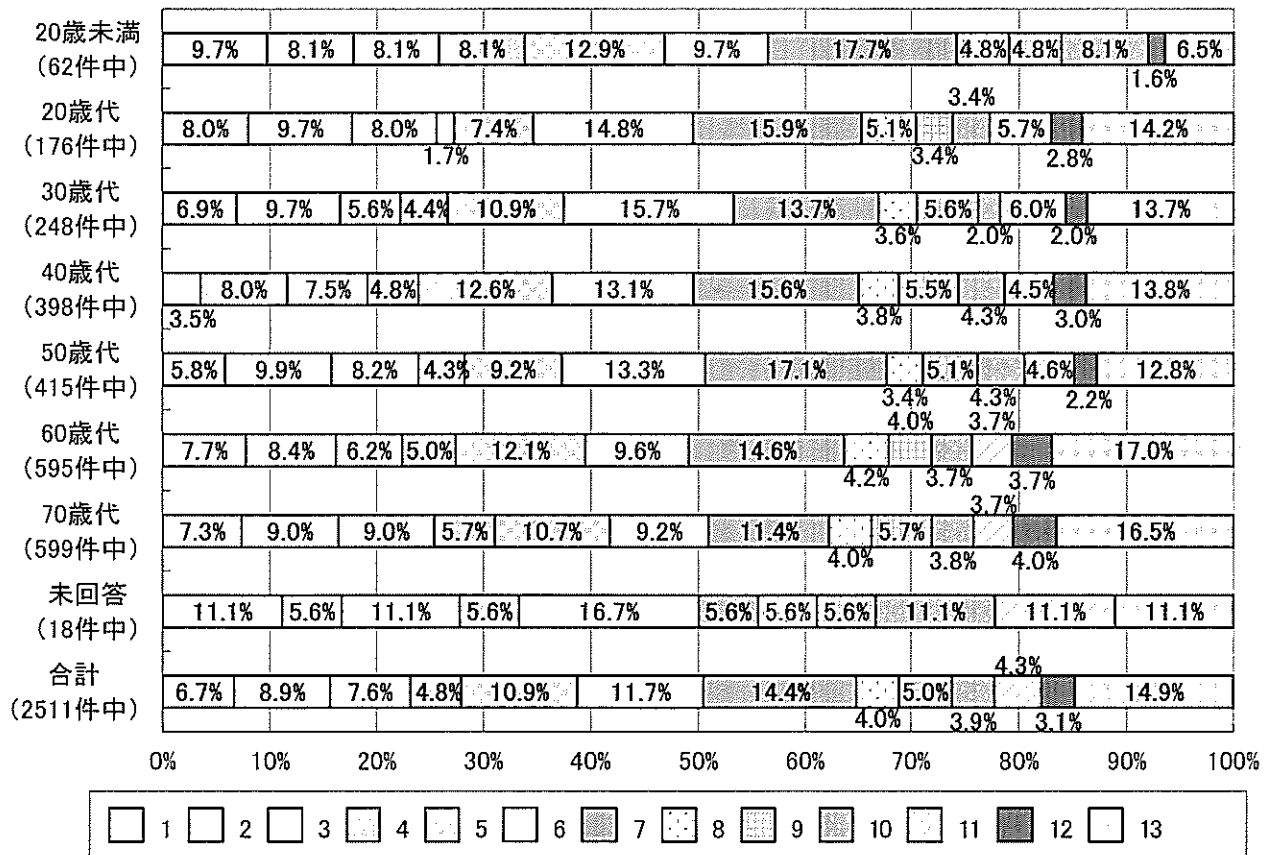
※問15で「2. ない」「3. わからない」と答えた方は、700人でした。

《問 16》 倉敷市では、「倉敷市第二次環境基本計画」に掲げた目標を実現するため、平成23年度から下記の施策に取り組んでいます。それぞれの施策に対して、あなたにとって重要と思うものと、現状で効果が上がっている（満足）と思うものを3つまで選んで○印をつけて下さい。

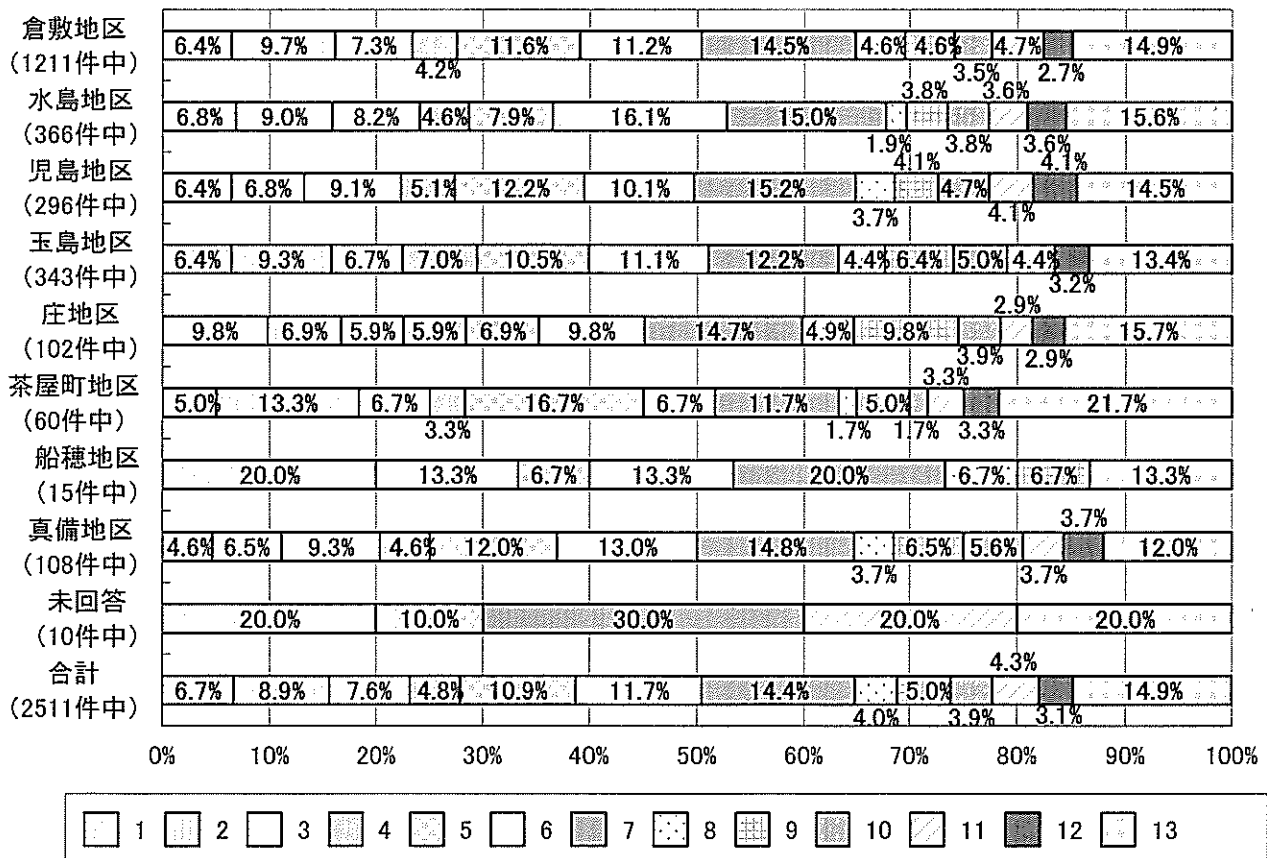
【グラフ16-1：合計・回答構成比率】 重要度



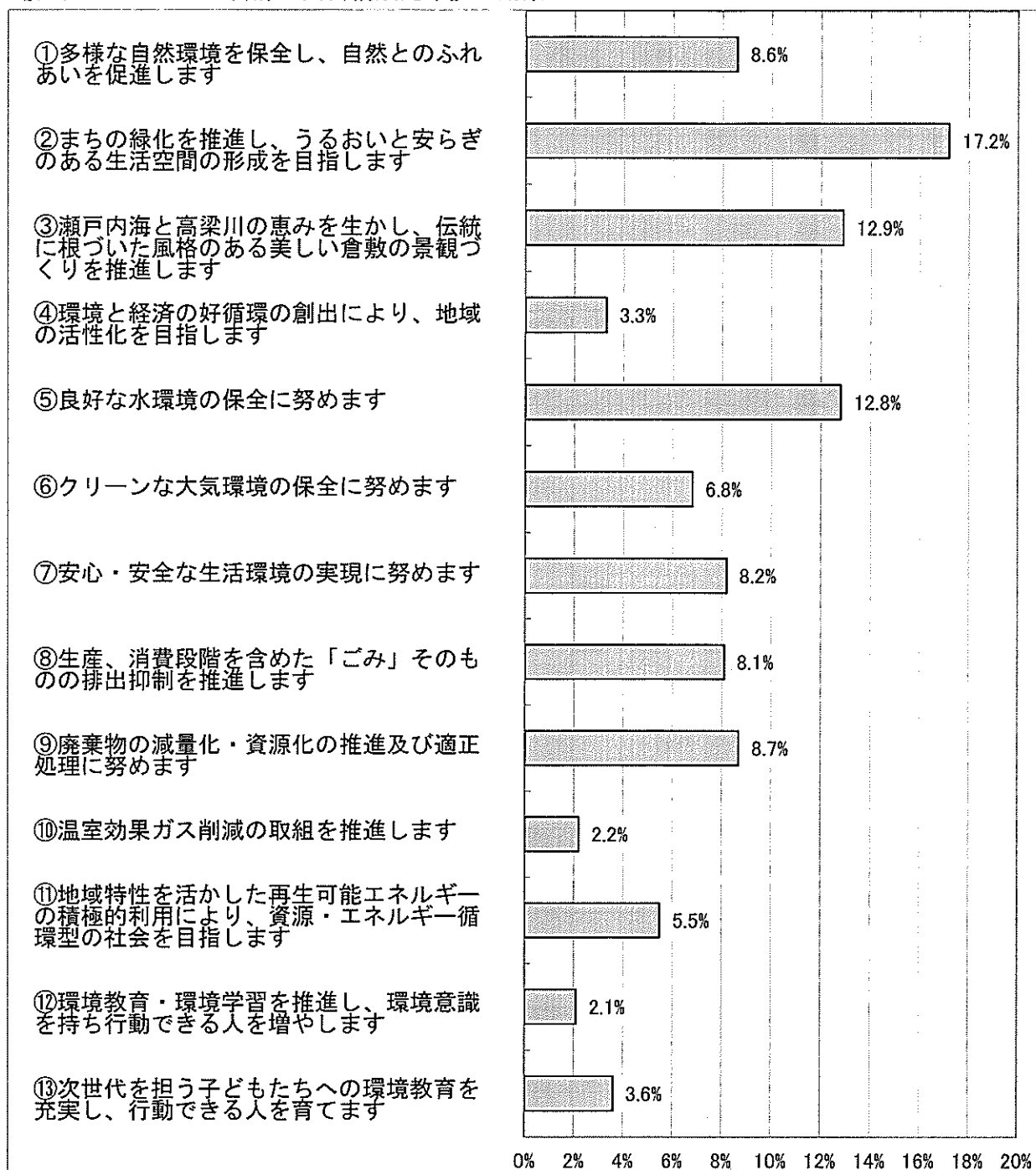
【グラフ16-1:年齢別・回答構成比率】重要



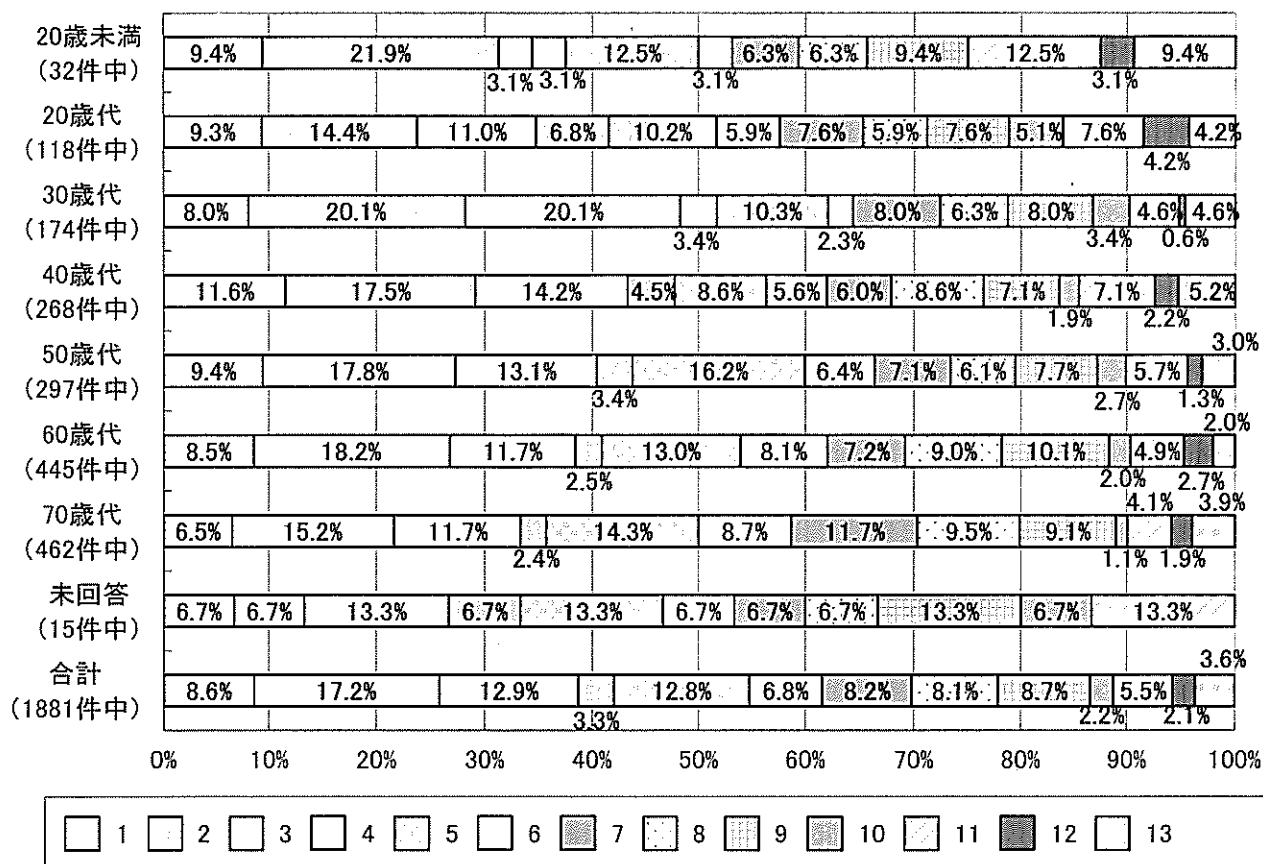
【グラフ16-1:地域別・回答構成比率】重要



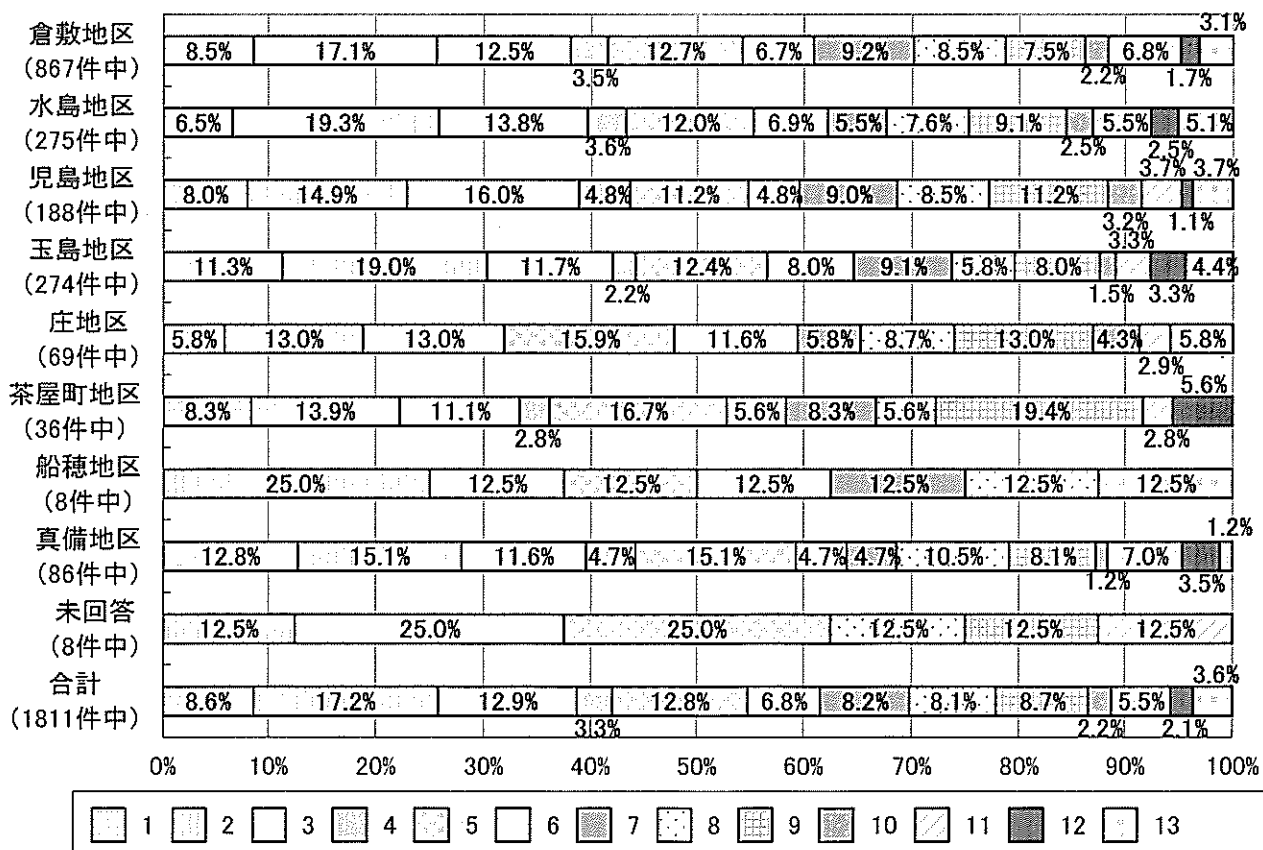
【グラフ16-2：合計・回答構成比率】 効果



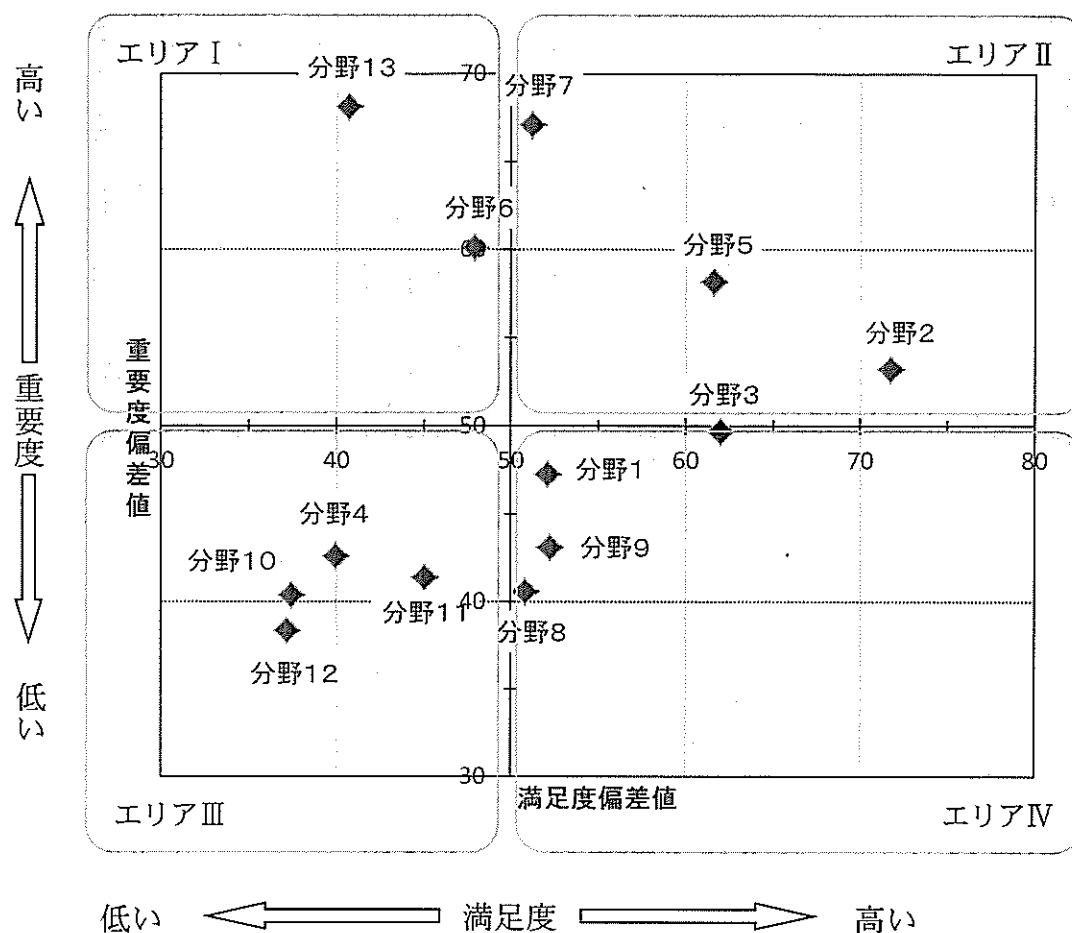
【グラフ16ー2:年齢別・回答構成比率】 効果



【グラフ16ー2:地域別・回答構成比率】 効果



■重要度・満足度マッピンググラフ（偏差値による）

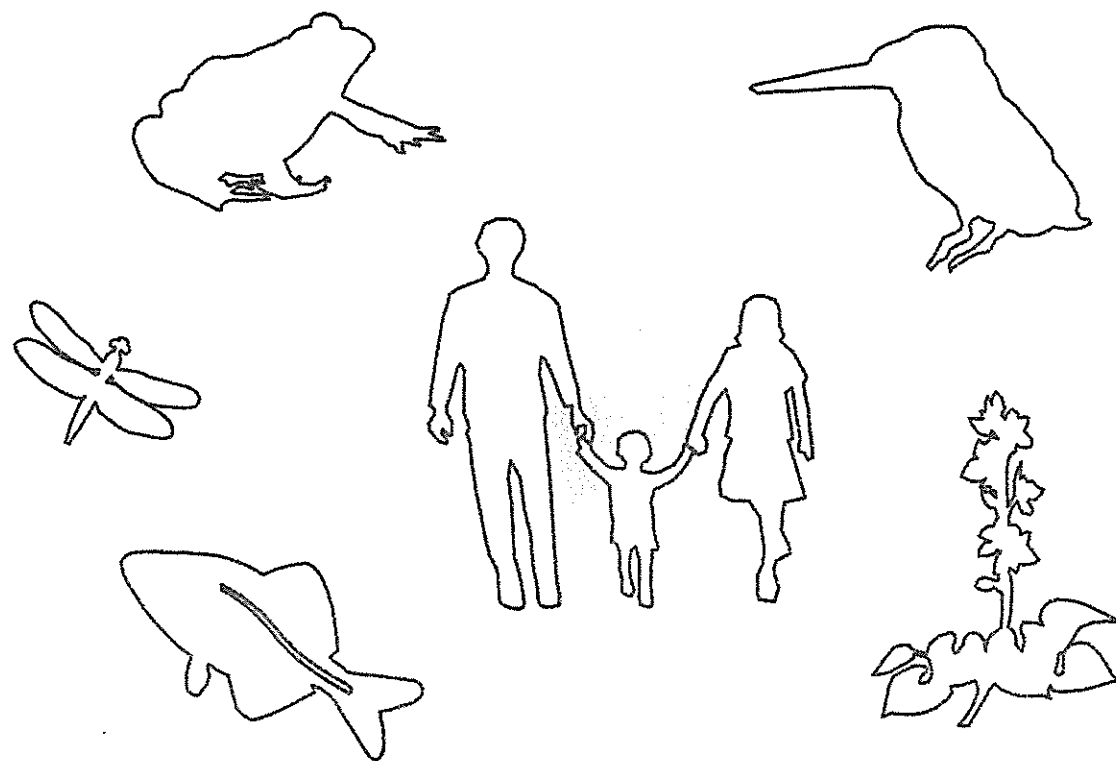


分類	求められること	該当分野
エリアⅠ	重要度が高く、満足度が低いことから、最優先で取り組むべき分野	分野6：クリーンな大気環境の保全に努めます 分野13：次世代を担う子供たちへの環境教育を充実し、行動できる人を育てます
エリアⅡ	重要度も満足度も高く、引き続き満足度を維持していくべき分野	分野2：まちの緑化を推進し、うるおいと安らぎのある生活空間の形成を目指します 分野5：良好な水環境の保全に努めます 分野7：安心・安全な生活環境の実現に努めます
エリアⅢ	満足度が低いため、満足度を高める取り組みが必要であるが、重要度が低いため、必要性も含めて検討すべき分野	分野4：環境と経済の好循環の創出により、地域の活性化を目指します 分野10：温室効果ガス削減の取り組みを推進します 分野11：地域特性を活かした再生可能エネルギーの積極的利用により、資源・エネルギー循環型の社会を目指します 分野12：環境教育・環境学習を推進し環境意識を持ち行動できる人を増やします
エリアⅣ	重要度は低いが、満足度が高いことから、このままの状態を維持するとともに、過剰な行政サービスは縮小等も含めて見直しを検討すべき分野	分野1：多様な自然環境を保全し、自然とのふれあいを促進します 分野3：瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します 分野8：生産・消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制を推進します 分野9：廃棄物の減量化・資源化の推進及び適正処理に努めます

倉敷市生物多様性地域戦略

—倉敷の豊かな自然と瀬戸内の恵みを未来へつなぐために—
実施事業計画(平成 28 年度～平成 31 年度)

(倉敷市自然環境保全実施事業計画(平成 27 年度実績))



倉敷市環境政策課

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

倉敷市生物多様性地域戦略では、以下の4つの基本目標を掲げています。

- 基本目標1:倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。
- 基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。
- 基本目標3:生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。
- 基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて行動できる人づくり、地域づくりを行う。

本資料は、これら目標達成に向けた、「進捗状況」及び「実施事業の実施状況と予定」を示します。
最初に示す(右表)「数値目標達成状況表」は、基本目標達成に向けた各数値目標の達成状況を示しています。
2ページ以降の「事業実施計画表」には、基本目標達成に向けた2020年までの短期的な取り組みについて、基本目標ごとに事業の実施状況を示しています。
グレーの網掛けが「リーディングプロジェクト」、網掛けなしが「その他の取り組み」であり、事業ごとに示しています。
なお、リーディングプロジェクトとは、戦略の基本目標の実現に向けて戦略全体をリーディングする誘導的なプロジェクト事業のことです。

数値目標達成状況

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。								
番号	項 目	基準値	基準年度	H27年度実績	傾向	目標値	達成年度	担当部署
1	自然環境基礎調査	1地区 (真備町妹)	2013 (H25)	0地区		継続実施	—	環境政策課
基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。								
1	自然環境に配慮したまちづくりができていると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	27.4%	2009 (H21)	33.5%		54%	2020年 (H32)	環境政策課
2	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	38.4%	2011 (H23)	41.4%		72%	2020年 (H32)	環境政策課
3	多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	32.5%	2009 (H21)	32.6%		56%	2020年 (H32)	環境政策課
4	都市公園の目標水準	7.79㎡/1人	2005 (H17)	8.10㎡/1人		10㎡/1人	—	公園緑地課
5	特定外来生物の防除	306頭: ヌートリア	2012 (H24)	296頭: ヌートリア		被害額の低減及び 生息頭数の減少	—	環境政策課 農林水産課
6	自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数(H23年度からの積み上げ件数)	5件	2011 (H23)	25件		100件	2020年 (H32)	環境政策課
7	温室効果ガス排出量の抑制(市内全域)	3,957万トン	2007 (H19)	3,323万トン (H24)		3,482万トン	2020年 (H32)	地球温暖化 対策室
8	市内で下水道を利用できる人の割合	71%	2010 (H22)	77.3%		77%	2015年 (H27)	下水計画課
9	合流式下水道を改善した面積の割合	22%	2010 (H22)	100%		100%	2015年 (H27)	下水計画課
基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。								
1	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている企業の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	41.7%	2010 (H22)	46.7% (H26)		60%	2020年 (H32)	環境政策課
2	「環境保全型農業直接支援対策」取組面積	2,172a	2012 (H24)	4,396a		3,000a	2015年 (H27)	農林水産課
3	市民農園区画数	771区画	2012 (H24)	731区画		現状維持	—	農林水産課
4	新規就農者数	8人	2012 (H24)	9人		10人	2015年 (H27)	農林水産課
5	有機JAS認定農業者数(団体)	8団体	2012 (H24)	8団体		10団体	2015年 (H27)	農林水産課
6	おかやま有機無農薬農産物生産農業者数(団体)	6団体	2012 (H24)	6団体		10団体	2015年 (H27)	農林水産課
基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。								
1	自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合(倉敷市第六次総合計画指標)	87.6%	2009 (H21)	85.8%		95%	2020年 (H32)	環境政策課
2	親子・家族で日常的に自然にふれあえる場があると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	58.4%	2009 (H21)	61.8%		77%	2020年 (H32)	環境政策課
3	身近な自然を守る活動を行っている人の割合(倉敷市第二次環境基本計画指標)	10.9%	2009 (H21)	8.0%		20%	2020年 (H32)	環境政策課
4	自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子供の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	71.7%	2009 (H21)	77.4%		95%	2020年 (H32)	環境政策課
5	自然にふれる活動に参加している子どもの数(倉敷市第六次総合計画指標)	14,537人	2009 (H21)	14,114人 (H26)		19,700人	2020年 (H32)	環境政策課

※ 表中の項目のうち、H27年度集計が行われていないものについては、確認可能な最新の実績としている。

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(1)

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

◆分野別目標1:生物多様性調査の実施

【基本方針】

豊かで多様な自然環境を有する本市の生態系とその基盤となる生物に関する自然史資料等情報について、倉敷市立自然史博物館を核に、市民、市民団体、生産者、事業者、教育・研究機関と協働を図りつつ積極的に調査・収集します。

◆実施事業一覧表 【基本目標1－1 生物多様性調査の実施】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
生物多様性調査の実施	調査体制の構築	市内における自然調査を継続的に実施できる体制を構築する	リーディングプロジェクト	自然観察会や出前講座等の野外活動の機会を利用して調査を実施した	自然観察会や出前講座等の野外活動の機会を利用して調査を実施する	継続実施	→		自然史博物館	—	—	—	
				事業化に向けた検討を行った	自然調査を継続的に実施できる体制を検討する	継続実施	→		環境政策課	—	—	—	
	自然環境調査の実施	地域の自然環境に詳しい専門家（ローカルナチュラリスト）と連携した自然調査を実施する		館外の研究者に必要に応じて情報を開示し、収蔵資料の研究や共同研究を実施した	館外の研究者に必要に応じて情報を開示し、収蔵資料の研究や共同研究を実施する	継続実施	→		自然史博物館	—	—	—	
				事業化に向けた検討を行った	専門家の活動状況の把握に努める	継続実施	→		環境政策課	—	—	—	
		中学校・高等学校と連携した自然調査を実施する		中学校・高等学校における自然観察等の実態の把握に努めた	中学校・高等学校における自然観察等の実態の把握に努める	事業化検討			教育委員会	—	—	—	
				事業化に向けた検討を行った	中学校・高等学校における自然観察等の実態の把握に努める	事業化検討			環境政策課	—	—	—	
		市民参画による自然調査の実施、携帯クラウドシステムの活用を推進する		富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施した	富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施する（H28年度終了予定）	事業終了予定			環境政策課	0	0	0	
				携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した生き物調査に対し、種の同定等、必要に応じ支援を行った	携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した生き物調査に対し、種の同定等、必要に応じ支援を行う（H28年度終了予定）	事業終了予定			自然史博物館	—	—	—	
		本市の自然環境の特徴である水辺空間について自然環境基礎調査を実施する		高砂町中島柳井原線新架橋設置に伴う河川環境調査の支援を行った（H26年度事業終了）					環境政策課	—	—	—	
				高砂町中島柳井原線新架橋設置に伴う河川環境調査を実施（H26年度終了）					街路課	—	—	—	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(2)

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

施策内容	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
生物多様性調査の実施	市内の山系の自然環境調査	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、動植物を中心とした資料収集、データ整理などにより生息状況調査を行い、自然環境を把握する	継続	玉島柏島などで、独自調査及び調査協力を行った	独自調査及び調査協力を行う	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎ、動植物を中心とした生息状況調査を行った	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎ、動植物を中心とした生息状況調査調査を行う	継続実施			環境政策課	0	0	0	
	貴重な山林の把握	良好な自然環境を有する山林の調査と資料の収集	継続	鶴形山など、良好な自然環境を有する山林(社寺林)等の調査、資料収集・保管を随時行った	良好な自然環境を有する山林(社寺林)等の調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
	市内の里山調査	身近な自然である里山の実態把握に努め、保全に向けた施策の検討に繋げる	継続	向山など、良好な自然環境を有する里山の調査、資料収集・保管を随時行った	良好な自然環境を有する里山の調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である里山の実態把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である里山の実態把握を行う。	継続実施			環境政策課	0	0	0	
	市内の公園調査	身近な自然である公園の実態把握に努め、保全に向けた施策の検討に繋げる	継続	倉敷みらい公園で、「生きもの調査」を自然観察会として年4回実施し、資料収集にも努めた	身近な緑地である公園などの自然調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である都市公園などの実態把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である都市公園などの実態把握を行う	継続実施			環境政策課	0	0	0	
	市内の海岸調査	身近な自然である砂浜、干潟、磯などの自然海岸の実態把握に努め、保全に向けた施策の検討に繋げる	継続	高梁川河口付近など、良好な自然環境を有する海岸の調査、資料収集・保管を随時行った	良好な自然環境を有する海岸の調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である海岸の実態把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である海岸の実態把握を行う	継続実施			環境政策課	0	0	0	
	「倉敷川の清流化を目指す」事業	市民企画提案事業「倉敷川の清流化を目指す大学協働推進事業」の一環で、倉敷川の生き物・水質調査を実施する	終了	H26年度事業終了					市民活動推進課企画経営室	—	—	—	
	生物多様性戦略に向けた自然環境調査	生物多様性地域戦略策定のための基礎資料として市内の自然環境保全基礎調査を実施する	終了	真備妹地区の自然環境基礎調査を実施した(H25年度終了)	他地区における自然環境基礎調査の事業化を検討する				環境政策課	—	—	—	
	「倉敷の生き物を探そう!」事業	生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする	継続	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集を行った(53件の投稿があった)	富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施する(H28年度終了予定)				環境政策課	0	0	0	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(3)

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

◆分野別目標2:生物多様性に係る情報の整備・充実

【基本方針】

本市における自然環境に関する情報について倉敷市立自然史博物館を核に、関係機関との連携を図りつつ分析、評価及び将来への継承に努め、関係者及び市民に広く提供することにより生物多様性の保全、回復、再生に役立てます。

◆実施事業一覧表【基本目標1-2 生物多様性に係る情報の整備・充実】

施策内容	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
生物多様性に係る情報の整備・充実	地域活動を通じた生物多様性の保全	地域で実践している生物多様性に関する活動をより発展的に進めるため、事業の提案や助言、自然調査等の支援ができる仕組みづくりを構築する	リーディングプロジェクト	事業化に向けた検討を行った	生物多様性保全事業の提案や助言、自然調査等の支援ができる仕組みづくりを検討する	継続実施			環境政策課 市民活動推進課 各担当課	-	-	-	
	関係部署における情報共有	本市が実施している自然体験フィールドやイベント、環境学習活動、環境学習施設の紹介、野生動物や自然環境に関する情報を提供する ⇒関係部署で、野生動物や自然環境に関する情報等の生物多様性に関する情報が共有されていないため、収集した情報を整理し、提供して、市民活動の推進につなげる		5月22日の国連生物多様性の日、自然と親しむ月間等において、関係部署の関連情報を取りまとめ、情報提供を行った	5月22日の国連生物多様性の日、自然と親しむ月間等において、関係部署の関連情報を取りまとめ、情報提供を行う	継続実施			環境政策課 市民活動推進課 環境学習センター 農林水産課 観光課 指導課 教育センター 生涯学習課 少年自然の家 自然史博物館 市民学習センター 科学センター	-	-	-	
		「倉敷市生物多様性地域戦略」に係る情報提供を推進する		生物多様性地域戦略概要版を作成し、配布した(H26年度事業終了)					環境政策課 環境学習センター 自然史博物館	-	-	-	
	自然史博物館の施設整備	常設展示資料の補完的更新を行い、収蔵庫の拡張に努める。	継続	動くナウマンゾウ親子のメンテナンスや検索用パソコンのデータ更新、展示品の追加などを行った	展示物等の補修メンテナンスを行う	継続実施			自然史博物館	126	125	138	予算・実績は展示事業の設備保守点検委託料
	特別展(特別陳列)の開催	岡山県内を中心として自然史全般について常設展示で盛り込めていないテーマについて、収蔵資料や外部団体の協力を生かした展示を行う	継続	「驚異の新種アキラマイマイ」「生命過去から未来へ」「島の植物」「秋の鳴く虫展」「新着資料展2015」「しぜんしくらしき賞作品展」などを開催した。	「新着資料-近藤光宏昆虫コレクション展-」「おりがみ昆虫展」「発掘された過去・現在・未来-G7倉敷教育大臣会合応援事業 美術館ルネサンス事業-」「秋の鳴く虫展」「新着資料展2016」「しぜんしくらしき賞作品展」を開催する。	継続実施			自然史博物館	4,005	3,996	1,043	予算・実績は展示事業+特別展事業
	自然環境基礎調査及び資料の収集、保管	他の自然史博物館、研究機関と交流を行い、収集資料を交換し市民に資料提供を行う	継続	西日本自然史系博物館ネットワーク加盟館園や岡山県博物館協議会加盟館園などと交流を行い、市域内外にわたる自然環境について、機会あるごとに調査を進め、標本資料や文献資料の収集保管を行った	他の自然史博物館、研究機関と交流を行い、また市域内外にわたる自然環境について、機会あるごとに調査を進め、標本資料や文献資料の収集保管を行う	継続実施			自然史博物館	1,775	1,775	1,767	予算・実績は標本・文献等収集事業
	自然環境指標生物についての基礎的研究	自然環境指標となる生物について基礎的研究を行う	継続	倉敷市生物目録の補完調査ならびに動植物の分布調査、分類学的、生物地理学的研究を進め、成果を研究報告や博物館講座などで公表した	倉敷市生物目録の補完調査ならびに動植物の分布調査、分類学的、生物地理学的研究を進める	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
	市域外での調査研究	市内の生物相の特徴を浮き彫りにするため、倉敷市域外での調査研究を行う	継続	市内の生物相の特徴を浮き彫りにするため、岡山県内の市域外(真庭市・鏡野町・井原市・岡山市など)の自然についても調査や資料収集を行った 県外においては三重県・高知県で資料収集を行った	市内の生物相の特徴を浮き彫りにするため、岡山県内全域の自然についても調査や資料収集を行う 県外においては三重県、奈良県で資料収集を行う	継続実施			自然史博物館	1,379	1,357	1,142	予算・実績は調査研究事業

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(4)

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

施策内容	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
生物多様性に係る情報の整備・充実	水辺教室	高梁川河原で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成27年7月26日(日) 高梁川河川敷 34人参加	水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成28年7月31日(日) 高梁川河川敷	継続実施			環境学習センター 市民学習センター	82	73	82	※予算等は環境学習センター分のみ (講師謝金は市民学習センター予算)
	海辺教室	磯(海辺)で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成27年8月8日(土) 児島通生海岸 24人参加	海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成28年8月11日(木・祝) 児島通生海岸	継続実施			環境学習センター 市民学習センター	83	73	83	※予算等は環境学習センター分のみ (講師謝金は市民学習センター予算)
	井戸、湧水に関する情報収集と情報提供	自然保護監視員や市民からの情報提供を求め、HPで情報提供を行う	継続	認定済みの井戸・湧き水について、HPで情報提供を行った。	認定済みの井戸・湧き水について、HPで情報提供を行う	継続実施			環境政策課	-	-	-	
	巨樹・老樹等の保護	自然保護監視員や市民からの情報提供を求め調査し顕彰する	継続	自然保護監視員や市民からの情報をもとに、巨樹・老樹等の調査を行った	情報の収集と提供を行い、新たな樹木を認定する 巨樹・老樹の老朽化した案内板を更新する	継続実施			環境政策課	65	0	44	
	自然海岸、海浜、干潟の調査	自然保護団体の協力で海岸線、海浜、干潟の現状を把握する	継続	児島唐琴など、島嶼部及び沿岸部に関する標本、文献類の収集・保管を行った また、六口島など、友の会主催による観察会や友の会のグループ活動による調査、資料の収集・保管を行った	自然史博物館友の会の行事「干潟の生物の観察会」(笠岡市)、「真鍋島の自然」(笠岡市)に協力しつつその現地の調査を行う。また、別途、独自調査及び調査協力を行う	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
	自然保護監視員制度の活用	自然保護監視員から身近な地域における自然環境の話題、情報を収集する	継続	連絡会議や定期的な報告書により、市内自然環境の状況、外来生物侵入の状況について情報収集を行った	連絡会議や定期的な報告書により、市内自然環境の状況、外来生物侵入の状況について情報収集を行う	継続実施			環境政策課	280	224	256	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(5)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

◆分野別目標1:総合的・計画的な保全体系の拡充

【基本方針】

生物多様性の保全は長期的な取り組みが必要な新しい地域課題であることから、地域の多様な生態系・生物種が現状程度に保持されるとともに、希少種、貴重な生態系の保全、回復、再生施策を推進するため、総合的・計画的な保全体系の拡充を図ります。

◆実施事業一覧表【基本目標2－1 総合的・計画的な保全体系の拡充】

	ハビ タット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
総合的・計 画的な 保全体系 の拡充	市 全 域	生物多様性の保全体 系の拡充	総合的・計画的な保全体系を拡充す る	リーディング プロジェクト	事業化に向けた検討を行った	総合的・計画的な保全体系の 拡充について検討する				環境政策課	－	－	－	
			生態系の現状を踏まえた土地利用 の推進、および開発における環境配 慮の拡充等による、自然生態系、人 と自然のふれあいに係る生態系、市 街地の都市公園・緑地等の生態系を 保全する 環境影響評価制度の活用を図る		国が進める環境保全型農業直 接支援対策等の普及を進めた	国が進める環境保全型農業直 接支援対策等の普及を進める				環境政策課 農林水産課	－	－	－	
					法、条例に係る事業について は、環境保護及び環境保全措 置を積極的に要望した	法、条例に係る事業について は、環境保護及び環境保全措 置を積極的に要望する				環境政策課	－	－	－	

◆分野別目標2:地域の自然と生態系ネットワークの保全

【基本方針】

水と緑のつながりを確保し、地域の生態系ネットワークを保全、回復、再生するため、防災や利用との調和を図りながら、住宅地等民有地や工場、事業所、遊休地等の緑化を図り、生き物の生息・生育空間及び移動経路に配慮した空間の形成を目指します。

◆実施事業一覧表【基本目標2－2 地域の自然と生態系ネットワークの保全】

	ハビ タット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
地域 の自然と生態系 ネットワ ークの保 全	森・山	循環的活用の推進	豊かな生態系を循環的に活用する ため、上流域も含め、市民活動団 体との協働により森林保全の実施 を支援・推進する	リーディング プロジェクト	高梁川流域における市民活動 団体の活動について、広報等 通じて支援した	高梁川流域における市民活動 団体の活動について、広報等 通じて支援する				環境政策課 担当事業課	－	－	－	
	市 街 地	屋上緑化、壁面緑化 の推進	マンションや戸建住宅、工場等 にある緑地において、特定外来生物 等の他の植生に悪影響をもたらす 植物の除去や、植栽等の景観も含 めた保全が行えるよう方針を作成 する		屋上緑化、壁面緑化の方針に ついて先行事例等情報収集を 行った	屋上緑化、壁面緑化の方針に ついて先行事例等情報収集を 行う				環境政策課 公園緑地課 開発指導課 街路課 市街地開発課 住宅課	－	－	－	
		公園・緑地整備計画 の推進及び支援	生物多様性に配慮した公園・緑地 整備計画の支援を推進し、民間開 発事業に伴う緑化の支援及び指 導を行う		法・条例に基づき、緑の保全が 図られるよう規制・指導した	法・条例に基づき、緑の保全が 図られるよう規制・指導する				公園緑地課 各担当課	0	0	0	
	市 全 域	自然に配慮した景観 保全	豊かな自然と良好な景観を保全す るため、条例に従い、規制・指導 を行う		法・条例に基づき、緑の保全が 図られるよう規制・指導した	法・条例に基づき、緑の保全が 図られるよう規制・指導する				公園緑地課	0	0	0	
		各種団体との連携推 進	生物多様性の保全について、NPO 法人や地域団体等の各種団体と調 整を図るとともに、地域連携保全 活動計画策定の検討を図る		各団体の実態把握及び地域連 携保全活動計画の導入可能性 について調査した	各団体の実態把握及び地域連 携保全活動計画の導入可能 性について調査する				環境政策課 環境衛生課 市民活動推進課	－	－	－	
		市以外の公共事業に おける環境保全措置	国や岡山県などが、本市において 実施する公共事業に対して、必要 な協力を行いつつ、重要地域で の事業実施回避も含め、当該地域 での生物多様性への影響を最小限 に抑えることを求め、また、必要 に応じ、十分な代償措置を求める		必要に応じ、事業による生物多 様性への影響を最小限に抑え ることを求め、また、必要に応 じ、十分な代償措置を求めた	必要に応じ、事業による生物多 様性への影響を最小限に抑 えることを求め、また、必要に 応じ、十分な代償措置を求め る				環境政策課 各担当課	－	－	－	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(6)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

	ハビ タット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
地域の自然と生態系ネットワークの保全	森・山	ビオトープの設置促進	小学校、公共施設等へのビオトープの設置を手助けする	継続	継続					環境政策課	0	0	0	
		「倉敷美しい森」管理事業	地元へ管理委託	継続	地元へ管理委託して施設を保全した	地元へ管理委託して施設を保全する	継続実施			児島・産業課	2,363	2,363	2,363	
			地元へ管理委託	継続	維持管理					真備・産業課	5,013	4,962	5,070	
		「ふれあいの森」管理事業	地元へ管理委託	継続	地元へ管理委託して施設を保全した。	地元へ管理委託して施設を保全する	継続実施			児島・産業課	2,699	2,699	2,699	
		種松山野草園管理	野草園の管理	継続	移植植物の維持管理を行った	移植植物の維持管理を行う	継続			環境政策課	380	360	380	
		「愛宕山森林公園」管理事業	愛宕神社を中心に広がる緑豊かな森林公園の草刈りやトイレ清掃などを管理委託により保全する	継続	公園内の草刈、トイレ清掃等を管理委託により保全した	公園内の草刈、トイレ清掃等を管理委託により保全する	継続実施			船穂・産業係	2,144	2,110	2,277	
		「ツツジ山再生プロジェクト」事業	市民企画提案事業「ツツジ山再生プロジェクト」により、旧帯江銅山(中庄)にツツジを植え、かつて栄えたツツジ山を復活させる	継続	ツツジの苗木の育成及び植栽	ツツジの苗木の育成及び植栽				市民活動推進課	142	131	207	協働団体「ツツジ山再生プロジェクト」
	河川・水辺・ため池	自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施	自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理を行う	継続	希少種の生息状況など自然環境保全に係る情報を収集し、事業部署に情報を提供、手助けすることにより、生物に配慮した施工、維持管理に反映させた	希少種の生息状況など自然環境保全に係る情報を収集し、事業部署に情報を提供、手助けすることにより、生物に配慮した施工、維持管理に反映させる	適宜実施			環境政策課	107	55	107	
				継続	東三間川用水路改修工事H28へ繰越 西部排水路改修工事H28へ繰越	東三間川用水路改修工事 L=80.0m、L=40.0m 西部排水路改修工事 L=30.0m	継続実施 継続実施			水島支所・産業	4,000 5,000	0 0	12,400 6,900	
				終了	水島6号水路改修工事 L=73.18m(平成26年度事業終了)					水島支所・産業	—	—	—	
				継続	鶴新田17号水路改修工事H28へ繰越	鶴新田17号水路改修工事 L=36.0m、30.0m	継続実施 事業終了			水島支所・産業	3,000	0	8,300	
				継続	西部排水路藻刈業務委託 福田用水路清掃業務委託	西部排水路藻刈業務委託 福田用水路清掃業務委託	継続実施 継続実施			水島支所・産業	5,000 1,235	5,428 1,117	5,000 1,235	
				継続	常江190号水路改修工事	倉109号水路改修工事ほか9件程度	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	耕地水路課	76,500	9,955	55,700	
		溜川公園水辺ゾーン及び現況ヨシ原維持管理	地域団体・NPOの協力のもと、水辺ゾーン及び現況ヨシ原の維持管理及び保全を行う	継続	維持管理					玉島・建設課	489	489	489	随時見直しあり
		阿津遊水池環境保全事業	遊水池の環境整備(測量、設計委託、整備)	継続	遊水池整備	維持管理				児島・建設課	9,000	6,311	0	
		自然保護団体の湿地復元、保護活動への支援	湿地復元や保護を行う自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する	継続	自然保護団体の活動に対して技術情報提供などにより支援した	自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する	継続実施			環境政策課	—	—	—	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(7)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

	ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
地域の自然と生態系ネットワークの保全	平里野地部	「由加のビオトープづくり」事業	市民企画提案事業「由加のビオトープづくり」により、由加の休耕田にビオトープを整備する	終了	H26年度事業終了					市民活動推進課	—	—	—	協働団体「由加の自然を育む会」
	市街地	自然とのふれあいの場の整備事業・公共施設緑化事業	緑豊かな街並み空間をつくるため、公園等の環境整備をする	継続	用地取得 整備工事	用地取得 整備工事	継続			公園緑地課	96,860 205,194	58,889 149,011	99,889 53,082	
		「茶屋町の干拓史跡・真如庵庭園の自然観察公園への改修とその活用」事業	市民企画提案事業「茶屋町の干拓史跡・真如庵庭園の自然観察公園への改修とその活用」の一環で、真如庵にビオトープの整備を実施する	終了	H26年度事業終了					市民活動推進課 環境政策課	—	—	—	協働団体「茶屋町エコライフ・グループ」
		本庁壁泉池維持管理	ビオトープとして整備した壁泉池の維持管理を行う	継続	維持管理					総務課	0	0	0	
	市全域	造林事業	森林資源の培養と自然環境の保全を図るため、苗木相当額を補助し植林を推進する	継続	要望に応じ、苗木相当額を補助し、植林を実施した	要望に応じ、苗木相当額を補助し、植林を実施する	継続実施			農林水産課	77	39	77	516林業総務関係補助金
		松くい虫予防事業	松くい虫被害対策のため、薬剤散布による予防と被害木の伐採駆除	継続	松くい虫予防事業、松くい虫被害木伐倒事業を行った	松くい虫予防事業、松くい虫被害木伐倒事業を行う	継続実施			農林水産課	25,465	18,749	26,022	513松くい虫予防事業・515松くい虫被害木伐倒駆除事業・2032松林活力剤注入事業

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(8)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

◆分野別目標3:地域ごとの自然環境の保全

【基本方針】

それぞれの地域の自然特性を活かしながらか保全していくことが重要なため、地域住民の協力のもと、地域の特性に応じた取り組みを推進します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-3 地域ごとの自然環境の保全】

	ハビ タット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
地域ごとの自然環境の保全	森・山	倉敷地域の 取り組み	酒津八幡山周辺を、山と河が一体 となった緑豊かな景観と、多様な 生態系が残る自然の宝庫として保 全する	継続	市民団体との協働により、保全 及び利活用について調査・検 討を進めた	市民団体との協働により、保全 及び利活用について調査・検 討を進める	継続実施	→		環境政策課 各担当課	—	—	—	
		水島地域の 取り組み	大平山、種松山、鴨ヶ辻山などの 山系の自然環境を保全し、自然と ふれあえる場として活用を図る	継続	開発指導を通じ、自然環境を保 全するとともに、市が設置した 探鳥コース、野草園など自然と ふれあえる場の活用を図った	開発指導を通じ、自然環境を保 全するとともに、市が設置した 探鳥コース、野草園など自然と ふれあえる場の活用を図る	継続実施			環境政策課 各担当課	380	360	380	
		児島地域の 取り組み	由加山系の貴重な動植物を保護す るとともに、山系全体を保全する	継続	市民団体等との協働により、保 全及び自然とふれあえる場の 活用を図った	市民団体等との協働により、保 全及び自然とふれあえる場の 活用を図る	継続実施			環境政策課 少年自然の家	—	—	—	
	河川・水 辺	水島地域の 取り組み	八間川を、市民が憩える水辺空間 として整備を推進する	継続	花苗5000株を年3回植栽した	花苗5000株を年3回植栽す る	継続実施	→		公園緑地課	250	250	250	
		玉島地域の 取り組み	溜川遊水池周辺の自然生態環境を 保全・活用するとともに、市民が 自然とふれあえる公園として溜川 公園を維持管理する	継続	自然生態環境に配慮し維持管 理を行った	自然生態環境に配慮し維持管 理を行う	継続実施	→		玉島・建設課 公園緑地課	489	489	489	
		船穂・真備地域の取 り組み	川辺ふるさとビオトープや真備水 辺の楽校、希少生物の理解や水生 生物とのふれあいの場として活用 を図る	継続	身近な自然とふれあえる場とし ての活用を図った	身近な自然とふれあえる場とし ての活用を図る	継続実施	→		環境政策課 各担当課	—	—	—	
			清流に恵まれた高梁川、小田川と その周辺の自然環境を保全し、自 然とふれあえる場として活用を図 る	継続	国、県の整備事業等において、 自然環境の保全を働きかけると ともに、水辺教室等を通じて 自然とふれあえる場としての活 用を図った	国、県の整備事業等におい て、自然環境の保全を働きか けるとともに、水辺教室等を通 じて自然とふれあえる場として の活用を図る	継続実施	→		環境政策課 各担当課	—	—	—	
	海辺・海 岸	児島地域の 取り組み	唐琴地区や、下津井地区の砂浜、 干潟、磯などの自然海岸を保全 し、藻場の回復を図るため、国、 県へ積極的に働きかける	継続	砂浜、干潟、磯など自然海岸の 保全、藻場の回復を図るため、 国、県へ積極的に働きかけると ともに、海辺教室等を通じて、 市民への保全意識の啓発を 図った	砂浜、干潟、磯など自然海岸 の保全、藻場の回復を図るた め、国、県へ積極的に働きか けるとともに、海辺教室等を通 じて、市民への保全意識の啓 発を図る	継続実施	→		環境政策課 各担当課	—	—	—	
			鷺羽山展望台周辺整備基本計画及 び名勝下津井鷺羽山保存管理計 画に基づき、鷺羽山の良好な自然 景観を維持保全するとともに、整備 活用する。	継続	・展望地点の案内看板の設置 ・樹木の伐採	樹木の伐採を行う	継続実施	→		観光課	4,875	4,212	992	
		玉島地域の 取り組み	高梁川河口の干潟や、玉島黒崎地 区の砂浜、干潟、磯などの自然海 岸の保全を図るため国、県へ積極 的に働きかける	継続	砂浜、干潟、磯など自然海岸の 保全を図るため国、県への積 極的な働きかけ及び市民団体 の支援等を通じて、市民への 保全意識の啓発を図った	砂浜、干潟、磯など自然海岸 の保全を図るため国、県への 積極的な働きかけ及び市民団 体の支援等を通じて、市民へ の保全意識の啓発を図る	継続実施	→		環境政策課 各担当課	—	—	—	
	市街地	倉敷地域の 取り組み	鶴形山、向山、足高山など市街地 の中の身近な自然環境を保全し、 自然とふれあえる場として活用を 図る	継続	公園、道路等適切に維持管理 することにより自然環境を保全 し、探鳥コース等を利用して自 然とふれあえる場としての活用 を図った	公園、道路等適切に維持管理 することにより自然環境を保全 し、探鳥コース等を利用して自 然とふれあえる場としての活用 を図る	継続実施	→		環境政策課 各担当課	—	—	—	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(9)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

◆分野別目標4:重要地区の保全

【基本方針】

生態系ネットワークの構成上重要であり、豊かな生き物の生息地、生育地となっている地域について積極的に保全します。

◆実施事業一覧表【基本目標2ー4 重要地区の保全】

	ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H28実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
重要地区の保全	海 浜	アマモ場の保全・再生事業	アマモ場保全・再生事業を推進する	リーディング プロジェクト	市民団体等の取り組みを情報提供、広報等により支援した	市民団体等の取り組みを情報提供、広報等により支援する			→	環境政策課	-	-	-	
	平 野 地 部	生物多様性に配慮した里地・里山整備	里地里山の持続的管理のための社会的枠組みや利活用方策等について検討し、生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する		環境保全型農業直接支援対策などにより生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援した	耕作放棄地対策や環境保全型農業直接支援対策などにより生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する			→	農林水産課 環境政策課	4,090	3,616	5,890	2659農産園芸補助金 (環境保全型農業直接支援対策事業)、 40008耕作放棄地対策事業
	た め 池	ため池保全計画の策定	ため池の生物多様性保全機能に着目し、国が進める農地・水・環境保全向上対策事業の利用、推進を図る		ストックマネジメント事業等の推進にあわせ、必要に応じ環境保全向上対策を推進した	ストックマネジメント事業等の推進にあわせ、必要に応じ環境保全向上対策を推進する			→	環境政策課 担当事業課	-	-	-	
	湿 地	湿地復元、保護活動への支援	湿地復元や保護を行う自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する		必要に応じ自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援した	必要に応じ自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する			→	環境政策課	0	0	0	
	市 全 域	良好な自然環境が残る区域を保全する「地区指定」の実施	良好な自然環境が残る地域で、まず公有地を中心に指定に向け関係者との協議を行う	継続	候補になるような地域の指定場所の検討を行った	候補になるような地域の指定場所の検討を行なう	継続実施		→	環境政策課	-	-	-	
		自然公園区域、県自然環境保全地域等の区域の拡大や、新たな指定への協力	良好な自然環境が残る地域で、まず公有地を中心に指定に向け土地所有者及び関係市民との協議を行い、協力が得られた区域について、国、県に積極的に働きかける	継続	指定に適した地区の調査・検討を行った	指定に適した地区の調査・検討を行う	継続実施		→	環境政策課	-	-	-	

◆分野別目標5:希少野生生物の生息・生育環境の保全

【基本方針】

天然記念物や種の保存法該当種、国や県のレッドデータブック対象種について、保護の重要性に関する普及啓発を進めるとともに生息地の保全・再生を含む保護活動を推進します。

◆実施事業一覧表【基本目標2ー5 希少野生生物の生息・生育環境の保全】

	ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
希少野生生物の生息・生育環境の保全	河 川 ・ 水 辺	希少動植物の生息情報整備	希少野生動植物の生息情報マップを整備し、生態系に配慮した管理を推進する	リーディング プロジェクト	希少野生動植物の生息情報マップの構築に向け随時調査を行った	希少野生動植物の生息情報マップの構築に向け随時調査を行う			→	環境政策課 耕地水路課	0	0	0	
		希少動植物の保全	各課連携により淡水魚・希少動物の積極的保全に取り組む		希少野生生物の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努めた	希少野生生物の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努める			→	環境政策課	107	55	107	
	海 浜 ・ 海 岸	海浜や干潟における希少生物の保全	海浜利用者に配慮し、保全が必要な海浜植物について囲いを設置するなどの保全を行う		必要に応じ保護対策を実施した	必要に応じ保護対策を実施する			→	環境政策課	0	0	0	
	市 全 域	希少野生動植物の保全	早急な対策が求められる希少な動植物種について優先的に保護対策を講じ、種の絶滅を回避する		必要に応じ保護対策を実施した	必要に応じ保護対策を実施する			→	環境政策課 自然史博物館 各担当課	0	0	0	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(10)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

	ハビ タット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
希少野生生物の生息・生育環境の保全	森・山	シラガブドウの保護	愛宕山森林公園内および堆肥化施設敷地内に、シラガブドウの保護地を設け、保護及び啓発を行う	継続	保護育成(ふなおワイナリーの経費により管理を行った)	保護育成(ふなおワイナリーの経費により管理を行う)	→			船穂・産業係	0	0	0	
		ミズアオイ群生地整備事業	ミズアオイの良好な生育環境を創造するため、自生地の整備を行う	継続	冬季に耕耘等により自生地の環境整備を行った	冬季に耕耘等により自生地の環境整備を行う	継続実施	→		土木課	300	357	365	
		ミズアオイ群生地の保全活動	自然保護団体、地域住民等と協力し、ミズアオイ群生地の良好な生育環境の保全に努める	継続	ヌートリア食害防護フェンスの設置など、ミズアオイ自生地の整備・管理に協力した。市民に対して観察会等の啓発活動を行った(春:種まき会 秋:観察会)	ミズアオイ自生地の整備・管理に協力する 市民に対して観察会等の啓発活動を行う	継続実施	→		環境政策課	73	66	73	
		希少野生生物に配慮した公共工事の実施要請	スイゲンゼニタナゴ・カワバタモロコやダルマガエルなど希少野生生物が生息・生育する場所での水路改修・街路事業などの公共工事では、専門家等との協議や地域住民の理解を求め、希少野生生物の生息・生育環境への影響が最も少ない方法を検討し、調整を図る	継続	希少野生生物の生息の可能性のある地域の公共工事を把握し、必要に応じて環境省や専門家と協力して、配慮工事を要請した(調査・協議・対策を7回実施)	希少野生生物の生息の可能性のある地域の公共工事を把握し、必要に応じて環境省や専門家と協力して、配慮工事を要請する	継続実施	→		環境政策課	107	55	107	
		希少野生生物に配慮した公共工事の実施	スイゲンゼニタナゴなどの希少野生生物(淡水魚)の生息・生育環境に配慮した公共工事の実施に努める	継続	スイゲンゼニタナゴなどの希少野生生物(淡水魚)の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努めた	スイゲンゼニタナゴなどの希少野生生物(淡水魚)の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努める	適宜実施	→		担当工事事業課	—	—	—	
	河川・水辺			継続	東三間川用水路改修工事 H28へ繰越 西部排水路改修工事 H28へ繰越	東三間川用水路改修工事 L=80.0m, L=40.0m 西部排水路改修工事 L=30.0m	継続実施 継続実施	→		水島支所・産業	4,000 5,000	0 0	12,400 6,900	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施
				終了	水島6号水路改修工事 L=73.18m(平成26年度事業終了)					水島支所・産業	—	—	—	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施
				継続	鶴新田17号水路改修工事 H28へ繰越	鶴新田17号水路改修工事 L=36.0m, 30.0m	継続実施 事業終了	→		水島支所・産業	3,000	0	8,300	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施
				継続	帯江190号水路改修工事	倉109号水路改修工事ほか9件程度	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	耕地水路課	76,500	9,955	55,700	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施
			ダルマガエル・カスミサンショウウオなどの希少野生生物(両生類等)の生息・生育環境に配慮した公共工事の実施に努める	継続	希少野生生物(両生類等)の存在が確認された場合は、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努めた	希少野生生物(両生類等)の存在が確認された場合は、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努める	適宜実施	→		担当工事事業課	—	—	—	
		スイゲンゼニタナゴ個体群の保全	自然保護団体、地域住民と協力し、スイゲンゼニタナゴの保護活動を推進する	継続	自然保護団体等と協力して、淡水魚に関する出前講座(2回)を実施した。工事実施等に伴い、保全に関する協議・保護移動を実施した(3件)	自然保護団体等と協力して、啓発活動を行う 淡水魚に関する出前講座を実施する。工事実施に伴う保全に関する協議・保護移動を実施する	継続実施	→		環境政策課 環境学習センター	33	15	33	
		川辺ふるさとビオトープ管理	ダルマガエル公園を含む親水公園の維持管理(委託)	継続	希少生物の生息する地域内で、都市公園内の池周辺清掃等維持管理を「真備川辺地区公園愛護会」へ委託し、環境保全を行なった	希少生物の生息する地域内で、都市公園内の池周辺清掃等維持管理を引き続き「真備川辺地区公園愛護会」へ委託し、環境保全を行なう	継続管理	→		真備・建設課	251	251	251	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(11)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

◆分野別目標6:外来生物対策

【基本方針】

国内外における輸送などに伴い、意図的、非意図的を問わず人為的に導入された外来生物による地域の生態系への影響を最小限とするため、国、県、周辺自治体、市民、事業者及びNPO団体など関係機関と連携し、外来生物に関する情報提供や正しい知識の普及に努めるとともに、必要に応じ関係法令に基づく防除を検討します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-6 外来生物対策】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主要内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
外来生物対策	外来種等の生態系に 悪影響を与える生物 への対応	アライグマなどの特定外来生物に ついて防除計画を作成し駆除等の 対策を実施する	リーディング プロジェクト	先行自治体の情報収集を進 め、防除計画の策定を検討し た	先行自治体の情報収集を進 め、防除計画の策定を検討す る	→			環境政策課 農林水産課 環境衛生課	-	-	-	
		ペットや野生動物とのつきあい方 等の市民啓発の実施をする		出前講座等の機会を利用し、 啓発活動を行った	出前講座等の機会を利用し、 啓発活動を行う	→			環境政策課	-	-	-	
				出前講座等の機会を利用し、 啓発活動を行った	チラシや出前講座等の機会を 利用し、啓発活動を行う				生活衛生課	-	-	-	
		ヌートリアやカワウなどについ て、苦情や捕獲などの情報をもと に獣害分布図を作成し、関係部署 との情報の共有を図る		関係機関の情報共有を進め、 分布の把握に努めた	関係機関の情報共有を進め、 分布の把握に努める	→			環境政策課 農林水産課 環境衛生課	-	-	-	
	外来生物に関する啓 発と情報提供	外来生物の移入などによる生態系 への影響を最小限とするため、環境 省など関係機関と連携し、外来生物 に関する情報提供や正しい知識の 普及啓発を行う	継続	出前講座、観察会、博物館講 座などで機会あるごとに問題の 普及啓発に努めた(講座回数 71回)	新たに発見された外来生物に ついて記者クラブへの発表及 び学術雑誌での報告を行う 出前講座、観察会、博物館講 座などで機会あるごとに問題 の普及啓発に努める	継続実施 →			自然史博物館	0	0	0	
			継続	施設見学受入・出前講座等の 機会を利用し、外来生物に関 する啓発活動を行った	施設見学受入・入出前講座等の 機会を利用し、外来生物に関 する啓発活動を行う。必要に 応じ駆除対策の計画、実施を 行う	継続実施 →			環境政策課 環境学習センター	8,338	8,180	8,265	(30217)環境学習セ ンター運営費
			継続	市民からの問い合わせに対し、 関係機関と連携して対応した。 市内に生息するスクミリンゴガ イ(ジャンボタニシ)の防除啓発 を広報くらしきなどで行った	市民からの問い合わせに対 し、関係機関と連携して対応す る 市内に生息するスクミリンゴガ イ(ジャンボタニシ)の防除啓発 を広報くらしきなどで行う	継続実施 →			自然史博物館 環境政策課 農林水産課	-	-	-	
	外来生物への対策の 計画策定と防除の実 施	必要に応じ、防除計画の策定、防除 実施を進める	継続	これまで収集した情報及び調 査結果を踏まえ、防除対策に ついて検討した	これまで収集した情報及び調 査結果を踏まえ、必要に応じ 防除対策について検討する	継続実施 →			環境政策課 農林水産課	-	-	-	鳥獣被害防止計画な ど

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(12)

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

◆分野別目標1:環境配慮型農業と地産池消の推進

【基本方針】

おかやま有機JASなどの有機農業や冬期湛水管理など生き物を育む環境保全効果の高い営農活動を支援、推進するとともに担い手の育成など農業の持続的な発展と地域の活性化を図ります。

◆実施事業一覧表【基本目標3-1 環境配慮型農業と地産池消の推進】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
環境配慮型農業と地産池消の推進	生物多様性に配慮した農業の推進	冬水田んぼ、休耕田の利活用による田んぼづくりを推進する	リーディングプロジェクト	要望がなかったため未実施	耕作放棄地解消推進事業等を活用した支援により、耕作放棄地の再生・利用を推進する	→			農林水産課	0	0	0	
		農地を活用した環境学習を推進する		環境保全型農業直接支援対策等を通じ環境配慮型農業を推進することにより、農業者が実施する環境学習を支援した	継続して実施する	→			農林水産課	0	0	0	
				夏休み講座として、「田んぼの生きものしらべ」を実施	体験講座「ぶどう収穫体験とフードマイレージ」を実施する	実施に向けて検討する			環境学習センター	0	18	0	※30218環境学習推進事業予算内で実施予定。積算額が0円
		生物多様性と安全に配慮した農林水産物のPR、地産地消及び旬産旬消の推進をする		地場農産物や特産物の消費拡大を図る各種イベントや啓発講座の開催、PR活動などを行った	継続して実施する	→			農林水産課	1,696	1,429	1,866	4597地産池消推進事業
		生物多様性（環境）保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図る		パンフレットの配布等を通じ環境保全型農業の普及促進を図った	継続して実施する				農林水産課	0	0	0	
				出前講座等を通じて生物多様性（環境）保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図った	出前講座等を通じて生物多様性（環境）保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図る	→			環境政策課	-	-	-	
	環境保全型農業の支援	おかやま有機JASなどの有機農業や冬期湛水管理など生き物を育む環境保全効果の高い営農活動を支援する	継続	環境保全型農業直接支援対策により環境保全効果の高い営農活動を支援した	継続して実施する	→			農林水産課	3,000	3,616	4,800	【再掲】2-4 生態系に里地里山に配慮した里地里山の整備

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(13)

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

◆分野別目標2: 生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進

【基本方針】

開発行為を行う場合、生態系とその基盤となる生物に関する情報を事前に把握し、配慮した予防的、順応的な対策などの取り組みを進めます。

事業活動における環境負荷の低い原材料の使用や生態系認証商品や材料の活用、供給などサプライチェーン全体の中で持続可能な生産と消費に配慮した経営を促していきます。

◆実施事業一覧表【基本目標3-2 生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進	生物多様性に配慮した事業の実施	生物多様性に配慮した開発事業の実施のための指導を行う	リーディングプロジェクト	生物多様性に配慮した開発事業の実施のための指導を行った(4件)	生物多様性に配慮した開発事業の実施のための指導を行う				環境政策課 開発指導課	-	-	-	
		まとまりのある緑地等を開発事業や都市づくりに取り入れ、生き物の生育・生息環境に貢献する		該当事業がなかったため未実施	まとまりのある緑地等を開発事業や都市づくりに取り入れ、生き物の生育・生息環境に貢献する				市街地開発課	-	-	-	
		自然環境や生態系に配慮した技術開発・施工方法による生物多様性保全への取り組みを推進する		工事個所の自然環境や生態系に配慮した対応を検討した	工事個所の自然環境や生態系に配慮し、必要に応じ対応する				土木課 街路課	-	-	-	
		産業界に係る職員や企業を対象とした研修を行い、企業活動や商品、サービスが生態系に依存していることを意識し、環境に配慮した活動を推進する		出前講座等を通じて、サービスが生態系に依存していることを意識し、環境に配慮した活動を推進した	出前講座等を通じて、サービスが生態系に依存していることを意識し、環境に配慮した活動を推進する				各担当課 環境政策課	-	-	-	
		生物多様性に欠かせない水と命の係わりについて意識し、下水道の整備等により、生態系の回復を図る		下水道の整備及び普及促進	下水普及率を向上させ、水質の向上を図る				下水建設課 下水施設課	-	-	-	
	くらしき地域資源の活用	地域資源を、老舗、特産品、魅どころとして取りまとめ、情報発信をする		くらしき地域資源を取りまとめ、ホームページやBOOK等を通じて情報提供を行った	くらしき地域資源を取りまとめ、ホームページやBOOK等を通じて情報提供を行う				商工課	7609	7609	4940	40038 くらしき地域資源情報発信事業
	市民参画による生物多様性に配慮した公園づくり	市民参画による生物多様性に配慮した公園づくりを推進する		市民の意見を取りいれた公園づくりを推進した	市民の意見を取りいれた公園づくりを推進する				公園緑地課	0	0	0	
	小田川付替え事業との連携	高梁川小田川付替え事業及び関連する事業について国、県と連携を図り、生物多様性の保全を推進する		高梁川小田川付替え事業及び関連する事業について事業の進捗にあわせ必要に応じ国、県と連携を図り、生物多様性の保全を推進した	高梁川小田川付替え事業及び関連する事業について事業の進捗にあわせ必要に応じ国、県と連携を図り、生物多様性の保全を推進する				環境政策課 土木課 自然史博物館 文化財保護課 各担当課	-	-	-	
	八間川緑道公園整備	地元住民、関係機関等との協議の検討	継続	八間川東側に緑地を整備	事業終了				水島・建設	29,000	15,530	-	
	土石採取の掌握・指導	土石採取の掌握・指導	継続	土石採取の掌握・指導	土石採取の掌握・指導	継続実施			開発指導課	-	-	-	
	土砂等による土地の埋め立て許可	土砂等による土地の埋め立て許可	継続	土砂等による土地の埋め立て許可	土砂等による土地の埋め立て許可	継続実施			開発指導課	-	-	-	
	宅地造成許可	宅地造成に係る許可	継続	宅地造成に係る許可	宅地造成に係る許可	継続実施			開発指導課	-	-	-	
	開発行為等の規制及び指導	開発行為等の規制及び指導	継続	開発行為等の規制及び指導	開発行為等の規制及び指導	継続実施			開発指導課	-	-	-	
	開発行為等の事前協議	事業内容により自然環境調査を行い自然の回復に努めるよう指導	継続	希少野生生物への影響が考えられる4件について保全対策を指導した	開発行為等の規制及び指導	継続実施			環境政策課	-	-	-	
	保健保安林管理事業	三百山・大向山保健保安林管理委託	継続	業者に管理委託して施設を保全した	業者に管理委託して施設を保全する	継続実施			児島・産業課	3,079	3,079	3,079	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(14)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標1:市民への環境学習機会の提供

【基本方針】

自然環境保全に対する市民の意識を高めるため、関係部署が連携するとともに、NPO等との協働を積極的に進め、講演会、講座、自然体験型イベントを実施します。

◆実施事業一覧表 【基本目標4-1 市民への環境学習機会の提供】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
市民への環境学習機会の提供	生物多様性体験学習拠点の設置	自然史博物館、環境学習センターを中心に、教育施設と連携した自然基礎情報の収集や、研修ニーズの調査を行う	リーディングプロジェクト	倉敷みらい公園において生き物調査を実施した(11回)	倉敷みらい公園において生き物調査を実施する	継続実施			自然史博物館 環境学習センター	0	0	0	
	保全に向けた普及啓発活動	シンポジウムや講演会、パネル掲示等による生物多様性保全に向けた普及啓発活動をする		くらしき環境フェスティバルにおいて生物多様性の危機の一つである地球温暖化に関する講演会を実施	くらしき環境フェスティバルにおいて生物多様性の危機の一つである地球温暖化に関する講演会を実施する	継続実施			環境政策課 環境学習センター	660	500	500	環境フェスティバル(4-6 環境保全に関する事業の情報提供)のプログラムとして実施
	関連施設等との連携	文部科学省及び県教育事務所関連施設の事業に参加	継続	自然観察会を岡山県生涯学習センターとの連携講座として行った(博物館主催16回、友の会主催14回)	自然観察会を岡山県生涯学習センターとの連携講座として行う	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
		環境省及び県環境関連部門の事業に参加	継続	総合環境学習ゾーンモデル事業(環境省)へ参加し、配当物品の利用に便宜を図った	総合環境学習ゾーンモデル事業(環境省)へ参加し、配当物品の利用に便宜を図る	継続実施			自然史博物館 環境学習センター	0	0	0	
	「11月3日は自然史博物館まつり」の開催	博物館友の会の協力を得て、全館でさまざまなイベントを開催する 終日入館無料	継続	「11月3日は自然史博物館まつり」を開催した(来場総数10,060人)	「11月3日は自然史博物館まつり」を開催する	継続実施			自然史博物館	515	505	507	予算・実績は自然史博物館まつり事業
	環境学習センターでの環境学習・講座等の充実を図る	環境学習センターでの環境学習・講座等の充実を図る	継続	維持管理	維持管理	維持管理継続			環境学習センター	8,338	8,180	8,265	(30217)環境学習センター運営費
	緑化ポスターコンクールの実施	緑化ポスターコンクールの実施	継続	緑化ポスターコンクールの実施	緑化ポスターコンクールの実施	継続実施			公園緑地課	146	146	146	
	自然史全般の質問・問合せなどへの対応	自然史全般についての質問などに、学芸員が個別に回答する	継続	対面・メール等で対応した(レファレンス総数1,096件)	対面・メール等で対応する	継続実施			自然史博物館	0	0	0	
	自然保護小冊子の発刊等	自然の紹介や自然保護に関する小冊子などの発行、市民事業への協力	継続	ガイドブック「岡山県の島の植物」等を発行した(発行部数1,100部)	研究報告第32号、第25回特別展のリーフレット等を発行する	継続実施			自然史博物館	601	380	300	予算・実績は書籍売払雑入
		自然の紹介や自然保護に関する小冊子などを活用した啓発を図る	継続	自然保護に関する小冊子を活用し、淡水魚に関する出前講座(2回)を実施した	淡水魚を中心とした水環境に関する小・中学生対象の出前講座を実施する	継続実施			環境学習センター	33	15	33	
	くらしき都市緑化フェアの開催	都市緑化フェアの開催	継続	都市緑化フェアの開催	都市緑化フェアの開催	継続実施			公園緑地課	1,650	1,650	1,650	
	少年自然の家受入事業	小、中学校の山の学習などの受入れとともに、生涯学習施設としての位置づけにより幅広い年代の研修団体の受け入れを実施する	継続	自然の中で仲間と遊び、自然と親しみながら仲間と暮らすことによって、人間形成を図った(テント設営、野外炊事等)	自然の中で仲間と一緒に共同生活することによって自主性や協調性を養うとともに、自然の大切さや雄大さを体感することによって環境保護の意識醸成を図る	継続実施			少年自然の家	60,141	59,851	58,502	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(15)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
市民への環境学習機会の提供	自然環境保全に関する研修会、講演会	有識者を講師に研修会、講演会、サイエンス・カフェなど開催する	継続	市民講座「バイオマス」を開催した(1回)	環境学習講座を開催する	継続実施			環境学習センター	-	-	-	※30218環境学習推進事業予算内で実施予定。
			継続	くらしき環境フェスティバルにおいて生物多様性の危機の一つである地球温暖化に関する講演会を実施	くらしき環境フェスティバルにおいて生物多様性の危機の一つである地球温暖化に関する講演会を実施する	継続実施			環境政策課	660	500	500	環境フェスティバル(4-6 環境保全に関する事業の情報提供)のプログラムとして実施
	自然保護監視員研修会・連絡会議	知識習得のための研修会を行う 自然保護に関する情報や意見を受けるための連絡会を開催する	継続	自然保護に関する情報や意見を受けるための研修会や連絡会を開催した(3回)	自然保護に関する情報や意見を受けるための研修会や連絡会を開催する				環境政策課	280	224	256	
	自転車を活用した「くらしき百景」観光プロジェクト	市民企画提案事業「自転車を活用した「くらしき百景」観光プロジェクト」の一環で、倉敷を訪れる観光客に環境に配慮した観光スタイルを学習する機会を提供する	事業終了	H25年度事業終了					市民活動推進課	-	-	-	
	「倉敷まちかど博物館」事業	平成25年度コミュニティー助成事業により、岩石・鉱物・化石・植物・昆虫・動物などの標本を、移動可能な展示ユニット計60台に仕立てて、公共性の高い施設に貸し出しする	継続	16施設に46台のユニットを新たに貸し出した	図書館・公民館・学校園など、公共性の高い施設、市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出しを行う	継続実施			自然史博物館	0	0	0	実績は、前年度からの継続含まず、更新は含む

◆分野別目標2:支援者、指導者の育成

【基本方針】

市内の自然環境情報を幅広く収集するとともに市民に数多くの環境学習機会を提供するため、関係部署が連携するとともに、NPO等との協働を積極的に進め、専門的な知識を持つ指導者や市民団体の育成と支援に努めます。

◆実施事業一覧表 【基本目標4ー2 支援者、指導者の育成】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
支援者、指導者の育成	生物多様性に関する環境学習システムの推進	保育士や教諭等を対象とした研修を行い、子どもたちが地球に優しい取り組みを実践することにつなげる	リーディングプロジェクト	研修の方法・内容等の検討について教員研修を所管する教育センターに依頼	研修の方法、時期、対象等を検討中	研修の実施			教委・指導課	0	0	0	
	指導者養成講座の開催	高梁川流域における生物多様性保全をテーマとする環境教育研修を行う	継続	自然体験学習指導者養成研修を実施した	自然体験学習指導者養成研修を実施する	継続実施			環境学習センター	700	684	700	
	自然環境保全マニュアル研修会	市新規採用土木職員などを対象に研修会を実施	継続	本研修を未受講の土木職員を対象に研修会を実施する 自然環境保全マニュアルに準拠した工事の事例調査を行った	本研修を未受講の土木職員を対象に研修会を実施する 自然環境保全マニュアルに準拠した工事の事例調査を行う	継続実施			環境政策課	0	0	0	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(16)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標3:子どもたちへの環境教育の充実

【基本方針】

自然や生きものに対する子どもたちの関心と環境保全意識を高めるため、学校や地域における自然体験活動への参加の機会を増やします。

◆実施事業一覧表 【基本目標4-3 子どもたちへの環境教育の充実】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
子どもたちへの 環境教育の充実	生物多様性に関する環境学習システムの検討	子どもたちや先生に生物多様性の活動を意識し、実践してもらう仕組みづくりを行う	リーディングプロジェクト	パンフレットの授業への活用について検討した。	環境政策課作成のパンフレットを授業に活用するよう呼びかける	継続実施	→	→	指導課	0	0	0	
				生物多様性地域戦略に関する子供向けパンフレットを配布した	啓発推進及びその方法の検討を行う	→	→	→	環境政策課	-	-	-	一般向けパンフ、地域戦略冊子含む
	ビオトープの設置および推進	学校・保育所等にビオトープの設置を推進及び支援する		必要に応じ設置および管理に関する支援を行った	必要に応じ設置および管理に関する支援を行う	継続実施	→	→	環境政策課 教育施設課	0	0	0	
	自然とふれあうイベント等の開催	子どもたちや親子で参加する自然体験イベントや、自然とふれあう活動を支援する		自然体験型の講座を46件実施。 790人が参加した。	子どもたちや親子で参加する自然体験講座・イベントや、自然とふれあう活動を支援する。	継続実施	→	→	環境学習センター	-	-	-	環境学習推進事業として実施
				障がい児などを対象としたキャンプを少年自然の家で3回実施	障がい児などを対象にしたキャンプを、少年自然の家で開催する	継続実施	→	→	障がい福祉課	253	85	287	
				子育てポータルサイト等を通じ、子どもたちや親子で参加する自然体験活動を支援した	子育てポータルサイト等を通じ、子どもたちや親子で参加する自然体験活動を支援する	継続実施	→	→	子育て支援課	0	0	0	
	環境学習の充実	出前講座の開催	継続	出前講座を開催した(15件)	出前講座を開催する	継続実施	→	→	自然史博物館	-	-	-	
			継続	出前講座を開催した(17回)	出前講座を開催する	継続実施	→	→	環境学習センター	-	-	-	環境学習推進事業として実施
			継続	自然保護団体等と協力して、淡水魚に関する出前講座(2回)を実施した	自然保護団体等と協力して、啓発活動を行う 淡水魚を中心とした水環境に関する小・中学生対象の出前講座(5回)を実施する	継続実施	→	→	環境学習センター	33	15	33	
		公民館、図書館講座及び学校、保育園などの施設へ講師の派遣を行う	継続	講師派遣に協力した(出前講座以外の講師派遣19件)	講師派遣に協力する	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0	
			継続	講師派遣に協力した(2回)	講師派遣に協力する	継続実施	→	→	環境学習センター	0	0	0	
	環境学習講座の開催		継続	夏休み期間を中心に小学生親子で参加できる自然体験型の学習講座を実施した(46件)790人が参加した。	夏休み期間に重点的に小学生親子で参加できる自然体験型の学習講座を実施する	継続実施	→	→	環境学習センター	-	-	-	環境学習推進事業として実施、予算の切り分けが困難。

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(17)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
子どもたちへの環境教育の充実	環境教育の推進	環境教育全体計画、指導計画の作成	継続	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組んだ	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組む	継続実施			教委・指導課	0	0	0	
	水辺教室	高梁川河原で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成27年7月26日(日) 高梁川河川敷 34人参加	水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成28年7月31日(日) 高梁川河川敷	継続実施			環境学習センター 市民学習センター	82	73	82	【再掲】1-2水辺教室
	海辺教室	磯(海辺)で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成27年8月8日(土) 児島通生海岸 24人参加	海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成28年8月11日(木・祝) 児島通生海岸	継続実施			環境学習センター 市民学習センター	83	73	83	【再掲】1-2 海辺教室
	自然教室(中学校)	遊休農地を活用し、レクリエーションやコミュニティの場となるよう市民農園の維持管理を行い利用を促進する	継続	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各中学校の第1学年の参加で実施した	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各中学校の第1学年の参加で実施する	継続実施			教委・指導課	0	0	0	
	山の学習(小学校)	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然についての知識を得る	継続	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各小学校の第4学年または、第6学年の参加で実施した	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各小学校の第4学年または、第6学年の参加で実施する	継続実施			教委・指導課	0	0	0	
	親子漁業体験学習	漁業体験を通して、瀬戸内の恵みを再発見する	継続	未実施	底びき網などを体験し、瀬戸内の恵みの再発見することをねらいとし、親子漁業体験学習を実施する	継続実施			農林水産課	431	0	433	2223水産振興事業
	科学講座	科学実験教室、科学工作教室、親子科学教室、サイエンス塾等の各種科学講座の実施を通して、自然への理解を深めるとともに、環境保護という視点で自分たちの生活を見直すことができるようにする	継続	科学実験教室、科学工作教室、親子科学教室、科学チャレンジ教室等の各種科学講座の実施を通して、自然への理解を深めるとともに、環境保護という視点で自分たちの生活を見直すことができるようにした	科学実験教室、科学工作教室、親子科学教室、科学チャレンジ教室等の各種科学講座の実施を通して、自然への理解を深めるとともに、環境保護という視点で自分たちの生活を見直すことができるようにする	継続実施			科学センター	240	238	250	
	少年自然の家主催事業	自然体験学習の実施 ・「由加わいわいキャンプ」 (テント設営・そうめん流し) ・「夏休みこどもキャンプ」 (テント生活・野外炊事) ・「家族で秋の思い出づくり」 (ハイキング・芋ほり) ・「冬季こどもキャンプ」 (テント生活・野外炊事) ・「早春のつどい」 (よもぎ採り・餅つき) ・「さわやかデー(由加山の旅)」 (餅つき・野菜収穫など)	継続	由加わいわいキャンプなど (テント設営、そうめん流し)を実施した。 「由加わいわいキャンプ」(101人) 「夏休みこどもキャンプ」(54人) 「さわやかデー(由加山の旅)」(13人) 「家族で秋の思い出づくり」(28人) 「ウインターフェスティバル」(64人) 「冬季こどもキャンプ」(50人) 「自然の家大感謝祭」(350人) 「早春のつどい」(37人)	由加わいわいキャンプの実施や、不登校児等を対象とした市生涯学習課企画事業(さわやかデー)への共同参画等を予定	継続実施			少年自然の家	0	0	0	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(18)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標4: 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援

【基本方針】

市民やNPO等市民団体、事業者が、地域の生物多様性保全のため実施する環境美化活動など社会貢献活動や、高梁川流域の恵みを使った経済活動等を支援します。

◆実施事業一覧表 【基本目標4-4 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援	生物多様性に配慮した里地・里山整備	里地里山の持続的管理のための社会的枠組みや利活用方策等について検討し、生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する	リーディングプロジェクト	環境保全型農業直接支援対策により生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援した	耕作放棄地対策や環境保全型農業直接支援対策などにより生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する				農林水産課	4,090	3,516	5,890	【再掲】2-4 生態系に里地里山に配慮した里地里山の整備
				先進事例等情報収集を行った	先進事例等情報収集を行う	継続実施 利活用方法等検討			環境政策課	-	-	-	
	自然共生圏を意識した地域交流、経済活動の支援	高梁川流域など本市が関わる自然共生圏を対象とした地域交流イベント、経済活動を支援する		地域交流イベント、経済活動を支援した	地域交流イベント、経済活動を支援する				環境政策課	0	0	0	
	河川等のゴミの清掃	生活雑排水路の春秋地区清掃	継続	清掃で出た汚泥・草などを直営・業者委託で回収 市内全域で実施した	清掃で出た汚泥・草などを直営・業者委託で回収 市内全域で実施	継続実施			環境衛生課	34,830	32,453	34,075	
		児島湖流域清掃大作戦	継続	児島湖流域清掃大作戦を開催した	児島湖流域清掃大作戦を開催する	継続実施			環境政策課	584	438	563	平成28年11月6日(日)に開催予定
		高梁川流域クリーンー斉行動の支援	継続	高梁川流域クリーンー斉行動を支援した	高梁川流域クリーンー斉行動を支援する	継続実施			教委・生涯学習課	80	80	615	平成28年11月27日(日)に開催予定
	自然保護団体への活動支援	各種自然保護団体への活動を支援する	継続	補助金、情報提供などにより市内の自然保護団体の活動を支援した	補助金、情報提供などにより市内の自然保護団体の活動を支援する	継続実施			環境政策課	180	180	180	倉敷の自然をまもる会

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(19)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標5:エコツーリズム等の推進

【基本方針】

農業農村地域や漁村地域、離島地域などにおいて地域資源を活かした体験型ツーリズムなどを推進します。

◆実施事業一覧表【基本目標4-5 エコツーリズム等の推進】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考	
エコ ツ ー リ ズ ム 等 の 推 進	生物多様性エコ ツアーの推進	本市の進める生態系ネットワークの 取り組みをはじめ、経済的に循環し ている市内外の優良な企業の取り組 みの現場等を巡るツアーの実施及び 市民団体等による実施を支援する	リーディング プロジェクト	高梁川流域自治体に対し、受 入先となる地域資源等の情報 収集を行った。	エコツアーを推進するため、エ コツアーの開催に関心のある 個人・団体に対し、実践的な講 習会を実施する	継続実施			環境政策課	0	0	151	高梁川流域生物多様 性エコツアー支援事 業	
			終了	H26年度事業終了						市民活動推進課 環境政策課	-	-	-	【再掲】2-2「茶屋町 の干拓史跡・真如庵 庭園の自然観察公園 への改修とその活 用」事業
			リーディング プロジェクト	倉敷観光コンベンションビュー ロー主催の新溪園での自主事 業「ホテル観賞会」について承 認した。	市民団体より提案があった場 合積極的に支援する				観光課	-	-	-		
	親子漁業体験学習	漁業体験を通して、瀬戸内の恵み を再発見する	継続	未実施	底びき網などを体験し、瀬戸内 の恵みの再発見することをね らいとし、親子漁業体験学習を 実施する	継続実施			農林水産課	433	1	433	【再掲】4-3 親子漁業 体験学習	
	自然教室（中学 校）	遊休農地を活用し、レクリエー ションやコミュニティの場となる よう市民農園の維持管理を行い利 用を促進する	継続		自然の中で暮らし、自然に触 れ、自然について知ることをね らいとし、各中学校の第1学年 の参加で実施した	自然の中で暮らし、自然に触 れ、自然について知ることをね らいとし、各中学校の第1学年 の参加で実施する	継続実施			教委・指導課	-	-	-	【再掲】4-3 自然教室 (中学校)

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(20)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標6: 自然とのふれあいの促進

【基本方針】

市内の身近な自然を保全し、市民が気軽に参加できるような自然観察会や自然調査を開催するなど自然とふれあう場として活用します。自然とのふれあい活動の実施にあたっては、NPO等との協働を積極的に進めるとともに、市民に情報を提供し参加を呼びかけます。

◆実施事業一覧表【基本目標4ー6 自然とのふれあいの促進】

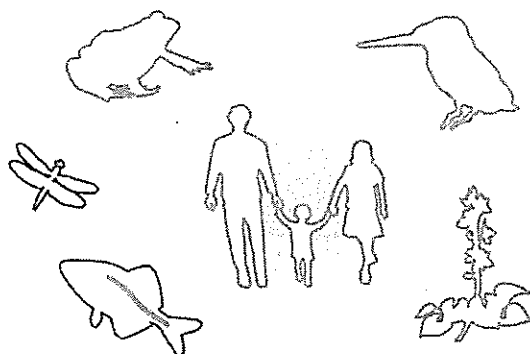
	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
自然とのふれあいの促進	環境保全事業、啓発活動の支援	里地、里山の保全に向けた自然保護団体の活動に対する広報支援や、環境保全意識啓発機会の提供等に努める	リーディングプロジェクト	必要に応じ、自然保護団体の活動に対する広報支援や、環境保全意識啓発機会の提供等を行った	必要に応じ、自然保護団体の活動に対する広報支援や、環境保全意識啓発機会の提供等を行う	継続実施			環境政策課 環境学習センター 自然史博物館	0	0	0	
	自然とのふれあい事業の開催	水辺教室、海辺教室、自然観察会、天体観察会、星空観察会などの自然とのふれあいを事業を開催する		水辺教室を実施 34人参加 海辺教室を実施 23人参加	水辺教室を実施 海辺教室を実施	継続実施			環境学習センター 市民学習センター	82 83	73 73	82 83	【再掲】1-2 水辺教室 【再掲】1-2 海辺教室
				市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催した(総数56件) 「友の会」による自然観察会等の開催を援助した(友の会主催観察会・講座総数14件)	市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催する	継続実施			自然史博物館	—	—	0	
				季節の天体や星座の観察を行った(14回・1795人)	季節の天体や星座の観察を行う天体観望会を定期的に行う	継続実施			科学センター	33	0	33	
				探鳥コース、種松山野草園の維持管理を行うとともに必要に応じ自然散策コースの検討を行った	探鳥コース、種松山野草園の維持管理を行うとともに必要に応じ自然散策コースの検討を行う	継続実施			環境政策課	380	360	380	
				野鳥観察に関する入門講座の実施を検討した	野鳥観察に関する入門講座を季節に応じて実施する	継続実施			環境学習センター	—	—	0	
				要望がなかったため未実施	要望に応じて、耕作放棄地の再生を支援する	継続実施			農林水産課	1,090	0	1,090	
				ビオトープの設定、活用等を学校に呼びかけた	ビオトープの設定、活用等を学校に呼びかける	継続実施			教委・指導課	—	—	—	
	自然保護団体の里地、里山保全活動への支援	里地、里山の保全に向けた自然保護団体の活動への市民参加、協働について広報を行うなど支援する	継続	自然保護団体の活動への市民参加、協働について広報を行うなど支援した	自然保護団体の活動への市民参加、協働について広報を行うなど支援する	継続実施			環境政策課	—	—	—	
	ビオトープの活用促進	NPOなどと協力しながら、小学校、公共施設等へのビオトープの活用を手助けする	継続	NPOなどと協力しながら、小学校、公共施設等へのビオトープの活用を手助けした	NPOなどと協力しながら、小学校、公共施設等へのビオトープの活用を手助けする	継続実施			環境政策課	0	0	0	
	啓発機会の提供	小学校をはじめとして、市民の水辺の環境保全意識啓発に努める	継続	自然保護団体等と協力して、啓発活動を行った。淡水魚に関する出前講座(2回)を実施した	淡水魚を中心とした水環境に関する小・中学生対象の出前講座を実施する	継続実施			環境学習センター	33	15	33	【再掲】2-5 スイゲンゼニタナゴ個体群の保全
	種松山野草園管理	種松山野草園管理	継続	種松山野草園の維持管理を行った	種松山野草園の維持管理を行う	継続実施			環境政策課	380	360	380	【再掲】2-2 種松山野草園管理
	探鳥コース、野鳥観察地の維持、活用	探鳥コースや野鳥観察地の観察しやすい環境づくりと利活用	継続	市民団体と協力し、野鳥観察会を実施した	市民団体等と協力し探鳥会などを開催し、活用を図る	継続実施			環境学習センター	0	0	0	
		探鳥コースや野鳥観察地の観察しやすい環境づくりと維持	継続	探鳥コースの点検を行った	探鳥コースの点検を行い、必要に応じて対応する。探鳥コースの利用促進を図る	継続実施			環境政策課	65	0	44	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(21)

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H27年度実績	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	主な事業 関係課	H27予算 (千円)	H27実績 (千円)	H28予算 (千円)	備考
自然とのふれあいの促進	市民農園事業	遊休農地を活用し、レクリエーションやコミュニティの場となるよう市民農園の維持管理を行い利用を促進する	継続	市民農園維持管理を実施した	市民農園維持管理を実施する	継続実施			農林水産課	4,964	4,195	4,642	1314市民農園管理費
	遊休農地の活用	幼・小・中学校において遊休農地を活用し体験学習を推進する	継続	小学校の第4学年又は第6学年と中学校の第1学年において遊休農地を活用し体験学習を実施した	幼・小・中学校において遊休農地を活用し体験学習を推進する	継続実施			教委・指導課	0	0	0	
	水辺教室	高梁川河原で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成27年7月26日(日) 高梁川河川敷 34人参加	水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成28年7月31日(日) 高梁川河川敷	継続実施			環境学習センター 市民学習センター	82	11	82	【再掲】1-2 水辺教室
	海辺教室	磯(海辺)で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成27年8月8日(土) 児島通生海岸 24人参加	海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) :平成28年8月11日(木・祝) 児島通生海岸	継続実施			環境学習センター 市民学習センター	83	80	83	【再掲】1-2 海辺教室
	自然史博物館の催し案内	市内外の学校教育施設等へ博物館の催し案内を送付する	継続	月1回、記者クラブ、学校教育施設等へ博物館の催し案内を送付した 「広報くらしき」、「パワフルキッズ」、「メールマガジン」で行事案内を行った 年1回、市外近隣地域の小・中学校に利用案内を送付した	記者クラブ、学校教育施設等へ博物館の催し案内を送付する 「広報くらしき」、「パワフルキッズ」、「メールマガジン」で行事案内を行う	継続実施			自然史博物館	-	-	-	
	環境保全に関する事業の情報提供	環境月間行事や環境保全講演会の開催など、広報を活用し情報を提供する	継続	環境月間行事として、環境フェスティバルを開催した(H27年6月13日(土)、環境交流スクエア) 来場3,000人	環境月間行事として、環境フェスティバルを開催する ホームページ・広報くらしきや報道機関へ情報提供し、市民へ参加を呼びかける	継続実施			環境学習センター	3,574	2,970	4,139	平成28年6月4日(土)くらしき環境フェスティバル開催
	「こどもエコクラブ」活動支援	広報、事務局の支援等を通じ、クラブの活動を支援する	継続	広報、会員登録受付、環境に関する情報の提供等を行った	HP等による広報、会員登録受付、環境に関する情報の提供等を行う 小学校を通じて放課後子ども教室への情報の提供を行う。	継続実施			環境学習センター	-	-	-	
	自然観察会、講座等の開催	自然保護団体と協力し市民参加の観察会や講座を開催する	継続	市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催した(総数56件) 「友の会」による自然観察会等の開催を援助した(友の会主催観察会・講座総数14件)	市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催する 「友の会」による自然観察会等の開催を援助する	継続実施			自然史博物館	414	408	422	予算・実績は教育普及事業
			継続	自然保護団体の観察会等の開催を援助した	自然保護団体の観察会等の開催を援助する	継続実施			環境政策課 環境学習センター	-	-	-	
	天体観望会	季節の天体や星座の観察を行う	継続	季節の天体や星座の観察を行った(14回・1795人)	季節の天体や星座の観察を行う天体観望会を定期的に行う	継続実施			科学センター	33	0	33	
	全国の各団体により、決められた領域を観察し、確認できる星の数の変化を調査する市民参加の星空観察会の開催	確認できる星の数の変化を調査する市民参加の星空観察会(アストロクラブ)	継続	環境省の全国星空継続観察の休止にともない、休止した	環境省の全国星空継続観察の休止にともない、当面の間休止する				科学センター	-	-	-	
	自然散策路の検討	自然散策コースなどの検討	継続	倉敷市自然保護監視員から自然保護監視員便り等により情報収集を行った	倉敷市自然保護監視員等からの情報収集を行い、自然散策コースなどの検討を行う	継続実施			環境政策課	280	224	256	【再掲】1-2自然保護監視員制度の活用
	「倉敷の生き物を探そう！」事業	生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする	新規	富士通株式会社の支援を受け携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施した(53件の投稿があった)	富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施する	事業終了予定			環境政策課	0	0	0	【再掲】1-1 市民参画による自然調査の実施、携帯クラウドシステムの活用を推進する

倉敷市生物多様性地域戦略

—倉敷の豊かな自然と瀬戸内の恵みを未来へつなぐために—



実施事業計画表

実施事業計画(平成27年度実績・平成28年度～平成31年度)

—概要—

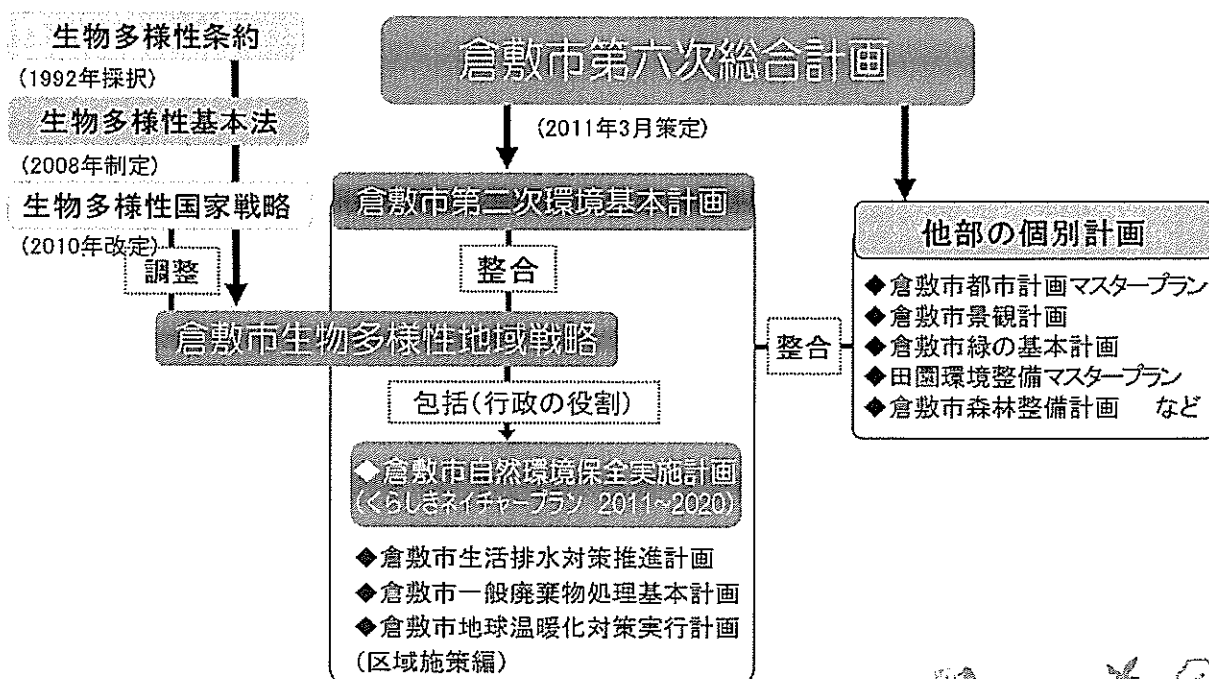
倉敷市環境政策課

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

倉敷市生物多様性地域戦略の位置づけ

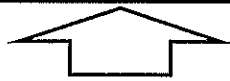
倉敷市第二次環境基本計画のうち、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する項目を担う



倉敷市生物多様性地域戦略の目標期間

■ 戦略の短期的目標年次:平成32(2020)年度

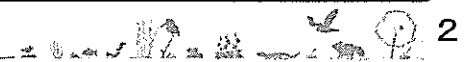
- ・上位計画である「倉敷市第二次環境基本計画」との整合性を考慮
- ・生物多様性の普及啓発の推進と、生物多様性の持続的利用に向けた基盤づくりを行う期間



倉敷市自然環境保全実施計画(くらしきネイチャープラン)の数値目標・取り組みの実施状況・実施計画を報告

■ 戦略の長期的目標年次:平成62(2050)年度

- ・岡山県の生物多様性地域戦略「自然との共生おかやま戦略」との整合性を考慮
- ・自然再生や社会基盤の再構築の取り組みもすすめる期間



2

倉敷市生物多様性地域戦略に係る行動計画



恵み豊かな瀬戸内の自然を、未来に向けてみんなの手で引き継いでいるまち倉敷



3

報告内容の構成

- 基本目標達成に向けた、
「数値目標達成状況」、「事業実施計画表」の2部で構成。
- ・数値目標達成状況について
 - 基準年度(基準値)、達成年度(目標値)及び平成27年度実績値を記載、あわせて目標達成に向けた傾向を矢印➡で表記
- ・事業実施計画表について
 - 事業項目を「リーディングプロジェクト」と「その他の取り組み」で表示
 - ・リーディングプロジェクト
 - ※生物多様性地域戦略の基本目標の実現に向けて戦略全体をリーディングする誘導的なプロジェクト事業
 - ・その他の取り組み(主にくらしきネイチャープランから継承するもの)



4

数値目標達成状況

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。								
番号	項目	基準値	基準年度	H27年度実績	傾向	目標値	達成年度	担当部署
1	自然環境基礎調査	1地区 (真備町妹)	2013 (H25)	0地区	➡	継続実施	—	環境政策課
基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。								
1	自然環境に配慮したまちづくりができていると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	27.4%	2009 (H21)	33.5%	➡	54%	2020年 (H32)	環境政策課
2	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	38.4%	2011 (H23)	41.4%	➡	72%	2020年 (H32)	環境政策課
3	多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	32.5%	2009 (H21)	32.6%	➡	56%	2020年 (H32)	環境政策課
4	都市公園の目標水準	7.79㎡/1人	2005 (H17)	8.10㎡/1人	➡	10㎡/1人	—	公園緑地課
5	特定外来生物の防除	306頭: ヌートリア	2012 (H24)	296頭: ヌートリア	➡	被害額の低減及び生息頭数の減少	—	環境政策課 農林水産課
6	自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数(H23年度からの積み上げ件数)	5件	2011 (H23)	25件	➡	100件	2020年 (H32)	環境政策課
7	温室効果ガス排出量の抑制(市内全域)	3,957万トン	2007 (H19)	3,323万トン (H24)	➡	3,482万トン	2020年 (H32)	地球温暖化対策室
8	市内で下水道を利用できる人の割合	71%	2010 (H22)	77.3%	➡	77%	2015年 (H27)	下水計画課
9	合流式下水道を改善した面積の割合	22%	2010 (H22)	100%	➡	100%	2015年 (H27)	下水計画課



5

数値目標達成状況

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

1	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている企業の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	41.7%	2010 (H22)	46.7% (H26)	↗	60%	2020年 (H32)	環境政策課
2	「環境保全型農業直接支援対策」取組面積	2,172a	2012 (H24)	4,396a	↗	3,000a	2015年 (H27)	農林水産課
3	市民農園区画数	771区画	2012 (H24)	731区画	↘	現状維持	—	農林水産課
4	新規就農者数	8人	2012 (H24)	9人	↗	10人	2015年 (H27)	農林水産課
5	有機JAS認定農業者数(団体)	8団体	2012 (H24)	8団体	→	10団体	2015年 (H27)	農林水産課
6	おかやま有機無農薬産物生産農業者数(団体)	6団体	2012 (H24)	6団体	→	10団体	2015年 (H27)	農林水産課

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

1	自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合(倉敷市第六次総合計画指標)	87.6%	2009 (H21)	85.8%	↘	95%	2020年 (H32)	環境政策課
2	親子・家族で日常的に自然にふれあえる場があると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	58.4%	2009 (H21)	61.8%	↗	77%	2020年 (H32)	環境政策課
3	身近な自然を守る活動を行っている人の割合(倉敷市第二次環境基本計画指標)	10.9%	2009 (H21)	8.0%	↘	20%	2020年 (H32)	環境政策課
4	自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子供の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	71.7%	2009 (H21)	77.4%	↗	95%	2020年 (H32)	環境政策課
5	自然にふれる活動に参加している子どもの数(倉敷市第六次総合計画指標)	14,537人	2009 (H21)	14,114人 (H26)	↘	19,700人	2020年 (H32)	環境政策課

※ 表中の項目のうち、H27年度集計が行われていないものについては、確認可能な最新の集計としている。

6

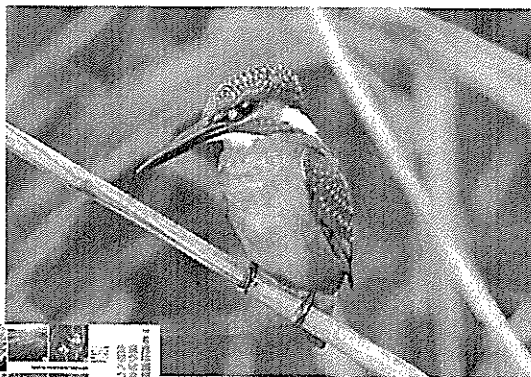
基本目標1: 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

➤ 1-1 生物多様性調査の実施

■ 「倉敷の生き物を探そう！」事業

【計画・事業の概要】 生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする。

倉敷市の鳥
カワセミをさがそう！



＜27年度実施状況＞

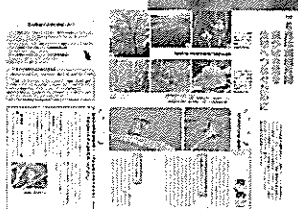
・3回目は、市内の「爬虫類・両生類」について、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して情報収集を行いました。(53件の投稿)

＜28年度事業＞

・環境月間である6月の広報紙にて市民からの情報(写真・日にち・場所等)を広く募集しています。

※カワセミは、2003年春、倉敷市の市の鳥として制定。

(19件の投稿 7月7日現在)



くらしいき Season4

広報紙6月号



7

基本目標1:倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

➤ 1-2 生物多様性に係る情報の整備・充実

■ 特別展（特別陳列）の開催

【計画・事業の概要】岡山県内を中心として自然史全般について常設展示で取り込めていないテーマについて、収蔵資料や外部団体の協力を生かした展示を行う。



特別展「発掘された過去・現在・未来」

＜27年度実施状況＞

・第24回特別展「岡山県の島の植物巡り」(7.19～11.8)、「驚異の新種アキラマイマイ」、「生命過去から未来へ」、「秋の鳴く虫展」、「しぜんしくらしき賞作品展」など常設展示以外のテーマについても開催した。

＜28年度事業＞

・第25回特別展「発掘された過去・現在・未来—G7倉敷教育大臣会合応援事業 美術館ルネサンス事業—」、「新着資料—近藤光宏昆虫コレクション展—」、「おりがみ昆虫展」、「秋の鳴く虫展」、「しぜんしくらしき賞作品展」などを開催する。



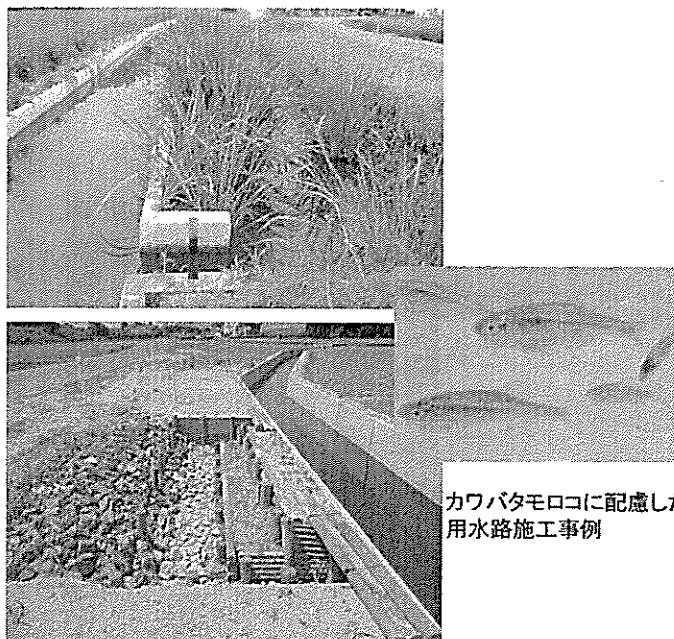
基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

➤ 2-2 地域の自然と生態系ネットワークの保全

■ 〔河川・水辺〕自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施

【計画・事業の概要】

自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理を行う。

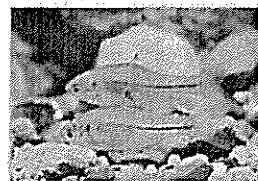


カワバタモロコに配慮した用水路施工事例

＜保全実施状況＞

・公共工事担当課へスイゲンゼニタナゴ、カワバタモロコなど希少野生生物に関する情報提供
・希少野生生物の生息地の保全のため、河川、用水路改修時に専門家のアドバイスを心得て関係課と協議を行いながら保全対策(配慮型用水路、保護移動など)を実施する。

スイゲンゼニタナゴ



基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全, 回復, 再生する。

➤ 2-3 地域ごとの自然環境の保全

■ 〔森・山〕水島地域の取り組み

【計画・事業の概要】

大平山、種松山などの山系の自然環境を保全し、自然とふれあえる場として活用を図る。



今日では珍しくなってしまった野草を気軽に観察できる場として親しまれています。

＜倉敷市種松山野草移植保護地

(種松山野草園)＞

- ・昭和55年11月から瀬戸中央自動車道の建設工事が開始されたため、自生地が消滅することになった野草を、自然保護団体が移植したことに始まります。
- ・平成27年度より、自然保護団体の解散に伴い倉敷市シルバー人材センターへ除草・草刈りや防腐剤の塗装作業等を委託しています。



10

基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全, 回復, 再生する。

➤ 2-4 重要地区の保全

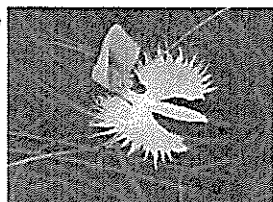
■ 〔湿地〕湿地復元、保護活動への支援

【計画・事業の概要】リーディングプロジェクト

湿地復元や保護を行う自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する。



湿生植物園では、貴重なサギソウなどが観察できます。



＜倉敷美しい森(倉敷市曾原)＞

- ・平成6年8月の山火事後、多くのボランティアの人達の植樹活動により少しずつ緑が蘇り、平成13年4月にオープンした森林公園です。
- ・園内の湿生植物園では、サギソウなど貴重な湿生植物の観察や森林浴・ハイキング、バードウォッチングなどが楽しめます。

※倉敷市自然保護監視員(対象26名)への研修を7月28日(木)に実施する予定。



11

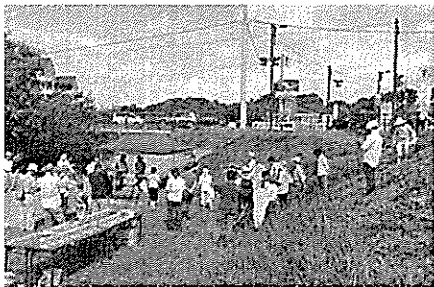
基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全, 回復, 再生する。

➤ 2-5 希少野生生物の生息・生育環境の保全

■ (河川・水辺) ミズアオイ群生地の保全活動

【計画・事業の概要】

自然保護団体、地域住民等と協力し、ミズアオイ群生地の良好な生育環境の保全に努める。



ミズアオイ

奈良県では、水質浄化植物としても活用されています。

＜ミズアオイ群生地(倉敷市粒江)＞

・倉敷市自然史博物館友の会や地域住民等と協力して、ヌートリア食害防護フェンスの設置やスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)など外来生物の駆除。また、除草作業もしながらミズアオイ自生地の整備・管理・保全に努めている。

・地元小学校の児童に対して観察会等の啓発活動を行っている。

春:種まき会 42名参加

秋:観察会 41名参加



12

基本目標2:身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全, 回復, 再生する。

➤ 2-6 外来生物対策

■ 外来生物に対する啓発と情報提供

【計画・事業の概要】

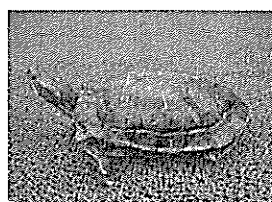
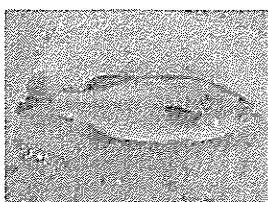
外来生物の移入などによる生態系への影響を最小限とするため、環境省など関係機関と連携し、外来生物に関する情報提供や正しい知識の普及啓発を行う

(動物)セアカゴケグモなど

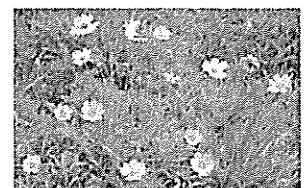
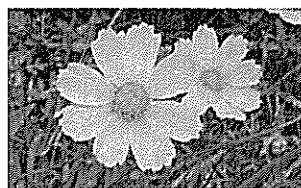


＜対応状況＞

- ・市民からの問合せ対応(14件:平成27年度)
- ・自然保護監視員への啓発
- ・庁内関係課への情報提供と注意喚起
- ・広報紙やチラシの配布による啓発
- ・HPの充実



(植物)オオキンケイギクなど



＜対応状況＞

- ・自然保護監視員への啓発
- ・庁内関係課への情報提供と注意喚起
- ・広報紙やチラシの配布による啓発
- ・HPの充実

オオクチバス(左)

ミシシippアカミミガメ(右)



13

基本目標3:生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

➤ 3-1 環境配慮型農業と地産地消の推進

■ 生物多様性に配慮した農業の推進

【計画・事業の概要】リーディングプロジェクト

生物多様性と安全に配慮した農林水産物のPR、地産地消及び旬産旬消の推進をする



高梁川流域農産物ガイド

＜28年度事業＞

- ・地場農産物や特産物の消費拡大を図る各種イベントの開催、PR活動などを行う
- ・地産地消料理講座(H28.7.6)
- ・ごぼうの日イベント(H28.5.7,8)
- ・食育フェア(H28.7.30)
- ・真備・船穂地産地消ふれあい祭り(H28.9.4)
- ・倉敷市農業祭(H28.11.27)
- ・地元生産者と連携したPR事業 など



倉敷市農業祭



地産地消料理講座

基本目標3:生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

➤ 3-1 環境配慮型農業と地産地消の推進

■ 環境保全型農業の支援

【計画・事業の概要】

おかやま有機JASなどの有機農業や冬期湛水管理など生き物を育む環境保全効果の高い営農活動を支援する



カバークロープ(緑肥)の作付けとは？

→ 主作物の栽培期間の前後のいずれかにカバークロープ(緑肥)を作付けする取組。

●全体申請件数・・・6件

面 積・・・4,396a (H27)

※2,184a (H26)

＜実施事業＞

- ・環境保全型農業直接支援対策などにより環境保全効果の高い営農活動を支援する

＜支援対象取組＞

1. カバークロープ(緑肥)等作付け
2. 炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用
3. 有機農業
4. 地域特認取組
 - ・リビングマルチ(畑作物)
 - ・草生栽培(果樹)
 - ・夏季の水田内ビオトープの設置

基本目標3:生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

➤ 3-2 生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進

■ くらしき地域資源の活用

【計画・事業の概要】リーディングプロジェクト

地域資源を、老舗、特産品、魅どころとして取りまとめ、情報発信をする



くらしき地域資源BOOK

＜実施事業＞

- ・倉敷市内にある多種多様な地域資源を「老舗」、「特産品」、「魅どころ」として取りまとめ、紹介しています。
- ・倉敷の魅力を全国に発信するため、ホームページやBOOK、くらしきフェア等で情報提供を行っています。



倉敷の老舗 感謝状贈呈式



～至極の逸品～くらしきフェア

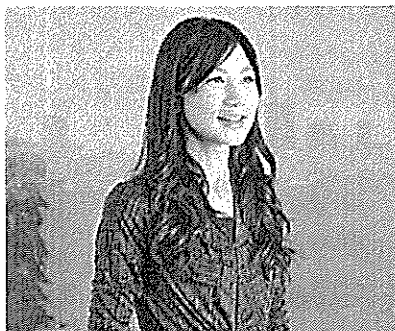
基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-1 市民への環境学習機会の提供

■ 保全に向けた普及啓発活動／環境学習・講座等の充実を図る

【計画・事業の概要】リーディングプロジェクト

講演会、出前講座等による生物多様性保全に向けた普及啓発活動をする



くらしき環境
フェスティバル
講演会

＜27年度実施状況＞

・くらしき環境フェスティバル

天達武史氏による講演会「お天氣の達人 天達さんと考える気候変動と地球の未来」を実施。

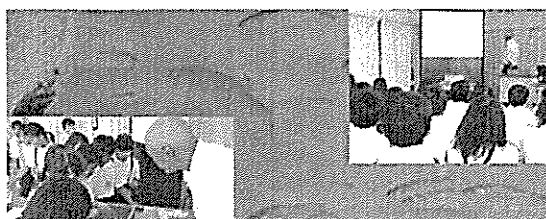
- ・淡水魚を中心とした水環境に関する小・中学生対象の出前講座を実施した。

＜28年度事業＞

・くらしき環境フェスティバル

気象キャスター井田寛子氏による講演会「気象キャスターからみた異常気象と地球温暖化」を実施。

- ・淡水魚を中心とした水環境に関する小・中学生対象の出前講座を実施する。



小学校出前講座「倉敷の淡水魚」

基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-2 支援者、指導者の育成

■ 指導者養成講座の開催

【計画・事業の概要】

市民を対象に生物多様性保全をテーマとする環境教育研修を行う



高梁川トレイル

高梁川流域学校

多くの人々が高梁川流域の自然環境を体験し、学び、交流し、自然環境を大切にする意識を育む。自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。

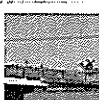
自然環境の保全と持続的な利用

自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。



自然環境の保全と持続的な利用

自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。



自然環境の保全と持続的な利用

自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。



自然環境の保全と持続的な利用

自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。自然環境の保全と持続的な利用をテーマとした環境教育研修を行う。



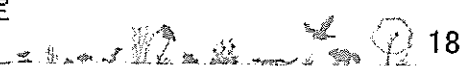
高梁川トレイル

＜実施事業＞

- ・高梁川流域学校の自然体験学習指導者養成研修を実施する。

《高梁川流域学校》

- ・倉敷商工会議所が高梁川流域連盟の設置精神を継承し設置した(一社)水辺のユニオンが主体となり、公益法人、NPO法人、大学組織、行政等で構成
- ・倉敷市を中心とした高梁川流域の地域の自然、歴史文化、産業等を実践的に学ぶ教育プログラムを提供予定



基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-3 子どもたちへの環境学習の充実

■ 自然とふれあうイベント等の開催

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

子どもたちや親子で参加する自然体験イベントや、自然とふれあう活動を支援する



エコサマースクール



かるがもキャンプ



子育て支援・観光モデルコース

＜実施事業＞

- ・子どもたちや親子で参加する自然体験イベントや自然とふれあう活動を支援する。
(エコサマースクール・水辺教室・海辺教室など)
- ・障がい児やその兄弟などを対象としたキャンプを、少年自然の家で開催する。
(かるがもキャンプなど)
- ・子育てポータルサイト等を通じ、子どもたちや親子で参加する自然体験活動を支援する。



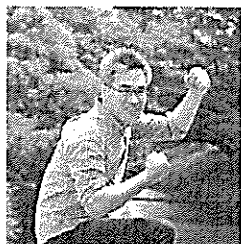
基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる
人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-5 エコツーリズム等の推進

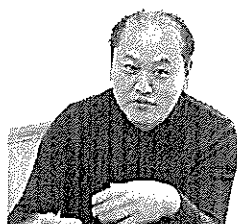
■ 生物多様性エコツアーの推進

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

本市の進める生態系ネットワークの取り組みをはじめ、経済的に循環している市内外の
優良な企業の取り組みの現場等を巡るツアーの実施及び市民団体等による実施を支援



辻 信行氏(倉敷市)



井上 恭介氏(NHKプロデューサー)

＜27年度実施状況＞

- ・高梁川流域自治体に対し、受け入れ先となる
地域資源等の情報収集を実施した。

＜28年度事業＞

- ・平成28年10月21日(金)13時半～16時
～つなげよう、支えよう 森里川海～
「高梁川流域で描く、豊かな社会」(仮称)



加藤 せい子氏(総社市)



森田 恵子氏(MC)

エコツアーの開催に関心のある個人・団体に
対し、実践的な講習会を実施する。

高梁川流域 プロデューサー養成支援・講習会

※その他の実施目標、計画・事業の名称・概要については
「議事2」をご覧ください。

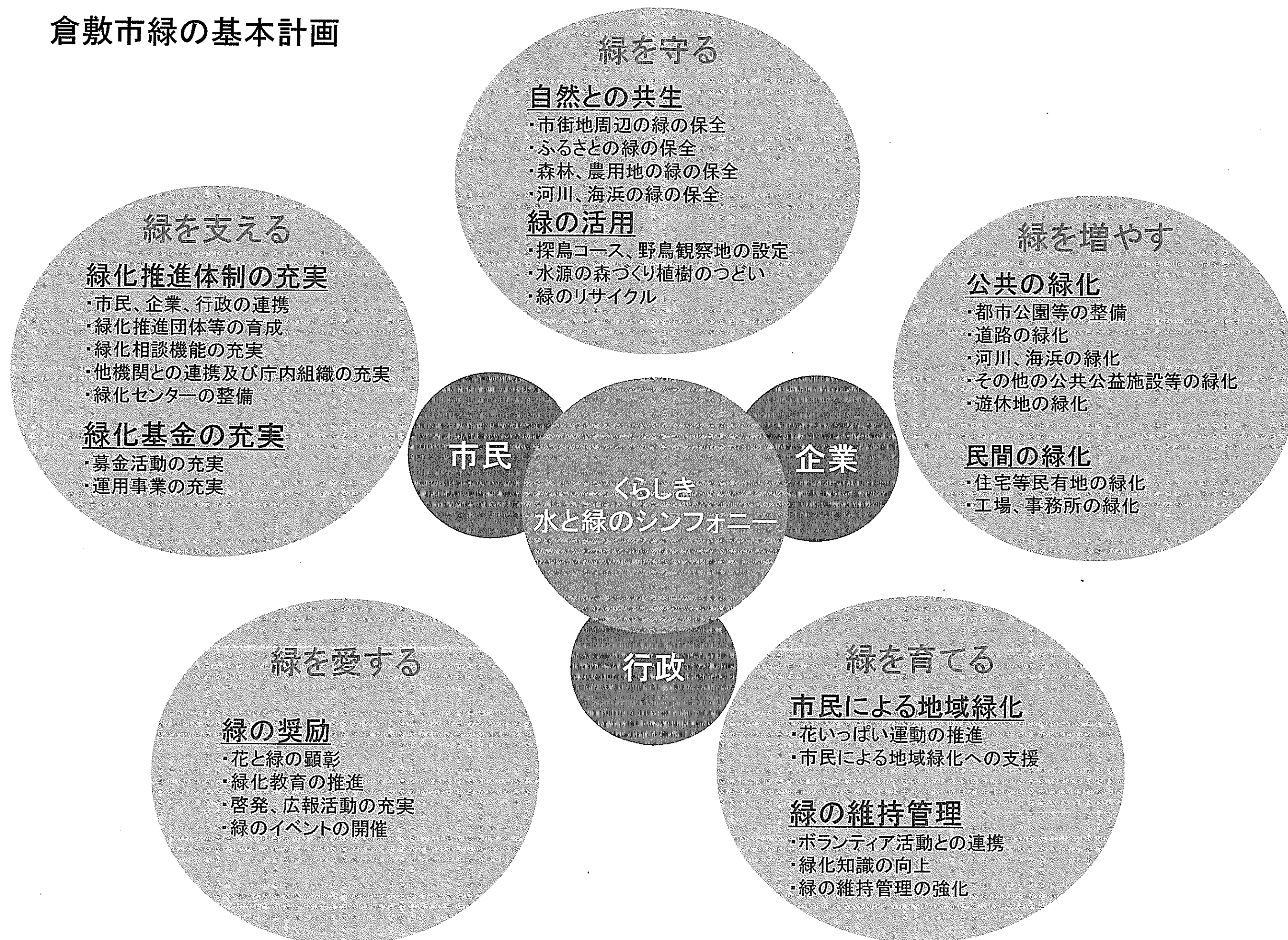
倉敷市緑の基本計画

くらしき水と緑のシンフォニー計画 第4期実施計画（平成23～27年度） （平成27年度実績）

倉敷市緑の基本計画（くらしき水と緑のシンフォニー計画）の体系	1
施策1 緑を守る	2
施策2 緑を増やす	4
施策3 緑を育てる	6
施策4 緑を愛する	8
施策5 緑を支える	10
倉敷市緑の基本計画の達成状況	11

倉 敷 市
土木部公園緑地課

倉敷市緑の基本計画



資料 くらしき水と緑のシンフォニー計画第4期実施計画(平成27年度実績)調査表

1 緑を守る (1)自然との共生

具体的施策	第4期実施計画(平成23～27年度)		計画 年次	27年度実績		所 管 課
	事業名	事業内容		事業名	事業内容 (事業費 千円)	
ア 市街地周辺の緑の保全	開発行為等の規制及び指導(1/3)	開発行為にあたって自然環境保全法、都市計画法、倉敷市開発行為指導要綱等の趣旨により、緑の保全が図られるよう規制・指導する。	継続	開発行為等の規制及び指導	届出件数 100件 (275,982㎡) 協議件数 4件 (21,634㎡)	環境政策課
	開発行為等の規制及び指導(2/3)	開発行為にあたって自然環境保全法、都市計画法、倉敷市開発行為指導要綱等の趣旨により、緑の保全が図られるよう規制・指導する。	継続	開発行為等の規制及び指導	許可件数 279件 (387,742㎡)開発	開発指導課
	開発行為等の規制及び指導(3/3)	開発行為にあたって自然環境保全法、都市計画法、倉敷市開発行為指導要綱等の趣旨により、緑の保全が図られるよう規制・指導する。	継続	開発行為等の規制及び指導	3,000㎡以上 35件 304,384㎡ 10,828本 3,000㎡以下 88件 156,178㎡ 5,616本	公園緑地課
	土砂等による土地の埋立の規制及び指導(1/2)	倉敷市埋立行為等の規制に関する条例により土地の埋立て、盛土及びたい積並びに土砂採取にあたっては、災害の防止及び生活環境の保全の両面から、規制や跡地の緑化指導を行う。	継続	埋立行為等の規制及び指導	届出件数 2件 (14,174㎡) 協議件数 0件	環境政策課
	土砂等による土地の埋立の規制及び指導(2/2)	倉敷市埋立行為等の規制に関する条例により土地の埋立て、盛土及びたい積並びに土砂採取にあたっては、災害の防止及び生活環境の保全の両面から、規制や跡地の緑化指導を行う。	継続	埋立行為等の規制及び指導	許可件数 1件 (9,281㎡) 開発	開発指導課
イ ふるさとの緑の保全	巨樹・老樹等の保護	自然保護監視員や市民からの情報をもとに、巨樹・老樹等の調査、「くらしきの巨樹・老樹」への認定を行い顕彰する。	継続	巨樹・老樹等の保護	市民からの情報等をもとに巨樹・老樹の調査を行った。	環境政策課
	市指定天然記念物松くい虫等防除事業	市指定天然記念物の防除対策として薬剤の地上散布を行う。 松くい虫防除 2回 葉ダニ防除 1回	継続	市指定天然記念物松くい虫等防除事業	・影向の松(中帯江) ・雨笠の松(玉島黒崎) ・鳳凰の松(片島町) (193)	文化財保護課
ウ 森林・農用地の緑の保全	保全の実効性の確保	10ha以上の大規模開発に対して、県・市・開発事業者の3者で自然保護協定を結び自然環境の保全に努める	継続	保全の実効性の確保	10ha以上の大規模開発に対して、6件の自然保護協定を締結している。	環境政策課
	ふれあいの森整備事業	ふれあいの森管理 平成10年度に県営事業による造成事業が完了したのに合わせて、ふれあいの森広場等の周辺整備を行う。	継続	ふれあいの森管理事業	ふれあいの森管理 16.39ha (3,617)	農林水産課
	美しい森管理事業	倉敷美しい森管理 県が整備を進めていた倉敷美しい森がオープンし、倉敷市が指定管理を受け、管理を行う。 県財政構造改革プランでの協議を経て、平成21年4月より、県より施設の譲渡を受け、市の施設として運営を行う。	継続	美しい森管理事業	倉敷美しい森管理 1.87ha (3,554) 真備美しい森管理 6ha (4,963)	農林水産課
	松くい虫予防事業	松くい虫被害対策のため薬剤散布と被害木の伐倒駆除を推進する。平成20年度より空中散布を廃止。	継続	松くい虫予防事業	薬剤地上散布→13ha 伐倒駆除→783㎡ (15,995)	農林水産課
	水源林管理事業	間伐や撫育により水源林の保全を図る。	継続	水源林管理事業	新見市 220ha (10,600)	農林水産課

1 緑を守る (1)自然との共生

具体的施策	第4期実施計画(平成23～27年度)		計画 年次	27年度実績		所 管 課
	事業名	事業内容		事業名	事業内容 (事業費 千円)	
ウ 森林・農用地の 緑の保全	林野火災予防啓発・ 広報	地区山火事予防協議会を中心に情報収集及び啓発活動を推進する。	継続	林野火災予防啓発・ 広報	山火事予防チラシの配布 山火事予防協議会の開催 山火事予防看板の設置 山火事予防広報活動	農林水産課
		山火事予防看板設置事業 幹線道路沿いや山道等に、タバコの投げ捨て防止の呼びかけを重点にした山火事予防看板を設置及び老朽化に伴う更新を行う。	継続	山火事予防看板設置事業	幹線道路沿いや山道等に、タバコの投げ捨て防止の呼びかけを重点にした山火事予防看板の点検を実施した。	消防予防課
		山火事予防啓発パレード 管内の山火事予防重点地域で、啓発パレードを実施し、広く地域住民に山火事予防意識の高揚を図る。	継続	山火事予防啓発パレード	山火事予防啓発パレードは実施していません。	消防予防課
		山林火災防御訓練 管内の山火事予防重点地域で、林野火災防御訓練を実施し、地域住民に山火事予防意識の高揚を図る。	継続	山林火災防御訓練	管内の山火事予防重点地域で林野火災防御訓練を実施し、地域住民に山火事予防意識の高揚を図った。	消防予防課
エ 河川・海浜の緑の 保全	倉敷川植栽管理事業	ふるさとの川整備事業により、整備する。 倉敷川沿いの河川緑地、親水公園等の維持管理に努めるとともに、絶滅危惧種に指定されたミズアオイの自生地の整備・保全に努める。	継続	倉敷川植栽管理	・倉敷川植栽管理(22, 537) ・倉敷川ミズアオイ自生地環境整備(357)	土木課

1 緑を守る (2)緑の活用

ア 探鳥コース・野鳥 観察地の設定	探鳥コース・野鳥観察地の設定	既設コースの案内板などの補修を随時行う。 探鳥に適した場所を探鳥コースとして指定し、案内板を設置する。	継続	探鳥コース・野鳥観察地の設定	既存探鳥コースを活用し、市民団体と協働で観察会を実施した。	環境政策課
イ 水源の森づくり植樹 のつどい	水源の森づくり植樹のつどい	森林の持つ公益的機能の一つである水源かん養機能を有した「森と水の源泉となる森林」を造成し、水源の確保を図るとともに、上流と下流での住民の交流を深める。	継続	水源林造成事業	H24年度事業完了	農林水産課
			継続	水源林絆の森整備事業	H24年度事業完了	農林水産課
ウ 緑のリサイクル	緑のリサイクル事業	緑豊かな街づくりを推進するため、不要になった樹木を市が譲り受け、希望者に譲渡することにより、樹木の有効な活用を図る。	継続	緑のリサイクル事業	不要樹木の提供11件・116本 一般公開:1月24日 譲渡本数:195本 (244)	公園緑地課
計	事業数 21	事業費				

2 緑を増やす (1)公共の緑化

具体的施策	第4期実施計画(平成23～27年度)		計画 年次	27年度実績		所 管 課
	事業名	事業内容		事業名	事業内容 (事業費 千円)	
ア 都市公園等の整備	街区公園の整備	緑化重点地区内の公園整備を推進する。また、適正な配置で街区公園を設置する。	継続	街区公園の整備	羽島北公園、矢柄新池公園外 用地取得 (58,889) 整備工事 (149,011)	公園緑地課
	近隣公園の整備	適正に配置し、住民に憩いと安らぎの場を提供する。	継続	玉島みなと公園の整備	事業完了	公園緑地課
			継続	倉敷みらい公園	事業完了	公園緑地課
	総合公園の整備	・倉敷総合公園 緑化推進の拠点となる都市公園を整備する。(緑化センター)	継続	倉敷総合公園の整備	なし	公園緑地課
	風致公園の整備	・酒津八幡山公園 自然とふれあえる場を提供する。		酒津八幡山公園の整備	なし	公園緑地課
	緑地の整備	・高梁川緑地	継続	高梁川緑地	なし	公園緑地課
	緑道の整備	・八間川緑道 L=2.7km	継続	緑道の整備	花苗5000株を年3回植栽する。	公園緑地課
	地区公園の整備	水島中央公園の整備	継続	水島中央公園の再整備	噴水広場、芝生広場整備工事 (33,400)	公園緑地課
	運動公園の再整備	中山運動公園の再整備	継続	中山運動公園の再整備	多目的広場整備工事 (19,900)	公園緑地課
	公園の再整備	街区公園を魅力ある公園に再整備する。	継続	施設改善	長尾公園外 トイレ改修・防球ネット設置等	公園緑地課
イ 道路の緑化	公園の開放	公園等の内、適所を市民に開放し、草花を栽培し楽しめる場等の提供に努める。	継続	公園の開放	市民による公園内での花壇づくり推奨	公園緑地課
	街路事業	街路樹の植栽により道路の緑化を進める。	継続	街路事業	なし	街路課
	道路新設改良事業	新設の道路の植樹により緑化を進める。	継続	道路新設改良事業	なし	街路課
	「風の道」道路整備事業	鉄道跡地を緑豊かな自転車・歩行者道として整備する。	継続	「風の道」道路整備事業	なし	児島建設課
ウ その他の公共公益施設等の緑化	フラワーボックスの設置	メイン通りにフラワーボックスを設置し道路を季節の花で飾る。	継続	フラワーボックスの設置	市内のフラワーロード(6.0km)のフラワーボックス(1,920個)に年3回花苗を配布した。	公園緑地課
	保育園花いっぱい事業	地域の人々が安らぐ空間づくりとして、市内保育園の花壇の整備、充実を図る。	継続	保育園花いっぱい事業	地域の人々が心安らぐ空間づくりとして市内保育園21園、分園1園及び認定こども園1園の花壇の整備充実を図った。	保育・幼稚園課
	保育園園庭芝生化事業	緑のカーテンプログジェクトの一環として、公立保育園の園庭芝生化を行い、子どもたちの屋外活動の促進や情緒安定の向上を図る。	継続	保育園園庭芝生化事業	第三福田保育園の園庭の一部(約209㎡)、上の町保育園の園庭の一部(約324㎡)を芝生化した。(8,605)	保育・幼稚園課
	公共施設緑化事業	緑豊かな街並み空間をつくるため、保育園・幼稚園・学校等の既存のコンクリート塀等を撤去し、生垣設置を進める。	継続	公共施設緑化事業	学校等のブロック塀を生垣にした。 玉島北中学校 (1,933)	公園緑地課

2 緑を増やす (1) 公共の緑化

具体的施策	第4期実施計画(平成23～27年度)		計画 年次	27年度実績		所 管 課
	事業名	事業内容		事業名	事業内容 (事業費 千円)	
ウ その他の公共公 益施設等の緑化	ポンプ場の場内緑 化整備	下水整備に伴うポンプ場に植栽を行うことによって、緑豊かな周辺環境整備をする。	継続	ポンプ場の場内緑 化整備	玉島下水処理場内で花壇を管理 年3回植替 面積 140㎡ ペチュニア 350株 1回 マリーゴールド 350株 1回 パンジー 350株 1回	下水施設課
	学校緑化整備	情操教育として学校緑化の推進を図る。	継続	学校緑化整備	学校・園の校庭周囲の芝生化を行う。 赤崎小学校(535㎡) 児島小学校(203㎡) (平成21年度からの累計 10,012㎡) (4,412千円)	教育施設課
エ 遊休地の緑化	遊休地の植栽	使用されていない遊休地に暫定的に花や低木を植栽し、緑の空間をつくる。	継続	遊休地の植栽	各施設で実施	関係課
	地区花花壇の促進	使用されていない遊休地を、地区花いっぱい団体に提供し、地区花花壇として活用する。	継続	地区花花壇の促進	使用されていない場所を、地区花いっぱい団体が地区花花壇として活用した。 新規団体 7団体	公園緑地課
	子ども広場の整備	子ども広場の整備及び維持管理を図る。	継続	子ども広場の整備	子ども広場の整備及び維持管理 (3,752)	生涯学習課
	市民農園整備事業	遊休農地を利用した市民農園の維持管理を行う。	継続	市民農園維持管理	遊休農地を利用した市民農園の維持管理 (4,195)	農林水産課
			継続	市民農園開設事業	実績なし	農林水産課

2 緑を増やす (2) 民間の緑化

ア 住宅等民有地の 緑化	記念樹の配布	結婚・誕生を記念して苗木を配布し、家庭の緑化を進める。	継続	記念樹の配布	結婚及び誕生記念として苗木を配布した。 ・11月 679本 ・ 3月 470本 (1,468)	公園緑地課
	生垣設置の推進	緑豊かな街づくりに向けて、生垣設置に対し補助金を交付し生垣化を進める。	継続	生垣設置の推進	生垣設置者に補助金交付 (補助金交付件数 8件) (179)	公園緑地課
	花壇設置の推進	花と緑あふれるまちを目指すため、新設される花壇に対し補助金を交付する。(平成26年度より交付金制度開始)	継続	花壇設置の推進	花壇設置者に補助金交付 (補助金交付件数 1件) (20)	公園緑地課
	地域緑化事業	緑の羽根による募金の見返り事業として地域・学校等に苗木を配布し、地域緑化を進める。	継続	地域緑化事業	地域・学校等に苗木を配布 ・配布箇所数 74箇所 ・配布数633本 ソメイヨシノ外 (1,699)	公園緑地課
	緑地協定による民 有地緑化の推進	緑地協定を締結することにより、団地などの民有地緑化を推進する。	継続	緑地協定による民 有地緑化の推進	調査・研究	公園緑地課
	緑のカーテンの推進	家庭でできる温暖化対策としてつる性植物を利用した壁面緑化を進める。	継続	緑のカーテン推進事 業	市民にゴーヤ3,000袋、朝顔3,000袋、苗 700個を配付。緑のカーテンコンテストを 実施。(事業費 226千円)	環境学習センター
イ 工場・事業所の 緑化	工場・事業所の緑化 の推進	緑豊かな街づくりに向けて、積極的な緑化を推奨するとともに、生垣設置に対し補助金を交付し、生垣化を進める。	継続	工場・事業所の緑化 の推進	開発協議時やホームページで生垣・花壇 設置補助があることをPR。	公園緑地課
	工場緑化の推進の 育成	公害防止協定締結工場については緑地面積を拡大するよう指導する。また、工場立地法対象外の工場についても、法の趣旨に沿った緑化を指導する。	継続	工場緑化の推進の 育成	公害防止協定(環境保全協定を含む)を 平成27年度までに89件締結している。 また、事前協議(年間111件)において、 生産施設面積が増加する場合は、緑化の 指導を行った。(13件)	環境政策課
計	事業数 33	事業費				

3 緑を育てる (1)緑の維持管理

具体的施策	第4期実施計画(平成23～27年度)		計画 年次	27年度実績		所 管 課
	事業名	事業内容		事業名	事業内容 (事業費 千円)	
ア ボランティア活動 との連携	コミュニティー活動との連携	自治会、子ども会、老人クラブ等との連携を図り、地域に密着した公園等の維持管理を図る。	継続	コミュニティー活動との連携	自治会、子ども会、老人クラブ等との管理委託契約による公園等の維持管理	公園緑地課
	ボランティア活動との連携	ボランティア団体と連携を図り、街路や公園緑地課の維持管理体制づくりを進める。	継続	ボランティア活動との連携	ボランティア団体と連携を図り、街路や公園の維持管理体制や緑化推進づくりを進めた。 福田公園 清掃活動 酒津公園 清掃活動、花苗植付活動 倉敷みらい公園 清掃活動、花壇維持管理	公園緑地課
イ 緑化知識の向上	パンフレットの作成・配布	緑の意義や維持管理に関するパンフレット等を作成・配布し緑化知識の向上を図る。	継続	パンフレットの作成・配布	花と緑の推進会議においてパンフレット配布	公園緑地課
	講習会等の実施	講習会の実施や緑の相談所を通して、緑の育て方や維持管理について知識の向上を図る。	継続	講習会等の実施	花と緑の推進会議において講演会を実施	公園緑地課
	講座の開催	講座を通して、庭づくり、花の栽培、剪定等の知識の向上を図る。	継続	講座の開設	公民館や市民学習センターでは、「園芸入門」、「誰でも楽しく！やさしい園芸」、「楽しい寄せ植え」、「はじめての寄せ植え」などの講座を開催し、植物の栽培に関する知識の習得とともに、自然の素晴らしさを感じ、緑化に対する意識の高揚を図った。	市民学習センター (各公民館)
ウ 緑の維持管理体制の強化	都市公園の管理	市民生活にゆとりと潤いを与える都市公園の適正な維持管理を行う。	継続	都市公園の管理	都市公園の適正な維持管理 都市公園 781箇所 遊園 258箇所 (560, 927)	公園緑地課
	街路樹・緑地帯の管理	緑豊かな景観をつくる街路樹や緑地帯の適正な維持管理を行う。	継続	街路樹・緑地帯の管理	市道に設置された街路樹、緑地を維持し、良好な環境を保つ。 (115, 575)	公園緑地課
	公園等清掃管理委託事業	高齢者の生きがい対策事業として地域の公共の公園等の清掃管理を委託する。	継続	公園等清掃管理委託事業	高齢者の生きがい対策事業として地域の公共の公園等の清掃管理を委託した。 (32, 341)	健康長寿課
	瀬戸内海国立公園及び園地の管理	瀬戸内海国立公園及び園地の管理	継続	瀬戸内海国立公園及び園地の管理	瀬戸内海国立公園及び園地の管理 (25, 311)	公園緑地課
	鷺羽山ビジターセンター及び田之浦パークセンターの維持管理	鷺羽山ビジターセンター及び田之浦パークセンターの維持管理	継続	田之浦パークセンターの維持管理	田之浦パークセンターの維持管理 (1, 070)	公園緑地課
			継続	鷺羽山ビジターセンターの維持管理	鷺羽山ビジターセンターの維持管理 (7, 540)	観光課
	民間施設等の緑の維持管理の充実	民間施設において積極的かつ適正に緑の維持管理を行うよう推奨する。	継続	民間施設等の緑の維持管理の充実	緑の相談で対応した。 民間施設に協力を依頼した。	公園緑地課
	公共施設等の緑の維持管理の充実	市庁舎をはじめとする公共施設において、適正な緑の維持管理を行う。	継続	公共施設等の緑の維持管理の充実	市庁舎緑地管理、除草・剪定等業務委託 (5, 594)	総務課
			継続	庁舎の壁面緑化	緑のカーテンプロジェクトの一環として、ゴーヤを植えることにより、庁舎(本庁、児島・玉島支所)の壁面緑化をすすめた。 (55)	総務課

3 緑を育てる (2)市民による地域緑化

具体的施策	第4期実施計画(平成23～27年度)		計画 年次	27年度実績		所 管 課
	事業名	事業内容		事業名	事業内容 (事業費 千円)	
ア 花いっぱい運動 の推進	花の銀行の充実	春・秋の年2回開催する花の銀行支店長会議を通して、市民に花の種等を貸出し、花いっぱいの街づくりを進める。	継続	花の銀行の充実	花の銀行支店に、花の種を配布した。 ・夏(カスミソウ・キンギョソウ) ・春(ケイトウ・オシロイバナ) 40,000袋	公園緑地課
	フラワーロード事業	愛称通り(倉敷中央通り・鷺羽山通り・水島商店街通り)などにフラワーボックスを設置し季節の花で飾る。	継続	フラワーロード事業	年3回約28万株植栽 延長6.0km 4月ペチュニア、7月マリーゴールド 11月パンジー	公園緑地課
	花いっぱい事業	駅前から美観地区に至る間にポケット的なスペースにガーデンングとして飾る。	継続	花いっぱい事業	阿知フラワーポッケ花植栽 (2,106)	公園緑地課
	公共用地の有効利用	下水処理場用地等の公共用地を花いっぱいにし市民に憩いの場を提供する。	継続	玉島E地区フラワーフィールド事業	玉島E地区1.1haにコスモスの種をまき、花を咲かせ、一般開放後コスモスを持ち帰ってもらった。(4,193)	公園緑地課
	もてなし花壇事業	駅・バスステーション及びその周辺商店街等にフラワーボックスを設置し、訪れる人々を花でもてなす。	継続	もてなし花壇事業	もてなし花壇ボックス 2,043個 4月ペチュニア、7月マリーゴールド 11月パンジー	公園緑地課
	地区花いっぱい運動	地域の道路沿いにおいて、花を育てるボランティア団体に花の苗や種を無料配布し、地域を花で飾る。	継続	地区花いっぱい運動	120団体 4月ペチュニア、7月マリーゴールド 11月パンジー	公園緑地課
	花と緑のコンクールの実施	四季折々に育てられている花と緑の優秀な花壇等を顕彰する。	新規	倉敷市花いっぱいコンクールの実施	第4回倉敷市花いっぱいコンクール実施 家庭 30点、コミュニティー 10点 学校・職域 39点 応募総数 79点	公園緑地課
	フラワーモニュメントの設置及び花苗の配布	「ハートランド倉敷」に、市民によるフラワーフレンズが育てた花苗等でつくったフラワーモニュメントを飾る。終了後には、学校・幼稚園等に花苗を配布する。	継続	フラワーディスプレイの設置及び花苗の配布	廃止	観光課
イ 市民による地域 緑化への支援	緑化推進モデル地区・学校等の指定	積極的に緑化に取り組む地域・事業所・学校等を緑化推進モデル地区等として指定し、苗木や花苗等の配布、育成管理の技術指導を行い、自主的な緑化活動の促進を図る。	継続	緑化推進モデル地区・学校等の指定	未実施	公園緑地課
計	事業数 23	事業費				

4 緑を愛する (1)緑の奨励

具体的施策	第4期実施計画(平成23～27年度)		計画 年次	27年度実績		所 管 課
	事業名	事業内容		事業名	事業内容 (事業費 千円)	
ア 花と緑の顕彰	緑化功労者の表彰	緑化推進、公園管理等に貢献した市民・団体等に対し、その労をねぎらうとともに功績を讃え、緑化に対する意欲を高める。	継続	緑化功労者の表彰	1個人を表彰 (6)	公園緑地課
イ 緑化教育の推進	緑化ポスターコンクールの実施	10月の全国都市緑化月間に、小中学校の児童生徒を対象に、緑化ポスターコンクールを実施し、緑化教育の推進を図る。	継続	緑化ポスターコンクールの実施	応募数 600点 (小学校4年～中学校3年生) (146)	公園緑地課
	樹名板等の設置	公園等の公共施設において、樹名板の取り付けや樹木説明板を整備し、緑を愛する心を醸成する。	継続	樹名板等の設置	樹名板設置 ・福田公園(35枚)緑化推進員が設置	公園緑地課
	学校教育を通しての 緑化教育の実践	花の栽培等の学校行事を通して、児童生徒が緑にふれることにより、緑の意義や大切さを学ぶ。	継続	学校教育を通しての 緑化教育の実践	花の栽培 校庭花壇等の草取り 水やり等	指導課(各学校)
		緑の少年隊の活動支援(県)	継続	緑の少年隊の活動 支援(県)	緑の少年隊による募金活動 琴浦東・蘭小学校の緑の少年隊	指導課(各学校)
	環境教育の推進	年間指導計画に基づく環境教育を推進する。	継続	環境教育の推進	学校訪問を市内1/3の小・中学校で実施	指導課(各学校)
	山の学習・自然教室 等の充実	山の学習・自然教室・特別活動などにおける体験学習を通して、緑や自然に対する意識の高揚を図る。	継続	山の学習・自然教室 等の充実	山の学習→市内の小学校 63校 自然教室→市内の中学校 26校	指導課(各学校)
	環境学習の推進	植物や自然についての環境学習講座等を実施する。	継続	環境学習推進事業	自然観察などの講座や出前講座を年間で 32回実施した。	環境学習センター
	自然史博物館事業	倉敷市とその背景にある自然について調査研究、資料の収集保管、展示等環境緑化教育の普及事業を行う。 ・広葉樹林の植物相調査 ・県内の植物分布調査ほか	継続	自然史博物館事業	展示事業として、特別展「島の植物－岡山 県の島巡り－」を開催した。(3, 817) また、調査研究事業(倉敷市ならびに岡山 県内の自然)、教育普及事業(植物教室、 自然観察会、博物館講座、出前講座等へ の講師派遣、スライド映写会「花の百名山 を訪ねて2」)などを実施した。(なし)	自然史博物館
ウ 啓発・広報活動 の充実	緑に対する意識啓 発	広報くらしき及びテレビ等のマスメディアを通して、緑化意識 の高揚を図る。	継続	広報紙発行事業	広報くらしきを通して、緑化意識の高揚を 図った。 【広報くらしき】 H27年5月号:「花いっぱいコンクールの 作品募集」 6月号:「コスモスの種まきボランティアを 募集」 7月号:「緑のカーテンコンテスト作品募 集」「くらしきグリーンメイト(緑のカーテン 推進員)募集」 9月号:「くらしき都市緑化フェアのイベント 参加者募集」 10月号:「くらしき都市緑化フェア」「コスモ ス畑の一般開放」「菊花展」 12月号:「パブリックコメントを募集 市緑 の基本計画(素案)」 H28年3月号:「ツツジの育てかた講習会 の受講者募集」 (85, 687)	くらしき情報発信課
			継続	新聞広報事業	新聞広報、掲載なし。	くらしき情報発信課

4 緑を愛する (1) 緑の奨励

具体的施策	第4期実施計画(平成23～27年度)		計画 年次	27年度実績		所 管 課
	事業名	事業内容		事業名	事業内容 (事業費 千円)	
ウ 啓発・広報活動 の充実	緑に対する意識啓 発	広報くらしき及びテレビ等のマスメディアを通して、緑化意識 の高揚を図る。		倉敷市広報チャン ネル広報事業	広報チャンネルを通して緑化意識の高揚 を図った。 【静止画】 H27年5月放送:「花いっぱいコンクール」 6月放送:「コスモス種まきボランティア募 集」 9・10月放送:「くらしき都市緑化フェア」 10月放送:「コスモス畑の一般開放につ いて」 H28年1月放送:「緑のリサイクル」 (5, 282)	くらしき情報発信課
			継続	コミュニティメディア 広報事業	コミュニティメディア(FMくらしき)を通して 緑化意識の高揚を図った。 【声の広報くらしき】 H27年5月放送:「花いっぱいコンクール」 10月放送:「くらしき都市緑化フェア」 【インフォーマーシャル】 5月放送:「花いっぱいコンクール募集」 6月放送:「コスモス種まきボランティア募 集」 9月放送:「くらしき緑化フェアのイベント参 加者募集」 10月放送:「コスモス畑の一般開放につ いて」「くらしき緑化フェア」 (8, 014)	くらしき情報発信課
	緑化ポスター等の作 成・配布	緑化ポスター・パンフレットを作成・配布し、緑化意識の高揚 を図る。	継続	緑化ポスター等の 作成・配布	「緑化ポスター等の掲示」 春の都市緑化運動月間(4～6月)全国都 市緑化月間(10月)にポスターを掲示	公園緑地課
	緑の情報収集と提 供	緑に対する市民意識や市内の緑の分布状況等の調査・研 究により情報を収集し、広く市民に提供する。	継続	緑の情報収集と提 供	緑に関する小冊子を窓口で配布。 緑化団体から情報の提供を受けた。	公園緑地課
			継続	啓発ビデオの貸出	環境学習センターが保有している自然保 護に関する啓発資料等について、環境ラ イブラリーにて貸出できるよう提供した。こ れにより、環境意識および緑化意識の向 上を図った。	環境学習センター
	エ 緑のイベントの開 催	倉敷市さつき展示会 及び菊花展の開催	継続	倉敷市さつき展示会 の開催	本庁舎展示ホールにおいて5/31～6/ 7の期間に開催。 出品点数81点。	観光課
			継続	倉敷市菊花展の開 催	市内において、10/20～11/15に開 催。 出品点数53点	観光課
	くらしき都市緑化フェ アの開催	10月の全国都市緑化月間に「花と緑いっぱいのまち倉敷」を テーマに花市・植木市等の各種行事を展開する。	継続	くらしき都市緑化フェ アの開催	市民団体等により実行委員会を編成し、 「緑化フェア」を開催した。 10/25実施。	公園緑地課
	生垣コンクールの実 施	緑豊かなうるおいのある景観をつくりだしている生垣を対象 に生垣コンクールを実施する。	継続	生垣コンクールの実 施	実施なし。	公園緑地課
	植物教室	倉敷市内の公園で見られる植物の写真撮影や名前調べを 行いホームページで公開する。	継続	植物教室	倉敷市内の公園で見られる植物の写真撮 影や名前調べを行いホームページで公開 した。	自然史博物館
計	事業数 21	事業費				

5 緑を支える (1)緑化推進体制の充実

具体的施策	第4期実施計画(平成23～27年度)		計画 年次	27年度実績		所 管 課
	事業名	事業内容		事業名	事業内容 (事業費 千円)	
ア 市民・企業・行政 の連携	市民・企業・行政の 連携	市民、団体、企業等へ緑についての情報提供や働きかけを行うなど、さまざまな機会をとらえて連携を図り、一体となって緑の街づくりを推進する。	継続	市民・企業・行政の 連携	企業が実施した緑化啓発イベントに参加した。	公園緑地課
イ 緑化推進団体等 の育成	自然保護団体の育成	「倉敷の自然をまもる会」に対し補助金を交付し、育成を図る。	継続	自然保護団体の育成	「倉敷の自然をまもる会」へ補助金を交付した。 (180)	環境政策課
	緑化推進員の育成	緑化推進員の研修を実施するなど知識向上を図るとともに、増員・強化を図る。	継続	緑化推進員の育成	緑化推進員連絡会を年3回開催し、意見交換を行うとともに樹木の勉強会、樹名板設置等を行い知識向上を図った。	公園緑地課
	緑化推進団体の育成・拡充	既設の緑化推進団体の育成を図るとともに、情報交換・交流の場を提供し、団体間のネットワーク化を図る。また、新たな団体づくりを支援・育成する。	継続	緑化推進団体の育成・拡充	花と緑の推進会議(8月・3月)講演会を開催し、同時に花や緑に関する冊子を配布した。 「こんな花や緑を育てたい」「はじめてのガーデニング」 ・緑化推進員連絡会 ・花の銀行支店長連絡会 ・地区花いっぱい団体連絡会	公園緑地課
ウ 緑化相談機能の 充実	緑の相談所の充実	緑化相談所の開設回数、場所等の拡大を図るとともに、相談員の知識向上を図り、広く市民の相談に応じる体制の充実を図る。	継続	緑の相談所の充実	・随時、公園緑地課で相談を受けた。 ・緑化フェア場内に相談コーナーを設置。 ・記念樹配布時に緑化推進員が相談を受けた。	公園緑地課
エ 他機関との連携 及び庁内組織の 充実	庁内組織の充実	緑化推進本部の充実を図るとともに、関係部局相互の連携を図り、総合的な緑化の推進を図る。	継続	庁内組織の充実	庁内組織と連携	公園緑地課
	他機関との連携	国・県その他関係機関との連携により総合的かつ効果的な緑化の推進を図る。	継続	他機関との連携	(公社)岡山県緑化推進協会会員として 国・県等と連携	公園緑地課
オ 緑化センターの 整備	緑化センターの整備	緑に対する理解を深めるための講習会や研修・学習のできる施設や緑の相談所等を設置した緑化センターを整えていく。	継続	緑化センターの整備	なし	公園緑地課

5 緑を支える (2)緑化基金の充実

ア 募金活動の充実	募金活動の充実	緑化基金の拡大を図るため、PRパンフレット等の配布を通して、広く市民や企業に呼びかけ寄付の協力を求める。	継続	募金活動の充実	緑化基金への募金箱設置継続(4箇所) PR用パンフレットを活用。 企業等が実施するイベント等で寄付の協力をお願いした。 寄付9件 255,075円	公園緑地課
イ 運用事業の充実	緑化基金運用事業 の充実	基金の利息により、民有地緑化事業の充実を図る。 ・生垣設置補助金 ・生垣コンクール ・緑の相談所	継続	緑化基金運用事業 の充実	生垣設置補助金 8件 179千円 花壇設置補助金 1件 20千円	公園緑地課
計	事業数 10	事業費				

1.前「緑の基本計画」の達成状況

前「緑の基本計画」では、目標値を「緑地の確保目標」と「都市公園等の整備目標」について設定していました。

それぞれの達成状況は、以下に示すようにいずれにおいても低い達成率となっています。

1) 緑地の確保目標

緑地の確保目標として、「緑の政策大綱」（平成6年7月建設省）が目標としている、「市街地における緑地の占める割合を3割以上確保」を目指し、都市公園（街区公園、近隣公園、緑地等）の拡大を想定し、市街化区域及びそれに隣接する緑地の面積及び割合が3,700ha、31%としていました。

達成状況をみると、市街化区域では17.3ha減少し、達成率は-4.0%となりました。

■緑地確保目標量の達成状況

		現況 (H16)	目標 (H27)	実績 (H25)	増加	達成
市街化	面積(ha)	3,402.10	約3,700	3,384.84	-17.3	
区域	割合(%)	28.3	約31	28.2	-0.1	-4.0

注記)

前計画では、緑地として以下のものも含んでいます。

・市街化区域内の山林及び農地

・緑を感じる後背地として市街化区域に隣接する自然公園等

新計画の緑地は、上記の緑を含まず、緑に関する法や条例による区域指定で担保された持続性の高い、一団の規模を有するものを対象としています。

2) 都市公園等の整備目標

都市公園等（都市公園と公共施設緑地）の整備目標として、国（平成7年都市計画中央審議会答申）が目標としている市民一人当たりの都市公園面積20㎡を目指し、都市公園（街区公園、近隣公園、緑地等）の拡大を想定し、1660ha、一人当たり35.5㎡としていました。

達成状況をみると、都市計画区域で面積は31.16ha、一人当たり面積は0.3㎡/人の増加となり、達成率は1.6%となりました。

■都市公園等の整備目標の達成状況

	現況 (H16)	目標 (H27)	実績 (H26)	増加	達成
面積 ha	809.47	1,662.00	840.63	31.16	
都計人口 人	474,612	468,571	483,265		
1人当たり面積 ㎡/人	17.1	35.5	17.4	0.3	1.6%

2.近年の本市公園緑地事業及び緑化事業

公園・緑地は良好な生活環境を育むためになくてはならない施設の一つです。したがって、ただ整備すれば良いのではなく、周囲の環境、住民のニーズを十分に考慮し、地域特性に配慮した整備をする事が必要不可欠となっています。また、その役割も従来の憩いの場としての機能だけでなく、防災・景観・環境改善機能の充実を備える方向にあり、社会基盤としての重要度も高まっています。

本市では、「花と緑あふれるまちづくり」を「フラワーガーデンシティ」と銘打ち、公園の整備、公共施設緑化、民有地緑化などを推進しています。

近年の公園緑地事業及び緑化事業の主なものを以下に述べます。

【倉敷みらい公園の整備】公園面積20,800㎡ 平成23年11月開設

JR倉敷駅北側に位置し、オープンスペースとして既存の用水路や樹木を活用し、中心市街地の中で豊かな自然を感じることのできる景観に配慮した公園です。また、この公園の特徴として、倉敷市では初となる一時避難場所の芝生広場、防災東屋、マンホールトイレなど防災機能を備えた公園です。

【玉島みなと公園の整備】公園面積22,300㎡ 平成26年6月開設

玉島柏島地区の海に面した立地を生かし、港や海を眺めることができる開放的な公園です。施設は、ワークショップにより地元近隣住民のニーズを反映させ、複合遊具・健康遊具・ウォーキングコース・芝生広場など子供からお年寄りまで楽しんで利用できることに配慮しています。

【学校・園庭芝生化事業】

地球温暖化防止と保育・教育環境の改善を目的として、平成21年度より市内の保育園、小学校の校園庭の一部の芝生化を進めています。

【その他の公共施設の緑化】

新たに整備する公共施設のオープンスペースを芝生化し、市民が憩える空間づくりをしています。

・クルクルセンター多目的広場 芝生面積7,000㎡

・児島市民交流センター 芝生面積2,462㎡

・玉島市民交流センター 芝生面積1,400㎡（隣接の阿賀崎公園）

・水島愛あいサロン（環境交流スクエア） 芝生面積3,000㎡

【民有地の緑化】

○倉敷市花いっぱいコンクール

平成24年度より、家庭や職場・学校・自治会等で四季折々に育てられている花と緑の優秀な花壇を「倉敷市花いっぱいコンクール」にて顕彰し、市民の緑化思想の普及啓発、市民参加による都市緑化の促進を実施しています。

○花壇設置補助金交付事業

「緑化の最初の一步は自宅前の花飾りから」の考えから市内を花と緑あふれるまちにするため、平成26年度より、現行の生垣設置補助金交付事業を拡充し、市内を新設される花壇に対し補助金の交付を行いました。

○緑のカーテンコンテスト

平成21年度から家庭でできる地球温暖化対策として、つる性植物を利用した壁面緑化を進めており、市民・企業を対象に「緑のカーテンコンテスト」を実施しています。

倉敷市第二次緑の基本計画

～豊かな緑と水に囲まれた環境、花と緑あふれる暮らしを未来につなぎます。～

第二次緑の基本計画に係る第 1 期実施計画（平成 2 8 ～ 3 2 年度） （平成 2 8 年度予定）

●緑の実施計画の策定趣旨、計画期間、緑の施策の体系	1
●計画の目標水準	2
●基本方針 1 倉敷の豊かな緑を次世代に引き継ぎます	4
●基本方針 2 花と緑にあふれ、安全で快適に暮らせるまちを創ります	7
●基本方針 3 優しい心を育み、緑のまちづくりを展開していきます	10

倉 敷 市

土木部公園緑地課

倉敷市第二次緑の基本計画の実施計画

1 実施計画の策定趣旨

平成28年3月に策定した「倉敷市第二次緑の基本計画」は、「豊かな緑と水に囲まれた環境、花と緑あふれる暮らしを未来につなぎます。」を緑の将来像に掲げた緑化施策等に関する20年間の計画となっています。

この緑の将来像の実現に向けて、「倉敷の豊かな緑を次世代に引き継ぎます」(保全)、「花と緑にあふれ、安全で快適に暮らせるまちを創ります」(創出)、「優しい心を育み、緑のまちづくりを展開していきます」(展開)といった3つの基本方針を掲げています。

そして、「倉敷の豊かな緑を次世代に引き継ぎます」(保全)に対しては、2つの基本目標「骨格となる緑の保全・活用」、「特徴的な緑の保全・活用」を掲げています。

また、「花と緑にあふれ、安全で快適に暮らせるまちを創ります」(創出)に対しては、3つの基本目標「フラワーガーデンシティの形成のための都市公園等の整備、緑化の推進」、そして、「安心・安全な市街地の形成」を掲げています。

さらに、「優しい心を育み、緑のまちづくりを展開していきます」(展開)に対しては、2つの基本目標「花と緑を愛する優しい心の育成」、「フラワーガーデンシティの展開」を掲げています。

この7つの基本目標に対して、20の基本施策のもと145の主な取り組みを掲げています。

2 緑の実施計画の計画期間

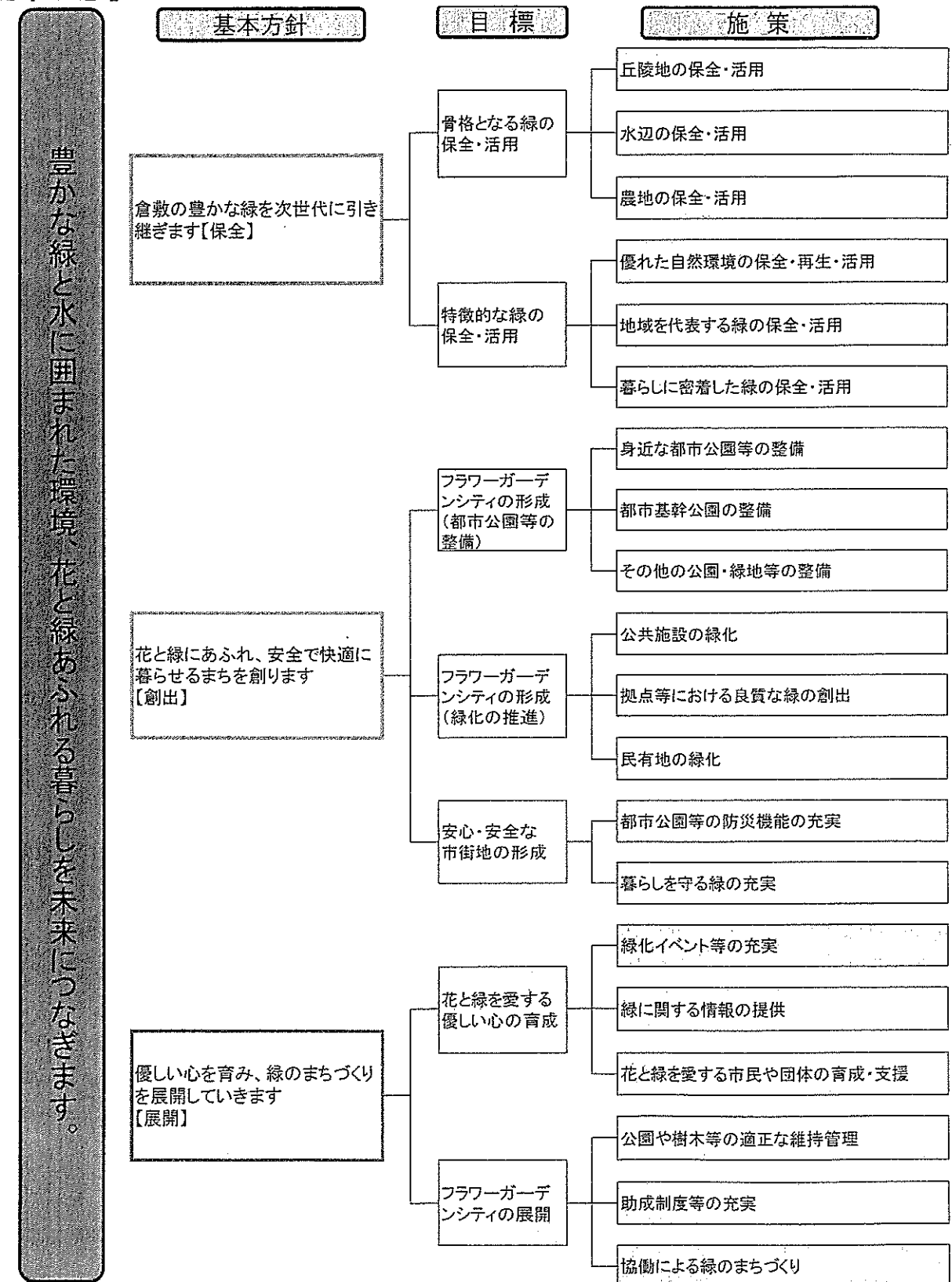
緑の基本計画の計画期間は、平成28年度から平成47年度までの20年間で、実施計画では、その期間を5年毎に第1期から第4期までに区分します。したがって、第1期実施計画の期間は、平成28年度から平成32年度までの5ヶ年となります。

平成32年度には、「倉敷市第六次総合計画」の期間が満了するため、総合計画の見直し状況を踏まえ、第2期以降の実施計画を策定していきます。こうすることで、社会経済情勢の変化を踏まえて、緑の基本計画を着実に推進していくことができます。

3 緑の施策の体系

第二次緑の基本計画の基本方針に基づく緑の施策の体系

【基本理念】



4 計画の目標水準

1) 人口及び市街地等の規模

目標値の算定根拠として、人口及び市街地等の規模を以下の通り設定します。

■計画のフレーム

区分	現況 H26	中間年度 H37	目標年度 H47
総人口	483,722 人	484,226 人	476,320 人
都市計画区域人口	483,710 人	484,220 人	476,310 人
市街化区域人口	394,640 人	394,840 人	388,190 人
都市計画区域の規模	35,341 ha	35,341 ha	35,341 ha
市街化区域の規模	12,056 ha	12,097 ha	12,097 ha

■H22国勢調査

区分	H22
総人口	475,513 人
都市計画区域人口	475,500 人
市街化区域人口	387,736 人

注) 1.H26の総人口は、住民基本台帳(H26.12.31現在)より
2.H37及びH47の総人口は、「倉敷市人口推計業務報告書(H27.3)」より
3.H26及びH37、H47の各区域人口は、H22の国勢調査時の区域人口を
参考に按分により算出。なお、表中の区域別人口の値は、地域別に
算出した合計のため、市総人口を按分した値とは異なる
4.市街化区域の規模は、H25線引き見直しの特定保留地を見込む
(現時点で予定されている数値を記載)

2) 計画の目標水準

本計画で示す3つの基本方針の観点から、以下の目標水準を設定します。

<基本方針1>

倉敷の豊かな緑を次世代に引き継ぎます【保全】

私たちに安らぎと潤いをもたらすふるさとの自然、緑と水が調和した良好な自然環境などは、生物多様性、低炭素社会の形成にも寄与するものであり、これらの緑を良質な状態で次世代に継承していきます。



<目標水準1>

▼緑地の確保目標

緑地現況や都市構造、今後の緑地確保の実現性等を踏まえ、市街化区域と市域全体の緑地を将来も維持していくことを目標とします。

■緑地の目標

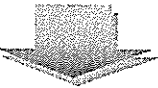
区分	現況 (平成26年)	中間年次 (平成37年)	目標年次 (平成47年)
市街化区域	7.2% 870.5 ha	7.4% 899.5 ha	7.7% 929.2 ha
市域全体	17.2% 6,072.1 ha	17.3% 6,117.0 ha	17.5% 6,170.5 ha

※緑地とは都市公園や公園緑地に準じる機能を持つ施設、法や条例による区域指定で担保された持続性の高い、一団の規模を有するもの

<基本方針2>

花と緑にあふれ、安全で快適に暮らせるまちを創ります【創出】

都市公園等の整備や公共施設・民有地の緑化などにより「フラワーガーデンシティ」の形成を進め、安全で快適な質の高い生活環境を創出します。



<目標水準2>

▼都市公園等の整備目標

都市公園等の現況や都市構造、これまでの整備水準等を踏まえ、都市公園の一人当たり面積を10.0㎡/人、都市公園等を17.2㎡/人に増やすことを目標とします。

■都市公園等の整備目標(一人当たり面積)

区分	現況 (平成26年)	中間年次 (平成37年)	目標年次 (平成47年)
都市公園	8.1 ㎡/人 390.6 ha	9.0 ㎡/人 435.5 ha	10.0 ㎡/人 476.3 ha
都市公園等	14.9 ㎡/人 720.1 ha	15.8 ㎡/人 765.0 ha	17.2 ㎡/人 818.5 ha

※都市公園等とは、都市公園及び公共施設緑地の合計

▼身近な都市公園等に歩いていける地域の割合の目標

都市公園等の質(利用満足度)を高めるという観点から、市街化区域内における身近な都市公園等に歩いていける地域の割合を80.0%に増やすことを目標とします。

■身近な都市公園等に歩いていける地域の割合の目標

区分	現況 (平成26年)	中間年次 (平成37年)	目標年次 (平成47年)
身近な都市公園等に 歩いていける地域の割合	75.9%	78.0%	80.0%

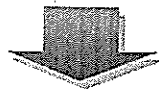
※身近な都市公園等: 街区公園、近隣公園、地区公園、遊園、開発遊園、住宅遊園、子ども広場

※歩いていける地域: 街区公園の一般的な誘致圏と言われる250mを設定

※割合は、図上計測による

＜基本方針 3＞

優しい心を育み、緑のまちづくりを展開していきます【展開】
花や緑を愛する優しい心を育み、花や緑あふれる「フラワーガーデンシティ」を市民との協働で展開していきます。



＜目標水準 3＞

▼身近な地域の緑の量が多いと感じている人の割合

緑化活動の推進や普及啓発に係る観点から、市民の意識調査により、身近な地域の緑の量が多いと感じている人の割合を 40.0%に増やすことを目標とします。

■身近な地域の緑の量が多いと感じている人の割合の目標

区分	現況 (平成26年)	中間年次 (平成37年)	目標年次 (平成47年)
身近な地域の緑の量が多い と感じている人の割合	33.9 %	37.1 %	40.0 %

※「緑が非常に多い」「緑が多い」と回答した人の割合

▼緑のまちづくり活動に関わりたいと思っている人の割合

緑化活動の推進や普及啓発に係る観点から、市民の意識調査により、緑のまちづくり活動に関わりたいと思っている人の割合を 60.0%に増やすことを目標とします。

■緑のまちづくり活動に関わりたいと思っている人の割合の目標

区分	現況 (平成26年)	中間年次 (平成37年)	目標年次 (平成47年)
緑のまちづくり活動に関わりたい と思っている人の割合	53.6 %	57.0 %	60.0 %

※「積極的に関わりたい」「できれば関わりたい」と回答した人の割合

倉敷市第二次緑の基本計画第1期実施計画（平成28年度計画）調査表

基本理念 豊かな緑と水に囲まれた環境、花と緑あふれる暮らしを未来につなぎます。

基本方針（1）倉敷の豊かな緑を次世代に引き継ぎます【保全】

目標	施策	主要な施策の内容	第1期実施計画（平成28～32年度）	事業名	平成28年度計画		担当部署
			事業の概要		事業内容	予算額 （千円）	
① 骨格となる 緑の保 全・活用	1）丘陵地の 保全・活用	・森林のもつ多様な機能を効果的に発揮させるため、病害虫防除や林野火災予防などで健全な森林を維持・保全 ・森林ボランティア活動の支援や啓発を通じ、良質な自然環境を次世代に継承	倉敷市森林整備計画により森林のもつ公益的機能を活用するため森林の整備及び保全を実施する。	倉敷市森林整備計画	倉敷市森林整備計画により森林のもつ公益的機能を活用するため森林の整備及び保全を実施する。	0	農林水産課
			水源林の保育及び管理を行うとともに、森林諸機能の維持増進を図り、水源を確保し、災害の防止に努める。	水源林管理事業	間伐や撫育、下刈り作業などにより高梁川上流地帯の水源林の保全を図る。 新見市 134ha	9,155	農林水産課
			松くい虫被害対策のため薬剤散布と被害木の伐倒駆除を推進する。	松くい虫の予防及び駆除	鷺羽山の13haについて、薬剤地上散布を年2回行う。また、松くい虫被害木の伐倒及び伐倒木への薬剤散布を行う。（1,050㎡）	22,660	農林水産課
			地区山火事予防協議会を中心に情報収集及び啓発活動を推進する。	林野火災予防啓発・広報	山火事予防チラシの配布や山火事予防看板の設置など山火事予防広報活動を展開する。また、山火事予防協議会を開催する。	75	農林水産課
			森林等の緑を保全するとともに、ふれあいの場を整備維持管理する。	ふれあいの森等管理事業	ふれあいの森、愛宕山公園、美しい森（倉敷・真備）の維持管理を行う。	16,266	農林水産課
			幹線道路沿いや山道等に、タバコの投げ捨て防止の呼びかけを重点にした山火事予防看板を設置及び老朽化に伴う更新を行う。	山火事予防看板設置事業	幹線道路沿いや山道等に、タバコの投げ捨て防止の呼びかけを重点にした山火事予防看板の点検を実施する。	0	消防・予防課
			管内の山火事予防重点地域で、林野火災防御訓練を実施し、地域住民に山火事予防意識の高揚を図る。	山林火災防御訓練	管内の山火事予防重点地域で林野火災防御訓練を実施し、地域住民に山火事予防意識の高揚を図る。	0	消防・予防課
	2）水辺の保 全・活用	・河川や海岸などの水辺を親水空間、レクリエーション空間として活用しながら良質な自然環境を保全 ・生物多様性の保全のために、希少な野生動植物が生息・生育する区域では、良好な環境の保全・創出に努める ・下水道整備の推進、排水に関する企業等への指導徹底などにより、河川やため池、用水の水質保全・浄化に努める	水質環境保全のために、工場・事業場に対して排水の規制や指導を行う。また、児島湖流域清掃大作戦の実施や環境保全推進員制度等により、水環境保全の啓発活動を推進する。	水質汚濁防止対策事業	工場・事業場等の水質汚濁物質の発生源に対する規制及び指導を行う。	5,421	環境政策課
			市内の河川・海域の水質汚濁状況の把握及び工場・事業場の排水の水質分析を行う。	水質調査事業	水質汚濁防止法第15条「常時監視」及び第16条「測定計画」に基づき、河川18地点、海域21地点の公共用水域で水質調査を実施し、水質の状況把握に努める。 ・河川 高梁川、倉敷川など ・海域 水島港区、玉島港区など	18,710	環境政策課
			水辺教室や海辺教室等の水生生物調査を行う。	水辺教室・海辺教室等の水生生物調査	高梁川河原で水性生物調査などの観察を行う。 磯（海辺）で水生生物調査などの観察を行う。	165	環境政策課
			高梁川流域圏域において生物多様性エコツアーを推進することで、生物多様性の保全と持続的な利用に向けて行動できる人材を育成し、地域の活性化を図る。	生物多様性エコツアーの相互実施支援事業	高梁川流域圏域において生物多様性エコツアーを推進するため、エコツアーの開催に関心のある団体等に対し、実践的な講習会を実施する。	151	環境政策課
			下水道の維持管理等を行う。	下水道事業	処理場、ポンプ場の管理等の維持管理を行う。 水島外4下水処理場 16ポンプ場など	558,555	下水施設課 下水建設課
			農業集落を対象に、生活環境の改善を図り、農業用水や河川などの水質保全のため、排水処理施設の整備を行う。	農業集落排水施設事業	農業集落排水処理施設の維持管理を行う。倉敷地区 浅原 船穂東部地区 堅盤谷・加瀬 船穂西部地区 真備地区 箭田川南	15,589	下水施設課
			親子で、魚ふれあい体験や底びき網船乗船等の漁業体験学習を行う。	漁業体験学習事業	親子で、魚ふれあい体験や底びき網船乗船等の漁業体験学習を行う。	433	農林水産課
			普通河川、準用河川、それに付随する水門及びポンプ場等の維持管理	河川維持管理事業	普通河川、準用河川、それに付随する水門及びポンプ場等の維持管理を行う。	126,236	土木課
			倉敷川沿いの河川緑地、親水広場等の維持管理に努める。	倉敷川植栽管理事業	倉敷川沿いの河川緑地、親水広場等の維持管理を行う。	365	土木課
			県が整備した沙美緑地の維持管理を行う。	沙美緑地管理運営事業	県が整備した沙美緑地の維持管理を行う。	5,525	公園緑地課
			沙美海水浴場の海開き前に、地元住民、学校、企業等と連携し、海岸清掃を実施する。	リフレッシュ瀬戸内事業	6月、海水浴場の海開きの前に、地元住民、学校、企業等と連携し、海岸清掃を実施する。	0	企画経営室
			多くの自然が残されている高梁川の広大な河原を自然観察の場として活用しているまび水辺の楽校の維持管理をする。	まび水辺の楽校の維持管理	空き缶やごみの回収、巡回パトロールを毎月実施する。	216	真備支所市民課

基本方針（１）倉敷の豊かな緑を次世代に引き継ぎます【保全】

目標	施策	主要な施策の内容	第1期実施計画（平成28～32年度）		平成28年度計画		担当部署
			事業の概要	事業名	事業内容	予算額 (千円)	
①骨格となる緑の保全・活用	3) 農地の保全・活用	・農業施策と連携した農地の保全、耕作放棄地の再生・活用 ・農業者や消費者の理解を深め、環境保全型農業を推奨するとともに、地産地消及び旬産旬消の推進に努める ・開発が計画された際には、開発事業者に対して、生物多様性など環境への配慮、緑化の推進などを指導する ・遊休農地では、地権者の意向を踏まえながら市民農園など市民が身近に土とふれあえる場としての活用を図る	農作物栽培を通じて農業と食の重要性に対する理解を深めることや、家族の憩いの場・地域交流の場として、市民農園を整備し管理運営する。	市民農園管理事業	遊休農地を利用した市民農園の維持管理を行う。	4,642	農林水産課
			中山間地域において、耕作放棄の発生防止や水源のかん養等多面的機能の確保を図るため、交付金により支援する。	中山間地域等直接支払事業	中山間地域において、耕作放棄の発生防止や水源のかん養等多面的機能の確保を図るため、交付金により支援する。	1,677	農林水産課
			国の耕作放棄地対策の対象とならない農地で実施される再生・利用の取り組みを市単独の補助金交付により支援する。	耕作放棄地対策事業	中山間地域において、耕作放棄の発生防止や水源のかん養等多面的機能の確保を図るため、交付金により支援する。	1,090	農林水産課
			採れたて新鮮野菜の即売や共進会の開催などを行い、地産地消を推進する。	くらしき農業まつりの開催	採れたて新鮮野菜の即売や共進会の開催などを行い、地産地消を推進する。	3,259	農林水産課
			地元産品、特産品の消費推進を行う。	地産地消推進事業	H P等で農林水産物直売所のP R、地産地消ニュースの掲載をする。また、市内の主な農林水産物について、旬の時期や選び方、食べ方などを掲載した冊子「くらしき農産物ガイド」等の活用を通して、地産地消を推進する。	1,866	農林水産課
			地場産物を使ったレシピの紹介などにより、郷土料理を含めた地産地消の啓発を行なう。	食育推進事業	H Pによる地場産物レシピの紹介、こどものための食育フェアにおいて、マスカット種飛ばし大会や倉敷の農産物を使った料理の試食、瀬戸内産の魚を使用した調理体験・試食などを行い、地産地消の啓発を図る。	1,091	健康づくり課
②特徴的な緑の保全・活用	1) 優れた自然環境の保全・再生・活用	・自然公園法など各種法や条例に基づき、優れた自然環境の保全・再生し、自然にふれる場として活用 ・貴重な野生動植物の生息・生育に適した自然環境の保全・再生を図るとともに、特に保全が必要な区域では、条例による緑の保全区域等の指定を検討する	鷺羽山に代表される風光明媚な瀬戸内の豊かな自然を次代に継承するために公園や園地の管理等を行う。	瀬戸内海国立公園及び園地の管理	地元団体等と協力して、国立公園の維持管理を行う。（鷺羽山、王子が岳、由加山、通仙園）	22,142	公園緑地課
			鳥を観察できる、市内12か所の「探鳥コース」の案内板などの補修を随時行い、身近な自然に親しんでもらう。	探鳥コース・野鳥観察地の維持管理	市内12か所ある「探鳥コース」のコースを確認し、設置している案内板などの補修を随時行う。	—	環境政策課
			倉敷市生物多様性地域戦略に基づき、希少野生生物の生息・生育環境の保全を行う。	希少野生生物の生息・生育環境の保全事業	ヌートリア食害防護フェンスの設置など、ミズアオイ自生地の整備・管理に協力する。また、春には市民に種まき会等の啓発活動を行う。	73	環境政策課
					自然保護団体、地域住民と協力し、スイゲンゼニタナゴ等の保護活動を推進する。	107	環境政策課
			野草園の維持管理を行う。	野草移植地管理	野草移植地である種松山野草園の維持管理を行う。	380	環境政策課
			自然環境保全条例の規定に基づいて自然保護監視員を委嘱し、自然環境の保全と回復に関する施策への協力や情報提供を得る。	自然保護監視員の委嘱	自然環境研修会等の開催。自然保護監視員だよりをホームページ等に掲載することにより、自然保護の重要性を認識してもらう。	248	環境政策課
	2) 地域を代表する緑の保全・活用	・文化財等と一体となり、歴史・文化的風景を形成している樹林地の保全に努め、必要に応じて条例による保全区域等の指定、管理協定制度などの活用を検討する ・巨樹や老樹など地域のランドマークとなる樹林を次世代に継承・文化財の歴史・文化的価値を保全しつつ、多くの方が来訪できるよう継続的な維持管理を行い、公園的な活用を図る	史跡等の文化財において、歴史・文化資源の保全を図りつつ、公園的な利用ができるよう、除草など継続的な維持管理を行います。	文化財等の保全と公園的活用の推進	史跡等の文化財において、歴史・文化資源の保全を図りつつ、公園的な利用ができるよう、除草など継続的な維持管理を行います。	2,024	文化財保護課
			自然保護監視員や市民からの情報をもとに、巨樹・老樹等の調査を行う。	巨樹・老樹等の維持管理	自然保護監視員や市民からの情報をもとに巨樹・老樹等の調査を行う。巨樹説明看板を設置する。(3箇所)	44	環境政策課
			市指定天然記念物の防除対策として薬剤の地上散布を行います。	市指定天然記念物松くい虫等防除事業	松くい虫防除を2回、葉ダニ防除を1回行う。 ・影向の松(中帯江)・雨笠の松(玉島黒崎)・鳳凰の松(片島町)	194	文化財保護課
			良好な景観の形成に重要な樹木で、条件に該当し、自然、歴史・文化等からみて、樹容が景観上の特徴を有するものを景観重要樹木として指定します。	景観重要樹木の指定	良好な景観の形成に重要な樹木で、条件に該当し、自然、歴史・文化等からみて、樹容が景観上の特徴を有するものを景観重要樹木として指定します。	0	都市計画課
			景観形成重点地区候補地において地区整備計画を策定する。	景観形成重点地区候補地においての地区整備計画の策定	現在の4地区（倉敷駅周辺地区・下津井周辺地区・旧玉島港周辺地区・酒津地区）の候補地について、随時策定する。	0	都市計画課
			各小学校区の史跡や緑などをめぐるくらしきまち歩きさと歩きマップを活用して、地域の緑に親しむ。	運動で健康づくり推進事業	各小学校区の史跡や緑などをめぐるくらしきまち歩きさと歩きマップを活用して、地域の緑に親しむ。 5・1地区のマップを公開。（今年度中に3地区追加予定）	0	健康づくり課
			地域住民による地域の文化財とその周辺の緑の維持管理を推進します。	歴史・文化資源と一体となった緑の維持管理の推進	地域住民による地域の文化財とその周辺の緑の維持管理を推進します。	634	文化財保護課

基本方針（１）倉敷の豊かな緑を次世代に引き継ぎます【保全】

目標	施策	主要な施策の内容	第１期実施計画（平成２８～３２年度）	事業名	平成２８年度計画		担当部署
			事業の概要		事業内容	予算額 （千円）	
② 特徴的な 緑の保 全・活用	３）暮らしに 密着した緑の 保全・活用	・生活や歴史・文化と一体となり 良好な景観を形成する緑の保全・ 再生に努める ・里山では、間伐や竹林整備、生 物多様性に配慮した整備など里山 保全活動の支援を図る ・里山を保全・管理・活用する仕 組みづくりの検討	良好な景観、環境を形成する緑を法や条例による保全地域、保全区 域の指定を検討する。	緑地の保全地域・区域の指定	良好な景観、環境を形成する緑を法や条例による保全地域、保全区 域の指定を検討する。	0	公園緑地課

基本方針（２）花と緑にあふれ、安全で快適に暮らせるまちを創ります【創出】

目標	施策	主要な施策の内容	第１期実施計画（平成２８～３２年度）	事業名	平成２８年度計画		担当部署
			事業の概要		事業内容	予算額 （千円）	
① フラワー ガーデン シティの 形成 （都市公 園等の整 備）	１）身近な都 市公園等の整 備	・公園が少ない地域を優先とした 街区公園の整備 ・近隣、地区公園の積極的な整備 の検討 ・子育て、高齢者の利用など多様 なニーズを反映した利用満足度の 高い公園の整備、個性ある公園の 整備 ・小規模な公園などの機能の見直 しや統廃合の検討	市街地での公園整備を推進する。また、適正な配置で街区公園を設置する。	街区公園の整備	街区公園整備のための工事を行う。 浦田黒山公園 外	79,881	公園緑地課
			利用しやすい公園づくり、市民のニーズに対応した公園づくりを進めるため街区公園を魅力ある公園に再整備する。また、小規模な公園・遊園の統廃合や機能の見直しを検討する。	公園の再整備	公園のトイレ水洗化を進めたり、水飲み場や照明等を設置して、快適な公園にする。	25,000	公園緑地課
			市内の土地利用状況の把握に努め、利用可能な土地があった場合は、積極的に整備を検討する。	近隣公園の整備	市内の土地利用状況の把握に努め、利用可能な土地があった場合は、積極的に整備を検討する。	0	公園緑地課
			水島中央公園を緑あふれる公園にリニューアルすることにより、地域に安心と安らぎのある空間を提供する。	水島中央公園再整備事業	噴水広場、センター広場及び芝生広場、西エントランス広場の整備を行う。	168,000	公園緑地課
			児島駅前地区都市再生整備計画において、児島駅前第２公園をバリアフリー対応し、安心・安全に利用できる公園にし、幅広い年代の憩い・ふれあい空間、周辺住民からの要望が強いウォーキングコースとなる園路整備や様々な交流イベントの場としても活用し、魅力向上・にぎわい創出を図る。	児島駅前第２公園再整備事業	児島駅前第２公園をバリアフリー対応し、安心・安全に利用できる公園にし、幅広い年代の憩い・ふれあい空間とするための整備工事を始める。（Ｈ２９～）	0	公園緑地課
	２）都市基幹 公園の整備	・市域のバランスや社会情勢の変 化に応じた再整備を行う ・既存の公園においては、多様な 利用者ニーズを反映した機能の充 実、計画的な更新に努める	市内の都市公園に緑に対する理解を深めるための講習会や研修・学習のできる施設や緑の相談所等を設置した緑の拠点の整備を検討する。	総合公園の整備	緑に関する講習会や研修・学習のできる施設としての緑の拠点の整備を検討する。	0	公園緑地課
			緑に囲まれた環境の中でスポーツが楽しめる公園としての再整備を行う。	運動公園の再整備	緑に囲まれた環境の中でスポーツが楽しめる公園としての再整備を行う。	0	公園緑地課
			倉敷市運動公園利活用基本構想に基づく運動公園の整備等を行う。	運動公園利活用推進事業	水島緑地福田公園利活用基本・実施設計 倉敷運動公園駐車場整備測量・設計	10,000	スポーツ振興課
	３）その他の 公園・緑地等 の整備	・風致公園・歴史公園・墓園など の目的に即した適正管理 ・緑地や都市緑地などの適切な維 持管理 ・生物多様性に配慮した公園・緑 地の整備	特殊公園の目的に即して適正な管理と機能の充実に努める。	特殊公園（風致・歴史・墓園）の整備	特殊公園の目的に即して適正な管理と機能の充実に努める。	0	公園緑地課
			都市の自然環境の保全、景観向上を目的として、積極的に都市緑地の整備を検討する。	緑地の整備	都市の自然環境の保全、景観向上を目的として、積極的に都市緑地の整備を検討する。	0	公園緑地課
			子ども広場の維持管理を行う。	子ども広場の維持管理	子ども広場の維持管理を行う。	4,018	生涯学習課
			王墓の丘史跡公園の維持管理を行う。	文化財保護事業	王墓の丘史跡公園の維持管理を行う。	7,021	文化財保護課
			鉄道跡地を緑豊かな自転車・歩行者道として維持管理する。	「風の道」の維持管理	鉄道跡地を緑豊かな自転車・歩行者道として維持管理する。	3,000	児島支所建設課

基本方針（２）花と緑にあふれ、安全で快適に暮らせるまちを創ります【創出】

目標	施策	主要な施策の内容	第１期実施計画（平成２８～３２年度）	事業名	平成２８年度計画		担当部署
			事業の概要		事業内容	予算額 (千円)	
② フラワー ガーデン シティの 形成 (緑化の 推進)	１）公共施設 の緑化	・公共施設では、市民の憩いの場として魅力を高め、花や緑のあふれるまちづくりの模範となるような環境整備に努める ・情操教育の観点からも、生垣整備や芝生化、花壇植栽など学校・園等の緑化を推進 ・街路での街路樹整備やフラワーボックス設置などにより緑のネットワークを形成	下水処理場用地等の公共用地を花いっぱいにし市民に憩いの場を提供する	公共用地の有効利用	玉島E地区1. 1haにコスモスの種をまき、花を咲かせ、一般開放後コスモスを持ち帰ってもらう。	4,477	公園緑地課
			緑豊かな街並み空間をつくるため、保育園・幼稚園・学校等の既存のコンクリート塀等を撤去し、生垣設置を進める。	公共施設緑化事業	学校等の既存のコンクリート塀を撤去し、生垣を設置する。 本荘小学校	2,000	公園緑地課
			地域の道路沿いにおいて、花を育てるボランティア団体に花の苗や種を無料配布し、地域を花で飾る。	地区花いっぱい運動	地域の道路沿いにおいて、花を育てるボランティア団体に花の苗や種を無料配布し、地域を花で飾る。	—	公園緑地課
			快適な生活環境を維持するために、街路樹や緑地等の維持管理を行う。	街路緑地等管理	街路118路線及び倉敷駅前緑地、亀島南緑地等の維持管理を行う。	128,556	公園緑地課
			地域の人々が安らぐ空間づくりとして、市内保育園・認定こども園の園庭の整備、充実を図る。	保育園・認定こども園花いっぱい事業	地域の人々が心安らぐ空間づくりとして市内保育園18園、分園1園及び認定こども園4園の花壇の整備充実を図る。	—	保育・幼稚園課
			緑のカーテンプロジェクトの一環として、公立保育園・認定こども園の園庭芝生化を行い、子どもたちの屋外活動の促進や情緒安定の向上を図る。	保育園・認定こども園園庭芝生化事業	公立保育園・認定こども園の園庭の芝生維持管理を行う。	570	保育・幼稚園課
			植物による壁面緑化が室温の上昇を抑える効果を持つことを体験することにより、自然環境の大切さや身近な緑に関心をもってもらうことを目的とする。	学校・園壁面緑化事業	幼稚園49園 小学校63校 中学校26校 高等学校 5校 特別支援学校 1校	2,839	教育・指導課 (各学校)
			市庁舎をはじめとする公共施設において、適正な緑の維持管理を行う。	公共施設等の緑の維持管理の充実	市庁舎緑地管理、除草・剪定等業務委託	6,302	総務課
				庁舎の壁面緑化	緑のカーテンプロジェクトの一環として、ゴーヤを植えることにより、庁舎（本庁、児島・玉島支所）の壁面緑化を行う。	150	総務課
			学校等の校園庭を芝生化し、地球温暖化対策及び教育環境の充実を図る。	校庭芝生化事業	学校・園の校園庭周辺の芝生化を行うために、芝生を植え付け、散水設備を整備する。	6,103	教育施設課
			処理場、ポンプ場において、植栽の適正な維持管理をおこなう。	処理場、ポンプ場の維持管理	処理場、ポンプ場において、植栽の適正な維持管理をおこなう。	38,212	下水施設課
			街路樹の植栽により可能な限り道路の緑化に努める。	街路事業	街路樹の植栽により可能な限り道路の緑化に努める。	0	街路課
			新設の道路の植樹により可能な限り道路の緑化に努める。	道路新設改良事業	新設の道路の植樹により可能な限り道路の緑化に努める。	0	街路課
			市営中庄団地の整備にあたって、住民に潤いを与える緑地の整備をする。	市営中庄団地整備事業	市営中庄団地の整備にあたって、住民に潤いを与える緑地の整備をする。	0	住宅課
	２）拠点等における良質な緑の創出	・駅、バスステーション、愛称通りなど市民、来訪者が多く行き交う拠点で重点的に花と緑の空間を演出	愛称通り（倉敷中央通り・藍羽山通り・氷島商店街通り）などにフラワーボックスを設置し季節の花で飾る。	フラワーロード事業	メイン通りにフラワーボックスを設置し道路を季節の花で飾る。	17,720	公園緑地課
			駅・バスステーション及びその周辺商店街等にフラワーボックスを設置し、訪れる人々を花でもてなす。	もてなし花壇事業	駅・バスステーション及びその周辺商店街等にフラワーボックスを設置し、訪れる人々を花でもてなす。		公園緑地課
			駅前から美観地区に至る間にあるポケット的なスペースを花で飾り、市民、来訪者に安らぎを与える。	ポケットパークの維持管理	阿知フラワーボックの花の植栽管理を行う。	2,100	公園緑地課
	３）民有地の緑化	・商業地・工業地等について、各種法や条例に即し、事業所内の緑化を指導する ・啓発活動、生垣・花壇設置の助成、緑の情報提供等により、住宅地など民有地の緑化を推進 ・民間開発では、各種法や条例に基づく緑地の整備や緑化を適正に指導する ・景観計画との連携を図りながら、緑に関する情報の提供を行う	開発行為にあたって自然環境保全法、都市計画法、倉敷市開発行為指導要綱等の趣旨により、緑の保全が図られるよう規制・指導する。	開発行為等の規制及び指導	開発行為にあたって自然環境保全法、都市計画法、倉敷市開発行為指導要綱等の趣旨により、緑の保全が図られるよう規制・指導する。	0	開発指導課
			開発行為にあたって自然環境保全法、都市計画法、倉敷市開発行為指導要綱等の趣旨により、緑の保全が図られるよう規制・指導する。	開発行為等の規制及び指導	開発行為にあたって自然環境保全法、都市計画法、倉敷市開発行為指導要綱等の趣旨により、緑の保全が図られるよう規制・指導する。	0	環境政策課
			開発行為にあたって自然環境保全法、都市計画法、倉敷市開発行為指導要綱等の趣旨により、緑の保全が図られるよう規制・指導する。	開発行為等の規制及び指導	開発行為にあたって自然環境保全法、都市計画法、倉敷市開発行為指導要綱等の趣旨により、緑の保全が図られるよう規制・指導する。	0	公園緑地課
			10ha以上の大規模開発に対して、県・市・開発事業者の3者で自然保護協定を結び自然環境の保全に努める。	自然保護協定の締結	10ha以上の大規模開発に対して、県・市・開発事業者の3者で自然保護協定を結び自然環境の保全に努める。	0	環境政策課

基本方針（２）花と緑にあふれ、安全で快適に暮らせるまちを創ります【創出】

目標	施策	主要な施策の内容	第１期実施計画（平成２８～３２年度）	事業名	平成２８年度計画		担当部署
			事業の概要		事業内容	予算額 (千円)	
② フラワー ガーデン シティの 形成 (緑化の 推進)	３）民有地の 緑化	・商業地・工業地について、各種法や条例に即し、事業所内の緑化を指導する ・啓発活動、生垣・花壇設置の助成、緑の情報提供等により、住宅地など民有地の緑化を推進 ・民間開発では、各種法や条例に基づく緑地の整備や緑化を適正に指導する ・景観計画との連携を図りながら、緑に関する情報の提供を行う	倉敷市埋立行為等の規制に関する条例により土地の埋立て、盛土及びたい積にあたっては、災害の防止及び生活環境の保全の両面から、規制や跡地の緑化指導を行う。	土砂等による土地の埋立の規制及び指導	倉敷市埋立行為等の規制に関する条例により土地の埋立て、盛土及びたい積にあたっては、災害の防止及び生活環境の保全の両面から、規制や跡地の緑化指導を行う。	0	開発指導課
			倉敷市埋立行為等の規制に関する条例により土地の埋立て、盛土及びたい積にあたっては、災害の防止及び生活環境の保全の両面から、規制や跡地の緑化指導を行う。	土砂等による土地の埋立の規制及び指導	倉敷市埋立行為等の規制に関する条例により土地の埋立て、盛土及びたい積にあたっては、災害の防止及び生活環境の保全の両面から、規制や跡地の緑化指導を行う。	0	環境政策課
			緑地協定を締結することにより、団地などの民有地緑化を推進する。	緑地協定の締結	緑地協定を締結することにより、団地などの民有地緑化を推進するため、調査・研究をする。	0	公園緑地課
			くらしきグリーンメイト（緑のカーテン推進員）とともに緑のカーテンを普及促進する	緑のカーテンの推進	遮光・遮熱効果及び蒸散作用のあるつる性植物を住宅・事業所等の壁面に設置する緑のカーテンの普及を推進する。 ・グリーンメイトの登録呼びかけ ・緑のカーテンコンテスト実施 ・市民にゴーヤや朝顔の種を配布	226	環境学習センター
			民間施設において積極的かつ適正に緑の維持管理を行うよう推奨する。	民間施設等の緑の維持管理の充実	民間施設において積極的かつ適正に緑の維持管理を行うよう推奨する。	0	公園緑地課
			積極的に緑化に取り組む地域・事業所・学校等を緑化推進モデル地区等として指定し、苗木や花苗等の配布、育成管理の技術指導を行い、自主的な緑化活動の促進を図る。	緑化推進モデル地区・学校等の指定	積極的に緑化に取り組む地域・事業所・学校等を緑化推進モデル地区等として指定し、苗木や花苗等の配布、育成管理の技術指導を行い、自主的な緑化活動の促進を図る。	0	公園緑地課
			使用されていない遊休地に暫定的に花や低木を植栽し、緑の空間をつくる。	遊休地の植栽	使用されていない場所を、地区花いっぱい団体が地区花花壇として活用する。	0	公園緑地課
③ 安心・安全な市街地の形成	１）都市公園等の防災機能の充実	・避難場所となる都市公園等を防災訓練の場として活用 ・避難場所となる公園にベンチトイレ設置など防災機能の充実	避難場所となる都市公園等を防災訓練の場として活用する。	総合防災訓練の実施	福田公園をメインに、総合防災訓練を実施する。	1,676	防災危機管理室
			ハザードマップなどを用いて、避難場所となる都市公園等の場所を周知する。	避難場所となる都市公園等の周知	ハザードマップなどを用いて、避難場所となる都市公園等の場所を周知する。	7,340	防災危機管理室
			一時避難場所となる都市公園に防災機能を有した公園施設の設置を検討する。	防災機能を有した公園施設の設置検討	防災機能を有する公園施設の整備を検討する。	0	公園緑地課
	２）暮らしを守る緑の充実	・公害等の防止を目的に設けられた緩衝緑地の適正な維持管理 ・工場立地法に基づき整備される緑地について、配置等の助言 ・多様な世代が安全・安心に利用できる公園づくり	公害防止協定及び環境基本協定締結工場については緑地面積を維持または拡大するよう指導する。また、工場立地法対象外の工場についても、法の趣旨に沿った緑化を指導する。	工場緑化の推進の育成	公害防止協定(環境保全協定を含む)の締結により、緑化を進める。また、事前協議において、生産施設面積が増加する場合は、緑化の指導を行う。	0	環境政策課
			特定工場の新増設に係る事項を事前に届け出ることを義務づけ、工場立地に関する準則等に基づき、工場立地が環境の保全を図りつつ適正に行われるようにする。	工場緑化の推進	特定工場の新増設に係る事項を事前に届け出ることを義務づけ、工場立地に関する準則等に基づき、工場立地が環境の保全を図りつつ適正に行われるようにする。	0	商工課
			緩衝緑地の維持管理を行うため県に負担金を支払う。	緩衝緑地事業	県への維持管理費負担金（水島緩衝緑地事業費負担金）	20,653	公園緑地課
			公園樹木の剪定など適正な維持管理をおこない、安心・安全な公園づくりに努める。	安心・安全な公園の維持	公園樹木の剪定など適正な維持管理を行い、人の目の行き届く、死角のない公園づくりに努める。	1,353	公園緑地課

基本方針（３）優しい心を育み、緑のまちづくりを展開していきます【展開】

目標	施策	主要な施策の内容	第１期実施計画（平成２８～３２年度）	事業名	平成２８年度計画		担当部署
			事業の概要		事業内容	予算額 (千円)	
① 花と緑を 愛する優 しい心の 育成	１）緑化イ ベント等の充実	・イベントなどの開催による緑の まちづくりの意識を醸成 ・緑化推進に貢献した市民及び団 体を表彰	10月の全国都市緑化月間に「花と緑いっぱい」のまち倉敷」をテーマ に緑に関する講演、体験教室等の各種行事を展開する。	くらしき都市緑化フェアの実施	市民団体等により実行委員会を編成し、くらしき都市緑化フェアを開催す る。	1,650	公園緑地課
			緑化推進、公園管理等に貢献した市民・団体等に対し、その労をねぎ らうとともに功績を讃え、緑化に対する意欲を高める。	緑化功労者の表彰	緑化活動に功労のあった個人・団体を表彰する。	24	公園緑地課
			花と緑の美しいまちづくりを推進していくため、家庭・自治会等で 四季折々に育てられている花と緑の優秀な花壇等を顕彰することによ り、市民参加による都市緑化の促進を図る。	花いっぱいコンクールの実施	第5回倉敷市花いっぱいコンクールを実施する。	40	公園緑地課
			6月の環境月間に環境関連啓発事業を実施する。	環境フェスティバル実施事業	6月の環境月間に環境関連啓発事業を実施する。	4,139	環境学習センター
			市民と協働して、自然史博物館まつりを実施する。	自然史博物館まつり事業	11月に、市民と協働して自然史博物館まつりを実施する。	507	自然史博物館
			初夏にさつき展示会、秋に菊花展を開催する。	倉敷市さつき展示会の開催	5月に、本庁舎展示ホールにて倉敷市さつき展を開催する。	77	観光課
				倉敷市菊花展の開催	10月に倉敷みらい公園にて、倉敷市菊花展を開催する。	1,000	観光課
	２）緑に関 する情報の提供	・講習会、ホームページ、パンフ レット、広報紙などを通じた緑に 関する情報提供 ・自然史博物館等での調査研究や 資料収集保管の充実 ・市民から要望がある苗木等の配 布、緑のリサイクル事業を推進す る ・市民の緑に関する相談に応じる 体制の充実	緑の意義や維持管理に関するホームページ、パンフレット等を作 成・配布し緑化知識の向上を図る。	緑の情報提供	緑の意義や維持管理に関するホームページ、パンフレット等を作 成・配布し緑化知識の向上を図る。	0	公園緑地課
			講習会の実施を通して、緑の育て方や維持管理について知識の向上 を図る。	講習会等の実施	花や緑に関する講習会を開催する。	-	公園緑地課
			緑に対する市民意識や市内の緑の分布状況等の調査・研究により収 集した情報を広く市民に提供する。	緑の施策の周知	改定された緑の基本計画の内容を広く市民に周知するため、概要版を窓 口等で配布する。	-	公園緑地課
			緑化相談所の開設回数、場所等の拡大を図るとともに、相談員の知 識向上を図り、広く市民の相談に応じる体制の充実を図る。	緑の相談所の充実	随時、公園緑地課で緑の相談を受けつける。また、緑化フェア会場内に 相談コーナーを設置し、記念樹配布の際には、緑化推進員が相談を受け る。	-	公園緑地課
			緑豊かな街づくりを推進するため、不要になった樹木を市が譲り受 け、希望者に譲渡することにより、樹木の有効な活用を図る。	緑のリサイクル事業	緑豊かな街づくりを推進するため、不要になった樹木を市が譲り受 け、希望者に譲渡することにより、樹木の有効な活用を図る。	563	公園緑地課
			結婚・誕生を記念して苗木を配布し、家庭の緑化を進める。	記念樹の配布	結婚・誕生を記念して苗木を配布し、家庭の緑化を進める。	1,560	公園緑地課
			緑の羽根による募金の支部緑化事業として地域・学校等に苗木を配 布し、地域緑化を進める。	地域緑化事業	緑の羽根による募金の支部緑化事業として地域・学校等に苗木を配 布し、地域緑化を進める。	1,575	公園緑地課
			講習会や講座等の実施や緑の相談所を通して、緑の育て方や維持管 理について知識の向上を図る。	講習会等の実施	公民館や市民学習センターでは、「園芸入門」、「誰でも楽しく！やさしい 園芸」などの講座を開催することで、植物の栽培に関する知識の習得 や、自然の素晴らしさを実感してもらい、緑化に対する意識の高揚を図 る。	-	市民学習センター
			高梁川流域圏域の大学・企業・各種団体等により、流域の自然・文 化等をテーマとした学校教育の補完や企業研修を実施する。	高梁川流域学校事業	高梁川流域圏域の大学・企業・各種団体等により、流域の自然・文 化等をテーマとした学校教育の補完や企業研修を実施する。	8,500	企画経営室
			広報くらしき及びテレビ等のマスメディアを通して、緑化意識の高 揚を図る。	広報紙発行事業	広報くらしきを通して、緑化意識の高揚を図る。 【広報くらしき】 H28年4月号:「花いっぱいコンクールの作品募集」 6月号:「コスモスの種まきボランティアを募集」 7月号:「緑のカーテンコンテスト作品募集」「くらしきグリーンメイト(緑の カーテン推進員)募集」 9月号:「くらしき都市緑化フェアのイベント参加者募集」 10月号:「くらしき都市緑化フェア」「コスモス畑の一般開放」「菊花展」 H29年1月号:「緑のリサイクル一般公開」	99,083	くらしき情報発信課
				新聞広報事業	緑のイベントについて、新聞や広報への掲載を検討する。	3,143	くらしき情報発信課
				広報チャンネル広報事業	広報チャンネルを通して緑化意識の高揚を図る。 【静止画】 H28年4月放送:「花いっぱいコンクール」 6月放送:「コスモス種まきボランティア募集」 9・10月放送:「くらしき都市緑化フェア」 10月放送:「コスモス畑の一般開放について」 H29年1月放送:「緑のリサイクル」	7,153	くらしき情報発信課

基本方針（３）優しい心を育み、緑のまちづくりを展開していきます【展開】

目標	施策	主要な施策の内容	第１期実施計画（平成２８～３２年度）	事業名	平成２８年度計画		担当部署
			事業の概要		事業内容	予算額 (千円)	
① 花と緑を 愛する優 しい心の 育成	２）緑に関する情報の提供	・講習会、ホームページ、パンフレット、広報紙などを通じた緑に関する情報提供 ・自然史博物館等での調査研究や資料収集保管の充実 ・市民から要望がある苗木等の配布、緑のリサイクル事業を推進する ・市民の緑に関する相談に応じる体制の充実	広報くらしき及びテレビ等のマスメディアを通して、緑化意識の高揚を図る。	コミュニティメディア 広報事業	コミュニティメディア(FMくらしき)を通して緑化意識の高揚を図る。 【声の広報くらしき】 H28年4月放送:「花いっぱいコンクール」 10月放送:「くらしき都市緑化フェア」 【インフォーマーシャル】 4月放送:「花いっぱいコンクール募集」 6月放送:「コスモス種まきボランティア募集」 9月放送:「くらしき緑化フェアのイベント参加者募集」 10月放送:「コスモス畑の一般開放について」「くらしき緑化フェア」 H29年1月放送:「緑のリサイクル」	8,014	くらしき情報発信課
			倉敷市及び周辺地域の自然に関する標本、文献等資料の収集と調査研究を行い、研究報告などで成果を公表する。また、特別展を実施するなど環境教育を行う。	自然史博物館展示事業	展示事業として、特別展「金銀銅の自然史」や特別陳列「新着資料展2016」などを開催する。 ・市内の海岸や里山・里地等の植物相調査 ・県内の植物分布調査ほか	864	自然史博物館
			倉敷市及び周辺地域の自然に関する標本、文献等資料の収集と調査研究を行い、研究報告などで成果を公表する。	自然史博物館調査研究事業	調査研究事業として、市内や県内の自然等の調査、研究を行う。 ・市内の海岸や里山・里地等の植物相調査 ・県内の植物分布調査ほか	1,142	自然史博物館
			学校・団体への学習支援や出前講座等へ講師を派遣する。また、市民と協働して自然観察会や各種講座を実施する。	自然史博物館教育普及事業	植物等の標本の名前を調べる会や自然観察会、各種講座を行う。スライド映写会「花の百名山を訪ねて3」の上映を行う。	422	自然史博物館
			市内の公園や探鳥コースなどで見られる植物の写真撮影や名前調べを行い、ホームページで公開する。	植物等の紹介	倉敷市内の公園や探鳥コースで見られる植物の写真撮影や名前調べを行いホームページで公開する。	-	自然史博物館
			小学生を対象とした地球温暖化や再生可能エネルギーに関する体験型講習（こどもエコライフチャレンジ）やNPO等と連携したイベント（STOP温暖化くらしき）を開催し、温室効果ガスの削減を啓発する。 遮光・遮熱効果及び蒸散作用を持つ「つる性植物」を住宅・事業所等の壁面に設置する「緑のカーテン」の普及を推進する。	地球温暖化対策学習推進事業	小学生を対象とした地球温暖化や再生可能エネルギーに関する体験型講習（こどもエコライフチャレンジ）やNPO等と連携したイベント（STOP温暖化くらしき）を開催し、温室効果ガスの削減を啓発する。	2,429	環境学習センター
			グリーンくらしきエコアクションの普及定着による、低炭素型ライフスタイルへの転換を図る	グリーンくらしきエコアクションの周知	グリーンくらしきエコアクション改訂版を各種環境イベント等で広く配布し、普及啓発を実施する。また、市広報誌における環境月間特集として、この内容を周知する。	-	環境学習センター
	３）花と緑を愛する市民や団体の育成・支援	・学校や地域で全ての市民が自然とふれあい、その大切さや知識を学ぶ機会を充実し、緑を愛する優しい心と人材の育成に努める ・地域緑化を進める緑化活動団体等の育成・支援 ・緑化活動グループづくり、緑化リーダーの育成	花の栽培等の学校行事を通して、児童生徒が緑にふれることにより、緑の意義や大切さを学ぶ。	学校教育を通しての緑化教育の実践	校庭花壇等で、花の栽培、水やり、草取り等を行う。	0	教育・指導課 (各学校)
			年間指導計画に基づく環境教育を推進する。	緑の少年隊の活動支援(県)	緑の少年隊による募金活動を行う。 琴浦東・蘭小学校の緑の少年隊	0	教育・指導課 (各学校)
			環境教育を推進し、環境意識の向上を図るため、各種環境学習講座や自然観察会、海辺・水辺教室など屋外体験学習を実施する。	環境教育の推進	学校訪問を市内1/3の小・中学校で実施する。	0	教育・指導課 (各学校)
			山の学習・自然教室・特別活動などにおける体験学習を通して、緑や自然に対する意識の高揚を図る。	山の学習・自然教室等の充実	山の学習→市内の小学校 63校 自然教室→市内の中学校 26校	0	教育・指導課 (各学校)
			環境教育を推進し、環境意識の向上を図るため、各種環境学習講座や自然観察会、海辺・水辺教室など屋外体験学習を実施する。	環境学習推進事業	環境教育を推進し、環境意識の向上を図るため、各種環境学習講座や自然観察会、海辺・水辺教室など屋外体験学習を実施する。	6,217	環境学習センター
			市内の小中学生を対象に、市内の大好きな景色やこんな街になってほしいと願う風景をテーマに作品を募集する。	景観絵画展の実施	市内の小中学生を対象に、市内の大好きな景色やこんな街になってほしいと願う風景をテーマに作品を募集する。	20	都市計画課
			子ども達が、ふるさとを愛し、親しみ、心豊かに成長できるような取組を総合的に挙げる。	郷土くらしきを大切に育む心育プロジェクト事業	市民憲章を活用した事業、子どもミーティング事業	-	教育・指導課
			市内の小中学生を対象に、緑化意識の普及、啓発のために、みどりや花に関するポスターを募集する。	緑化ポスターコンクールの実施	小学4年生から中学3年生を対象に、みどりや花に関するポスターを募集する。	120	公園緑地課
			公園等の公共施設において、樹名板の取り付けを行うなどして、緑を愛する心を育む。	樹名板等の設置	公園等の公共施設において、樹名板の取り付けを行うなどして、緑を愛する心を育む。	115	公園緑地課
			春・秋の年2回開催する花とみどりの推進会議を通して、市民に花の種等を配布し、花いっぱいの街づくりを進める。	緑化団体への種等の配布	春・秋の年2回開催する花とみどりの推進会議を通して、市民に花の種等を配布し、花いっぱいの街づくりを進める。	600	公園緑地課
			緑化推進員の研修を実施するなど知識向上を図るとともに、増員・強化を図る。	緑化推進員の育成	緑化推進員連絡会を年3回開催し、意見交換を行うとともに樹木の勉強会、樹名板設置等を行い知識向上を図る。	-	公園緑地課

基本方針（３）優しい心を育み、緑のまちづくりを展開していきます【展開】

目標	施策	主要な施策の内容	第１期実施計画（平成２８～３２年度）	事業名	平成２８年度計画		担当部署
			事業の概要		事業内容	予算額 (千円)	
① 花と緑を 愛する優 しい心の 育成	３）花と緑を 愛する市民や 団体の育成・ 支援	・学校や地域で全ての市民が自然とふれあい、その大切さや知識を学ぶ機会を充実し、緑を愛でる優しい心と人材の育成に努める ・地域緑化を進める緑化活動団体等の育成・支援 ・緑化活動グループづくり、緑化リーダーの育成	緑化団体の育成を図るとともに、情報交換・交流の場を提供し、団体間のネットワーク化を図る。また、新たな団体づくりを支援・育成する。	花とみどりの推進会議の充実	花とみどりの推進会議(8月・3月)を開催する。講演会を開催し、同時に花や緑に関する冊子を配布する。 また、緑化推進員連絡会、花の銀行支店長連絡会、地区花いっぱい団体連絡会も開催する。	90	公園緑地課
			真備町緑化協会の活動を支援する。	緑化協会への助成	真備町緑化協会へ補助金を支出して、活動を支援する。	1,200	公園緑地課
			旧帯江銅山跡地の「ツツジ山」を復活させる活動を通して、市民の交流を活性化させる。	ツツジ山再生プロジェクト	旧帯江銅山跡地の「ツツジ山」を復活させる活動を通して、市民の交流を活性化させる。	207	市民活動推進課
			自然保護団体との協働による自然環境調査や自然保護意識の高揚を図る。	自然保護対策補助金	「倉敷の自然をまもる会」に対し補助金を交付し、育成を図る。	180	環境政策課
② フラワー ガーデン シティの 展開	１）公園や樹 木等の適正な 維持管理	・公園施設長寿命化計画に基づく老朽化した施設の更新 ・地域の方が愛着を持って気軽に利用できるよう公園・樹木を適正に維持管理 ・地域の方と連携し、施設の美化清掃活動を推進	市民生活にゆとりとうるおいを与える都市公園の適正な維持管理を行う。	都市公園の管理	都市公園等の適正な維持管理を行う。 都市公園 781箇所 遊園 258箇所	576,730	公園緑地課
			公園施設の老朽化などによる事故を未然に防ぐとともに、時代のニーズに合わせた公園施設の見直しを行い、より安全・安心で快適に利用できる公園を維持する。	都市公園長寿命化再整備事業	公園施設長寿命化計画に基づき更新等を行う。 工事 19施設、補修 42施設 酒津公園、種松山公園 複合遊具更新 酒津公園 橋更新	3,200	公園緑地課
			自治会、子ども会、老人クラブ等との連携を図り、地域に密着した公園等の維持管理を行う。	コミュニティ活動との連携	自治会、子ども会、老人クラブ等との管理委託契約により、公園等の維持管理を行う。	80,985	公園緑地課
			鷺羽山ビジターセンターの管理運営を行う。	鷺羽山ビジターセンターの管理運営事業	鷺羽山ビジターセンターの管理運営を行う。	7,831	観光課
			自然環境保全基金が宝くじ協会の助成を得て建設した田之浦パークセンターの維持管理を行う。	田之浦パークセンターの維持管理	敷地内の清掃、除草等は、地元の人で構成する田之浦パークセンター管理組合へ委託する。	841	公園緑地課
			高齢者に生きがい対策事業として地域の公共の公園等の清掃管理を委託する。	公園等清掃管理委託事業	高齢者の生きがい対策事業として、地域の公共の公園等の清掃管理を委託する。	31,718	健康長寿課
	２）助成制度 等の充実	・生垣や花壇設置の助成など、緑化に取り組む市民への支援制度の充実	緑豊かな街づくりに向けて、生垣設置に対し補助金を交付し生垣化を進める。	生垣設置の推進	市の基準を満たす生垣設置者に対して、補助金を交付する。	1,200	公園緑地課
			花と緑あふれるまちづくりを目指すため、市の定める要件を満たして新設される花壇に対して補助金を交付する。	花壇設置の推進	市の基準を満たす花壇設置者に対して、補助金を交付する。	1,000	公園緑地課
			基金の利息により、民有地緑化事業の充実を図る。 ・生垣設置補助金・花壇設置補助金	緑化基金運用事業の充実	基金の利息が低下しているので、運用先の多角化を検討する。	-	公園緑地課
	３）協働によ る緑のまちづ くり	・行政として、市民や企業が主体的に地域緑化を進めていくサポートを行う ・ワークショップを活用した市民参加型の公園づくり ・個人の庭を開放し見学できるオープンガーデンの仕組みづくりの調査・検討	市民・団体・企業等へ緑についての情報提供や働きかけを行うなど、さまざまな機会をとらえて連携を図り、一体となって緑の街づくりを推進する。	市民・企業・行政の連携	企業が実施した緑化啓発イベントに参加する。	50	公園緑地課
			ボランティア団体と連携を図り、街路や公園緑地課の維持管理体制づくりを進める。	ボランティア活動との連携	ボランティア団体と連携を図り、街路や公園の維持管理体制や緑化推進づくりを進める。 福田公園、酒津公園、倉敷みらい公園一清掃活動 倉敷みらい公園一花壇維持管理	-	公園緑地課
			アダプト・プログラムに加入すると、アダプト・サインやボランティア保険への加入、ぼうきやごみ袋等の支給を行う。	ボランティア人材養成・アダプトプログラム実施事業	アダプト・プログラムに加入すると、アダプト・サインやボランティア保険への加入、ぼうきやごみ袋等の支給を行う。	270	市民活動推進課
			公園等の内、適所を市民に開放し、草花を栽培し楽しめる場の提供に努める。	公園の開放	市民による公園内での花壇づくり推奨する。	-	公園緑地課
			利用満足度の向上、愛着の醸成、協働の維持管理につながるワークショップなど市民参加型の公園づくりを目指す。	市民参加型の公園づくり	公園を整備する際には、積極的にワークショップを行い市民参加型の公園づくりを目指す。	-	公園緑地課
			オープンガーデンの仕組みづくりを調査検討する。	オープンガーデンの推進	個人等の庭を開放し、見学することができるオープンガーデンの仕組みづくりを調査検討する。	-	公園緑地課
			緑化推進本部の充実を図るとともに、関係部局相互の連携を図り、総合的な緑化の推進を図る。	庁内組織の充実	庁内組織と連携して、総合的な緑化の推進を図る。	-	公園緑地課
			国・県その他関係機関との連携により総合的かつ効果的な緑化の推進を図る。	他機関との連携	(公社)岡山県緑化推進協会会員として国・県等と連携する。	250	公園緑地課